

# 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅴ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成13～18年度発掘調査②—

大宮北遺跡

小幅遺跡

宮沢遺跡

鬼柳A遺跡

稲荷遺跡

本宮熊堂A遺跡

本宮熊堂B遺跡

野古A遺跡

2014. 1

独立行政法人 都市再生機構  
盛岡市・盛岡市教育委員会

# 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅴ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成13～18年度発掘調査②—

大宮北遺跡

小幅遺跡

宮沢遺跡

鬼柳A遺跡

稲荷遺跡

本宮熊堂A遺跡

本宮熊堂B遺跡

野古A遺跡

2014. 1

独立行政法人 都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

# 序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その骨格は、約400年前に南部氏により築城された盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛南開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工されています（愛称「ゆいとぴあ盛南」）。

それに伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備事業によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行っており、平成24年度に野外調査を完了したところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成13年度から18年度に実施した発掘調査のうち、大宮北遺跡ほか計8遺跡の調査成果について報告するものです。市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るためにご活用いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました独立行政法人都市再生機構岩手都市開発事務所ならびに岩手県教育委員会生涯学習文化課、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し述べると共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成26年1月

盛岡市教育委員会

教育長 千葉 仁一

# 例 言

1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・南仙北・飯岡新田に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南新都市開発整備事業（通称：盛南開発）」及び関係事業に伴い平成13年度から18年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡の調査成果を報告する。

2 本書の編集及び刊行事務は盛岡市遺跡の学び館が行い、編集・執筆作業を津嶋知弘が担当した。

3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標 X 系を座標変換した調査座標で表示した。

・調査座標軸は、日本測地系第 X 系に準じる

・調査座標原点

小幅・大宮北・宮沢・鬼柳A遺跡 X -35,000 Y +23,700 → RX ±0 RY ±0

稲荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡 X -35,000 Y +25,000 → RX ±0 RY ±0

4 高さは、標高値をそのまま使用した。

5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。

層名の記号は次のとおりとした。

記 号	
遺構堆積土	A～I 層
竪穴住居カマド崩壊土	J 層
竪穴住居カマド構築土	K 層
床構築土	L 層
地形形成堆積土(遺物包含層含む)	I (ローマ数字)～層

6 遺構記号は次のとおりとした。

記 号			
竪穴住居跡	RA	溝跡	RG
建物跡	RB	配石・集石遺構	RH
柱列跡	RC	井戸跡	RI
土坑	RD	土器埋設	RP
竪穴建物跡	RE	古墳・円形周溝ほか	RX
焼土遺構	RF	土坑墓ほか	RZ

7 遺構番号は、県埋文センター調査遺構番号との整合を図りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。

本調査精査遺構：3桁または4桁の遺跡内連続番号（基本的に県埋文センター調査遺構番号に連続）

8 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線	—————
推定	破線	- - - - -
時期差	一点鎖線	- · - · - · - · - · - · -

- 9 古代の竪穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心(炊き口)から煙道先端(煙出し)を結んだ線の方向の傾きとした。
- 10 古代の土器区分は、土師器・須恵器・あかやき土器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器(坏類, 甕類, 鉢)に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 11 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存1/4以上かつ底部まで残存するもの、甕類は口縁部残存1/4以上かつ体部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また拓本は、須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。
- 12 出土遺物の実測図化・トレースは、(株)タックエンジニアリングに委託した。また、出土炭化材の放射性炭素年代測定は、(株)加速器分析研究所に委託し、その結果報告を附章に掲載した。
- 13 出土遺物の写真撮影は、津嶋知弘が行った。
- 14 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。
- 15 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

#### 「盛岡南新都市開発整備事業」及び関係事業に係る発掘調査報告書(平成24年度末現在)

##### <公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(本報告)>

- 1995年3月『本宮熊堂B遺跡第1次発掘調査報告書—盛南開発事業関連遺跡発掘調査—』第226集
- 1996年3月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業—』第244集
- 1996年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度)』第246集〔小幅遺跡6次〕
- 1996年11月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第265集
- 1997年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成8年度)』第266集〔宮沢遺跡4次, 本宮熊堂A遺跡7次〕
- 1998年3月『小幅遺跡第5次・第7次発掘調査報告書—盛岡西バイパス建設事業関連発掘調査—』第267集
- 1998年3月『大宮北遺跡・本宮熊堂A遺跡発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第265集  
〔大宮北遺跡4次, 本宮熊堂A遺跡6次〕
- 1998年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成9年度)』第282集〔稻荷遺跡3次, 野古A遺跡9次・10次〕
- 1999年3月『熊堂B遺跡第5次・台太郎遺跡第16次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第293集
- 1999年1月『本宮熊堂B遺跡第4次・鬼柳A遺跡第4次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第308集
- 1999年3月『台太郎遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第309集
- 1999年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成10年度)』第311集〔飯岡才川遺跡2次〕
- 2000年1月『向中野館遺跡第3次・小幅遺跡第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第388集
- 2000年3月『向中野館遺跡第4次・小幅遺跡第11次・台太郎遺跡第19次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第321集
- 2000年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成11年度)』第340集〔小幅遺跡13次・14次〕
- 2001年3月『台太郎遺跡第22次発掘調査報告書—盛岡東警察署警察官待機宿舎建設事業関連発掘調査—』第365集
- 2001年3月『台太郎遺跡第18次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第369集
- 2001年3月『台太郎遺跡第26次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第416集

2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成12年度)』第370集〔鬼柳A遺跡7次, 本宮熊堂B遺跡9次・11次, 小幅遺跡15次・16次, 飯岡才川遺跡4次〕

2002年2月『熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第377集

2002年3月『飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第393集

2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成13年度)』第397集〔台太郎遺跡36次, 細谷地遺跡6次〕

2003年3月『台太郎遺跡第23次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第415集

2003年3月『台太郎遺跡第35次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第417集

2003年3月『台太郎遺跡第44次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第422集

2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書—第4・5次調査—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第414集

2003年3月『飯岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第418集

2003年3月『飯岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第419集

2003年3月『野古A遺跡第12次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第420集

2003年3月『野古A遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第421集

2003年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成14年度)』第423集〔矢盛遺跡4次, 稲荷遺跡5次〕

2004年3月『矢盛遺跡第3次・熊堂B遺跡発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第451集

2004年3月『本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第453集

2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第454集

2004年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成15年度)』第455集〔稲荷遺跡6次, 本宮熊堂B遺跡19次, 台太郎50次・52次, 野古A遺跡19次・20次, 飯岡才川遺跡5次・6次, 細谷地遺跡7次〕

2004年12月『本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第467集

2005年2月『本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書—国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—』第458集

2005年2月『台太郎遺跡第51次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第468集

2005年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成16年度)』第469集〔稲荷遺跡8・9次, 台太郎遺跡53次, 矢盛遺跡5次〕

2005年12月『矢盛遺跡第6次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第488集

2006年2月『飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第489集

2006年2月『本宮熊堂A遺跡第24次・本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書—一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—』第470集

2006年3月『台太郎遺跡第54次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第486集

2006年3月『本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第487集

2006年3月『平成17年度発掘調査報告書』第490集〔宮沢遺跡11次, 本宮熊堂B遺跡30次・31次〕

2007年2月『飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第494集

2007年3月『細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第500集

2007年2月『野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第501集

2007年3月『本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第502集

2007年3月『向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第503集

2007年2月『向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第504集

2008年1月『飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第515集

2008年1月『矢盛遺跡第10・11次・向中野館遺跡第9次・台太郎遺跡第58次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第516集

2008年2月『飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書—一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—』第508集

2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第513集

2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第514集

2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次、矢盛遺跡14次〕

2009年2月『矢盛遺跡第12・13次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第534集

2009年2月『細谷地遺跡第16・17次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—』第535集

2009年3月『平成20年度発掘調査報告書』第546集〔飯岡才川遺跡15次、矢盛遺跡20次、焼野遺跡1・2次〕

2009年12月『矢盛遺跡第18・19次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第555集

2010年2月『細谷地遺跡第19・20次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第556集

2010年3月『細谷地遺跡第10・11次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第557集

2010年3月『平成21年度発掘調査報告書』第571集〔矢盛遺跡25・26次〕

2011年3月『細谷地遺跡第24・25次・向中野館遺跡第12・13次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第577集

2011年2月『矢盛遺跡第23・24次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第578集

2011年3月『台太郎遺跡第66次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第579集

2011年2月『飯岡才川遺跡第16次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第580集

2012年3月『矢盛遺跡第27次・野古A遺跡第30次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第594集

2012年3月『細谷地遺跡第26次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第595集

2012年3月『平成23年度発掘調査報告書』第603集〔矢盛遺跡29次〕

2013年3月『飯岡才川遺跡第17～19次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—』第618集

#### <盛岡市教育委員会>

1998年3月『盛岡市埋蔵文化財調査年報—平成5・6年度—』〔南仙北遺跡12・13・14次〕

2002年3月『盛岡市内遺跡群—平成13年度発掘調査報告—』〔台太郎遺跡40・41次〕

2005年3月『盛岡市内遺跡群—平成15年度・16年度発掘調査報告—』〔台太郎遺跡55次〕

2007年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅰ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①—大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡』〔大宮北遺跡8・9次、小幅遺跡8・12・17次、宮沢遺跡5次、鬼柳A遺跡5次〕

2008年3月『盛岡市内遺跡群—平成18・19年度発掘調査報告—』〔大宮北遺跡11・13次〕

2009年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査②—稻荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡』〔稻荷遺跡1・1次補足、本宮熊堂A遺跡2・2次補足、本宮熊堂B遺跡3・3次補足・8・11次、飯岡沢田遺跡1・2次、飯岡才川遺跡1次、向中野館遺跡1・2次、細谷地遺跡2次、矢盛遺跡2次、南仙北遺跡15～17・22～24・27・28・30～32・35次〕

2010年11月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅲ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査③—台太郎遺跡』〔台太郎遺跡9～14・17・20・21・24・25・27～34次〕

2012年5月『台太郎遺跡—「フローラルアベニュー向中野」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—』〔台太郎遺跡73次〕

2012年9月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅳ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査④—台太郎遺跡』〔台太郎遺跡37～39・42・43・45～49・56・57次〕

# 目次

## 第1章 経過

第1節 調査の経過	1
第2節 発掘調査作業の経過	2
第3節 資料整理作業の経過	2
第4節 体制	5

## 第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	8
第2節 歴史的環境	11

## 第3章 調査成果

第1節 大宮北遺跡（第10次調査）	13
第2節 小幅遺跡（第18・21・22次調査）	13
第3節 宮沢遺跡（第6～10・12次調査）	17
第4節 鬼柳A遺跡（第8次調査）	22
第5節 稲荷遺跡（第4・7・10～12次調査）	23
第6節 本宮熊堂A遺跡（第16・22次調査）	25
第7節 本宮熊堂B遺跡（第21・23・28次調査）	26
第8節 野古A遺跡（第13・14・16～18・21・22・25～28次調査）	32

## 第4章 総括

1. 調査のまとめ	41
-----------	----

表

遺構図版

遺物図版

写真図版

附章 盛南開発関連遺跡出土炭化材放射性炭素年代測定	203
---------------------------	-----

報告書抄録



# 表 目 次

挿表 1	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成13～18年度〕(1)	3	第17表	稲荷遺跡第10次調査遺構土層観察表	57
挿表 2	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成13～18年度〕(2)	4	第18表	本宮熊堂A遺跡第16次調査遺構土層観察表	57
挿表 3	盛南地区遺跡群所在地住居表示整備一覧表	10	第19表	本宮熊堂B遺跡第21次調査遺構土層観察表	57
挿表 4	古代堅穴住居跡一覧表	46	第20表	本宮熊堂B遺跡第23次調査遺構土層観察表	58
第 1 表	小幅遺跡第21次調査掘立柱建物跡・ 掘立柱列跡掘方規模等一覧表	49	第21表	本宮熊堂B遺跡第28次調査 遺構土層観察表(1)	59
第 2 表	小幅遺跡第21次調査ピット計測表	49	第22表	本宮熊堂B遺跡第28次調査 遺構土層観察表(2)	60
第 3 表	小幅遺跡第22次調査掘立柱建物跡 掘方規模等一覧表	50	第23表	本宮熊堂B遺跡第28次調査 遺構土層観察表(3)	61
第 4 表	小幅遺跡第22次調査ピット計測表	50	第24表	本宮熊堂B遺跡第28次調査 遺構土層観察表(4)	62
第 5 表	宮沢遺跡第 9 次調査掘立柱建物跡 掘方規模等一覧表(1)	51	第25表	野古A遺跡第14次調査遺構土層観察表	63
第 6 表	宮沢遺跡第 9 次調査掘立柱建物跡 掘方規模等一覧表(2)	52	第26表	野古A遺跡第18次調査遺構土層観察表	63
第 7 表	宮沢遺跡第9次調査ピット計測表	52	第27表	野古A遺跡第21次調査遺構土層観察表(1)	64
第 8 表	本宮熊堂B遺跡第23次調査ピット計測表	53	第28表	野古A遺跡第21次調査遺構土層観察表(2)	65
第 9 表	野古A遺跡第25次調査堅穴住居跡 主柱穴規模等一覧表	53	第29表	野古A遺跡第25次調査遺構土層観察表(1)	66
第10表	小幅遺跡第21次調査遺構土層観察表	54	第30表	野古A遺跡第25次調査遺構土層観察表(2)	67
第11表	小幅遺跡第22次調査遺構土層観察表	54	第31表	宮沢遺跡第 9 次調査出土土器・磁器観察表	68
第12表	宮沢遺跡第 8 次調査遺構土層観察表	54	第32表	本宮熊堂B遺跡第23次調査出土土器観察表	68
第13表	宮沢遺跡第 9 次調査遺構土層観察表(1)	55	第33表	本宮熊堂B遺跡第28次調査出土土器観察表	69
第14表	宮沢遺跡第 9 次調査遺構土層観察表(2)	56	第34表	野古A遺跡第21次調査出土土器観察表	70
第15表	宮沢遺跡第12次調査遺構土層観察表	56	第35表	野古A遺跡第25次調査出土土器観察表	71
第16表	稲荷遺跡第 7 次調査遺構土層観察表	57	第36表	野古A遺跡第25次調査出土遺物観察表	71

# 目 次

挿図 1	盛南地区遺跡群位置図……………	9	第29図	稲荷遺跡第10次調査区全体図, R G 001溝跡 ……	116
挿図 2	遺跡位置図……………	12	第30図	本宮熊堂A遺跡第16次調査区全体図, R G 052・053溝跡 ……	117
第 1 図	大宮北遺跡全体図……………	75	第31図	本宮熊堂B遺跡第21次調査区全体図, R G 128・129溝跡 ……	118
第 2 図	小幅遺跡, 宮沢遺跡全体図……………	79	第32図	本宮熊堂B遺跡第23次調査区全体図 ……	119
第 3 図	鬼柳A遺跡全体図……………	83	第33図	本宮熊堂B遺跡第23次調査R A 082堅穴住居跡…	120
第 4 図	稲荷遺跡, 本宮熊堂A遺跡, 本宮熊堂B遺跡全体図……………	85	第34図	本宮熊堂B遺跡第23次調査R A 082堅穴住居跡, R D 154土坑, ピット……………	121
第 5 図	野古A遺跡全体図……………	89	第35図	本宮熊堂B遺跡第23次調査 R G 011・130・132溝跡……………	122
第 6 図	小幅遺跡第21次調査区全体図……………	93	第36図	本宮熊堂B遺跡第23次調査 R G 131~136溝跡 ……	123
第 7 図	小幅遺跡第21次調査R B 024~026掘立柱建物跡, R C 006掘立柱列跡 ……	94	第37図	本宮熊堂B遺跡第23次調査 R G 128・131・137溝跡……………	124
第 8 図	小幅遺跡第21次調査R D 507陥し穴, ピット ……	95	第38図	本宮熊堂B遺跡第28次調査区全体図 ……	125
第 9 図	小幅遺跡第21次調査R G 143~145溝跡, R D 508土坑, ピット ……	96	第39図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 083堅穴住居跡…	126
第10図	小幅遺跡第22次調査R B 027~029掘立柱建物跡, R D 509土坑, R G 146溝跡, ピット……………	97	第40図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 131堅穴住居跡…	127
第11図	宮沢遺跡第 8 次調査区全体図……………	98	第41図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 132堅穴住居跡…	128
第12図	宮沢遺跡第 8 次調査R G 019~022溝跡……………	99	第42図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 133堅穴住居跡…	129
第13図	宮沢遺跡第 9 次調査区全体図 ……	100	第43図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 134堅穴住居跡…	130
第14図	宮沢遺跡第 9 次調査R A 004・005堅穴住居跡(1)	101	第44図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 136堅穴住居跡…	131
第15図	宮沢遺跡第 9 次調査R A 004・005堅穴住居跡(2)	102	第45図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 137堅穴住居跡…	132
第16図	宮沢遺跡第 9 次調査R A 006堅穴住居跡……………	103	第46図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A 135堅穴住居跡, R E 017堅穴状遺構……………	133
第17図	宮沢遺跡第 9 次調査R A 007・008堅穴住居跡 ……	104	第47図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R D 235~237土坑, R G 128溝跡……………	134
第18図	宮沢遺跡第 9 次調査R A 009堅穴住居跡……………	105	第48図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R G 011・132溝跡 ……	135
第19図	宮沢遺跡第 9 次調査R B 001掘立柱建物跡……………	106	第49図	野古A遺跡第14次調査区全体図, R G 002溝跡 ……	136
第20図	宮沢遺跡第 9 次調査R B 003掘立柱建物跡……………	107	第50図	野古A遺跡第18次調査区全体図 ……	137
第21図	宮沢遺跡第 9 次調査R B 004掘立柱建物跡……………	108	第51図	野古A遺跡第18次調査R A 054堅穴住居跡, R D 084土坑……………	138
第22図	宮沢遺跡第 9 次調査R D 004~008土坑 ……	109	第52図	野古A遺跡第21次調査区全体図 ……	139
第23図	宮沢遺跡第 9 次調査R G 024, ピット……………	110	第53図	野古A遺跡第21次調査B区全体図 ……	140
第24図	宮沢遺跡第 9 次調査ピット ……	111	第54図	野古A遺跡第21次調査C区全体図 ……	141
第25図	宮沢遺跡第12次調査区全体図, R G 025・026溝跡 ……	112			
第26図	稲荷遺跡第 7 次調査A・B区全体図 ……	113			
第27図	稲荷遺跡第 7 次調査C区全体図 ……	114			
第28図	稲荷遺跡第 7 次調査A区R G 001溝跡, B区R G 001・002溝跡, C区R G 005溝跡……………	115			

第55図	野古A遺跡第21次調査C区R A055竪穴住居跡…142	第69図	本宮熊堂B遺跡第23次調査R A082出土土器…159
第56図	野古A遺跡第21次調査C区 R A056・058竪穴住居跡 ……143	第70図	本宮熊堂B遺跡第23・28次調査R A083出土土器 160
第57図	野古A遺跡第21次調査B区R A057竪穴住居跡…144	第71図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A131出土土器…161
第58図	野古A遺跡第21次調査R D099～102土坑, R D127陥し穴, R G031・032溝跡…145	第72図	本宮熊堂B遺跡第28次調査 R A132出土土器・古代陶器…162
第59図	野古A遺跡第25次調査区全体図 ……146	第73図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A133出土土器…163
第60図	野古A遺跡第25次調査区南半部全体図 ……147	第74図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A136出土土器…164
第61図	野古A遺跡第25次調査R A072竪穴住居跡…148	第75図	本宮熊堂B遺跡第28次調査R A137出土土器…165
第62図	野古A遺跡第25次調査R A073竪穴住居跡…149	第76図	野古A遺跡第21次調査R A055・057出土土器 …166
第63図	野古A遺跡第25次調査R A074竪穴住居跡(1) …150	第77図	野古A遺跡第21次調査R A056, R D099・102出土土器 ……167
第64図	野古A遺跡第25次調査R A074竪穴住居跡(2) …151	第78図	野古A遺跡第25次調査R A072・073出土土器 …168
第65図	野古A遺跡第25次調査R A075竪穴住居跡…152	第79図	野古A遺跡第25次調査R A073・074出土土器 …169
第66図	野古A遺跡第25次調査R D109～111・128土坑…153	第80図	野古A遺跡第25次調査R A074出土土器…170
第67図	宮沢遺跡第9次調査R A004・006・008出土土器 157	第81図	野古A遺跡第25次調査R A074・075, R D111出土土器…171
第68図	宮沢遺跡第9次調査R A007・009, R G024, 遺物包含層出土土器・近世磁器 ……158	第82図	野古A遺跡第25次調査出土土製品 ……171

# 写真図版目次

第1図版	盛南開発地区航空写真 ……………175	第12図版	本宮熊堂遺跡第28次調査(3)……………186 R A 136 竪穴住居跡, カマド R A 134 竪穴住居跡 R E 017 竪穴状遺構土層断面
第2図版	小幡遺跡第22次調査 ……………176 調査区全景 R B 027 掘立柱建物跡	第13図版	本宮熊堂遺跡第28次調査(4)……………187 R G 132 溝跡, 西部土層断面 R G 011 溝跡 R G 128 溝跡
第3図版	宮沢遺跡第9次調査(1)……………177 調査区全景 R A 009 竪穴住居跡	第14図版	野古A遺跡第21次調査(1)……………188 C区南部全景 C区北部全景
第4図版	宮沢遺跡第9次調査(2)……………178 R A 007 竪穴住居跡 R A 007 竪穴住居跡カマド, 支脚土器	第15図版	野古A遺跡第21次調査(2)……………189 B区西半部全景 B区東半部全景 R D 127 陥し穴
第5図版	稲荷遺跡第7・10次調査 ……………179 稲荷遺跡第7次調査A区R G 001 溝跡 稲荷遺跡第7次調査B区R G 001・002 溝跡 稲荷遺跡第10次調査A区R G 001 溝跡	第16図版	野古A遺跡第21次調査(3)……………190 R A 055 竪穴住居跡, 煙道 R A 056 竪穴住居跡, 炭化材・土器出土状況 R A 057 竪穴住居跡
第6図版	本宮熊堂B遺跡第17次調査 ……………180 調査区全景 R G 128 溝跡 R G 129 溝跡	第17図版	野古A遺跡第25次調査(1)……………191 調査区南部全景
第7図版	本宮熊堂B遺跡第23次調査(1)……………181 調査区北半部全景 調査区南半部全景	第18図版	野古A遺跡第25次調査(2)……………192 R A 074 竪穴住居跡 R A 074 竪穴住居跡カマド
第8図版	本宮熊堂B遺跡第23次調査(2)……………182 R A 082 竪穴住居跡 R A 082 竪穴住居跡カマド袖	第19図版	野古A遺跡第25次調査(3)……………193 R A 072 竪穴住居跡, カマド R A 073 竪穴住居跡, カマド R A 075 竪穴住居跡
第9図版	本宮熊堂B遺跡第23次調査(3)……………183 R G 011 溝跡 R G 128 溝跡 R G 132 溝跡, 北部土層断面	第20図版	本宮熊堂B遺跡出土遺物(1)……………194
第10図版	本宮熊堂遺跡第28次調査(1)……………184 調査区全景 R A 132 竪穴住居跡, 須恵器大甕出土状況	第21図版	本宮熊堂B遺跡出土土器(2)……………195
第11図版	本宮熊堂遺跡第28次調査(2)……………185 R A 083 竪穴住居跡, カマド・貯蔵穴 R A 131 竪穴住居跡, カマド R A 133 竪穴住居跡, カマド	第22図版	本宮熊堂B遺跡出土遺物(3)……………196
		第23図版	本宮熊堂B遺跡・宮沢遺跡出土遺物 ……………197
		第24図版	野古A遺跡出土遺物(1)……………198
		第25図版	野古A遺跡出土遺物(2)……………199
		第26図版	本宮熊堂B遺跡出土刻書土器 ……………200
		第27図版	本宮熊堂B遺跡出土篋書土器 ……………201

# 第1章 経過

## 第1節 調査の経過

「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地南西部に新市街地を開発整備し、既存市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市，平成4年4月合併）の3者が、地域振興整備公団（以下「公団」と呼ぶ，現独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い，公団は実施計画を作成，翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から実施許可が下り，事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては，昭和50年の国土庁長官・建設省からの行政指導に則して，公団と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」，およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日） 記の7(3)  
県，市及び村は，環境の保全及び文化財の保護につき，協力して所要の調整を行い，事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書の確認書」（平成3年12月11日） 記の5  
「覚書」の記の7の(3)の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について，国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については，公団が県，市及び村に委託するものとし，その他の敷地については市及び村において調査するものとする。  
このため，県，市及び村は，土地区画整理事業の認可までに，公団からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し，これを県，市，村及び公団で確認の上，他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより，事業の円滑な推進を図るものとする。  
なお，事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には，県，市及び村は，適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果，遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し，その結果を受けての本調査を市及び公団から委託を受けて，現在の公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。しかし，本調査対象面積が広大であることから，平成10年度以降は市教育委員会も本調査を開始し，平成11年度以降は市教育委員会も公団（都市機構）と受委託契約を締結し，県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施した。野外調査は，平成24年度の矢盛遺跡第31次調査をもって完了した。

## 第2節 発掘調査作業の経過

盛岡南新都市開発整備事業にともなう埋蔵文化財の発掘調査は、平成5年度から継続して実施された。土地区画整理の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行った。

しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行ってきた。

本書で報告の対象としている各遺跡の平成13～18年度の調査成果の概要は、挿表1・2のとおりである。

## 第3節 資料整理作業の経過

当市教育委員会が、当該事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公団（都市機構）と発掘調査の受委託契約を締結し、公団（都市機構）事業範囲（都市計画道路分）の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理作業のみを行っていた。

平成12年12月24日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にある文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・収蔵保管の拠点として使用してきた場所である。当然、本事業の発掘調査成果（図面・写真・出土資料の一部）も収蔵されており、罹災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の（仮称）盛岡市中央公園内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業にともなう発掘調査と資料整理作業、および罹災資料の復元作業を継続して行った。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ①平成5～12年度の発掘調査に係る罹災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ②平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が罹災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

上記のうち、指針①②については平成22年度までに計3分冊として刊行を終了し、指針③については通算4分冊目（平成13～18年度調査2分冊のうち1分冊目）の報告書を平成24年度に刊行している。本報告書は、指針③に基づく5分冊目（平成13～18年度調査3分冊のうち2分冊目）の報告書である。

挿表1 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成13～18年度〕(1)

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
大宮北	OOK	10	H13	試掘確認	本宮字小幡16-7他	440 (対象345)	2001. 4.23～ 2001. 4.24	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
小幡	OKH	18	H13	試掘確認	本宮字小幡101他	285 (対象1,581)	2001.11.19	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		19	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
		20	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
		21	H17	本調査	本宮字小幡94-2他	320 (対象317)	2005. 5.23～ 2005. 6. 3	縄文時代陥し穴1、古代以降溝跡3、近世以降掘立柱建物跡3・掘立柱跡1・土坑1、ピット	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
22	H18	本調査	本宮字小幡94-2他	182 (対象160)	2006. 8.21～ 2006. 8.29	近世以降掘立柱建物跡3・土坑1・溝跡1・ピット	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
宮沢	OMZ	6	H13	試掘確認	本宮字大宮37-1, 37-14	43 (対象335)	2001.11.20	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		7	H14	試掘確認	本宮字宮沢42-5	258 (対象1,498)	2002. 4.17	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		8	H14	試掘確認 本調査	本宮字宮沢34他	1,845 (対象2,688)	2002.11.18～ 2002.12.10	古代以降溝跡5	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		9	H15	本調査	本宮字宮沢32-1, 33-1他	1,085	2003. 6. 9～ 2003. 7. 17	古代竪穴住居跡6・土坑4、古代以降溝跡1、近世掘立柱建物跡3・土坑1、ピット	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		10	H16	試掘確認	本宮字宮沢37-9他	294 (対象2,860)	2004.12. 8～ 2004.12. 9	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		11	H17	本調査	本宮字宮沢29他	1,667 (対象2,001)	2005. 7. 1～ 2005. 7.22	近世掘立柱建物跡1	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県490集
		12	H18	本調査	本宮字宮沢43-9他	950 (対象1,433)	2006. 8. 7～ 2006. 8.29	古代溝跡2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
鬼柳A	OOA	8	H13	試掘確認	本宮字鬼柳47-3, 48-2	136 (対象600)	2001. 4.16	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
稲荷	OIN	4	H13	試掘確認	本宮字稲荷19-1他	604 (対象4,753)	2001.11.06～ 2001.11.9	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		5	H14	本調査	本宮字稲荷12-1他	3,958 (対象12,181)	2002. 8. 1～ 2002.10.30	古代墓塚3、近世掘立柱建物跡1・掘立柱列跡1・土坑1、時期不明土坑11・溝跡1	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県423集
		6	H15	本調査	本宮字稲荷7-7他	3,374 (対象3,209)	2003. 5. 6～ 2003. 6.24	奈良時代竪穴住居跡1・土坑2・溝跡1	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県455集
		7	H15	本調査	本宮字稲荷32-21他	2,040 (対象6,804)	2003. 4.14～ 2003. 5. 2	古代以降溝跡3	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		8	H16	本調査	本宮字稲荷20-3他	296	2004.10.18～ 2004.10.29	なし	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県469集
		9	H16	本調査	本宮字稲荷21-1	7,996 (対象7,987)	2004. 9. 1～ 2004.11. 1	近世掘立柱建物跡2・土坑1、時期不明墓塚1・溝跡1	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県469集
		10	H16	本調査	本宮字稲荷28-13	259 (対象721)	2004.10.20～ 2004.10.22	古代以降溝跡1	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		11	H16	試掘確認	本宮字稲荷9-12	40 (対象236)	2004.12.13～ 2004.12.14	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
12	H18	試掘確認	本宮字稲荷27-8	626 (対象5,445)	2006. 6.12～ 2006. 6.13	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
本宮熊堂A (※注)	OKD	16	H14	本調査	本宮字熊堂73-2他	1,707	2002. 9.12～ 2002. 9.20	近世以降溝跡2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		22	H15	試掘確認	本宮字熊堂24-3他	215 (対象1,850)	2003. 7.28	縄文時代土器・石器	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		24	H16	本調査	本宮字熊堂69-6他	357	2004. 9. 1～ 2004.11.15	古代溝跡1、旧河道	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県470集
		26	H16	本調査	本宮字熊堂24-3他	2,636	2004. 6. 7～ 2004.10.19	縄文時代竪穴住居跡4・竪穴状遺構5・土坑7・集石土坑1・焼土遺構2・ピット・旧河道、古代溝跡2	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県502集
		29	H17	本調査	本宮字熊堂24-3他	283	2005. 6. 1～ 2005. 6.30	縄文時代炉跡2・焼土遺構1・旧河道、溝跡2	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県502集

※注：本宮熊堂A遺跡と本宮熊堂B遺跡については、両遺跡を通した一連の調査回数としている。

挿表2 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成13～18年度〕(2)

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書	
本宮熊堂B (※注)	OKO	13	H13	本調査	向中野字千刈田2-23他	3,751	2001. 8. 1～ 2001.11. 2	奈良時代竪穴住居跡4, 平安時代竪穴住居跡5・土坑2, 古代掘立柱建物跡2・土坑3・溝跡2, 古代～中世掘立柱建物跡2・竪穴状遺構1・溝跡1, 近世掘立柱建物跡6・溝跡3, ビット	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県467集	
		14	H14	本調査	本宮字熊堂42-2他	1,954	2002. 6.17～ 2002. 9. 6	奈良平安時代竪穴住居跡5・土坑10・溝跡5・土器埋設遺構1	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県451集	
		15	H14	本調査	本宮字稲荷44-4他	6,235	2002. 4.10～ 2002. 9. 6	縄文時代土坑1, 奈良時代竪穴住居跡3, 平安時代竪穴住居跡3・土坑29・溝跡10, ビット	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県467集	
		17	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		18	H15	本調査	本宮字熊堂45-1他	5,118	2003. 4.11～ 2003.10. 8	平安時代竪穴住居跡7・土坑24・溝跡6	国道46号盛岡西バイパス建設	県埋文	県458集	
		19	H15	本調査	本宮字熊堂52-2	97	2003. 9. 1～ 2003. 9.30	古代土坑5・溝跡1	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県455集	
		20	H15	本調査	本宮字熊堂58-1他	10,216	2003. 4.11～ 2003.10.17	奈良時代竪穴住居跡2, 平安時代竪穴住居跡20・掘立柱建物跡1・竪穴状遺構2・土坑2, 古代以降土坑35・焼土遺構1・ビット	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県467集	
		21	H15	本調査	向中野字千刈田1-1他	1,265	2003. 5. 6～ 2003. 5.16	古代以降溝跡2	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		23	H15	本調査	向中野字千刈田2-16他	3,425	2003.10.20～ 2003.12. 5	古代竪穴住居跡2, 古代以降土坑1・溝跡7	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		25	H16	本調査	本宮字熊堂44-2他	7,366	2004. 6. 1～ 2004.11.22	縄文時代土坑2, 古代竪穴住居跡43・竪穴状遺構2・土坑8・溝跡8, 時期不明土坑33・溝跡3, ビット	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県470集	
		27	H16	本調査	本宮字熊堂38-5	3,661	2004. 8. 6～ 2004. 9.14	奈良時代竪穴住居跡3・土坑1, 平安時代竪穴住居跡4・住居状遺構1・土坑1・溝跡3, 時期不明土坑1・溝跡1	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県487集	
		28	H16	本調査	向中野字千刈田2-4他	666 (対象575)	2004. 4.12～ 2004. 6.16	古代竪穴住居跡8・竪穴状遺構1・土坑3, 古代以降溝跡2, 近世以降溝跡1	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		30	H17	本調査	本宮字稲荷3-15他	159	2005. 5. 2～ 2005. 5.18	なし	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県490集	
31	H17	本調査	本宮字稲荷3-11他	2,412	2005. 4.12～ 2005. 5.31	奈良平安時代竪穴住居跡1・土坑1・溝跡2	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県490集			
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書	
野古A	ONK	12	H13	本調査	下鹿妻字北40-1他	6,224	2001. 5. 8～ 2001.11.12	古墳奈良時代竪穴住居跡11・土坑3・溝跡2, 平安時代竪穴住居跡16・土坑4・溝跡7・ビット, 近世以降土坑30	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県420集	
		13	H13	試掘確認	本宮字野古53-6, 54	106 (対象370)	2001. 4.27	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		14	H13	本調査	本宮字野古50-4他	165 (対象322)	2001.11. 6～ 2001.11. 9	古代溝跡1	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		15	H14	本調査	下鹿妻字北40-1他	3,169	2002. 8. 1～ 2002.11. 6	奈良時代竪穴住居跡8, 平安時代竪穴住居跡5・竪穴状遺構1・掘立柱建物跡1, 古代以降土坑20・土坑状遺構1, 焼土遺構1・溝跡6, ビット	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県421集	
		16	H14	試掘確認	本宮字野古58-4	23 (対象338)	2002. 4.16	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		17	H14	試掘確認	本宮字野古61-13他	520 (対象2,933)	2002. 9.11～ 2002.11.25	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		18	H14	本調査	下鹿妻字北51	241	2002.11.18～ 2002.11.25	古代竪穴住居跡1・土坑1	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		19	H15	本調査	下鹿妻字北32-1	1,857	2003. 9.12～ 2003.10.28	縄文時代陥し穴4, 平安時代溝跡2	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県455集	
		20	H15	本調査	下鹿妻字北33-1他	1,801	2003. 9.12～ 2003.10.28	縄文時代陥し穴10, 平安時代溝跡2	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県455集	
		21	H15	本調査	下鹿妻字北52他	1,750	2003. 5. 2～ 2003. 6.11	縄文時代陥し穴1, 古代竪穴住居跡4・土坑5, 古代以降溝跡2	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		22	H15	本調査	本宮字野古58-3	325	2003.11. 1～ 2003.11. 2	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		23	H16	本調査	下鹿妻字北33-1他	2,056	2004. 9.15～ 2004.11. 1	古墳奈良平安時代竪穴住居跡8・土坑5・溝跡3	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県501集	
		24	H16	本調査	下鹿妻字北33-1他	2,240	2004.10. 1～ 2004.11. 1	古墳奈良平安時代竪穴住居跡5・土坑1・溝跡3	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県501集	
		25	H16	試掘確認・本調査	本宮字野古61-24他	1,380 (対象2,856)	2004. 5.10～ 2004. 6.18	古代竪穴住居跡4・土坑1, 古代以降土坑3	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		26	H16	試掘確認	本宮字野古52-1, 52-2	36 (対象361)	2004. 6.23	なし	住宅新築(区画整理区内)	市教委	本書	
		27	H16	試掘確認	本宮字野古61-4他	926 (対象8,663)	2004. 9.27～ 2004.11.25	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
		28	H16	試掘確認	本宮字野古52-2	65 (対象503)	2004.11. 8	なし	土地区画整理(盛南開発)	市教委	本書	
29	H17	本調査	下鹿妻字北40-1他	3,088	2005. 4.12～ 2005. 6.13	縄文時代陥し穴4, 奈良平安時代竪穴住居跡5・住居状遺構1・土坑10, ビット	土地区画整理(盛南開発)	県埋文	県501集			

※注：本宮熊堂A遺跡と本宮熊堂B遺跡については、両遺跡を通した一連の調査回数としている。



## 第4節 体制

- [委託者] 地域振興整備公団（～平成16年6月）、独立行政法人都市再生機構（平成17年7月～）
- [調査主体] 盛岡市教育委員会
- [事務局] 盛岡市教育委員会事務局文化課（～18年度）、歴史文化課（平成19年度～）
- [調査] 盛岡市教育委員会事務局文化課文化財係（～15年度）、  
盛岡市遺跡の学び館（平成16年度～）
- [助言] 文化庁、岩手県教育委員会、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- [協力] 発掘調査、資料整理、報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課、地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。記して感謝申し上げる。

[発掘調査担当者（本書掲載分）]

大宮北遺跡	第10次調査（平成13年度）	今野公顕
小幡遺跡	第18次調査（平成13年度）	三浦陽一
	第21次調査（平成17年度）	今野公顕・齋藤麻紀子
	第22次調査（平成18年度）	今野公顕・鈴木賢治
宮沢遺跡	第6次調査（平成13年度）	三浦陽一
	第7次調査（平成14年度）	三浦陽一
	第8次調査（平成14年度）	三浦陽一・花井正香
	第9次調査（平成15年度）	今野公顕
	第10次調査（平成16年度）	今野公顕
	第12次調査（平成18年度）	今野公顕・鈴木賢治
鬼柳A遺跡	第8次調査（平成13年度）	花井正香
稲荷遺跡	第4次調査（平成13年度）	三浦陽一
	第7次調査（平成15年度）	今野公顕
	第10次調査（平成16年度）	今野公顕
	第11次調査（平成16年度）	今野公顕
	第12次調査（平成18年度）	今野公顕・鈴木賢治
本宮熊堂A遺跡	第16次調査（平成14年度）	三浦陽一
	第22次調査（平成15年度）	三浦陽一

本宮熊堂B遺跡	第21次調査（平成15年度）	佐々木亮二
	第23次調査（平成15年度）	佐々木亮二
	第28次調査（平成16年度）	今野公顕
野古A遺跡	第13次調査（平成13年度）	今野公顕
	第14次調査（平成13年度）	三浦陽一
	第16次調査（平成14年度）	三浦陽一
	第17次調査（平成14年度）	三浦陽一
	第18次調査（平成14年度）	三浦陽一
	第21次調査（平成15年度）	佐々木亮二
	第22次調査（平成15年度）	佐々木亮二
	第25次調査（平成16年度）	今野公顕・松川光海
	第26次調査（平成16年度）	今野公顕
	第27次調査（平成16年度）	三浦陽一・今野公顕
	第28次調査（平成16年度）	三浦陽一

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成25年度）

教 育 長 千葉 仁一  
 教育部長 鷹 觜 徹  
 教育次長 柴田 道明

歴史文化課（事務局）

課長	袖上 寛
主幹兼課長補佐 （埋蔵文化財担当, 兼務）	千田和文
課長補佐	木村英樹
主査（兼務）	田山淳一
文化財主査（兼務）	室野秀文
文化財主査（兼務）	菊地幸裕
文化財主査（兼務）	津嶋知弘
文化財主査（兼務）	神原雄一郎
文化財主査	権頭祐子
文化財主査	今野公頭
学芸主査	岡 聰
学芸員	大沼信忠
主任（兼務）	江本敦史
文化財主任（兼務）	花井正香
文化財主任	佐々木亮二
主事	寺島幸子
主事補	佐藤美沙
文化財調査員	福島 茜
文化財調査員	鳥取邦美
文化財調査員	萱岡雅光
事務嘱託	齊藤晃大

遺跡の学び館（施設）

館長（兼務）	袖上 寛
主幹兼館長補佐	千田和文
主査	田山淳一
文化財主査	室野秀文
文化財主査	菊地幸裕
文化財主査	津嶋知弘
文化財主査	神原雄一郎
主任	江本敦史
文化財主任	花井正香
文化財調査員	佐々木紀子
文化財調査員	木幡里美
文化財調査員	鈴木俊輝
学芸調査員	大平佳澄
学芸調査員	山野友海

## 第2章 遺跡群の位置と環境

### 第1節 地理的環境

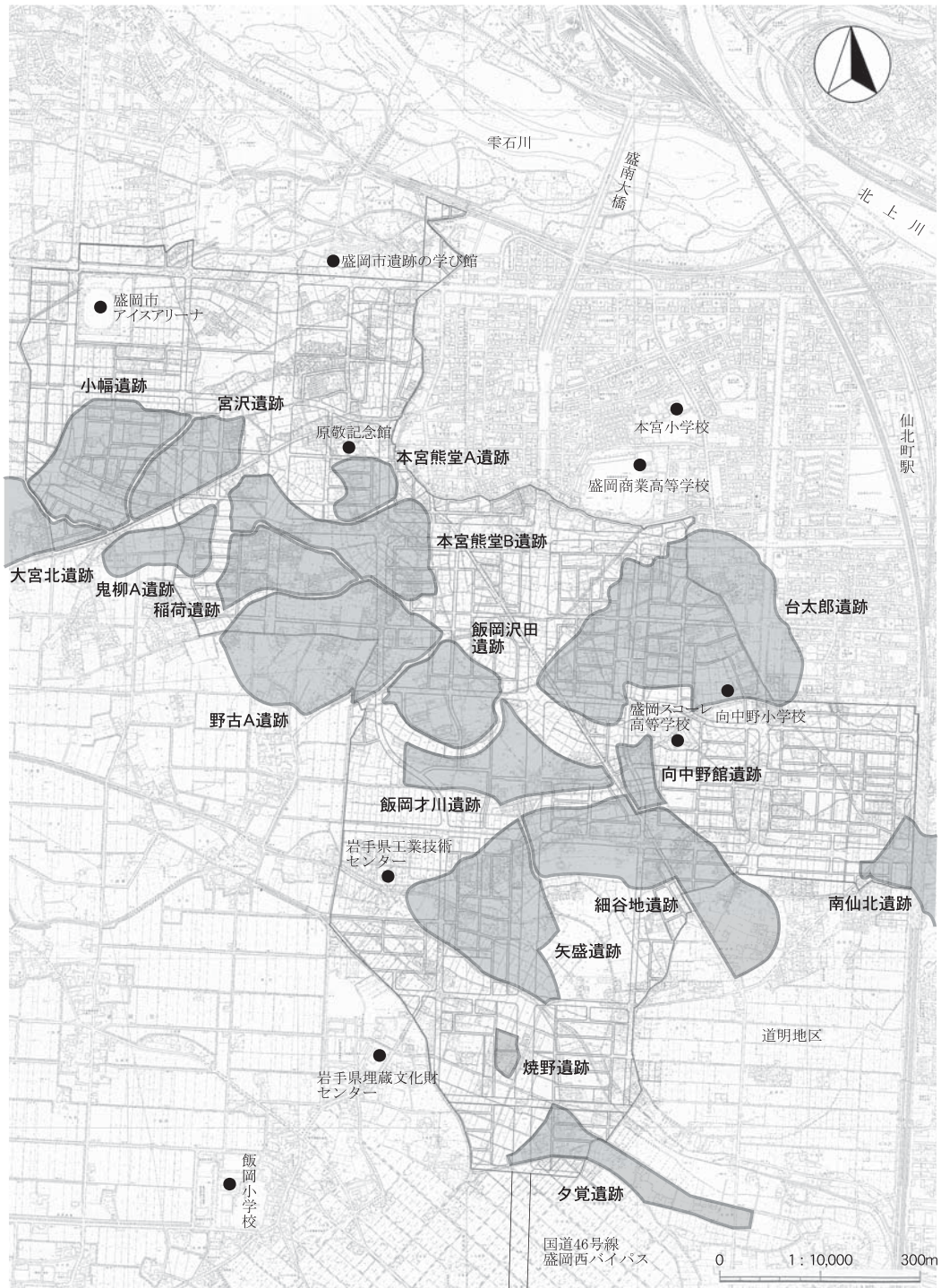
盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口298,572人(平成22年国勢調査)、面積886.47km<sup>2</sup>の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

現在、市街地南西部の313.5haを対象に「盛岡南新都市開発整備事業」に係る土地区画整理事業が実施されている。事業主体は独立行政法人都市再生機構(旧地域振興整備公団)で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着工している。これにともない、事業区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成5年度から県埋文センターと市教育委員会が実施している。

「盛南地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮、本宮4丁目・6丁目・7丁目、向中野1丁目・2丁目・3丁目・5丁目、北飯岡1丁目、本宮字野古、下鹿妻字北、向中野字野原・字細谷地・字鶴子・字幅、飯岡新田2地割・3地割・4地割、南仙北2丁目に所在する(挿図1)。なお所在地名は、土地区画整理事業完了地区の住居表示整備により、平成23年2月、平成24年2月、平成25年2月に旧字名から変更となっており、その変遷は挿表3のとおりである。

盛岡は、岩手県から宮城県を南流する北上川に中津川・雫石川・築川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する。雫石川は奥羽山脈から東流し、烏泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近(市内上太田)で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘(砂礫段丘)が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない雫石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。



挿図1 盛南地区遺跡群位置図(新街区は盛岡南新都市開発整備事業)

挿表3 盛南地区遺跡群所在地住居表示整備一覧表

遺跡名	所在地			
	平成23年(2011)1月以前	平成23年(2011)2月住居表示整備	平成24年(2012)2月住居表示整備	平成25年(2013)2月住居表示整備
大宮北	本宮字大宮・字小幅	本宮字大宮, 本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
小幅	本宮字小幅	本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
宮沢	本宮字宮沢	本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
鬼柳 A	本宮字鬼柳	本宮字鬼柳, 本宮6丁目・7丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
本宮熊堂 A	本宮字熊堂	本宮4丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
本宮熊堂 B	本宮字熊堂・字稲荷, 向中野字千刈田	本宮4丁目・6丁目, 本宮字熊堂・字稲荷, 向中野字千刈田	本宮4丁目・6丁目・7丁目, 向中野3丁目	確定, 変更なし
稲荷	本宮字稲荷	対象外, 変更なし	本宮7丁目	確定, 変更なし
野古 A	本宮字野古, 下鹿妻字北	対象外, 変更なし	本宮7丁目, 向中野3丁目, 北飯岡1丁目, 本宮字野古, 下鹿妻字北	確定, 変更なし
飯岡沢田	飯岡新田1地割	対象外, 変更なし	向中野3丁目, 北飯岡1丁目	確定, 変更なし
飯岡才川	飯岡新田1地割・2地割	対象外, 変更なし	北飯岡1丁目, 向中野5丁目	確定, 変更なし
台太郎	向中野字千刈田・字向中野・字台太郎, 向中野1丁目・2丁目	対象外, 変更なし	向中野1丁目・2丁目・5丁目	確定, 変更なし
向中野館	飯岡新田2地割	対象外, 変更なし	向中野5丁目	確定, 変更なし
細谷地	飯岡新田2地割, 向中野字野原・字細谷地	対象外, 変更なし	向中野5丁目, 向中野字野原・字細谷地	向中野5丁目・7丁目, 向中野字細谷地
矢盛	飯岡新田2地割・3地割・4地割, 向中野字野原	対象外, 変更なし	北飯岡1丁目, 飯岡新田2地割・3地割・4地割, 向中野字野原	北飯岡1丁目・2丁目, 向中野7丁目
焼野	飯岡新田4地割	対象外, 変更なし	対象外, 変更なし	北飯岡4丁目
夕覚	飯岡新田4地割・5地割	対象外, 変更なし	対象外, 変更なし	北飯岡3丁目・4丁目, 飯岡新田5地割
南仙北	向中野字鶴子, 南仙北2丁目	対象外, 変更なし	向中野4丁目, 向中野字鶴子, 南仙北2丁目	向中野4丁目・6丁目, 南仙北2丁目

## 第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴住居跡や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴住居跡を主体とした集落が増加する。この時期の集落は、大型竪穴住居を中心としてその周囲に中～小型の竪穴住居が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向があり、血縁的一族が集落を構成したと考えられる。

平安時代初頭の延暦22年(803)、本遺跡群の西方に「志波城」(下太田方八丁他)が造営される。志波城は、東北地方統治のために律令政府が造営した古代城柵であり、当時「蝦夷(エミシ)」と呼ばれていた人々の社会に大きな影響を与えたと考えられる。『日本紀略』によると、坂上田村麻呂が「造志波城使」となり志波城は造営され、その規模は陸奥国最大級のものであった。しかし北を流れる現在の雫石川の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で征夷將軍文室綿麻呂の建議により徳丹城(矢巾町西徳田)に移転したことが、『日本後紀』に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止していることが発掘調査で確認されており、本地域を含む北上盆地一帯は、鎮守府胆沢城(奥州市水沢区九蔵田)による一城統治の体制となる。

以降、9世紀中葉から本地域では竪穴住居を主体とした集落が増加していく。それにともない竪穴住居の規模の大小差は縮小するようになり、重複が著しく見られるようになる傾向がある。その中でも、向中野館遺跡の低湿地から古代の祭祀に関係すると考えられる遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川の円形周溝墓群や火葬骨蔵器など、本地域内の集落機能の分化もみられる。また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、各地区の拠点的な集落が形成されるようになり、カマドを何度も作り替える大型住居がみられるようになる。細谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2間×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、高床倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、本地域の北西、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、官衙的な大型掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、新興在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、本地域の西側にある大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形の平面形となる居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡が検出されており、出土遺物やその平面形から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、雫石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中(街道)や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡など近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発事業が施工される直前の本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。



挿図2 遺跡位置図(1:50,000)



# 第3章 調査成果

## 第1節 大宮北遺跡（第10次調査）

### 1. 遺跡の立地

小幅遺跡は、803年に造営された古代城柵である志波城跡の外郭東辺から東約450mに位置し、北西に林崎遺跡、南西に大宮遺跡、北東に小幅遺跡、南東に鬼柳A遺跡が周囲に位置している。低位沖積段丘上にあり、遺跡の北部は雫石川の旧河道と約2mの段差となっており、それ以外は1m弱の比高差がみられ他の遺跡と画される。遺跡の範囲は東西約500m、南北約250mをはかる（第1図）

### 2. 調査内容

#### (1) 第10次調査(平成13年度)

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第1図）。調査面積は440㎡。重機により表土を除去し、表土下0.5～1.5mの褐色砂礫層上面で遺構検出を行ったが、既存住宅基礎等による攪乱が多く、遺構は確認されなかった。遺物は、古代の土師器破片が1点、攪乱土中より出土した。

## 第2節 小幅遺跡（第18・21・22次調査）

### 1. 遺跡の立地

小幅遺跡は、志波城跡の外郭東辺から東約800mに位置し、南西に大宮北遺跡、南に鬼柳A遺跡、東に宮沢遺跡が周囲に位置している。低位沖積段丘上にあり、遺跡の北部は雫石川の旧河道と約2mの段差となっており、それ以外は1m弱の比高差がみられ他の遺跡と画される。遺跡の範囲は、東西約550m、南北約250mをはかる（第2図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第18次調査(平成13年度)

今次調査区は、遺跡の南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した（第2図）。調査対象面積1,581㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチを5本設定し（調査面積285㎡）、表土下0.3～0.6mで褐色シルト層を検出、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

## (2) 第21次調査(平成17年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第2図)。調査面積は320㎡。重機により表土を除去し、表土下0.6～0.9mの褐色シルト層上面で遺構検出を行った。調査区内は既存建物基礎や、南端は道路工事のために攪乱を受けていた。調査区北半部は、旧地形が低く落ち込み、一部谷地状となっていた。

### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、縄文時代の陥し穴1基(RD507)、古代以降の溝跡3条(RG143～145)、近世以降の掘立柱建物跡3棟(RB024～026)・掘立柱列跡1基(RC006)・土坑1基(RD508)・ピットである(第6図)。

#### ・掘立柱建物跡

##### RB024 (第7図)

**位置** 調査区中央部 **重複関係** RB025, RC006  
**構造** 東西桁行3間・南北梁行2間, 間仕切りあり **棟方向** 東西棟, E2.5°S  
**規模** 桁行―北側柱筋: 総長4.5m, 柱間西から3.3m+1.2m  
南側柱筋: 総長4.35m, 柱間西から3.15m+1.2m  
梁行―西側柱筋: 総長3.75m, 柱間北から1.5m+2.25m  
東側柱筋: 総長3.75m, 柱間北から1.65m+2.1m  
**掘方** 8基(第1表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

##### RB025 (第7図)

**位置** 調査区中央部 **重複関係** RB024  
**構造** 東西桁行1間以上・南北梁行2間 **棟方向** 東西棟, E13.0°S  
**規模** 桁行―総長2.4m以上, 柱間1.5m 梁行―総長3.0m, 柱間1.5m等間  
**掘方** 4基(第1表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

##### RB026 (第7図)

**位置** 調査区中央部 **重複関係** なし  
**構造** 東西桁行4間, 南北梁行2間 **棟方向** 東西棟, E0.5°S  
**規模** 桁行―総長4.8m, 柱間西から0.9m+2.1m+0.9m+0.9m  
梁行―総長3.15m, 柱間北から1.8m+1.35m  
**掘方** 7基(第1表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

#### ・柱列跡

##### RC006 (第7図)

**位置** 調査区中央部 **重複関係** RB024 **平面形** L字形板塀 **構造** 南北4間+東西5間  
**規模** 南北―総長7.2m, 柱間北から2.25m+1.65m+2.4m+0.9m  
東西―総長5.85m, 柱間西から0.9m+1.05m+1.95m+1.05m+0.9m

掘方 10基(第1表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

・陥し穴

RD507(第8図)

位置 調査区北端部 重複関係 なし 平面形 溝状(陥し穴)

規模 長さ3.3m, 幅0.4~0.5m, 深さ0.4m 埋土 A1・2層, B1・2層, C1層(第10表)

出土遺物 なし 時期 縄文時代

・土坑

RD508(第9図)

位置 調査区南部 重複関係 RG145 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.6m以上, 短軸1.4m, 深さ0.2m 埋土 A1~3層(第10表)

出土遺物 なし 時期 近世以降

・溝跡

RG143(第9図)

位置 調査区南半部 重複関係 なし

規模等 幅0.4~0.6m, 延長9.8m以上, 深さ0.15m, 北東から南西に走る。

埋土 A1層・B1層(第10表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

RG144(第9図)

位置 調査区南半部 重複関係 なし

規模等 幅0.2~0.4m, 延長1.8m, 深さ0.1m, ほぼ南北に走る

埋土 A1層(第10表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

RG145(第9図)

位置 調査区南半部 重複関係 なし

規模等 幅0.3~0.4m, 延長14.8m, 深さ0.1m, 蛇行しながらほぼ南北に走る

埋土 A1層(第10表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

・ピット

調査区内に近世以降のピット20口を検出した(第8図, 第2表)。出土遺物はない。

(3) 第22次調査(平成18年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第2図)。調査面積は182m<sup>2</sup>。重機により表土を除去し、表土下0.5~0.8mの褐色シルト層上面で遺構検出を行った。調査区中央には南北に旧堰跡が走り、北東隅は旧地形の低地がある。全体に耕作や既存建物基礎の攪乱が多く、遺構の残存状況は良くない。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、近世以降の掘立柱建物跡3棟(RB027~029)・土坑1基(RD509)・溝跡1条(RG146),  
ピットである(第10図)。

##### ・掘立柱建物跡

**R B 0 2 7** (第10図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** R B 0 2 8 (古)・0 2 9

**構造** 南北桁行4間以上・東西梁行2間以上の身舎に、西側1間の廂または下屋

**規模** 身舎：桁行一総長6.3m以上、柱間1.95m等間 梁行一3.2m以上、柱間1.8m

廂または下屋：柱間1.2m

**棟方向** 南北棟，N0° **掘方** 9基(第3表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

**R B 0 2 8** (第10図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** R B 0 2 7 (新)・0 2 9

**構造** 南北桁行4間以上・東西梁行3間以上

**規模** 桁行一総長6.3m以上、柱間1.95m等間 梁行一総長4.1m以上、柱間1.95m等間

**棟方向** 南北棟，N0° **掘方** 5基(第3表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

**R B 0 2 9** (第10図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** R B 0 2 7・0 2 8

**構造** 南北桁行2間以上・東西梁行3間以上

**規模** 桁行一総長3.5m以上、柱間2.1m 梁行一総長4.2m、柱間1.95m等間

**棟方向** 南北棟，N0° **掘方** 4基(第3表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

##### ・土坑

**R D 5 0 9** (第10図)

**位置** 調査区南東部 **重複関係** R G 1 4 6 **平面形** 不整円形 **規模** 径2.1m、深さ0.3m

**埋土** A1層，B1・2層(第11表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

##### ・溝跡

**R G 1 4 6** (第10図)

**位置** 調査区南東部 **重複関係** R D 5 0 9

**規模等** 幅0.3~0.5m、延長5.6m以上、深さ0.05~0.17m、北北東から南南西へ途切れながら走る

**埋土** A1層・B1層(第11表) **出土遺物** なし **時期** 近世以降

##### ・ピット

調査区内に近世以降のピット29口を検出した(第10図)。各ピットの規模は第4表のとおりである。

### 第3節 宮沢遺跡（第6～10・12次調査）

#### 1. 遺跡の立地

宮沢遺跡は、志波城跡の外郭東辺から東約1kmに位置し、西に小幅遺跡、南に鬼柳A遺跡、南東に本宮熊堂B遺跡が周囲に位置している。低位沖積段丘上にあり、遺跡の北部は雫石川の旧河道と約2mの段差となっており、それ以外は1m弱の比高差がみられ他の遺跡と画されるが、中央部に谷地が入り込む。遺跡の範囲は、東西約200m、南北約230mをはかる（第2図）。

#### (1) 第6次調査(平成13年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した（第2図）。調査対象面積335㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチを1本設定し（調査面積43㎡）、表土下1mで褐色シルト層を検出、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

#### (2) 第7次調査(平成14年度)

今次調査区は、遺跡の南部中央に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した（第2図）。調査対象面積1,498㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチを2本設定し（調査面積258㎡）、表土下0.5～0.9mで褐色シルト層を検出、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

#### (3) 第8次調査(平成14年度)

今次調査区は、遺跡の北西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査及び一部本調査として実施した（第2図）。調査対象面積2,688㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチを6本設定し、表土下0.1～0.3mで褐色シルト層及びシルト漸移層を検出、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査対象地の東半部は、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査終了地区とした。西半部は、竪穴住居跡・土坑・溝跡を検出したため要本調査範囲と判断し、当該年度に道路建設及び宅地造成工事を行う範囲に限定して本調査を行った。調査完了面積は1,845㎡である。なお、残りの本調査範囲となる当該調査区の西側は、平成15年度に第9次調査B区として本調査を行っている。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代以降の溝跡5条(RG019～023)である(第11図)。

#### ・溝跡

RG019 (第12図)

位置 調査区南端 重複関係 RG020

規模等 幅0.8～1.2m, 延長8.8m以上, 深さ0.14m, 北東から南西に走る

埋土 A1層(第12表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

**RG020** (第12図)

**位置** 調査区西半部 **重複関係** RG019(新)・023  
**規模等** 幅0.3~1.0m, 延長30.0m, 深さ0.16m, 北北西から南南東に走る  
**埋土** A1・2層, B1層(第12表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG021** (第12図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** なし  
**規模等** 幅0.3~0.4m, 延長1.7m以上, 深さ0.12m, ほぼ東西に走る  
**埋土** A1・2層(第12表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG022** (第12図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** なし  
**規模等** 幅0.3~0.8m, 延長5.3m, 深さ0.1~0.14m, ほぼ東西に走る  
**埋土** A1・2層(第12表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG023** (第12図)

**位置** 調査区中央 **重複関係** RG020  
**規模等** 幅0.34~0.4m, 延長4.9m, 深さ0.06m, やや蛇行しながら南北に走る  
**埋土** A1層(第12表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**(4) 第9次調査(平成15年度)**

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第2図)。調査面積は1,085㎡。重機により表土を除去し、表土下0.1~0.4mの暗褐色~褐色シルト層・褐色砂礫層上面で遺構検出を行った。耕作や既存建物基礎の攪乱のため全体に削平されており、遺構の残存状況は悪く、ところによって大きく攪乱されている部分もあった。調査区については3つに分かれており、東調査区をA区、西調査区をB区、現道部分調査区をC区とした(第13図)。このうち、A区・C区については遺構が確認されなかった。

**a. 遺構と遺物**

B区で検出された遺構は、古代の竪穴住居跡6棟(RA004~009)・土坑3基(RD005~008)、古代以降の溝跡1条(RG024)、近世の掘立柱建物跡3棟(RB001・003・004)・土坑1基(RD004)、ピットである(第13図)。

**・竪穴住居跡**

**RA004** (第14・15図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RA005(古)・006(古), RD005(古) **平面形** 不整形  
**規模** 南北4.35m, 東西4.1m, 深さ0.1~0.15m **カマド方向** S2.5°E, 南カマド, 長い煙道(0.78m)  
**床の状態** 床構築土あり **柱穴** なし **埋土** A1~3層, J1層, L1・2層(第13表)  
**出土遺物** (第67図, 第31表) 土師器坏(001, 002)・高台付坏(003), 須恵器高台付壺(004), あかやき土

器坏(005～009)・高台付坏(010～012)・甕(013), ほか破片, 鉄釘の一部, 炭化材(A層)

時期 10世紀前葉～中葉

RA005 (第14・15図)

位置 調査区北部 重複関係 RA004(新)・006, RD004(新)・008(古)

平面形 不整形 規模 南北5.4m, 東西5.15m, 深さ0.03～0.07m

カマド方向 S6.5°W, 南カマド, 長い煙道(1.2m) 床の状態 床構築土あり 柱穴 ピット9口

埋土 A1層, J1～6層, L1・2層(第13表) 出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片

時期 10世紀前葉以前

RA006 (第16図)

位置 調査区北部 重複関係 RA004(古) 平面形 不整形

規模 東西3.26m, 南北4.2m, 深さ0.05m カマド方向 E4.5°S, 東カマド, 長い煙道(1.55m)

床の状態 床構築土あり カマド 焚口の焼土面あり 柱穴 ピット2口

埋土 A1層, L1～3層(第13表)

出土遺物 (第67図, 31表) あかやき土器坏(016, 017), ほか破片 時期 10世紀前葉以前

RA007 (第17図)

位置 調査区南西部 重複関係 RD005(新) 平面形 不整形

規模 南北3.95m, 東西3.85m, 深さ0.2m カマド方向 W6.0°N, 西カマド, 長い煙道(1.52m)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり 柱穴 なし

床の状態 硬化面あり, 床面に粘土, 床構築土あり

埋土 A1層, B1～3層, C1・2層, J1～12層, K1層, L1～3層(第13表)

出土遺物 (第68図, 第31表) 土師器坏(018～021)・甕(022), ほか破片, フイゴ羽口破片

時期 9世紀後葉

RA008 (第17図)

位置 調査区南東部 重複関係 RG024(新) 平面形 不整形

規模 東西2.25m, 南北2.35m以上, 深さ0.1m カマド方向 不明

床の状態 床面東部に焼土面あり, 床構築土あり 埋土 A1層・J1層・L1層(第22表)

出土遺物 (第67図, 第14表) 土師器坏(014)・甕(015), ほか破片 時期 10世紀前葉以降

RA009 (第18図)

位置 調査区北西部 重複関係 RG024(新) 平面形 不整形

規模 東西2.4m以上, 南北3.7m, 深さ0.1m カマド方向 E10.5°S, 東カマド, 長い煙道(1.25m)

カマド 焚口の焼土面あり 貯蔵穴 カマド右脇に1基

埋土 A1層, B1～4層, J1～6層(第14表), A1層に粉状パミス(十和田a火山灰)が混じる

出土遺物 (第68図, 第31表) あかやき土器坏(023, 024)・高台付坏(025～027), ほか破片

時期 10世紀初頭

・掘立柱建物跡

R B O O 1 (第19図)

位置 調査区南東部 重複関係 R B O O 3

構造 南北桁行4間・東西梁行3間の身舎に南北両廂1間

規模 身舎：桁行一総長8.4m，柱間西側柱筋北から1.8m+1.95m+1.95m+2.7m

東側柱筋北から1.5m+2.1m+1.95m+2.85m

梁行一総長5.7m，柱間1.8m+2.1m+1.8m

北廂：柱間2.25m，南廂：柱間2.55m

建物方向 N7.0°E，南北棟 掘方 23基(第5表)，うち10基の底面に置き石

出土遺物 掘方埋土より須恵器・あかやき土器破片 時期 近世

R B O O 3 (第20図)

位置 調査区南東部 重複関係 R B O O 1

構造 南北桁行6間，梁行北側柱筋5間・南側柱筋3間

規模 桁行一西側柱筋総長11.7m，柱間北から2.1m+1.95m+1.95m+1.8m+3.9m

東側柱筋総長12.0m，柱間北から4.2m+2.1m+1.8m+1.8m+2.1m

梁行一北側柱筋総長5.7m，柱間西から1.05m+0.9m+1.8m+0.9m+1.05m

南側柱筋総長5.7m，柱間西から1.8m+1.95m+1.95m

建物方向 N10.0°E，南北棟 掘方 16基(第5表)，うち1基の底面に置き石 時期 近世

R B O O 4 (第21図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 構造 南北桁行3間・東西梁行2間，総柱高床建物

規模 桁行一西側柱筋総長7.5m，柱間北から1.65m+3.15m+2.7m

東側柱筋総長7.2m，柱間北から2.25m+2.55m+2.4m

梁行一北側柱筋総長3.3m，柱間西から1.8m+1.5m

南側柱筋総長3.9m，柱間1.8m等間

建物方向 中央柱筋N2.5°E，南北棟 掘方 12基(第6表)，うち1基の底面に置き石

出土遺物 掘方埋土より土師器・須恵器・あかやき土器破片 時期 近世

・土坑

R D O O 4 (第22図)

位置 調査区北部 重複関係 R A O O 5(古) 平面形 隅丸長方形

規模 長辺2.65m，短辺1.67m，深さ0.23m 埋土 A1層(第14表)，全体にややグライ化

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片，鉄釘の一部 時期 近世



**R D 0 0 5** (第22図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** R A 0 0 7 (古) **平面形** 不整楕円形  
**規模** 長軸1.73m, 短軸0.94m, 深さ0.23m **埋土** A 1・2層・B 1層(第14表)  
**出土遺物** 土師器・須恵器・あかやき土器破片 **時期** 古代

**R D 0 0 6** (第22図)

**位置** 調査区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整方形 **規模** 一辺1.1m以上, 深さ0.2m  
**埋土** A 1・2層・B 1層(第14表) **出土遺物** 土師器・あかやき土器破片 **時期** 古代

**R D 0 0 7** (第22図)

**位置** 調査区南西端 **重複関係** なし **平面形** 不整方形 **規模** 一辺1.55~1.65m, 深さ0.2m  
**埋土** A 1・2層(第14表) **出土遺物** 土師器・須恵器・あかやき土器破片 **時期** 古代

**R D 0 0 8** (第22図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** R A 0 0 5 (新) **平面形** 溝状  
**規模** 幅0.25~0.77m, 長さ1.95m, 深さ0.1~0.18m **埋土** A 1層 (第14表)  
**出土遺物** なし **時期** 古代

・溝跡

**R G 0 2 4** (第23図)

**位置** 調査区西端 **重複関係** R A 0 0 8 (古)・0 0 9 (古)  
**規模等** 幅0.4~0.65m, 延長18.7m, 深さ0.15m, 北東から南西に走る  
**埋土** A 1層(第14表) **出土遺物** 土師器・須恵器・あかやき土器破片 **時期** 古代以降

・ピット

調査区内に近世のピット44口を検出した(第23・24図)。各ピットの規模は第7表のとおりである。埋土より土師器・須恵器・あかやき土器の破片, 鉄釘の一部が出土している。

・遺物包含層

調査区北部に遺物包含層が検出された(第13図)。主な出土遺物(第68図, 第31表)は, あかやき土器坏(029), 須恵器・土師器破片といった古代の土器のほか, 瀬戸美濃染付茶碗(030)・花古白磁角皿(033)などの近世陶磁器である。

・遺構検出面, 表土

遺構検出面から, 土師器・須恵器・あかやき土器破片, フイゴ羽口破片, 鉄製品(刀子・鉄釘)の一部が出土している。また表土(I層)からの主な出土遺物(第142図, 第31表)は, 馬歯骨, 鉄製品(刀子・鉄釘)の一部のほか, 初期伊万里染付皿(031)・肥前染付輪花皿(032)などの近世陶磁器である。

#### (5) 第10次調査(平成16年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第2図)。調査対象面積2,860㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチを6本設定(調査面積294㎡)、表土下約1.1mで暗褐色～褐色シルト層を検出、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構は確認されず、古代の土師器・あかやき土器片が数点、磨滅した状態で出土したのみであり、調査対象範囲について調査終了地区とした。

#### (6) 第12次調査(平成18年度)

今次調査区は、遺跡の南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第2図)。調査面積は950㎡。重機により表土を除去し、表土下で遺構検出を行った。調査区内の南東半部はグライ化した土層が広がり、自然地形の低地部になると考えられ、遺跡の南端を示す。

##### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代の溝跡2条(RG025・026)である(第25図)。

##### ・溝跡

##### RG025 (第25図)

位置 調査区西部 重複関係 なし

規模等 幅0.6～1.0m, 延長18.0m以上, 深さ0.06m, 北北東から南南西に走る

埋土 A1層, B1層(第15表), A1層は粉状パミス(十和田a火山灰)主体

出土遺物 なし 時期 9世紀末～10世紀初頭

##### RG026 (第25図)

位置 調査区西部 重複関係 なし

規模等 幅0.4～1.4m, 延長25.4m以上, 深さ0.1m, 北北東から南南西に途切れながら走る。

埋土 A1層, B1層, C1層(第15表), 上面に粉状パミス(十和田a火山灰)が少量混じる

出土遺物 あかやき土器坏破片 時期 9世紀末～10世紀初

## 第4節 鬼柳A遺跡(第8次調査)

### 1. 遺跡の立地

鬼柳A遺跡は、志波城跡の外郭東辺から東約800mに位置し、北西に大宮北遺跡、北に小幅遺跡・宮沢遺跡、東に稲荷遺跡、南に鬼柳B遺跡・鬼柳C遺跡が周囲に位置している。低位沖積段丘上にあり、遺跡の周囲は雫石川の旧河道と考えられる1m前後の比高差がみられ、他の遺跡と画される。遺跡の範囲は、東西約430m、南北約200mをはかる(第3図)。

## 2. 調査内容

### (1) 第8次調査(平成13年度)

今次調査区は、遺跡の北部中央に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第3図)。調査対象面積600㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチを4本設定し(調査面積136㎡)、表土下で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

## 第5節 稲荷遺跡(第4・7・10~12次調査)

### 1. 遺跡の立地

稲荷遺跡は、志波城跡の南東約1.2kmに位置し、北と東に本宮熊堂B遺跡、南に野古A遺跡、西に鬼柳A遺跡が周囲に位置している。低位沖積段丘上にあり、幅20~50m、比高差1m程度の細かな旧河道によって分断された微高地上に立地している。遺跡範囲は東西約430m、南北約270mをはかる(第4図)。

## 2. 調査内容

### (1) 第4次調査(平成13年度)

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第4図)。調査対象面積4,753㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ16本を設定し(調査面積604㎡)、表土下0.2~1mまで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

### (2) 第7次調査(平成15年度)

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査及び遺構確認箇所の本調査として実施した(第4図)。調査対象面積6,804㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ32本を設定し、表土下0.1~0.6mの暗褐色~褐色シルト層・砂礫層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認し、遺構確認箇所については調査区を広げ、精査を行った(A~C区)。調査面積は計2,040㎡。遺構検出面は、耕作や既存建物基礎の攪乱などで大きく削平されている箇所もあり、遺構が確認されなかった範囲は調査終了地区とした。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代以降の溝跡3条(RG001・002・005)である(第26・27図)。

#### ・溝跡

RG001-A区(第28図)

位置 A区南西端 重複関係 なし

規模等 幅0.5~1.0m、深さ0.3m、延長12.6m、西北西から東南東に走る

埋土 A1層、B1・2層(第16表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

**RG001-B区** (第28図)

**位置** B区西端 **重複関係** RG002(古)

**規模等** 幅0.7~0.8m, 延長15.0m, 深さ0.15~0.25m, 西北西から東南東に走る

**埋土** A1・2層, B1・2層(第16表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG002** (第28図)

**位置** B区西端 **重複関係** RG001(新)

**規模等** 幅0.42~0.7m, 延長8.9m以上, 深さ0.26m以上, 西南西から東北東に走る

**埋土** A1層・B1層(第16表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG005** (第32図)

**位置** C区南端 **重複関係** なし

**規模等** 幅0.4~1.0m, 延長51m以上, 深さ0.1~0.34m, 西北西から東南東に途切れながら走る

**埋土** A1・2層, B1・2層(第16表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**(3) 第10次調査(平成16年度)**

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査及び遺構確認箇所の本調査として実施した。調査対象面積721㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ4本を設定し、表土下0.4~0.7mの暗褐色~褐色シルト層まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認し、遺構確認箇所については調査区を広げ、精査を行った(第4図)。調査面積は259㎡。遺構が確認されなかった範囲は調査終了地区とした。

**a. 遺構と遺物**

検出された遺構は、古代以降の溝跡1条(RG001)である(第29図)。

**・溝跡**

**RG001** (第29図)

**位置** 調査区東端 **重複関係** なし

**規模等** 幅0.65~1.05m, 延長8.05m以上, 深さ0.35m, 西北西から東南東に走る

**埋土** A1~3層, B1・2層(第17表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

**(4) 第11次調査(平成16年度)**

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積236㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ1本を設定し(調査面積40㎡)、表土下0.6~0.8mの褐色シルト層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した(第4図)。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

#### (5) 第12次調査(平成18年度)

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積5,445㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ14本を設定し(調査面積626㎡)、表土下0.3～1.5mの暗褐色～褐色シルト層・砂礫層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した(第4図)。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

## 第6節 本宮熊堂A遺跡(第16・22次調査)

### 1. 遺跡の立地

本宮熊堂A遺跡は、志波城跡の南東約1.5kmに位置し、南に本宮熊堂B遺跡と隣接しているが、1mほど低い面となっている。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の北側は雫石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約200m、南北約200mをはかる(第4図)。

### 2. 調査内容

#### (1) 第16次調査(平成14年度)

今次調査区は、遺跡の北西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第30図)。調査面積は1,707㎡。重機により表土を除去し、表土下約1mで遺構検出を行った。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、近世以降の溝跡2条(RG052・053)である(第30図)。

#### ・溝跡

##### RG052(第30図)

位置 調査区中央部 重複関係 RG053(古)

規模等 幅0.3～0.6m, 延長25.1m, 深さ0.14～0.2m, 北北西から南南東に走る

埋土 A1・2層(第18表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

##### RG053(第30図)

位置 調査区中央部 重複関係 RG052(新)

規模等 幅0.35～0.65m, 延長12.6m, 深さ0.1m, 北北西から南南東に走る

埋土 A1・2層(第18表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

#### (2) 第22次調査(平成14年度)

今次調査区は、遺跡の南西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第4図)。調査対象面積1,850㎡について、重機により幅約2～4mの試掘トレンチ3本を設定し(調査面積215㎡)、旧表土下約0.6～0.8mで遺構・遺物の有無を確認した。その結果、褐色土層内から縄文時代晩期の土器・石器が出土したため、調査対象範囲について、要本調査地区とした。

## 第7節 本宮熊堂B遺跡（第21・23・28次調査）

### 1. 遺跡の立地

本宮熊堂B遺跡は、志波城跡の南東約1.5kmに位置し、北に本宮熊堂A遺跡、南に野古A遺跡、西に稲荷遺跡が位置している。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の東側は零石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約620m、南北約380mをはかる(第4図)。

### 2. 調査内容

#### (1) 第21次調査（平成15年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第4図)。調査区は、東側のA区、中央のB区、西側のC区に分かれ、調査面積は計1,265㎡。重機により表土を除去し、表土下で遺構検出を行った。B区からは遺構・遺物が検出されなかった。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代以降の溝跡2条(RG128・129)である(第31図)。

#### ・溝跡

##### RG128（第31図）

位置 A区中央部 規模等 幅0.7～1.5m, 延長27.8m, 深さ0.3m, ほぼ南北に走る

埋土 A1～3層(第19表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

##### RG129（第31図）

位置 C区東端部 規模等 幅0.2～0.3m, 延長4.8m以上, 深さ0.08～0.12m, 西北西から東南東に走る

埋土 A1・2層(第19表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

#### (2) 第23次調査（平成15年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第4図)。調査面積は3,425㎡。重機により表土を除去し、表土下で遺構検出を行った。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代の竪穴住居跡2棟(RA082・083)、古代以降の土坑1基(RD154)・溝跡7条(RG011・128・130～134)、近世以降のピットである(第32図)。なお、このうち調査区北端で検出した竪穴住居跡1棟(RA083)は、平成16年度に実施した第28次調査で全体形を再検出して精査を行ったことから、詳細は後述する。

・ 竪穴住居跡

RA082 (第33・34図)

位置 調査区北部中央 重複関係 なし 平面形 不整長方形

規模 東西3.55m, 南北4.1m, 深さ0.35~0.4m カマド方向 E11.5°S, 東カマド, 長い煙道(1.1m)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり 床の状態 硬化面(a期・b期)あり, 床構築土あり, 周溝あり

埋土 A1・2層, B1層, C1・2層, D1層, J1~5層, K1・2層, L1層, L'1層(第20表),  
A1層・B1層に粉状パミス(十和田a火山灰)が混じる。

出土遺物 (第69図, 第32表) 土師器坏(034~038)・高台付坏(039)・小型甕(043)・甕(044・045), あか  
やき土器坏(040・071)・高台付坏(042), ほか破片, 炭化材

時期 9世紀末~10世紀中葉

・ 土坑

RD154 (第34図)

位置 調査区東部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 南北1.66m, 東西1.16m, 深さ0.2m

埋土 A1~3層(第20表) 出土遺物 なし 時期 古代

・ 溝跡

RG011 (第35図)

位置 調査区北西部 重複関係 なし

規模等 幅1.0m, 延長26.8m以上, 深さ0.3~0.38m, ほぼ東西に走る

埋土 A1~3層, B1層(第20表) 出土遺物 須恵器大甕破片 時期 古代

RG128 (第37図)

位置 調査区東部 重複関係 RG131

規模等 幅0.6~1.0m, 延長39.3m以上, 深さ0.2~0.3m, ほぼ南北に走る

埋土 A1層, B1・2層(第20表) 出土遺物 なし 時期 古代

RG130 (第35図)

位置 調査区西部 重複関係 なし

規模等 幅1.0~1.75m, 延長35.0m, 東北東から南南西へやや湾曲しながら走る

埋土 A1~3層, B1層(第20表)

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片, 鉄製品(火打金, 鉄滓) 時期 古代

RG131 (第36・37図)

位置 調査区中央南部 重複関係 RG128・132・133・134・137

規模等 幅0.4~0.6m, 深さ0.08~0.25m, 延長62.0m以上, 東西に走り東端が南東へ, 西端が北西へ屈  
曲する

出土遺物 A 1・2層 (第20表) 出土遺物 土師器甕(赤彩)・須恵器大甕破片 時期 古代

RG 132 (第35・36図)

位置 調査区西部 重複関係 RG 131・136

規模等 幅0.6~2.25m, 深さ0.14~0.65m, 延長67.0m以上, 東北東から南へ湾曲しながら走る

埋土 A 1・2層, B 1・2層, C 1層 (第20表)

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片 時期 古代

RG 133 (第36図)

位置 調査区南西部 重複関係 RG 131

規模等 幅0.4~0.5m, 深さ0.14~0.65m, 延長19.7m, 北東から南西に走り, 南西端が南へ屈曲する

埋土 A 1・2層 (第20表) 出土遺物 土師器坏・あかやき土器坏破片 時期 古代

RG 134 (第40図)

位置 調査区南西部 重複関係 RG 131

規模等 幅0.3m, 深さ0.06m, 延長1.8m, 東西に走る

埋土 A 1層 (第28表) 出土遺物 なし 時期 古代

RG 135 (第36図)

位置 調査区南西部 重複関係 RG 136

規模等 幅1.0~1.7m, 深さ0.04~0.12m, 延長22.2m以上, ほぼ南北に走り北端が西へ屈曲する

埋土 A 1・2層 (第20表) 出土遺物 須恵器甕破片 時期 古代

RG 136 (第36図)

位置 調査区南西部 重複関係 RG 132・135

規模等 幅0.4~0.6m, 深さ0.15m, 延長3.9m, 西北西から東南東に走る

埋土 A 1・2層 (第20表) 出土遺物 なし 時期 古代

RG 137 (第36・37図)

位置 調査区中央南部 重複関係 RG 131(新)

規模等 幅約0.4m, 深さ0.1m, 延長12.7m, RG 131に重複してほぼ東西に走る

埋土 A' 1層 (第20表) 出土遺物 なし 時期 古代

#### ・ピット

調査区内に近世以降のピット2口を検出した(第34図)。各ピットの規模は第8表のとおりである。出土遺物はない。



#### ・遺構検出面

遺構検出面より、土師器・須恵器・あかやき土器の破片、肥前染付・京焼などの近世陶磁器の破片が出土している。

#### (3) 第28次調査（平成16年度）

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第4図）。調査面積は666㎡。重機により表土を除去し、表土下約0.2～0.4mの暗褐色～黄褐色シルト層上面で遺構検出を行った。遺構検出面は、耕作や既存建物基礎等で削平されており、遺構の残存状況は調査区の北東側では特に悪く、ところによって大きく錯乱されている部分もあった。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代の竪穴住居跡8棟(RA083・131～137)・竪穴状遺構1基(RE017)・土坑3基(RD235～237)、古代以降の溝跡2条(RG011・132)、近世以降の溝跡1条(RG128)である(第38図)。

#### ・竪穴住居跡

##### RA083（第39図）

位置 調査区南西部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 北西－南東3.7～4.0m、北東－南西3.95m、深さ0.26m

カマド方向 E27.5°S、南東カマド、長い煙道(1.1m) カマド 両袖残存、焚口の焼土面あり

床の状態 床構築土あり 貯蔵穴 カマド左袖脇に1基(1)

埋土 A1～4層、B1・2層、C1・2層、J1～10層、K1～5層、L1層(第21表)

出土遺物(第70図、第33表) 土師器坏(046～048)・甕(053)、あかやき土器坏(049～052)・甕(054・055)、須恵器・あかやき土器破片、炭化材

時期 10世紀中葉

##### RA131（第40図）

位置 調査区中央部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 東西3.55～3.65m、南北3.65～3.7m、深さ0.21～0.3m

カマド方向 E7.0°S、東カマド、長い煙道(1.25m)

カマド 両袖残存(芯材に礫使用)、焚口の焼土面あり

床の状態 硬化面あり、床構築土あり、床構築土下に焼土面3箇所、北壁付近に礫が散布

貯蔵穴 カマド右袖脇に1基(2)、左袖脇に1基(3) 柱穴 ピット1口(1)

埋土 A1・2層、B1～4層、C1～3層、J1～5層、K1～3層、L1層(第21表)

出土遺物(第71図、第33表) 土師器坏(056・057)・あかやき土器坏(058～061)、甕(062～064)、須恵器大甕破片 時期 10世紀前葉

##### RA132（第41図）

位置 調査区北東隅 重複関係 RA134(古)、RG128(新)・132(新) 平面形 不整形か

規模 東西2.83m以上, 南北7.3m以上, 深さ0.14m カマド方向 不明

床の状態 南壁際に周溝あり, 床構築土あり

柱穴 ピット1口(1, 埋土上面で坏と甕がつぶれた状態で出土)

埋土 A1・2層, B1・2層, C1・2層, L1層(第22表)

出土遺物(第72図, 第33表) 土師器坏(065~068), 須恵器壺(072)・大甕(073), あかやき土器坏(069・070), 緑釉陶器碗破片(071), ほか破片, 炭化材

時期 10世紀中葉

#### RA133(第42図)

位置 調査区北東部 重複関係 RD235(新), RG132(新) 平面形 不整形

規模 東西4.8~5.0m, 南北5.0m, 深さ0.3~0.35m

カマド方向 E7.5°N, 東カマド, 長い煙道(1.35m)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり 床の状態 硬化面あり, 周溝あり, 床構築土あり 柱穴 ピット2口

埋土 A1~3層, B1~5層, C1層, J1~14層, K1~4層, L1・2層(第22表)

出土遺物(第73図, 第33表) 土師器坏(074)・甕(079), あかやき土器坏(075・076)・高台付坏(077・078)・甕(080), 須恵器大甕破片, フイゴ羽口破片2点, 炭化材

時期 10世紀後葉

#### RA134(第43図)

位置 調査区北東隅 重複関係 RA132(新), RG132(新) 平面形 不整形か(調査区外)

規模 東西2.4m以上, 南北3.72m以上, 深さ0.22~0.32m カマド方向 不明

床の状態 床構築土あり 柱穴 ピット3口 埋土 A'1層, L'1層(第22表)

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片, 炭化材 時期 10世紀中葉以前

#### RA135(第46図)

位置 調査区東部 重複関係 RG128(新) 平面形 不整形か(調査区外)

規模 東西1.6m以上, 南北4.4m, 深さ0.13m カマド方向 不明 埋土 A1層(第22表)

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片, 鉄製品(轡) 時期 10世紀代か

#### RA136(第44図)

位置 調査区東部 重複関係 RG128(新) 平面形 不整形

規模 東西3.8~4.0m, 南北3.45m, 深さ0.23~0.28m

カマド方向 E11.5°S, 東カマド, 長い煙道(1.25m)

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり, 床面に土器・鉄製品 柱穴 ピット1口

埋土 A1~3層, B1・2層, C1~3層, D1・2層, J0~4層, L1~4層(第23表)

出土遺物(第74図, 第33表) 土師器坏(081~084)・高台付坏(085)・片口鉢(092), あかやき土器坏(086~090)・高台付坏(091)・小型甕(093), 須恵器破片, 篋書土器(081, 「有」「閉」「開か」), 鉄製品(刀子ほか), 炭化材, 炭化物, 灰状物質 時期 10世紀中葉

RA137 (第45図)

位置 調査区中央部 重複関係 RE017, RD236 (新) 平面形 不整形  
規模 東西3.5m, 南北3.3~3.85m, 深さ0.35~0.4m  
カマド方向 E2.0°S, 東カマド, 長い煙道(1.03m) カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり  
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり, 床面直上に土器あり 柱穴 ピット3口  
埋土 A1~3層, B1・2層, C1~5層, J1~7層, K1~3層, L1・2層 (第23表)  
出土遺物 (第75図, 第33表) 土師器坏(094・095)・甕(099), あかやき土器坏(096~098), 須恵器破片,  
刻書土器(099, 「八」「本」「代」), フイゴ羽口破片1点 時期 10世紀前葉

・ 竪穴状遺構

RE017 (第46図)

位置 調査区中央 重複関係 RA137, RG132 (新) 平面形 不整形  
規模 北西-南東2.65m, 北東-南西2.1m, 深さ0.5m 柱穴 ピット2口  
埋土 A1~3層, B1~5層 (第24表), A1~3層に粉状パミス(十和田a火山灰)が混じる  
出土遺物 炭化物 時期 9世紀後葉~10世紀初頭

・ 土坑

RD235 (第47図)

位置 調査区東部 重複関係 RA133 平面形 不整形 規模 径0.8~0.9m, 深さ0.38m  
埋土 A1・2層, B1・2層, C1層 (第24表), A1層に粉状パミス(十和田a火山灰)が混じる  
出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏破片 時期 9世紀後葉~10世紀初頭

RD236 (第47図)

位置 調査区東部 重複関係 RA137 平面形 不整形 規模 長軸1.5m, 短軸0.85~0.9m, 深さ0.18m  
埋土 A1層, B1層 (第24表), A1層に粉状パミス(十和田a火山灰)が混じる  
出土遺物 土師器坏・あかやき土器破片 時期 10世紀初頭

RD237 (第47図)

位置 調査区東部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形  
規模 長辺1.13m, 短辺0.88m, 深さ0.22~0.3m  
埋土 A1・2層, B1・2層, C1・2層 (第24表)  
出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏破片, フイゴ羽口破片1点 時期 古代

・ 溝跡

RG011 (第48図)

位置 調査区北部 重複関係 なし  
規模等 幅0.4~1.2m, 延長18.95m以上, 深さ0.05~0.1m, ほぼ東西に走る

埋土 A1・2層, B1層 (第24表)

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片 時期 古代以降

RG128 (第47図)

位置 調査区東部 重複関係 RA132・135, RG132

規模等 幅0.4~0.6m, 延長22.9m, 深さ0.07~0.28m, ほぼ南北に走る

埋土 A1層, B1・2層 (第24表) 出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片

時期 近世以降

RG132 (第48図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA132・133・134, RE017

規模等 幅1.0~1.35m, 延長28.0m以上, 深さ0.55~0.68m

埋土 A1~3層, B1~4層, C1層 (第24表) 出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片

時期 古代以降

#### ・弥生土器

RA132・134の埋土より, 沈線文・附加条縄文を特徴とする弥生時代後期(赤穴式)の土器片が4点出土している。

#### ・近世陶器

RA132の埋土より, 瀬戸美濃灰釉徳利の破片が1点出土している。

## 第8節 野古A遺跡 (第13・14・16~18・21・22・25~28次調査)

### 1. 遺跡の立地

野古A遺跡は, 志波城跡の南東約1.3kmに位置し, 北西に稻荷遺跡, 北東に本宮熊堂B遺跡, 南東に飯岡沢田遺跡が囲んでいる。なお, 本遺跡と後述する飯岡沢田遺跡は, 現在は近世に開削された農業用水路である鹿妻新堰により分断されているものの, 本来の地形的には一連の集落遺跡であったと考えられる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり, その北東縁辺部にあたり, 遺跡の東側は雫石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約640m, 南北約400mをはかる(第5図)。

### 2. 調査内容

#### (1) 第13次調査(平成13年度)

今次調査区は, 遺跡の西部に位置し, 盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第5図)。調査対象面積370㎡について, 重機により幅約2mの試掘トレンチ2本を設定し(調査面積106㎡), 表土下0.3~0.9mの褐色シルト漸移層・砂礫層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果, 遺構・遺物とも確認されなかったため, 調査対象範囲について調査終了地区とした。

## (2) 第14次調査（平成13年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第5図）。調査面積は165㎡。重機により表土を除去し、表土下で遺構検出を行った。

### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代の溝跡1条(RG002)である(第49図)。

#### ・溝跡

**RG002**（第49図）

**位置** 調査区中央 **重複関係** なし

**規模等** 幅0.94～1.44m, 延長12.8m以上, 深さ0.4m, 西南西から東北東に走る

**埋土** A1～3層, B1層（第25表） **出土遺物** なし **時期** 古代

## (3) 第16次調査(平成14年度)

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した（第5図）。調査対象面積338㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ3本を設定し（調査面積23㎡）、表土下0.2～0.3mの褐色シルト層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物とも確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

## (4) 第17次調査(平成14年度)

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した（第5図）。調査対象面積2,933㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ17本を設定し（調査面積520㎡）、表土下0.2～0.6mのシルト漸移層・褐色シルト層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構は確認されず、古代の土師器・須恵器の小破片が出土したのみであったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

## (5) 第18次調査（平成14年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第5図）。調査面積は241㎡。重機により表土を除去し、表土下0.2～0.3mで遺構検出を行った。

### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代の竪穴住居跡1棟(RA054)・土坑1基(RD084)である(第50図)。

#### ・竪穴住居跡

**RA054**（第51図）

**位置** 調査区西端 **重複関係** なし **平面形** 不整形か

**規模** 東西2.85m以上, 南北2.4m以上, 深さ0.5m **カマド方向** 不明

**床の状態** 硬化面あり, 床構築土あり **柱穴** ピット2口

埋土 A 1～3層, B 1層, C 1・2層, D 1層, L 1層 (第26表)

出土遺物 土師器・須恵器・あかやき土器破片 時期 9世紀

・土坑

R D 0 8 4 (第51図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形か

規模 長軸1.47m以上, 短軸0.4m以上, 深さ0.4m

埋土 A 1層, B 1層, C 1層 (第26表) 出土遺物 なし 時期 古代

(6) 第21次調査 (平成15年度)

今次調査区は、遺跡の中央部及び東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した (第5図)。調査面積は1,750㎡。重機により表土を除去し、表土下で遺構検出を行った。調査区は3箇所に分かれており、西側調査区をA区、中央調査区をB区、東側調査区をC区とした。C区北側隣接地は東北電力仙北町変電所である。A区は重機により幅約2mのトレンチ3本を設定し、遺構・遺物の有無を確認したが、遺構は確認されず、調査終了地区とした。

a. 遺構と遺物

B・C区で検出された遺構は、縄文時代の陥し穴1基(RD127)、古代の竪穴住居跡4棟(RA055～058)・土坑5基(RD099～102・126)、古代以降の溝跡2条(RG031・032)である(第52・53・54図)。

・竪穴住居跡

R A 0 5 5 (第55図)

位置 C区北側 重複関係 R A 0 5 8 (古), R D 1 2 6 (新, 埋土途中から掘り込み)

平面形 不整方形 規模 東西4.1m, 南北4.3m, 深さ0.38m

カマド方向 E15.0°S, 東カマド, 長い煙道(1.27m)

床の状態 床構築土あり 柱穴 ピット1口

埋土 A 1・2層, B 1～3層, C 1・2層, D 1層, J 1～6層, L 1層 (第27表)

出土遺物 (第76図, 第34表) 土師器坏(100)・甕(102・103), あかやき土器坏(101), 須恵器破片

時期 9世紀後葉

R A 0 5 6 (第56図)

位置 C区中央部 平面形 不整方形か 規模 南北4.05m, 東西1.95m以上, 深さ0.35m

カマド方向 E16.5°S, 東カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.1m)

床の状態 床面直上に炭化材が広がる(焼失住居), 床構築土あり 柱穴 なし

埋土 A 1・2層, B 1・2層, C 1層, J 1～8層 (第27表)

出土遺物 (第77図, 第34表) 土師器坏(107)・高台付坏(108), あかやき土器坏(110～113)・高台付坏(109)・甕(114), 須恵器小型壺(115), ほか破片, 鉄製品(鉄滓), 炭化材

時期 9世紀後葉

RA057 (第57図)

**位置** B区西半部中央 **重複関係** なし **平面形** 不整形  
**規模** 東西4.1m, 南北4.33m, 深さ0.53m **カマド方向** W2.5°S, 西カマド, 長い煙道(1.35m)  
**カマド** 両袖残存, 焚口の焼土面あり **床の状態** 周溝あり, 床構築土あり  
**柱穴** ピット1口(長方形)  
**埋土** A1層, B1層, C1層, D1・2層, E1層, F1~4層, G1層, J1~15層, K1~4層, L1層(第27・28表)  
**出土遺物** (第76図, 第34表) 土師器非ロクロ坏(104)・非ロクロ高台付坏(105)・甕(106), ほか破片, 鉄製品(刀子), 粘土塊  
**時期** 8世紀中葉

RA058 (第56図)

**位置** C区北部 **重複関係** RA055(新), RD126(新) **平面形** 不整形か(床構築土のみ)  
**規模** 東西3.7m, 南北0.9m以上, 深さ0.07~0.13m(床構築土) **床の状態** 床構築土のみ  
**埋土** L'層(第28表) **出土遺物** 土師器・須恵器・あかやき土器破片, 粘土塊 **時期** 9世紀

・土坑

RD099 (第58図)

**位置** C区北部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形  
**規模** 長軸1.5m, 短軸0.88m, 深さ0.14m **埋土** A1・2層(第28表)  
**出土遺物** (第77図, 第34表) 土師器甕(117) **時期** 8世紀

RD100 (第58図)

**位置** C区北部 **重複関係** なし **平面形** 不整長円形  
**規模** 長軸1.6m, 短軸0.75m, 深さ0.2m **埋土** A1・2層(第28表)  
**出土遺物** なし **時期** 古代

RD101 (第58図)

**位置** C区北部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形  
**規模** 径0.8m, 深さ0.48m **埋土** A1・2層, B1層, C1層(第28表)  
**出土遺物** 土師器甕破片2点, 炭化材 **時期** 古代

RD102 (第58図)

**位置** B区西半部 **重複関係** なし **平面形** 不整長円形  
**規模** 長軸1.3m, 短軸0.7m, 深さ0.46m **埋土** A1・2層, B1・2層(第28表)  
**出土遺物** (第77図, 第34表) 非ロクロ土師器鉢(116)・非ロクロ坏, 甕破片, 炭化材  
**時期** 8世紀後葉

**RD126** (第55図)

**位置** C区北部 **重複関係** RA055(古, 埋土途中より掘り込み) **平面形** 不整円形

**規模** 径0.78~0.96m, 深さ0.8m **埋土** A1~3層, B0~2層(第28表)

**出土遺物** 土師器甕・須恵器坏・あかやき土器坏破片 **時期** 古代

・陥し穴

**RD127** (第58図)

**位置** B区東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状 **規模** 長さ3.9m, 幅1.0m, 深さ1.14m

**埋土** A1~3層, B1・2層, C1~6層(第28表) **出土遺物** なし **時期** 縄文時代

・溝跡

**RG031** (第58図)

**位置** C区南端 **重複関係** なし

**規模等** 幅0.34~0.55m, 延長3.35m以上, 深さ0.08m, ほぼ東西に走る **埋土** A1層(第28表)

**出土遺物** なし **時期** 古代以降

**RG032** (第58図)

**位置** C区南端 **重複関係** なし **規模等** 幅0.34~0.65m, 延長1.96m以上, 深さ0.1m

**埋土** A1・2層(第28表) **出土遺物** なし **時期** 古代以降

・近世陶磁器

攪乱土内より, 肥前染付徳利・大堀相馬緑釉土瓶・備前摺鉢・灰釉陶器鉢などの破片が出土している。

(7) 第22次調査(平成15年度)

今次調査区は, 遺跡の東部に位置し, 盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第5図)。調査面積は325㎡。重機により表土を除去, 表土下で遺構検出を行ったが, 遺構・遺物は確認されなかった。

(8) 第25次調査(平成15年度)

今次調査区は, 遺跡の東部に位置し, 盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査及び遺構確認箇所の本調査として実施した(第5図)。調査対象面積2,865㎡について, 重機により幅約2mの試掘トレンチ27本を設定し, 表土下0.1~0.6mの暗褐色~褐色シルト層上面まで掘り下げ, 遺構・遺物の有無を確認し, 遺構確認箇所については調査区を広げ, 精査を行った。調査面積は1,380㎡。遺構が確認されなかった範囲は調査終了地区とした。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は, 古代の竪穴住居跡4棟(RA072~075)・土坑2基(RD111・128), 古代以降の土坑2基(RD109・110)である(第59・60図)。



・ 竪穴住居跡

RA072 (第61図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 南北2.47～2.64m, 東西2.3～2.45m, 深さ0.1～0.17m

カマド方向 S2.0°E, 南カマド, 長い煙道(1.45m)

カマド 両袖残存(礫を芯材としている)

床の状態 埋土中に多量の炭化材(焼失住居), 南西部に焼土面あり

埋土 A1・2層, B1層, C1層, J1～5層, K1層, L1層 (第29表)

出土遺物 (第78図, 第35表) あかやき土器坏(118), 土師器・須恵器破片, 炭化材

時期 9世紀後葉

RA073 (第62図)

位置 調査区南部 重複関係 RD128(古) 平面形 不整形

規模 東西5.54m, 南北4.5～5.1m, 深さ0.1～0.23m

カマド方向 E0.5°N, 東カマド, 長い煙道(スロープ状, 煙出との間が途切れている, 1.32m)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり 床の状態 周溝あり, 床構築土あり

柱穴 主柱穴4口(1～4, 第9表), ピット1口(5, 貯蔵穴か)

埋土 A1～3層, B1～3層, C1～3層, D1層, J1～4層, L1層 (第29表)

出土遺物 (第78・79図, 第35表) 土師器坏(119, 120)・甕(126～128), あかやき土器坏(121～125, 129)

時期 9世紀後葉

RA074 (第63・64図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 東西5.6～5.8m, 南北6.0m, 深さ0.55m

カマド方向 W8.0°S, 西カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.7m)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり

床の状態 硬化面・周溝・仕切り状溝あり, カマド左袖脇に焼土面あり, 床構築土あり

柱穴 主柱穴4口(1・3・4・6)・副柱穴2口(2・5) (第9表), ピット2口(7・8)

貯蔵穴 床面南東隅に1基(9)

埋土 A1～3層, B1・2層, C1～9層, D1～16層, J1～5層, J'1～3層, K1・2層, L1～3層 (第29・30表), A1・B1層に粉状パミス(十和田a火山灰)が混じる

出土遺物 (第79～82図, 第35・36表) 土師器非ロクロ坏(130, 131)・非ロクロ高台付坏(132)・球胴甕(133)・甕(134～140)・小型甕(141)・鉢(142), あかやき土器坏破片, ミニチュア土器(148)

時期 8世紀後葉～9世紀前葉

RA075 (第65図)

位置 調査区南東部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 東西5.0m以上, 南北5.05m, 深さ0.1m

カマド方向 W17.5°N, 西カマド, 長い煙道(0.72m)

床の状態 北壁際に周溝, 床面西壁際・南壁際に炭化材

柱穴 支柱穴2口(1・2, 第9表), ピット1口(3)

貯蔵穴 床面北西隅に1基(4, 深さ0.6m, 埋土は第30表) 埋土 A1～3層, B1・2層(第30表)

出土遺物(第81図, 第35表) 土師器坏(143)・甕, あかやき土器坏(144, 145)・甕(146)

時期 9世紀中葉～後葉

#### ・土坑

RD109(第66図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 長さ1.62m, 幅0.43～0.5m, 深さ0.38m 埋土 A1・2層, B1層, C1層(第30表)

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD110(第66図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 長さ2.34m, 幅0.3～0.5m, 深さ0.2m 埋土 A1・2層(第30図)

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD111(第66図)

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.65m, 短軸1.2m, 深さ0.15～0.27m 埋土 A1層, B1・2層(第30表)

出土遺物(第81図, 第35表) 土師器非ロクロ坏(147), ほか破片 時期 8世紀中葉

RD128(第66図)

位置 調査区南部 重複関係 RA073(新) 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.25m, 短軸0.95m, 深さ0.2m 埋土 A1～3層(第30表) 時期 古代

#### (9) 第26次調査(平成16年度)

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した(第5図)。調査対象面積361㎡について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ3本を設定し(調査面積36㎡)、表土下約0.4mの褐色シルト層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物は確認されず、調査対象範囲について調査終了地区とした。

#### (10) 第27次調査(平成16年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第5図)。調査対象面積8,663㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ18本を設定し(調査面積926㎡)、表土下0.2～1.8mで遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物は確認されず、調査対象範囲について調査終了地区とした。

(11) 第28次調査(平成16年度)

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した(第5図)。調査対象面積503㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ1本を設定し(調査面積62㎡)、表土下0.2~0.3mで遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物は確認されず、調査対象範囲について調査終了地区とした。



# 第4章 総括

## 1. 調査のまとめ

盛岡市教育委員会で行った平成13～18年度の大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡の発掘調査により、第3章に記載した内容の成果を得ることができた。

以下、遺構の精査を行った各遺跡本調査の内容のまとめを行い、総括とする。なお、精査を行った竪穴住居跡の一覧は挿表4のとおりである。また、出土土器群の年代観は、津嶋2013に従った。

### 小幅遺跡第21次調査

小幅遺跡の北東部で実施した第21次調査では、縄文時代の陥し穴1基(RD507)、古代以降の溝跡3条(RG143～145)、近世以降の掘立柱建物跡3棟(RB024～026)・掘立柱列跡1基(RC006)・土坑1基(RD508)・ピットを検出した。

掘立柱建物跡と掘立柱列跡は、調査区中央部にまとめて検出された。RB024建物跡は、桁行3間・梁行2間・桁行総長4.35～4.5m(13.5～15尺)の東西棟で、間仕切りを持つ。隣接するRC006掘立柱列跡は、この建物に付属するL字形の板塀と考えられる。

### 小幅遺跡第22次調査

小幅遺跡の北東部で実施した第22次調査では、近世以降の掘立柱建物跡3棟(RB027～029)・土坑1基(RD509)・溝跡1条(RG146)、ピットを検出した。

掘立柱建物跡3棟は、調査区北東部に重複して検出され、またいずれも棟方向が真北であることから、同一機能の建物の建て替えと考えられる。調査区外へのびるため、建物規模は不明確であるが、RB027は西廂を持つ。

### 宮沢遺跡第8次調査

宮沢遺跡の北西部で実施した第8次調査では、本調査区内で古代以降の溝跡5条(RG019～023)を検出した。いずれも小規模な溝跡であり、出土遺物もない。

### 宮沢遺跡第9次調査

宮沢遺跡の北部で実施した第9次調査は、第8次調査本調査区の西側と南東側に隣接しており、古代の竪穴住居跡6棟(RA004～009)・土坑3基(RD005～007)、古代以降の溝跡1条(RG024)、近世の掘立柱建物跡3棟(RG001・003・004)・土坑1基(RD004)、ピットを検出した。

古代の竪穴住居跡は、宮沢遺跡では本調査区のみから検出されており、道路により分断されてはいたものの、本来的には西側隣接の小幅遺跡の古代集落の一部と見ることができる。住居跡が重複しているのは、RA004・005・006である。住居跡の規模を見ると、RA005が一辺5m以上の大型住居であ

るほかは、一辺3m以上5m未満の中型住居（RA004・006・007・008・009）である。カマド方向は、西カマドが1棟（RA007）、東カマドが2棟（RA006・009）、南カマドが2棟（RA004・005）であり、特にまとまりはない。煙道は、すべて在地型の長い煙道であり、トンネル状の削り抜きはない。カマドの袖は、西カマドのRA007のみが残存している。RA009は、カマド右袖脇に貯蔵穴がある。床硬化面があるのは、RA007のみ。支柱穴・周溝のある住居はない。RA009は、埋土下層（A層）に十和田a火山灰（To-a, 915年降下）と考えられる灰白色火山灰が混じる。

年代としては、RA007が内黒ロクロ土師器坏が多く（018～021）、土師器甕の器形が整っている（022）ことから9世紀後葉、RA009が床面付近埋土に灰白色火山灰が混じることから10世紀初頭、RA004が高台の高いあかやき土器坏（010・011）がみられることから10世紀前葉～中葉と考えられる。RA005・006は、重複関係からRA004より古く10世紀前葉以前、RA008は作りの粗い土師器甕（015）がみられることから10世紀前葉以降と考えられる。RA004は、A層出土炭化材の放射性炭素（<sup>14</sup>C）年代測定を行い723～887cal AD（ $2\sigma = 95.4\%$ ）との暦年代範囲が出ており、土器の年代観と比較すると、最新値887cal ADでも15～80年程度古い分析結果となっている。土器の年代観より新しい<sup>14</sup>C年代が測定されていないこと、また測定炭化材の「古木効果」を考慮すれば、住居跡の推定年代はほぼ妥当なものと考えられる。

近世の掘立柱建物跡のうち、RB001とRB003は、桁行の総柱間が6間と大型で規模や棟方向の傾きが類似しており、同一機能建物の建て替えと考えられる。RB001の掘方底面のほぼ半数に置き石がされている。RB004は、歪みがあるものの総柱の柱配置となっており、高床倉庫の機能が考えられる。調査区北部の遺物包含層からは、初期伊万里染付皿（031, 17世紀後半）、肥前染付輪花皿・瀬戸美濃染付茶碗（032・030, 18～19世紀）、花古白磁角皿（033, 19世紀）が出土しており、掘立柱建物の年代もこれらに近いものと考えられる。

#### 宮沢遺跡第12次調査

宮沢遺跡の南部で実施した第12次調査では、古代の溝跡22条（RG025・026）を検出した。いずれも小規模な溝跡であるが、埋土上層A層に灰白色火山灰が混じることから、その年代が9世紀末～10世紀初頭と考えられる。遺物は、RG026よりあかやき土器坏の破片が出土するのみであった。

#### 稲荷遺跡第7・10次調査

稲荷遺跡の西部で実施した第7・10次調査では、古代以降の溝跡3条（RG001・002・005）を検出した。いずれもあまり規模の大きくない溝跡であり、出土遺物もなく、その年代や性格は不明確である。

#### 本宮熊堂A遺跡第16次調査

本宮熊堂A遺跡の北西部で実施した第16次調査では、近世以降の溝跡2条（RG052・053）を検出した。北北西から南南東に走る溝跡であり、周囲で検出されている溝跡と同様、耕作に伴う水路の一部と考えられる。

### 本宮熊堂B遺跡第21次調査

本宮熊堂B遺跡の南東部で実施した第21次調査では、古代以降の溝跡2条(RG128・129)を検出した。

A区のRD128は、上端幅が0.7～1.5mで南北に走り、北側に隣接する第23次調査区、そのさらに北の第28次調査区にまで伸びている。出土遺物がなく、その年代と性格は不明確である。

### 本宮熊堂B遺跡第23次調査

本宮熊堂B遺跡の南東部で実施した第23次調査では、古代の竪穴住居跡1棟(RA082)、古代以降の土坑1基(RD154)・溝跡7条(RG011・128・130～134)、ピットの精査を行った。

古代の竪穴住居跡であるRA082は、一辺3.55～4.1mの中型住居であり、東カマドを持つ。周溝・床硬化面(2時期)はあるが、支柱穴はない。埋土上層(A1層)と中～下層(B1層)に十和田a火山灰と考えられる灰白色火山灰が混じる。出土土器の特徴と組成、灰白色火山灰検出状況から、9世紀末から10世紀初頭の年代が考えられる。

### 本宮熊堂B遺跡第28次調査

本宮熊堂B遺跡の南東部で実施した第28次調査では、古代の竪穴住居跡8棟(RA083・131～137)・竪穴状遺構1基(RE017)・土坑3基(RD235～237)、古代以降の溝跡2条(RG011・132)、近世以降の溝跡1条(RG128)を検出した。

古代の竪穴住居跡8棟のうち、重複しているのはRA132と134だけである。住居跡の規模を見ると、大型住居はRA132・133の2棟、ほか6棟(RA083・131・134～137)はすべて中型住居である。カマド方向は、東カマドが4棟(RA131・133・136・137)、南東カマドが1棟(RA083)と、東方向にまとまっている。煙道は、すべて在地型の長い煙道であり、トンネル状の割り抜きはない。カマドの袖は4棟(RA083・131・133・137)で残存している。RA083・131は、カマド左袖脇に貯蔵穴がある。床硬化面があるのは、RA131・133・136・137の4棟。支柱穴のある住居はないが、RA132・133は周溝を持つ。埋土に灰白色火山灰の混じる住居はない。

特徴的な出土遺物としては、RA131出土の土師器杯(056)の黒色処理された内面に、帯状に「十」字に見える暗文が施されている。RA132からは、緑釉陶器碗の破片が1点出土しており(071)、岩手県埋蔵文化財センターの福島正和氏に見ていただいたところ、東海産で9世紀前半～中頃のもの、との御教示を受けている。同じ住居からは、頸部に「×」と刻書された須恵器壺(072)と、須恵器大甕(073)が出土している。RA136からは、体部上半に「閉」「閔」と篋書された内外面黒色処理の土師器杯が出土している(081)。これは、三陸沿岸(宮古・山田)地域の古い地名「閉伊(へい)」を示していると考えられ、『日本後紀』弘仁二年(811)二月条に「幣伊(へい)」の名が見える。同じ住居には土師器片口鉢(092)があり、ロクロ成形後、口縁部内面がきれいにミガキ調整・黒色処理されている。

年代としては、RA131・137の底径が小型化したあかやき土器杯から10世紀前葉、RA083・132・136が内外面黒色処理土師器杯(048・067・068・081・082)が見られることから10世紀中葉、RA133が特徴的な高台のあかやき土器杯(077・078)があることから10世紀後葉、と考えられる。RA132において緑釉陶器の年代観と開きがある理由としては、緑釉陶器が高価なものとして伝世品と

なっていたためではないだろうか。またRA083・132・133・134・136は、出土炭化材の放射性炭素 ( $^{14}\text{C}$ ) 年代測定を行っており、RA083は777~937cal AD( $2\sigma$ )、RA132は892~985cal AD( $2\sigma$ )、RA133は777~937cal AD( $2\sigma$ )、RA134は890~982cal AD( $2\sigma$ )、RA136は781~970cal AD( $2\sigma$ )との暦年代範囲が出ている。土器からの年代観と比較すると、RA083では最新値937cal ADがほぼ同年代、RA132では中間値938cal ADがほぼ同年代、RA133では最新値937cal ADでも30~60年程度古く、RA134では中間値936cal ADがほぼ同年代、RA136では最新値970cal ADがほぼ同年代、という結果である。土器の年代観より新しい $^{14}\text{C}$ 年代が測定されていないこと、また測定炭化材の「古木効果」を考慮すれば、住居跡の推定年代はほぼ妥当なものと考えられる。

住居跡以外では、RE017 堅穴状遺構の埋土上層、RD235・236 土坑の埋土上層にも、灰白色火山灰が混じっており、9世紀後葉~10世紀初頭の構築年代が考えられる。

#### 野古A遺跡第14次調査

野古A遺跡の西部で実施した第14次調査では、古代の溝跡1条(RG002)を検出した。幅が0.94~1.44m、深さ0.4mと比較的しっかりした溝跡であり、隣接地で県埋文センターが調査した部分もあわせ、延長が86m以上を測る。出土遺物や近接する遺構がなく、性格等は不明確である。

#### 野古A遺跡第18次調査

野古A遺跡の東部で実施した第18次調査では、古代の堅穴住居跡1棟(RA054)・土坑1基(RD084)を検出した。RA054 堅穴住居跡は、調査区の南西端で精査できた面積が小さく、カマドも検出できなかったが、深さが約0.5m、床面に硬化面があるなど、比較的しっかりした住居であり、出土遺物が少ないものの、9世紀代の年代が考えられる。

#### 野古A遺跡第21次調査

野古A遺跡の東部で実施した第21次調査B・C区では、縄文時代の陥し穴1基(RD127)、古代の堅穴住居跡4棟(RA055~058)・土坑5基(RD099~102・126)、古代以降の溝跡2条(RG031・032)を検出した。

西側のB区で検出されたRA057 堅穴住居跡は、西カマドで長く幅広な煙道を持ち、カマドの両袖が残存していた。一辺が4.1~4.33mと中型住居ではあるが、深さが0.53mと深く、コ字状の周溝が北辺壁際と南辺壁際にほぼ対称にめぐる。支柱穴はない。非ロクロ内黒土師器坏と、柱状高台の高台付坏が出土しており、8世紀中葉の年代が考えられる。東側のC区で検出されたRA055・056 堅穴住居跡は、ともに東カマドであり、規模も一辺約4mと、ともに中型住居である。南のRA056はトンネル状の煙道を持ち、また床面に炭化材が多く検出されたことから焼失家屋と考えられる。年代としては、底径がやや小型化したあかやき土器坏、粗いつくりの土師器甕がみられることから、9世紀後葉と考えられる。RA055からは一部赤彩された土師器甕の破片(102)が出土しており、祭祀の用途が考えられる。RA056は、出土炭化材の放射性炭素 ( $^{14}\text{C}$ ) 年代測定を行っており、730~888cal AD( $2\sigma$ )との暦年代範囲が出ている。土器からの年代観と比較すると、最新値888cal ADがほぼ同年代という結果であり、住居跡の推定年代はほぼ妥当なものと考えられる。



### 野古A遺跡第25次調査

野古A遺跡の東部で実施した第25次調査では、古代の竪穴住居跡4棟(RA072~075)・土坑2基(RD111・128)、古代以降の土坑2基(RD109・110)が検出された。古代の竪穴住居跡は、調査区南部にまとまっている。RA074は西カマドであり、トンネル状の長い煙道、4基の支柱穴、全周をめぐる周溝、仕切り状溝を持つ、一辺5.8~6.0m、深さ0.55mのしっかりした大型住居である。埋土最上層(A1層・B1層)に十和田a火山灰と考えられる灰白色火山灰が混じる。年代としては、外面に段のない非クロ内黒土師器坏、柱状高台の高台付坏、土師器球胴甕、口縁部が強く外反する土師器長胴甕が出土していることから、8世紀後葉~9世紀前葉と考えられ、その規模と出土土器の多さから、志波城造営前後におけるエミシー族の家父長クラスの住居と考えられる。

RA073は東カマドであるが、煙道は焚口からスロープ状に底面が上がり、一部途切れてその先に煙出ピットの底面がある。このタイプのカマド煙道は、古代斯波郡北部では志波城跡外郭内竪穴建物(兵舎)に見られ、所謂「関東型」カマド(短煙道)の変形と考えられる。このほか、周溝が壁際より0.2m程内側をめぐる、また4基の支柱穴の配置がカマド設置辺際に偏っている、といった点も当該地一般集落の竪穴住居跡にはあまり見られない。規模は、一辺5.1~5.4mと大型住居である。年代としては、あかやき土器坏が多いことから9世紀後葉と考えられる。

RA072は、南カマドで一辺2.45~2.64mと小型住居であるが、埋土下層に炭化材が多く検出されたことから焼失家屋と考えられる。年代としては、出土土器から9世紀後葉と考えられる。RA072は、出土炭化材の放射性炭素(<sup>14</sup>C)年代測定を行っており、780~970cal AD(2σ)との暦年代範囲が出ている。土器からの年代観と比較すると、中間値875cal ADがほぼ同年代という結果であり、住居跡の推定年代はほぼ妥当なものと考えられる。

### 【引用・参考文献】

- 津嶋知弘 2004 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』蝦夷研究会編 高志書院
- 津嶋知弘 2013 「古代「斯波(志波)」郡北部の土器群変遷(その1) - 雫石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料を中心に -」盛岡市遺跡の学び館学芸レポートVol.002(盛岡市ホームページ)

挿表4 古代竪穴住居跡一覧表

遺跡名	次数	遺構名	カマド方向	煙道	カマド袖	一辺長(m)	貯蔵穴	床硬化面	主柱穴	周溝	灰白色火山灰(十和田a)	時期
宮沢	9	RA004	S2.5° E南	長い煙道	なし	4.1~4.35	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀前葉~中葉
		RA005	S6.5° W南	長い煙道	なし	5.15~5.4	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀前葉以前
		RA006	E4.5° S東	長い煙道	なし	3.26~4.2	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀前葉以前
		RA007	W6.0° N西	長い煙道	両袖残存	3.85~3.95	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	9世紀後葉
		RA008	不明	不明	不明	2.25以上	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀前葉以降
		RA009	E10.5° S東	長い煙道	なし	3.7	1基	なし	なし	なし	なし	埋土下層
遺跡名	次数	遺構名	カマド方向	煙道	カマド袖	一辺長(m)	貯蔵穴	床硬化面	主柱穴	周溝	灰白色火山灰(十和田a)	時期
本宮熊堂B	23	RA082	E11.5° S東	長い煙道	両袖残存	3.55~4.1	なし	あり(2時期)	なし	周溝あり	埋土上~下層	9世紀末~10世紀初頭
		RA083	E27.5° S南東	長い煙道	両袖残存	3.95	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀中葉
	28	RA131	E7.0° S東	長い煙道	両袖残存	3.65	1基	硬化面あり	なし	なし	なし	10世紀前葉
		RA132	不明	不明	不明	7.30以上	なし	なし	なし	周溝あり	なし	10世紀中葉
		RA133	E7.5° N東	長い煙道	両袖残存	5.00	なし	硬化面あり	なし	周溝あり	なし	10世紀後葉
		RA134	不明	不明	不明	3.72以上	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀中葉以前
		RA135	不明	不明	不明	4.40	なし	なし	なし	なし	なし	10世紀代か
		RA136	E11.5° S東	長い煙道	なし	3.45~4.0	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	10世紀中葉
RA137	E2.0° S東	長い煙道	両袖残存	3.5~3.85	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	なし	10世紀前葉	
遺跡名	次数	遺構名	カマド方向	煙道	カマド袖	一辺長(m)	貯蔵穴	床硬化面	主柱穴	周溝	灰白色火山灰(十和田a)	時期
野古A	18	RA054	不明	不明	不明	2.85以上	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	9世紀
		RA055	E15.0° S東	長い煙道	なし	4.1~4.3	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀後葉
	21	RA056	E16.5° S東	長い煙道(トンネル状)	なし	4.05	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀後葉
		RA057	W2.5° S西	長い煙道	両袖残存	4.1~4.33	なし	なし	なし	周溝あり	なし	8世紀中葉
		RA058	不明	不明	不明	3.70	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀
		RA072	S2.0° E南	長い煙道	両袖残存	2.45~2.64	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀後葉
	25	RA073	E0.5° N東	長い煙道(スロープ状)	両袖残存	5.1~5.54	なし	なし	4口	周溝あり	なし	9世紀後葉
		RA074	W8.0° S西	長い煙道(トンネル状)	両袖残存	5.8~6.0	1基	硬化面あり	4口	周溝あり	埋土最上層	8世紀後葉~9世紀前葉
		RA075	W17.5° N西	長い煙道	なし	5.05	1基	なし	2口	周溝あり	なし	9世紀中葉~後葉

表



第1表 小幅遺跡第21次調査掘立柱建物跡・掘立柱列跡掘方規模等一覧表

遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB024掘立柱建物跡	掘方1	0.3	0.1	不整円形	なし
	掘方2	0.3	0.15	不整円形	あり
	掘方3	0.35	0.4	不整円形	あり
	掘方4	0.3~0.4	0.1	不整円形	あり
	掘方5	0.35	0.1	不整円形	なし
	掘方6	0.5~0.55	0.35	不整円形	なし
	掘方7	0.3	0.3	不整円形	あり
	掘方8	0.3~0.4	0.25	不整楕円形	なし
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB025掘立柱建物跡	掘方1	0.4~0.55	0.5	不整楕円形	あり
	掘方2	0.25~0.4	0.2	不整楕円形	なし
	掘方3	0.4	0.15	不整円形	なし
	掘方4	0.4~0.45	0.35	不整円形	あり
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB026掘立柱建物跡	掘方1	0.3~0.4	0.2	不整円形	あり
	掘方2	0.35	0.2	不整円形	あり
	掘方3	0.35~0.5	0.15	不整楕円形	なし
	掘方4	0.35	0.4	不整円形	なし
	掘方5	0.25	0.25	不整円形	なし
	掘方6	0.2	0.2	不整円形	あり
	掘方7	0.15	0.15	不整円形	あり
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RC006掘立柱列跡	掘方1	0.35	0.35	不整円形	あり
	掘方2	0.3~0.4	0.3	不整円形	あり
	掘方3	0.4	0.1	不整円形	なし
	掘方4	0.25	0.25	不整円形	あり
	掘方5	0.4~0.5	0.25	不整円形	あり
	掘方6	0.3	0.1	不整円形	あり
	掘方7	0.4~0.55	0.15	不整楕円形	なし
	掘方8	0.3~0.5	0.15	不整楕円形	あり
	掘方9	0.25~0.3	0.1	不整円形	なし
	掘方10	0.4	0.1	不整円形	なし

第2表 小幅遺跡第21次調査ピット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.35~0.5	0.2	8	0.25	0.15	15	0.45	0.3
2	0.35	0.2	9	0.45~0.5	0.5	16	0.2	0.3
3	0.35	0.2	10	0.25~0.3	0.2	17	0.25	0.15
4	0.3~0.35	0.25	11	0.35~0.4	0.25	18	0.55	0.2
5	0.45	0.2	12	0.3~0.35	0.35	19	0.45	0.15
6	0.25~0.35	0.15	13	0.3	0.2	20	0.25	0.2
7	0.35	0.15	14	0.3~0.35	0.15			

第3表 小幅遺跡第22次調査掘立柱建物跡掘方規模等一覧表

遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB027掘立柱建物跡	掘方1	0.4~0.45	0.45	不整円形	あり
	掘方2	0.35	0.47	不整円形	なし
	掘方3	0.33	0.47	不整円形	なし
	掘方4	0.4	0.52	不整円形	なし
	掘方5	0.45	0.35	不整円形	あり
	掘方6	0.45	0.6	不整円形	あり
	掘方7	0.45	0.55	不整円形	あり
	掘方8	0.5	0.53	不整円形	あり
	掘方9	0.4~0.47	0.45	不整円形	なし
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB028掘立柱建物跡	掘方1	0.3~0.35	0.31	不整楕円形	なし
	掘方2	0.34	0.15	不整円形	なし
	掘方3	0.42	0.58	不整円形	あり
	掘方4	0.35	0.18	不整円形	あり
	掘方5	0.39	0.41	不整円形	あり
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB029掘立柱建物跡	掘方1	0.45~0.57	0.5	不整楕円形	あり
	掘方2	0.43~0.45	0.6	不整円形	あり
	掘方3	0.36~0.43	0.17	不整円形	あり
	掘方4	0.4~0.5	0.2	不整楕円形	なし

第4表 小幅遺跡第22次調査ピット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.42~0.47	0.42	11	0.25	0.1	21	0.35~0.4	0.43
2	0.31~0.35	0.24	12	0.38~0.45	0.05	22	0.37~0.4	0.53
3	0.25~0.35	0.35	13	0.28~0.45	0.14	23	0.38~0.4	0.44
4	0.35	0.29	14	0.42~0.45	0.15	24	0.38~0.4	0.44
5	0.38	0.32	15	0.39	0.18	25	0.37~0.55	0.22
6	0.2~0.24	0.04	16	0.4~0.47	0.1	26	0.32~0.35	0.24
7	0.25~0.31	0.18	17	0.25~0.39	0.17	27	0.35~0.37	0.21
8	0.24~0.27	0.12	18	0.37	0.32	28	0.37	0.09
9	0.22~0.37	0.07	19	0.32~0.34	0.48	29	0.24~0.34	0.11
10	0.27	0.25	20	0.26~0.35	0.2			

第5表 宮沢遺跡第9次調査掘立柱建物跡掘方規模等一覧表(1)

遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB001掘立柱建物跡	掘方1	0.35~0.4	0.18	不整円形	なし
	掘方2	0.55~0.65	0.52	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方3	0.5~0.55	0.46	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方4	0.5	0.4	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方5	0.45~0.5	0.64	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方6	0.5~0.7	0.4	不整楕円形	あり(底面に置き石)
	掘方7	0.55	0.45	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方8	0.4~0.5	0.3	不整円形	あり
	掘方9	0.4~0.85	0.52	不整楕円形	あり
	掘方10	0.65~0.75	0.36	不整楕円形	なし
	掘方11	0.6~0.7	0.38	不整円形	あり
	掘方12	0.4	0.3	不整円形	あり
	掘方13	0.45~0.6	0.52	不整楕円形	あり
	掘方14	0.45~0.5	0.5	不整円形	あり
	掘方15	0.45~0.5	0.5	不整楕円形	あり
	掘方16	0.5~0.64	0.34	不整円形	あり
	掘方17	0.6~0.65	0.44	不整円形	あり
	掘方18	0.4	0.38	不整円形	あり
	掘方19	0.5~0.55	0.24	不整円形	あり
	掘方20	0.45~0.55	0.49	不整楕円形	あり(底面に置き石)
	掘方21	0.4~0.46	0.2	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方22	0.45~0.5	0.2	不整楕円形	あり(底面に置き石)
	掘方23	0.5~0.55	0.48	不整楕円形	あり(底面に置き石)
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB003掘立柱建物跡	掘方1	0.3~0.34	0.2	不整円形	なし
	掘方2	0.4~0.66	0.21	不整楕円形	なし
	掘方3	0.48~0.62	0.18	不整楕円形	あり
	掘方4	0.44~0.62	0.27	不整楕円形	なし
	掘方5	0.38	0.18	不整円形	なし
	掘方6	0.26~0.3	0.3	不整円形	あり
	掘方7	0.48	0.23	不整円形	なし
	掘方8	0.4	0.22	不整円形	なし
	掘方9	0.3	0.37	不整円形	なし
	掘方10	0.38~0.4	0.22	不整円形	なし
	掘方11	0.34~0.38	0.32	不整円形	なし
	掘方12	0.4~0.45	0.4	不整円形	なし
	掘方13	0.36~0.5	0.25	不整円形	なし
	掘方14	0.42~0.46	0.36	不整円形	あり(底面に置き石)
	掘方15	0.4~0.5	0.3	不整円形	なし
	掘方16	0.38~0.5	0.26	不整円形	なし

第6表 宮沢遺跡第9次調査掘立柱建物跡掘方規模等一覧表(2)

遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RB004掘立柱建物跡	掘方1	0.45~0.5	0.24	不整円形	なし
	掘方2	0.3~0.36	0.06	不整円形	なし
	掘方3	0.34~0.52	0.18	不整楕円形	なし
	掘方4	0.46~0.68	0.12	不整楕円形	なし
	掘方5	0.5~0.62	0.28	不整楕円形	なし(底面に置き石)
	掘方6	0.5	0.36	不整円形	あり
	掘方7	0.4~0.48	0.14	不整円形	なし
	掘方8	0.4	0.16	不整円形	なし
	掘方9	0.36~0.44	0.1	不整円形	なし
	掘方10	0.38~0.42	0.34	不整円形	あり
	掘方11	0.38~0.4	0.48	不整円形	なし
	掘方12	0.48~0.56	0.36	不整楕円形	あり

第7表 宮沢遺跡第9次調査ピット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.5~0.58	0.2	16	0.46	0.5	31	0.72	0.14
2	0.3	0.16	17	0.5~0.68	0.24	32	0.37	0.5
3	0.45~0.5	0.68	18	0.48~0.56	0.2	33	0.33	0.13
4	0.3	0.12	19	0.34	0.14	34	0.44~0.56	0.22
5	0.22~0.3	0.14	20	0.28~0.32	0.24	35	0.55	0.2
6	0.24~0.38	0.14	21	0.28	0.14	36	0.46~0.52	0.32
7	0.26~0.34	0.18	22	0.34	0.15	37	0.5	0.3
8	0.4	0.18	23	0.5	0.18	38	0.67	0.3
9	0.36	0.4	24	0.5	0.12	39	0.3	0.25
10	0.4~0.45	0.18	25	0.3	0.14	40	0.32~0.36	0.22
11	0.26	0.18	26	0.44	0.28	41	0.3	0.1
12	0.36~0.4	0.22	27	0.53~0.6	0.3	42	0.54~0.7	0.1
13	0.42~0.58	0.28	28	0.58~0.6	0.22	43	0.28~0.35	0.15
14	0.5	0.5	29	0.3	0.14	44	0.55~0.7	0.3
15	0.5	0.5	30	0.3	0.25			



第8表 本宮熊堂B遺跡第23次調査ピット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.22~0.32	0.2	2	0.3	0.16			

第9表 野古A遺跡第25次調査竪穴住居跡主柱穴規模等一覧表

遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RA073竪穴住居跡	P1	0.24~0.34	0.3	不整円形	なし
	P2	0.3	0.42	不整円形	なし
	P3	0.23~0.25	0.44	不整円形	なし
	P4	0.29~0.35	0.5	不整円形	なし
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RA074竪穴住居跡	P1	0.2~0.25	0.57	不整円形	なし
	P2	0.16~0.2	0.17	不整円形	なし
	P3	0.2~0.28	0.52	不整円形	なし
	P4	0.24~0.3	0.5	不整円形	なし
	P5	0.18	0.12	不整円形	なし
	P6	0.2~0.3	0.48	不整円形	なし
遺構	掘方	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RA075竪穴住居跡	P1	0.35	0.6	不整円形	不明
	P2	0.4	0.4	不整円形	なし

第10表 小幡遺跡第21次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD507陥し穴	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~1.7/1黒色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	5 10	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	30 5	中~硬	密	
	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	
RD508土坑	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/2~2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒~塊状	50	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/2~2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%					
RG143溝跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	50	中	中	
RG144溝跡	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	30	硬	中~密	
RG145溝跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中	中	

第11表 小幡遺跡第22次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD509土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	30 5	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒~塊状	20 20	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	40	中~硬	中~密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%					
RG146溝跡	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	50	中~硬	中~密	

第12表 宮沢遺跡第8次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG019溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	密	
RG020溝跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	2	中	軟	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	10	中	軟	
	B1	10YR2/3-2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中	軟	
RG021溝跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	-	2	中	中~密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	-	30	中	中~密	
RG022溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	2	中	中~密	
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中	中~密	
RG023溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中~密	

第13表 宮沢遺跡第9次調査遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA004竪穴住居跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 —	SICLシルト質埴壤土 炭化物, 焼土	粉~粒状 粒状	5 —	中~硬	中~密	小礫混じる ややグライ化
	A2	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色 —	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土 炭化物, 焼土	粉状 粉~粒状 粒~塊状	10 — 5	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 2.5YR4/8赤褐色	SICLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粉状	10 10	中~硬	中~密	礫混じる
	J1	10YR3/5~2/3暗褐~黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土	粉状	5	中	中	炭化物わずかに混じる, カマド崩壊土
	L1	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中~硬	中~密	床構築土
	L2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 —	SICLシルト質埴壤土 焼土, 炭化物	粉状 粉状	10 1	中~硬	中~密	床構築土
RA005竪穴住居跡	A1	10YR3/2~2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 —	SICLシルト質埴壤土 焼土, 炭化物	粉~塊状 粉	1 1	硬	密	
	L1	10YR4/4~4/6褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/2~2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粉	30	中~硬	中~密	床構築土
	L2	10YR2/3~2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色 10YR4/4褐色	焼土 SICLシルト質埴壤土	粒~塊状 粉~粒状	10 10	中~硬	中~密	床構築土
RA006竪穴住居跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 —	SICLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	硬	密	焼土粒わずかに混じる
	L1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SICLシルト質埴壤土	粉~塊状	40	中~硬	中~密	炭化物粒わずかに混じる, 床構築土
	L2	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土
	L3	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 5YR5/8明赤褐色	SICLシルト質埴壤土 焼土	— 塊状	5 15	中~硬	中~密	床構築土
RA007竪穴住居跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	15	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/3褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/3褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	粉状	20	中	中	
	B3	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/3褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	粉状	40	中	中	
	C1	10YR3/3~4/3暗褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 5YR4/8明赤褐色 10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土 焼土 SICLシルト質埴壤土	粉状 塊状 粉状	20 10 30	中~硬	中~密	
	C2	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 10YR2/2黒褐色 5YR4/8明赤褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粉~粒状 粉~粒状	10 10 10	中~硬	中~密	
	J1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR4/4~4/6褐色 10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状 粉~粒状	30 10 5	中~硬	中~密	焼土粒混じる カマド崩壊土
	J2	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 5YR4/8明赤褐色	SICLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粒状	20 1	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J3	5YR3/2暗赤褐色	—	10YR2/2~2/3黒褐色 5YR4/8明赤褐色	SICLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒状	20 5	中~硬	中~密	炭化物混じる カマド崩壊土
	J4	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3~2/3黒褐~暗褐色 10YR4/4褐色 5YR4/8明赤褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粉状 粒状	10 5 5	中~硬	中~密	炭化物混じる カマド崩壊土
	J5	7.5YR2/3極暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR4/4~4/6褐色 —	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土 粘土質土	粉状 粉~粒状 塊状	5 5 —	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J6	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SICLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J7	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粉状 粉状	5 5	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J8	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3~3/4暗褐色 10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粉状 粉状	5 1	中~硬	中~密	焼土粒混じる カマド崩壊土
	J9	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/1黒~黒褐色 10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J10	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SICLシルト質埴壤土	粉状	15	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J11	10YR3/3~2/3黒褐~暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	20 15	中	中	カマド崩壊土
	J12	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SICLシルト質埴壤土	粉~粒状	40	中	中	焼土粒・炭化物混じる, カマド崩壊土
	K1	10YR3/3~3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 10YR4/4褐色 2.5YR4/6赤褐色 10YR7/4~7/3にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土 焼土 粘土	粉~塊状 粒~塊状 粒状 粒~塊状	20 10 1 1	中~硬	中~密	カマド袖構築土
	L1	10YR4/3~4/4褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	20	中~硬	中~密	粘土・炭化物少し混じる, 床構築土
	L2	10YR4/3~4/4褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	20	硬	密	床構築土
L3	10YR4/4~4/3褐~にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 10YR7/4~7/3にぶい黄褐色	SICLシルト質埴壤土 粘土	粒状 粒~塊状	20 10	硬	密	床構築土	

第14表 宮沢遺跡第9次調査遺構土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA008竪穴住居跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 20	中~硬	中~密	焼土粒わずかに混じる
	J1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 2.5YR4/6赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒状	10 10	中	中	炭化物粒混じる カマド崩壊土
	L1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
RA009竪穴住居跡	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR3/3暗褐色 —	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉状 粉状 粒~塊状	15 5 1	中~硬	中~密	焼土粒わずかに混じる 十和田 a 火山灰
	B1	10YR2/1~1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 5	中~硬	中~密	貯蔵穴埋土
	B2	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 2.5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒~塊状	30 5	中~硬	中~密	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 20	中~硬	中~密	焼土粒混じる
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 10	中~硬	中~密	砂混じる
	J1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色 5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粒~塊状 粒状	10 5 10	中~硬	中~密	炭化物粒わずかに混じる
	J2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 5YR3/6暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粒状 粒状	30 1	中~硬	中~密	
	J3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 5YR3/6暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~塊状 粒状	10 1	中~硬	中~密	炭化物粒わずかに混じる
	J4	7.5YR2/3極暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 5YR3/6暗赤褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒状 粉状	5 1 1	中~硬	中~密	
	J5	7.5YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	15 1	中~硬	中~密	
	J6	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
	遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD004土坑	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SLシルト質埴土	粉状	10	—	—	炭化物・焼土粒・径3~15cmの礫混じる。全体にややグライ化。近世
RD005土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR4/4~4/3褐~にぶい黄褐色 2.5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粉状 粒状	10 15 1	中	中	炭化物わずかに混じる
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	焼土粒・炭化物わずかに混じる
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
RD006土坑	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中~硬	中~密	炭化物粒混じる
	A2	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
	B1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中	中	砂質
RD007土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 1	中	中	
	A2	10YR2/1~3/1黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG024溝跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8~5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	中	中	

第15表 宮沢遺跡第12次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG025溝跡	A1	—	灰白色火山灰	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	十和田 a 火山灰
	B1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	2	中	中	
RG026溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	5Y7/2灰白色 10YR1.7/1黒色	粉状バミス SiCLシルト質埴壤土	上面に少量ちらばる —	— 30	中 中	中 密	十和田 a 火山灰
	B1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	C1	—	—	—	—	—	—	—	—	

第16表 稲荷遺跡第7次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG001溝跡A区	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	10 5	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 30	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	
RG001溝跡B区	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	15	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	40 15	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4~3/4褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 15	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~3/4暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 10	中~硬	中~密	
RG002溝跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中	中	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	40	中~硬	中~密	
RG005溝跡	A1	10YR1.7/1~2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/1~2/2黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	40	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	40	中~硬	中~密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	

第17表 稲荷遺跡第10次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG001溝跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	40	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	40 10	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	10 20	-	-	
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	-	-	
	B2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	50	中~硬	中~密	

第18表 本宮熊堂A遺跡第16次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG052溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SLシルト質埴壤土	-	10	中	中~密	
	A2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	-	2	中	中~密	
RG053溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	-	10	中	中~密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	-	30	中	中~密	

第19表 本宮熊堂B遺跡第21次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG128溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	密	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中	密	
RG129溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中	密	

第20表 本宮熊堂B遺跡第23次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA082竪穴住居跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	塊状 粒状	15 3~5	中	中~密	十和田 a 火山灰
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SL砂壤土	粉状 粒状	20 15	中	中~密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色 10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SL砂壤土	粉状 粒状	10 5	中~硬	密	十和田 a 火山灰
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SL砂壤土	粉状	5	中~硬	密	
	C2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR5/6黄褐色	SLシルト質埴壤土 SL砂壤土	粒状 粒状	10 10	中	中~密	
	D1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SL砂壤土	粒状	10	中	中	
	J1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中	密	カマド崩壊土
	J2	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中	密	焼土少し混じる, カマド崩壊土
	J3	10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密	焼土・炭化物少し混じる, カマド崩壊土
	J4	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	密	焼土・炭化物多く混じる, カマド崩壊土
	J5	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中	中~密	カマド崩壊土
	K1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	粒状	15	中~硬	密	カマド袖構築土
	K2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SL砂壤土	塊状	25	中~硬	密	カマド袖構築土
	L1	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄色	SL砂壤土	粒状	15	硬	中	a 期床構築土
L-1	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	塊状	25	硬	密	b 期床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD154土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	粒状	7	中	密	炭化物多く, 焼土少し混じる
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	粒状	5	中	密	
	A3	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	粒状	20	中	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG011溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	3	中~硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	2	中~硬	密	
	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	10 5	中~硬	密	
	B1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	20	中	密	
RG128溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中	中~密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	10	中	中	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	35	中	中	
RG130溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中~硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SL砂壤土	粒状 粒状	15 5	中~硬	密	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色 10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒状 粒状	10 7	中	密	
	B1	10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR3/1黒褐色	SLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	15 10	中	密	
RG131溝跡	A1	10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色	SLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	硬	密	グライ化
	A2	10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色 10YR6/6明黄褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒~塊状 粒状	20 10	硬	密	グライ化
RG132溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	25	中~硬	密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒~塊状 粒状	25 5	中~硬	密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粉状 粒状	15 5	中	中~密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粉状 粒状	10 10	中	密	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	15	中	密	
RG133溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	3	中~硬	密	
RG134溝跡	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒状 粒状	20 15	中	密	
RG135溝跡	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	塊状 粒状	15 5	中	密	
	A2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR6/6明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒状 粒状	15 10	中	密	
RG136溝跡	A1	10YR3/1黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR5/6黄褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	塊状 粒状	20 30	中	密	
	A2	10YR5/6黄褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR5/6黄褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒状 粒状	10 30	中	密	
RG137溝跡	A-1	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	30	中	中~密	

第21表 本宮熊堂B遺跡第28次調査遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA083竪穴住居跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 10	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	5 20	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 40	中~硬	中~密	
	A4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B1	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 40	中~硬	中~密	
	B2	10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	30 5	中~硬	中~密	
	C1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	50	中~硬	中~密	壁崩壊土
	C2	10YR2/2~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	
	J1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状 粒状	10 5 10	中~硬	中~密	炭化物混じる,カマド崩壊土
	J2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	30 20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒状	30 5	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J4	10YR4/3にぶい黄褐	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状 粉状	20 10 20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J5	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中~硬	中~密	炭化物粒混じる,カマド崩壊土
	J6	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	20 10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J7	5YR4/8赤褐色	焼土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒状	5 10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J8	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる,カマド崩壊土
	J9	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	K1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	硬	密	カマド袖構築土
K2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	40	硬	密	カマド袖構築土	
K3	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
K4	10YR3/3~3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	1	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
K5	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	40	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
L1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR4/5~5/8明赤褐~赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒~塊状	1 10	中~硬	中~密	炭化物混じる,床構築土	
RA131竪穴住居跡	A1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1~2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 30	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる
	A2	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1~2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	30 5	中~硬	中~密	炭化物粒・焼土粒少し混じる
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1~2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色 5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粉~粒状 粒状	30 30 1	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる
	B2	10YR3/3~4/3暗褐~にぶい黄褐	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR1.7/1~2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	20 5	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR1.7/1~2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	30 5	中~硬	中~密	
	B4	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状 粉~粒状	20 10	中~硬	中~密	
	C1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	小礫混じる
	C2	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1~2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	30 10	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる
	C3	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒状	30 10	中~硬	中~密	
	J1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる,カマド崩壊土
	J2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粉~粒状	30 20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J3	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粉~粒状	5 5	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる,カマド崩壊土
	J4	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粉~粒状	20 5	中~硬	中~密	炭化物粒わずかに混じる,カマド崩壊土
	J5	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色 10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状 粉~粒状	5 10 10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	K1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	カマド袖構築土
	K2	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中~硬	中~密	カマド袖構築土
	K3	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~3/4暗褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	30 10	中~硬	中~密	カマド袖構築土
	L1	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土

第22表 本宮熊堂B遺跡第28次調査遺構土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA132竪穴住居跡	A1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	— 粉状	30 30	中~硬	中~密	炭化物・礫が少し混じる
	A2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 20	中~硬	中~密	炭化物粒混じる
	B1	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒~塊状 粉~粒状	10 40 15	中~硬	中~密	炭化物粒混じる
	B2	10YR3/3~4/3暗褐~にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粒状	20 20	—	—	炭化物粒混じる
	C1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	C2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	L1	10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 20	硬	密	焼土粒・炭化物粒混じる、床構築土
RA133竪穴住居跡	A1	10YR1.7/1~2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	30 5	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/3~2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR3/3暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状 粉状	5 30 10	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~1.7/1黒色 10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	5 30	中~硬	中~密	
	B1	10YR4/4~3/4褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	5 30	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	40	中~硬	中~密	
	B3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒状	20 5	中~硬	中~密	
	B4	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中	中	
	B5	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
	C1	10YR2/1~3/1黒~黒褐色	SLシルト質埴土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴土 SL砂壤土	粉~粒状 粉~粒状	30 10	中~硬	中~密	
	J1	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質埴土	10YR2/1黒色 10YR4/4~4/6褐色 5YR4/8赤褐色	SLシルト質埴土 SLシルト質埴土 焼土	粉~粒状 粉~粒状 粒~塊状	20 10 10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SLシルト質埴土	10YR4/6褐色 5YR4/8赤褐色	SLシルト質埴土 焼土	粉状 粒~塊状	5 5	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SLシルト質埴土	10YR4/6褐色 10YR2/1~1.7/1黒色 5YR4/8赤褐色	SLシルト質埴土 SLシルト質埴土 焼土	粉状 粉~粒状 粒状	10 5 1	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J4	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SLシルト質埴土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 5YR4/8~4/6赤褐色	SLシルト質埴土 焼土	粉状 粉状	1 20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J5	10YR4/4褐色	SLシルト質埴土	10YR3/3暗褐色 5YR3/3~4/3暗赤褐~にぶい赤褐色	SLシルト質埴土 焼土	粒状 粉~粒状	10 3	中	中	やや砂っぽい、カマド崩壊土
	J6	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 5YR4/8赤褐色	SLシルト質埴土 焼土	粉状 粒状	5 20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J7	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 5YR4/8~3/6赤褐~暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉状 粒~塊状	10 15	中~硬	中~密	炭化物少し混じる、カマド崩壊土
	J8	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色 5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 —	20 1	中~硬	中~密	炭化物混じる、カマド崩壊土
	J9	10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	焼土わずかに混じる、カマド崩壊土
	J10	10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	50	中~硬	中~密	炭化物粒混じる、カマド崩壊土
	J11	10YR2/3~2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中~硬	中~密	炭化物粒混じる、カマド崩壊土
	J12	10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴土	粉~塊状	20	中~硬	中~密	炭化物粒混じる、カマド崩壊土
	J13	10YR4/6~4/4褐色	SLシルト質埴土	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J14	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
K1	2.5YR4/6赤褐色	SLシルト質埴土	10YR2/2~2/3黒褐色	SLシルト質埴土	粒~塊状	20	硬	密	カマド袖構築土	
K2	10YR4/4褐色	SLシルト質埴土	10YR2/3~2/2黒褐色 10YR6/6明黄褐色	SLシルト質埴土 SLシルト質埴土	粒~塊状 粒状	10 20	硬	密	カマド袖構築土	
K3	10YR4/6褐色	SL砂壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SL砂壤土	粉~塊状	30	硬	密	カマド袖構築土	
K4	10YR4/4~4/6褐色	SL砂壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SL砂壤土	粉状	5	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
L1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	硬	密	床構築土	
L2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	3	中~硬	中~密	床構築土	
RA134竪穴住居跡	A'1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	炭化物粒・焼土粒少し混じる
	L'1	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	炭化物粒わずかに混じる
RA135竪穴住居跡	A1	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状 粉~粒状	40 20	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる



第23表 本宮熊堂B遺跡第28次調査遺構土層観察表(3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RA136竪穴住居跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR5/6~5/3黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~塊状	30 40	中~硬	中~密	炭化物少し混じる	
	A2	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR5/6~5/3黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	30 20	中~硬	中~密	炭化物少し混じる	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR5/6~5/3黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 30	中~硬	中~密	炭化物・混混じる	
	B1	10YR2/3~2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	中~硬	中~密	炭化物少し混じる	
	B2	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/1~1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	20 10	中~硬	中~密		
	C1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	20 10	中~硬	中~密	炭化物混じる	
	C2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR5/6~5/3黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	30 5	中~硬	中~密	炭化物混じる	
	C3	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR5/8~5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	10 20	中~硬	中~密	炭化物混じる	
	D1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~塊状	10 10	中~硬	中~密		
	D2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3~4/4にぶい黄褐~褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~塊状	30 5	中~硬	中~密		
	J0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	カマド崩壊土
	J1	10YR4/1褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2~2/2黒褐色 10YR2/1~1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 —	30 —	硬	密	カマド崩壊土	
	J2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/1褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	20 20	硬	密	カマド崩壊土	
	J3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中~硬	中	カマド崩壊土	
	J4	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~1.7/1黒色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~塊状	20 30	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
	L1	10YR4/4~4/6褐色	SL砂壤土	10YR2/2~2/1黒褐~黒色	SL砂壤土	粉~粒状	30	中	中~密	炭化物粒少し混じる、 床構築土	
	L2	10YR4/4~4/6褐色	SL砂壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SL砂壤土	粉~粒状	5	硬	密	床構築土	
	L3	10YR3/3~3/4暗褐色	SL砂壤土	10YR4/6~4/4褐色	SL砂壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	床構築土	
	L4	10YR4/4~4/6褐色	SL砂壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SL砂壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	床構築土	
	RA137竪穴住居跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	20 20	中~硬	中~密	
A2		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~1.7/1黒色 10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~塊状	5 30	中~硬	中~密		
A3		10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	10 10	中~硬	中~密		
B1		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~1.7/1黒色 10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒状	10 40	中~硬	中~密		
B2		10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色 10YR4/2~4/3灰黄褐~にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	20 10	中~硬	中~密		
C1		10YR3/3~3/2暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	40 5	中~硬	中~密		
C2		10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色 10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	5 20	中~硬	中~密		
C3		10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密		
C4		10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	炭化物粒混じる	
C5		10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色 10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 —	粉~粒状 粒状	30 5	中~硬	中~密		
J1		10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR4/2~4/3灰黄褐~にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	30 10	—	—	炭化物粒わずかに混 じる、カマド崩壊土	
J2		10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3~2/2黒褐色 5YR2/3極暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粒状 粉状	30 20	中	中	砂礫混じる、 カマド崩壊土	
J3		10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	5YR3/6暗赤褐色 5YR4/3~3/3にぶい赤褐~暗赤褐色	焼土 焼土	粉状 粉状	5 30	中	中	カマド崩壊土	
J4		5YR3/6暗赤褐色	焼土	5YR3/3~2/3暗赤褐~極暗赤褐色	焼土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
J5		10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粉状	10 5	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
J6		10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
J7		10YR3/3~3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	炭化物粒混じる、カ マド崩壊土	
K1		10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	20	硬	密	カマド袖構築土	
K2		10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	50	硬	密	カマド袖構築土	
K3		10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3~2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	硬	密	カマド袖構築土	
L1		10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	40	硬	密	硬化面、床構築土	
L2		10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	硬	密	床構築土	

第24表 本宮熊堂B遺跡第28次調査遺構土層観察表(4)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RE017竪穴状遺構	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1~2/1黒色 10YR4/4褐色 10YR6/4にぶい黄橙色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉状 粉状 粒~塊状	30 3 3	中~硬	中~密	十和田 a 火山灰
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~1.7/1黒色 10YR4/4褐色 10YR6/4にぶい黄橙色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉状 粉~塊状 粒~塊状	20 40 1	中~硬	中~密	十和田 a 火山灰
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 10YR6/4にぶい黄橙色	SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉~粒状 粒状	20 1	中~硬	中~密	十和田 a 火山灰
	B1	10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒~塊状 粒状	20 1	中~硬	中	
	B2	10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒~塊状 粒状	30 3	中~硬	中	
	B3	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	10 20	中	密	
	B4	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粉状 粉~塊状	30 20	中	中	
	B5	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	砂礫混じる
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD235土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色 10YR4/4褐色 10YR7/4~7/3にぶい黄橙色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉状 粉状 塊状	20 10 3	中~硬	中~密	十和田 a 火山灰
	A2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 10	中~硬	中~密	
	B1	10YR3/3~3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粒状	20 5	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/3~2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	C1	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	30 5	中~硬	中~密	
RD236土坑	A1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	- 10YR4/6褐色	粉状バミス SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状 粉~粒状	3 5	中~硬	中~密	十和田 a 火山灰
	B1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	中~硬	中~密	
RD237土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	20 10	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる
	A2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	40	中~硬	中~密	炭化物粒・焼土粒が混じる
	B1	10YR2/3~2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR4/8赤褐色 10YR2/1~2/2黒~黒褐色	焼土 SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状 粉~粒状	30 10	中~硬	中~密	
	B2	5YR4/8赤褐色	焼土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状 粒状	30 5	中~硬	中~密	
	C1	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 10	中~硬	中~密	炭化物粒混じる
	C2	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	20	中~硬	中~密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG011溝跡	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉~粒状	50	中~硬	中~密	
RG128溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	50	中~硬	中~密	
RG132溝跡	B2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中~硬	中~密	
	A1	10YR2/1~1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	40	中~硬	中~密	
	B2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	B3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	B4	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉状	20 5	中~硬	中~密	
C1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	50	中	中		

第25表 野古A遺跡第14次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RG002溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粉～粒状	2	中～硬	中～密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒～塊状	30	中～硬	中～密	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒～塊状	5	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒～塊状	5	中～硬	中～密	礫多く混じる

第26表 野古A遺跡第18次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA054竪穴住居跡	A1	10YR2/1～2/2黒～黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	
	A2	10YR2/1～2/2黒～黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粉～粒状	2	中	中	
	B1	10YR2/2～2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6～5YR5/8褐～明赤褐色	SLシルト質壤土	粒状	2	中	中～密	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6～5YR5/8褐～明赤褐色	SLシルト質壤土	—	5	中～硬	中～密	
	C2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒状	20	中～硬	中～密	
	D1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	粒～塊状	20	中～硬	中～密	
L1	10YR2/2～2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6～5YR5/8褐～明赤褐色	SLシルト質壤土	粒状	15	中	中～密	床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RD084土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒状	10	中	中	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	—	5	中	中	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒～塊状	30	中～硬	中～密	

第27表 野古 A 遺跡第21次調査遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA055竪穴住居跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中～密	炭化物混じる
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	10 10	中	中～密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	25	中	中～密	炭化物混じる
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	35 10	中	中～密	
	B3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中～密	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	15 15	中	中～密	灰白色粉状バミス少し混じる
	C2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中～密	
	D1	—	—					—	—	
	J1	2.5YR4/6赤褐色	焼土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	カマド崩壊土
	J2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	カマド崩壊土
	J3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中～密	カマド崩壊土
	J4	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中	カマド崩壊土
	J5	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	塊状 粉状	30 10	中	密	焼土多く混じる, カマド崩壊土
	J6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	塊状 塊状	20 20	中～硬	密	焼土多く混じる, カマド崩壊土
L1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	15 10	中～硬	密	床構築土	
RA056竪穴住居跡	A1	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密	径2～10mm礫混じる
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中～硬	密	径2～10mm礫混じる
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	炭化材混じる
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒状 粒状	15 10	中	中	
	C1	10YR5/8黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中	
	J1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR4/6赤褐色	焼土	粒状	30	中	中	カマド崩壊土
	J2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR4/6赤褐色	焼土	粒状	10	中	中	カマド崩壊土
	J3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	焼土少し混じる, カマド崩壊土
	J4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	密	灰白色粉状バミス少し混じる
	J5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密	
	J6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中	
	J7	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	15	中	粗	砂礫多く混じる
	J8	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	砂礫多く混じる
	RA057竪穴住居跡 ①	A1	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密
B1		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	中～硬	密	灰白色粉状バミス混じる
C1		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中～硬	密	灰白色粉状バミス多く混じる
D1		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密	
D2		10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中～硬	密	
E1		10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	20 10	中	密	炭化材少し混じる
F1		10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	20	—	—	
F2		10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR4/6赤褐色 10YR2/2黒褐色	焼土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒状	10 15	中	中	
F3		10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	30	—	—	
F4		10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密	
G1		10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中	中	
J1		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	焼土少し混じる, カマド崩壊土
J2		10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粒状 粒状	5 10	中	中～密	焼土少し混じる, カマド崩壊土
J3		5YR3/2暗赤褐色	焼土	10YR4/6褐色 10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	粉～粒状 粉状	20 10	中	中	焼土粒・炭化物粒混 じる, カマド崩壊土
J4		10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	40	中	中	焼土粒混じる, カマ ド崩壊土
J5		10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/2暗赤褐色 2.5YR4/6赤褐色	焼土 焼土	粉状 粉～塊状	20 —	中～硬	中～密	カマド崩壊土
J6		10YR3/3～2/3暗褐～黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/2暗赤褐色	焼土	粒状	10	中～硬	中～密	カマド崩壊土
J7		10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4～4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	10	中	中	カマド崩壊土
J8		10YR2/2～2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4～4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中	中	カマド崩壊土
J9		10YR3/3～3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4～4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	15	中～硬	中～密	炭化物粒少し混じる, カマド崩壊土
J10	10YR3/4～4/4暗褐～褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中～硬	中～密	炭化物粒わずかに混 じる, カマド崩壊土	

第28表 野古 A 遺跡第21次調査遺構土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RA057竪穴住居跡②	J12	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/2~3/3暗赤褐色	焼土	粒状	10	中~硬	中~密	炭化物粒少し混じる、カマド崩壊土	
	J13	10YR4/3~3/3にぶい黄褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	カマド崩壊土	
	J14	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	砂粒少し混じる、カマド崩壊土	
	J15	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	20	中	中	炭化物粒・焼土粒少し混じる、カマド崩壊土	
	K1	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	15	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
	K2	10YR2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
	K3	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/4~3/4褐~暗褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	カマド袖構築土	
	K4	5YR3/6暗赤褐色	焼土	10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	—	10	中	密	カマド袖構築土	
	L1	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	炭化物粒わずか・砂少し混じる、床構築土	
RA058竪穴住居跡	L'1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	炭化物混じる	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RD099土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密		
	A2	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	40	中	密		
RD100土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	密		
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	30	中~硬	密		
RD101土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	10	中~硬	中~密		
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	3				
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	30	中~硬	中~密		
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10				
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密		
				10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10				
	C1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密		
RD102土坑	A1	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	密		
	A2	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	15	中~硬	密		
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密		
	B2	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	塊状	20	中	密		
				10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5				
RD126土坑	A1	—	—								
	A2	—	—								
	A3	—	—								
	B0	10YR2/2~2/3黒褐色	SLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質埴壤土	—	10	中	中	砂礫混じる、炭化物・焼土少し混じる	
				10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	—	10				
	B1	10YR1.7/1~2/1黒色	SLシルト質埴壤土				—	—	砂礫多く混じる、炭化物混じる		
	B2	10YR4/4~3/4褐~暗褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	砂礫多く混じる、炭化物少し混じる	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RD127陥穴	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	50	中~硬	中~密		
	A2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密		
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密		
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密		
					10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5			
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密		
	C1	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密		
	C2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密		
	C3	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密		
C4	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/3褐~にぶい黄褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	30	硬	密	粘性あり		
C5	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密			
C6	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	砂質土	粉状	30	中	中			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%				
RG031溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密		
RG032溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密		
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	20	中	密		

第29表 野古 A 遺跡第25次調査遺構土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA072 竪穴住居跡	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	30	中~硬	中~密	炭化物粒多く混じる
	A2	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	硬	密	炭化物粒・焼土塊混じる
	C1	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	50	中~硬	中~密	
	J1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粒~塊状 粒状	20 1	硬	密	
	J2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粒状 粒状	5 1	中~硬	中~密	
	J3	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	50	中~硬	中~密	焼土粒少し混じる
	J4	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~硬	焼土粒少し混じる
	J5	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	40	中~硬	中~密	
	K1	-	-					-	-	カマド構築土
L1	-	-					-	-	床構築土	
RA073 竪穴住居跡	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中~密	
	A2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	20	中	中	
	A3	10YR2/2~2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粉状	5	中	中	
	B1	10YR2/3~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色 10YR4/6褐色	焼土 SLシルト質埴壤土	- 粉状	2 2	中	中	
	B2	10YR2/3~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色 10YR4/6褐色	焼土 SLシルト質埴壤土	- 粒状	2 5	中	中	
	B3	10YR2/3~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色 10YR4/6褐色	焼土 SLシルト質埴壤土	- -	5 10	中	中	
	C1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
	C2	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~密	
	C3	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒~塊状	40	中~硬	密	
	D1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質埴壤土	粒状	2	中	中~密	
	J1	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 5YR5/8明赤褐色	SLシルト質埴壤土 焼土	- 粒状	- 15	中	中	カマド崩壊土
	J2	10YR4/6~5/8褐~黄褐色	SLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粒状 粒~塊状	10 30	中	中	カマド崩壊土
	J3	5YR5/8明赤褐色	焼土	10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	30	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J4	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 5YR5/6明赤褐色	SLシルト質埴壤土 焼土	粒~塊状 粒状	30 10	中~硬	中~密	カマド崩壊土
	J5	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色 10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SLシルト質埴壤土	塊状 塊状	30 10	硬	密	カマド崩壊土
RA074 竪穴住居跡 ①	A1	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	10 1	中~硬	中~密	
	A2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色 10YR7/4~7/6にぶい黄橙~明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉状 粉~粒状 粉~粒状	10 1 2	中~硬	中~密	十和田a火山灰
	A3	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 10	中~硬	中~密	
	B1	10YR3/1~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色 10YR7/4~7/6にぶい黄橙~明黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土 粉状バミス	粉状 粉~粒状 粉~粒状	20 1 20	中~硬	中~密	十和田a火山灰
	B2	10YR3/1~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	20 1	硬	密	
	C1	10YR3/1~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	10 10	中~硬	中~密	
	C2	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	5 20	中~硬	中~密	
	C3	10YR2/2~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 5	中~硬	中~密	
	C4	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉状	10 5	中~硬	中~密	
	C5	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	10 10	中~硬	中~密	
	C6	10YR3/2~3/4黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	5 40	中~硬	中~密	
	C7	10YR2/2~3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粉~粒状	10 10	中~硬	中~密	
	C8	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	
	C9	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	中~硬	中~密	

第30表 野古 A 遺跡第25次調査遺構土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RA074竪穴住居跡②	D1	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粒状 粉~粒状	10 40	中~硬	中~密	
	D2	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~粒状 粉~粒状	10 40	中~硬	中~密	
	D4	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~粒状 粉~粒状	20 40	中~硬	中~密	
	D5	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土	10YR3/2~3/3黒褐~暗褐色	SLシルト質壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	D6	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/3~3/2暗褐~黒褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~塊状 粉状	30 5	中~硬	中~密	
	D7	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~粒状 粒~塊状	5 40	中~硬	中~密	
	D8	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~粒状 粉~粒状	20 20	中~硬	中~密	
	D9	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~粒状 粉~粒状	20 5	中~硬	中~密	
	D10	10YR4/4~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粒状 粉~粒状	20 10	中~硬	中~密	
	D11	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粒状 粉~粒状	10 30	中~硬	中~密	
	D12	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/3~4/3暗褐~にぶい黄褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉~粒状 粒状	20 30	中~硬	中~密	
	D13	10YR4/6~5/6褐~黄褐色	SLシルト質壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉状 粉状	20 20	中~硬	中~密	
	D14	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SLシルト質壤土	10YR4/4~4/6褐色 10YR3/3~2/3暗褐~黒褐色	SLシルト質壤土 SLシルト質壤土	粉状 粉~粒状	30 30	中~硬	中~密	
	D15	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SLシルト質壤土	10YR3/3~3/4暗褐色	SLシルト質壤土	粉~粒状	20	中~硬	中~密	
	D16	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR2/3極暗赤褐色	焼土	粒状	5	中	中	
	J1	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	塊状	30	中	粗	カマド崩壊土①
	J2	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/6褐色 5YR2/3極暗赤褐色	SLシルト質壤土 焼土	塊状 粒~塊状	20 5	中	中	カマド崩壊土①
	J3	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SLシルト質壤土	粒~塊状	10	軟	粗	カマド崩壊土①
	J4	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/4褐色 5YR3/4暗赤褐色	SLシルト質壤土 焼土	粒状 粒状	10 3	—	—	カマド崩壊土①
	J5	10YR4/4褐色	SiCシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	—	—	カマド崩壊土①
	J1	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	塊状	10	軟	中~密	カマド崩壊土②
	J2	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	カマド崩壊土②
	J3	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	粒~塊状	20	軟	中	カマド崩壊土②
	K1	10YR4/6褐色	SLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	粒状	5	軟	中	カマド袖構築土
	K2	10YR5/8黄褐色	SLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SLシルト質壤土	粒~塊状	10	中	密	カマド袖構築土
	L1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	密	床構築土
L2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	床構築土	
L3	10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2~2/3黒褐色 25YR4/6赤褐色	SLシルト質壤土 焼土	— 粒状	30 5	中~硬	中	床構築土	
RA075竪穴住居跡	A1	10YR2/1黒色	SiCシルト質埴土	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	炭化物少し混じる
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR6/6明黄褐色	SLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	炭化物塊混じる
	A3	10YR2/1黒色	SiCシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	粒状	5	中	中	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	粒状	30	硬	密	周溝埋土
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SLシルト質壤土	粒状	5	軟	粗	
RA075竪穴住居跡 P4貯蔵穴	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	粒~塊状	5	中	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 5YR3/4暗赤褐色	SLシルト質壤土 焼土	塊状 粒状	30 3	中	密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SLシルト質壤土	粒状	3	中	密	
	B2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色 10YR3/2黒褐色	SLシルト質壤土 SL砂壤土	粒~塊状 粒状	10 5	中	密	
	C1	10YR3/2黒褐色	SL砂壤土	10YR4/4褐色	SLシルト質壤土	粒状	5	軟	粗	礫・土器多く混じる
RD109土坑	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	20	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4~4/4暗褐~褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	中~硬	中~密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	30	中~硬	中~密	
RD110土坑	C1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	50	中~硬	中~密	
	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色 5YR4/6赤褐色	SiCLシルト質埴壤土 焼土	粉~粒状 粒状	30 1	中~硬	中~密	
RD111土坑	A2	10YR3/3~3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~塊状	40	中~硬	中~密	
	A1	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3~3/4暗褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粒状 粒~塊状	10 5	中	中	
	B1	10YR3/4~3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	20	中	中	炭化物粒わずかに混じる
RD128土坑	B2	10YR2/3~3/3黒褐~暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/4~4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状 粉~粒状	5 30	中	中	炭化物粒わずかに混じる
	A1	10YR2/2~2/1黒褐~黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1~2/2黒~黒褐色 10YR4/6~4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土 SiCLシルト質埴壤土	粉状 粒~塊状	20 30	中~硬	中~密	
A3	10YR2/1~2/2黒~黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3にぶい黄褐色	S砂土	—	10	中	密	礫多く混じる	

第31表 宮沢遺跡第9次調査出土土器・磁器観察表

回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態			出土			寸法(cm)*完形・復元のみ				底部切離等	器面調整		墨書等・特徴	
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高		口径/器高	口径/器高		口径/器高
67	001		宮沢	OMZ	009	RA004	4	土師器	環	-	D2	5.3	14.0	-	6.0	2.3	2.6	回転ヘラ切?後回転ヘラケズリ再調整	底部付近回転ヘラケズリ	ヘラミガキ,黒色処理	胎土に雲母が少し混じる	
67	002		宮沢	OMZ	009	RA004	25	土師器	環	N区	A	-	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミガキ,赤彩	-	
67	003		宮沢	OMZ	009	RA004	36	土師器	高台付環	W区	A	-	-	-	8.4	-	-	回転糸切+高台	-	ヘラミガキ,黒色処理	胎土に雲母が混じる	
67	004		宮沢	OMZ	009	RA004	51	須恵器	高台付環	S区	A	5.6	13.3	-	7.2	-	-	回転糸切+高台	-	-	-	
67	005		宮沢	OMZ	009	RA004	33	あかやき土器	環	W区	A	4.0	13.6	-	4.8	2.8	3.4	回転糸切無調整	-	-	-	
67	006		宮沢	OMZ	009	RA004	35	あかやき土器	環	W区	A	5.2	13.9	-	4.8	2.9	2.7	回転糸切無調整	-	-	胎土に雲母が多く混じる	
67	007		宮沢	OMZ	009	RA004	32	あかやき土器	環	W区	A	4.9	14.7	-	6.4	2.3	3.0	回転糸切無調整(磨減)	-	-	胎土に雲母が少し混じる	
67	008		宮沢	OMZ	009	RA004	34	あかやき土器	環	W区	A	3.8	13.0	-	5.6	2.3	3.1	回転糸切無調整(磨減)	-	-	全体に磨減	
67	009		宮沢	OMZ	009	RA004	54	あかやき土器	環	S区	A	4.4	13.5	-	6.2	2.2	2.4	回転糸切無調整	-	-	胎土に雲母が多く混じる	
67	010	23	宮沢	OMZ	009	RA004	55	あかやき土器	高台付環	S区	A	6.5	14.9	-	7.2	-	-	回転糸切+高台	-	-	口縁に歪み,胎土に雲母が混じる	
67	011		宮沢	OMZ	009	RA004	27	あかやき土器	高台付環	N区	A	-	-	-	7.0	-	-	回転糸切+高台	-	-	胎土に雲母が少し混じる	
67	012		宮沢	OMZ	009	RA004	28	あかやき土器	高台付環	N区	A	-	-	-	8.4	-	-	高台	-	-	胎土に雲母が多く混じる	
67	013		宮沢	OMZ	009	RA004	47	あかやき土器	壺	W区	A	-	11.6	12.7	-	-	0.9	-	欠損	-	-	胎土に雲母が少し混じる
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	
67	014		宮沢	OMZ	009	RA008	5	土師器	環	SE区	埋土	-	-	-	5.0	-	-	-	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ,黒色処理(黒トビ)	胎土に雲母が混じる,全体に磨減
67	015		宮沢	OMZ	009	RA008	1	土師器	壺	-	床面	8.7	14.2	14.4	-	-	1.0	1.6	欠損	ヘラケズリ	ヘラナデ	胎土に雲母が混じる,外面コグ状炭化物,内面磨減
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高
67	016		宮沢	OMZ	009	RA006	1	あかやき土器	環	土器No.1	床面	5.1	14.0	-	6.2	2.3	2.7	回転糸切無調整	-	-	-	胎土に雲母が多く混じる
67	017		宮沢	OMZ	009	RA006	20	あかやき土器	環	SE区	A	-	-	-	5.4	-	-	-	回転糸切無調整	-	-	-
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高
68	018		宮沢	OMZ	009	RA007	2	土師器	環	カマド焚口	J2	4.7	13.2	-	5.2	2.5	2.8	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母が混じる,外面磨減,口縁部の一部にコグ状炭化物	
68	019	23	宮沢	OMZ	009	RA007	8	土師器	環	煙道b	埋土	4.9	13.6	-	5.7	2.4	2.8	回転糸切後ヘラケズリ再調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母が混じる,口縁部の一部にコグ状炭化物	
68	020		宮沢	OMZ	009	RA007	7	土師器	環	カマド焚口	J	6.7	15.2	-	5.8	2.6	2.3	磨減	体部下縁ヘラミガキ,体部穿孔	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母が少し混じる	
68	021		宮沢	OMZ	009	RA007	18	土師器	環	SE区	埋土	4.6	13.0	-	7.2	1.8	2.8	回転ヘラ切無調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	底部に線刻2本	
68	022		宮沢	OMZ	009	RA007	4	土師器	壺	カマド焚口	J	-	20.5	19.8	-	-	1.0	-	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	ヘラナデ	-
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高
68	023		宮沢	OMZ	009	RA009	21	あかやき土器	環	-	A	4.6	13.6	-	5.2	2.6	3.0	回転糸切無調整	-	-	-	
68	024		宮沢	OMZ	009	RA009	2	あかやき土器	環	カマド周辺	焼土	-	-	-	6.0	-	-	-	回転糸切無調整	-	-	胎土に雲母が少し混じる
68	025		宮沢	OMZ	009	RA009	6	あかやき土器	環	貯蔵穴	焼土	-	-	-	5.8	-	-	-	回転糸切無調整	-	-	胎土に雲母が混じる
68	026		宮沢	OMZ	009	RA009	7	あかやき土器	高台付環	貯蔵穴	焼土	-	-	-	6.8	-	-	-	高台	-	-	胎土に雲母が多く混じる,内面一部にコグ状炭化物
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高
68	027		宮沢	OMZ	009	RG024	6	あかやき土器	高台付環	Rx+80, Ry+200	A	-	-	-	6.4	-	-	-	回転糸切+高台	-	-	-
68	028		宮沢	OMZ	009	RG024	7	あかやき土器	高台付環	Rx+80, Ry+200	A	-	-	-	7.0	-	-	-	菊花文	-	-	-
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高
68	029		宮沢	OMZ	009	遺物包含層	21	あかやき土器	環	Rx+74, Ry+198	検出面	-	-	-	5.0	-	-	-	回転糸切無調整	-	-	全体にやや磨減
形態																						
回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高
68	030	38	宮沢	OMZ	009	遺物包含層	28	瀬戸美濃染付	茶碗	Rx+68, Ry+218	検出面	4.5	7.4	-	3.2	-	-	-	高台	梅花文様	-	18~19世紀
68	031	38	宮沢	OMZ	009	遺物包含層	14	初期伊万里染付	皿	東側	I C	[0.9]	-	-	6.2	-	-	-	高台	-	山水文?	17世紀後半
68	032	38	宮沢	OMZ	009	遺物包含層	18	肥前染付	輪花皿	東側	I C	2.6	10	-	5.6	-	-	-	高台	-	山水文	18~19世紀
68	033	38	宮沢	OMZ	009	遺物包含層	30	花古白磁	角皿	Rx+68, Ry+218	検出面	2.4	-	-	3.8	-	-	-	高台	-	開刻幾何学文	19世紀

第32表 本宮熊堂B遺跡第23次調査出土土器観察表

回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態			出土			寸法(cm)*完形・復元のみ				底部切離等	器面調整		墨書等・特徴	
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/器高	口径/器高	口径/器高		口径/器高	口径/器高		口径/器高
69	034	46	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	37	土師器	環	Q8-S14	B	-	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミガキ,黒色処理(黒トビ)	線刻2本,胎土に雲母が混じる	
69	035	21	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	29	土師器	環	Q8-T14	C	4.9	14.0	-	5.4	2.6	2.9	回転糸切無調整(磨減)	-	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母が混じる,口縁にやや歪み	
69	036		本宮熊堂B	OKO	023	RA082	46	土師器	環	Q8-T14	B	4.9	14.9	-	6.2	2.4	3.0	回転糸切無調整,歪み	-	ヘラミガキ, 黒色処理	外面コグ状炭化物,胎土に雲母が混じる	
69	037		本宮熊堂B	OKO	023	RA082	14	土師器	環	Q8-S14	J	5.0	14.0	-	5.8	2.4	2.8	回転糸切無調整(やや磨減)	-	ヘラミガキ, 黒色処理	全体にやや磨減	
69	038	21	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	8	土師器	環	煙道ベルト①	J4	4.9	14.1	-	5.8	2.4	2.9	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ(磨減)	口縁に歪み	
69	039	21	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	26	土師器	高台付環	Q8-S14	C	6.2	15.0	-	9.0	1.7	2.4	菊花紋	-	ヘラミガキ, 黒色処理(黒トビ)	全体に磨減	
69	040	21	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	16	あかやき土器	環	Q8-R14	C	4.5	14.2	-	6.0	2.4	3.2	回転糸切無調整	-	-	-	
69	041	21	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	7	あかやき土器	環	カマド支脚	-	4.8	14.3	-	5.4	2.6	3.0	回転糸切無調整	-	-	-	
69	042		本宮熊堂B	OKO	023	RA082	40	あかやき土器	高台付環	Q8-S14	B	-	-	-	8.0	-	-	-	回転糸切+高台	-	-	全体にやや磨減
69	043		本宮熊堂B	OKO	023	RA082	17	土師器	小型壺	Q8-R14	C	8.1	8.2	8.5	6.0	1.0	1.0	1.0	木直置	ヘラナデ	ヘラナデ	内外面コグ状炭化物
69	044	22	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	18	土師器	壺	Q8-R14	C	14.4	13.9	14.6	11.0	1.0	1.0	1.0	ヘラケズリ	口縁部ナデ,体部ヘラケズリ	口縁部ナデ,体部ヘラケズリ	外面スス状炭化物
69	045	22	本宮熊堂B	OKO	023	RA082	38	土師器	壺	Q8-S14	B	32.5	22.5	22.1	12.2	1.0	0.7	0.7	一部ヘラケズリ	口縁部ナデ,体部ヘラケズリ	口縁部ヘラナデ,体部ヘラナデ	内面上部やや磨減,外面体部下コグ状炭化物







第35表 野古A遺跡第25次調査出土土器観察表

図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態			出土		寸法(cm)*完形・復元のみ					底部切磨等	器面調整		墨書等・特徴
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高	口径/口径	口径/口径	口径/口径		口径/口径	口径/口径	
78	118	24	野古A	ONK	025	RA072	1	あかやき土器	環	土器No.1	床面	5.1	14.3	-	5.0	2.9	2.8	回転糸切無調整	-	-	口縁部の一部にコゲ状炭化物
78	119		野古A	ONK	025	RA073	29	土師器	環	SE区	B	-	-	-	6.0	/	/	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ,黒色処理	胎土に雲母が混じる
78	120		野古A	ONK	025	RA073	30	土師器	環	SE区	B	-	-	-	7.0	/	/	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ,黒色処理	
78	121		野古A	ONK	025	RA073	31	あかやき土器	環	ベルト③	A	4.3	14.4	-	5.6	2.6	3.3	回転糸切無調整	-	-	内面やや摩減
78	122		野古A	ONK	025	RA073	15	あかやき土器	環	土器No.6	床面	5.3	14.5	-	4.6	3.2	2.7	回転糸切無調整	-	-	
78	123		野古A	ONK	025	RA073	4	あかやき土器	環	カマド	J	5.0	14.8	-	5.6	2.6	3.0	回転糸切無調整	-	-	
78	124		野古A	ONK	025	RA073	12	あかやき土器	環	土器No.5	床面	5.3	14.5	-	5.6	2.6	2.7	回転糸切無調整	-	-	
78	125		野古A	ONK	025	RA073	7	あかやき土器	環	煙道土器No.1	底面	4.4	14.0	-	6.4	2.2	3.2	回転糸切無調整,有孔	-	-	口縁部の一部赤彩
78	126		野古A	ONK	025	RA073	8	土師器	壺	煙道土器No.1	底面	-	25.2	22.5	-	1.1	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ+ヘラミガキ,体部ヘラミガキ	内面磨減,外面やや摩減,外面体部上半コゲ状炭化物
78	127		野古A	ONK	025	RA073	9	土師器	壺	土器No.2	床面	-	17.3	18.2	-	1.0	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	
78	128	25	野古A	ONK	025	RA073	10	土師器	壺	土器No.4	床面	-	19.1	20.7	-	0.9	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	体部ヘラナデ	
78	129		野古A	ONK	025	RA073	11	あかやき土器	壺	土器No.4	床面	-	18.0	17.0	-	1.1	/	欠損	-	-	胎土に雲母少し混じる
79	130	25	野古A	ONK	025	RA074	42	土師器	環	SE区	D	4.5	14.0	-	-	/	3.1	非口クロ,丸底	ヘラミガキ,口縁部黒色処理	ヘラミガキ,黒色処理	外面やや摩減
79	131		野古A	ONK	025	RA074	20	土師器	環	NW区,カマド	J	-	20.4	-	-	/	/	非口クロ,丸底か	沈線状有段,ヘラナデ,口縁部黒色処理	ヘラミガキ,黒色処理	全体にや摩減
79	132		野古A	ONK	025	RA074	62	土師器	高台付環	ベルト①,東側	A2	-	-	-	6.8	/	/	非口クロ,柱状高台	-	ヘラミガキ,黒色処理	台部
79	133		野古A	ONK	025	RA074	79	土師器	球脚壺	-	A	23.5	20.2	23.9	8.0	0.8	0.9	木葉痕	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	内面 上部コゲ状炭化物,全体に摩減
79	134		野古A	ONK	025	RA074	13	土師器	壺	カマド左袖筒	床面	-	19.6	17.5	-	1.1	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	内面摩減
80	135		野古A	ONK	025	RA074	18	土師器	壺	カマド	火焼面	-	23.4	21.6	-	1.1	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	胎土に雲母が混じる
80	136		野古A	ONK	025	RA074	31	土師器	壺	ベルト③北	D2	-	21.2	-	-	/	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	外面 スス状炭化物,内面口縁部コゲ状炭化物
80	137		野古A	ONK	025	RA074	22	土師器	壺	NW区,カマド	J	-	19.1	17.6	-	1.1	/	欠損	口縁部ナデ(磨減),体部ヘラナデ	ヘラナデ	
80	138		野古A	ONK	025	RA074	43	土師器	壺	SE区	D	26.5	18.4	21.8	-	0.8	0.7	-	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ(磨減)	胎土に雲母混じる
80	139		野古A	ONK	025	RA074	8	土師器	壺	NW区	床面	23.5	15.2	16.9	7.7	0.9	0.6	-	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	ヘラナデ(磨減)	胎土に雲母混じる
80	140		野古A	ONK	025	RA074	9	土師器	壺	NW区	床面	-	17.2	17.2	-	1.0	/	欠損	ヘラナデ	ヘラナデ	
81	141		野古A	ONK	025	RA074	17	土師器	小空壺	カマド	火焼面	-	15.4	14.1	-	1.1	/	欠損	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	胎土に雲母が混じる
81	142		野古A	ONK	025	RA074	78	土師器	鉢	-	A	9.3	13.4	-	5.4	/	14	縹刻2本	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	口縁部ナデ,体部ヘラナデ	
81	143		野古A	ONK	025	RA075	5	土師器	環	ベルト②	A2	-	-	-	6.6	/	/	回転糸切無調整(磨減)	-	ヘラミガキ,黒色処理(一部黒トビ)	外面摩減
81	144		野古A	ONK	025	RA075	9	あかやき土器	環	ベルト②	A1	5.1	14.8	-	5.0	3.0	2.9	回転糸切無調整	-	-	全体に摩減
81	145		野古A	ONK	025	RA075	12	あかやき土器	環	カマド付近	A	-	-	-	5.4	/	/	回転糸切無調整	-	-	
81	146		野古A	ONK	025	RA075	2	あかやき土器	壺	北側	床面	-	19.1	20.2	-	0.9	/	欠損	-	-	
81	147		野古A	ONK	025	RD111	3	土師器	環	-	A	3.5	11.8	-	-	/	34	非口クロ,丸底	有段ヘラミガキ	ヘラミガキ,黒色処理	

第36表 野古A遺跡第25次調査出土遺物観察表

図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態			出土		寸法(m)		形状	特徴
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径/器高		
82	148		野古A	ONK	025	RA074	1	土製品	ミニチュア土器	カマド	火焼面	4.2	1.6	尖底状	手づくね, 白色粘土	

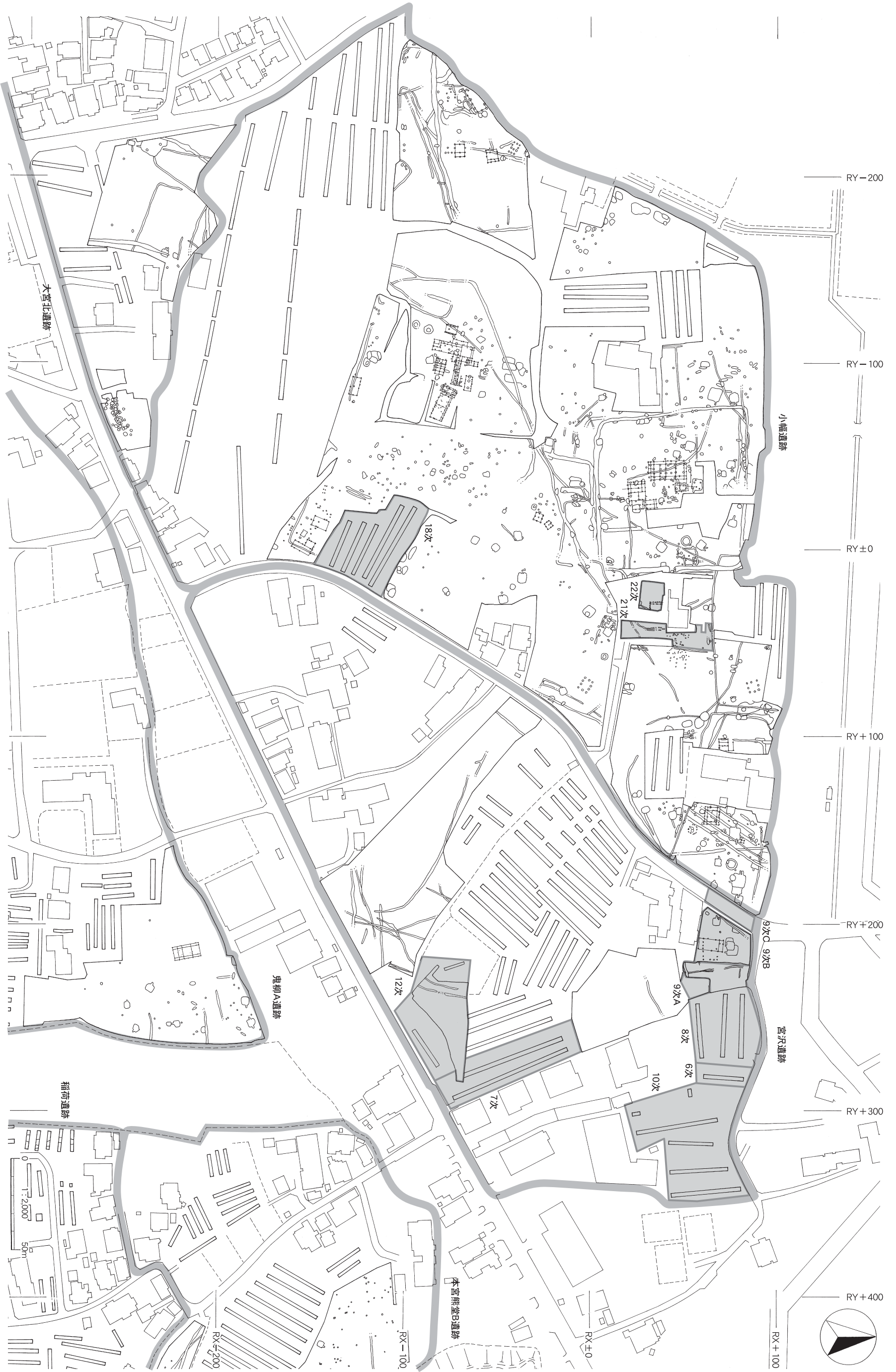


# 遺 構 図 版



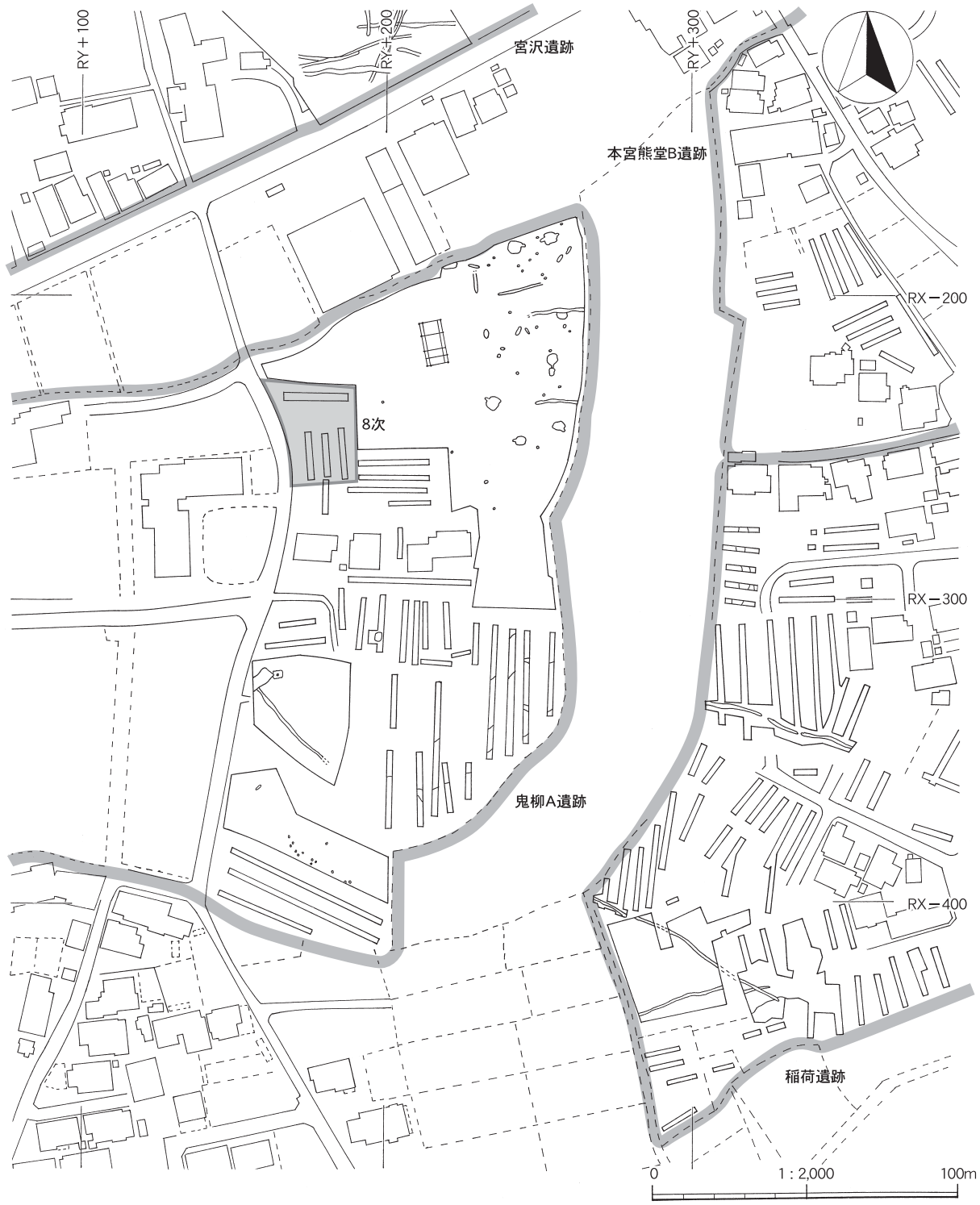


第1図 大宮北遺跡全体図



第2図 小幡遺跡・宮沢遺跡 全体図



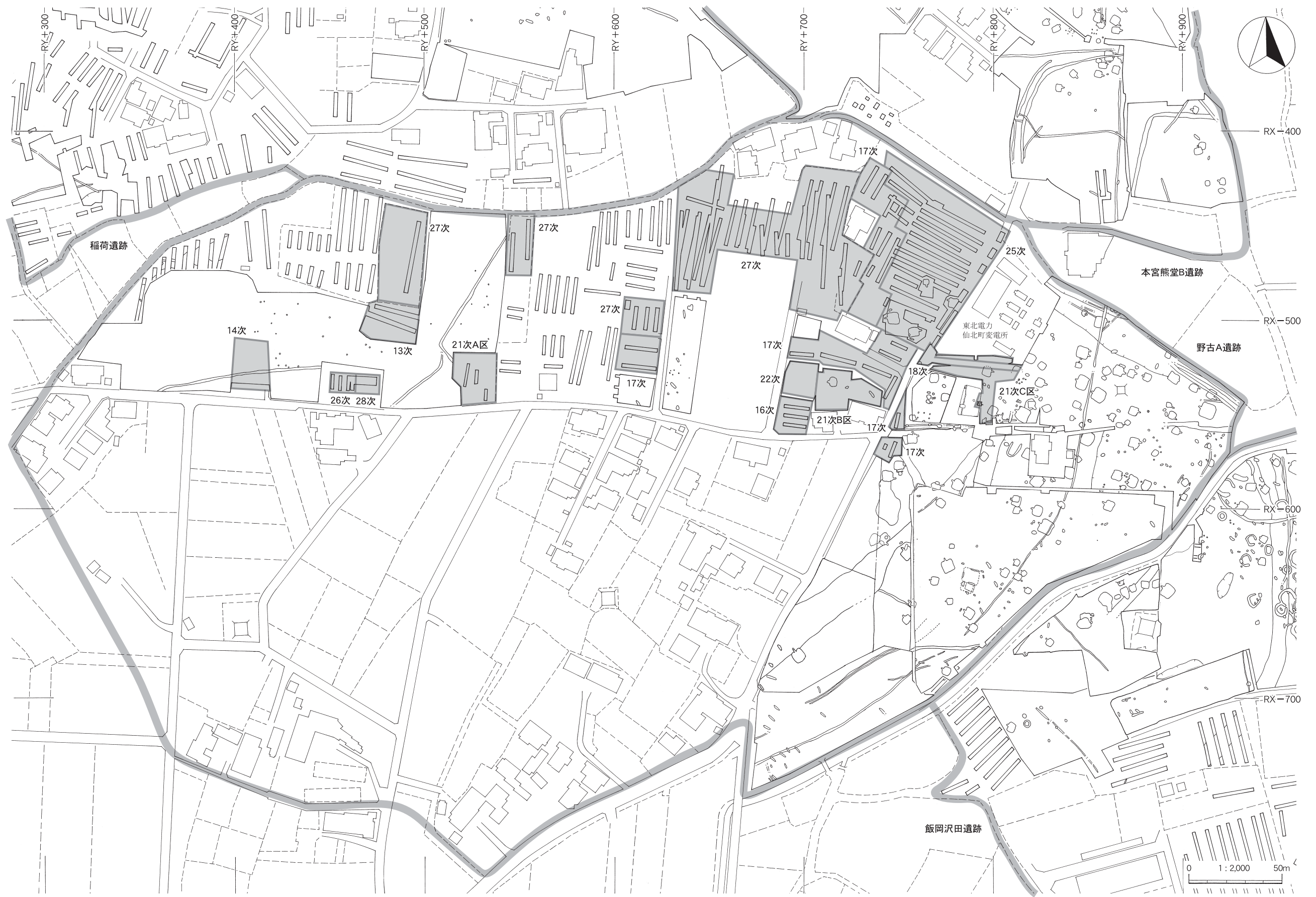


第3図 鬼柳A遺跡全体図

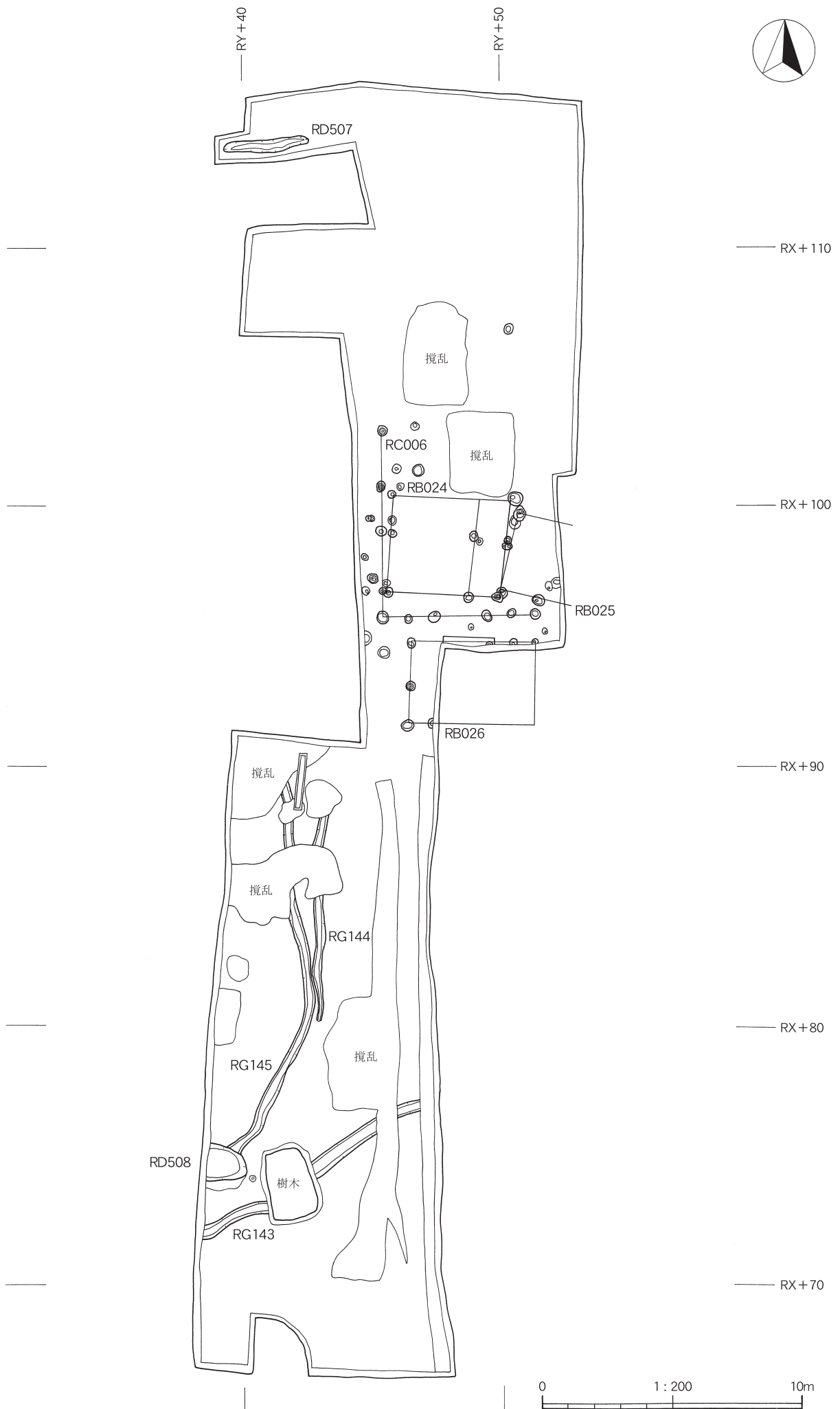




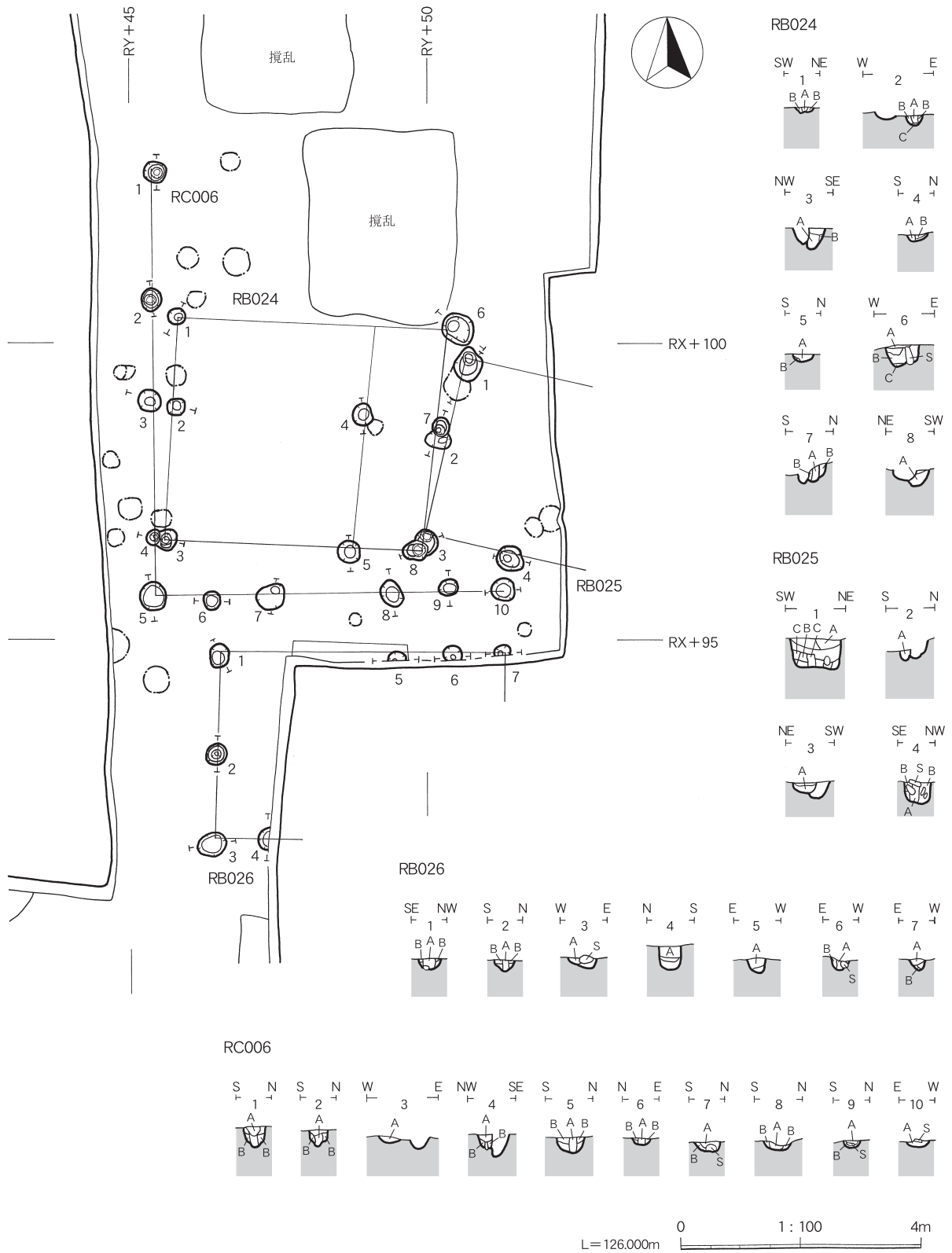
第4図 稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡 全体図



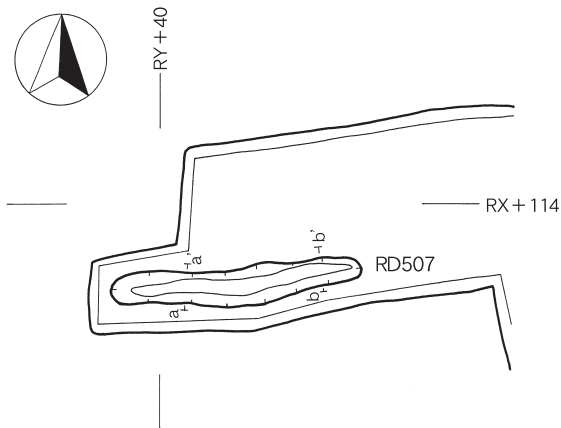
第5図 野古A遺跡全体図



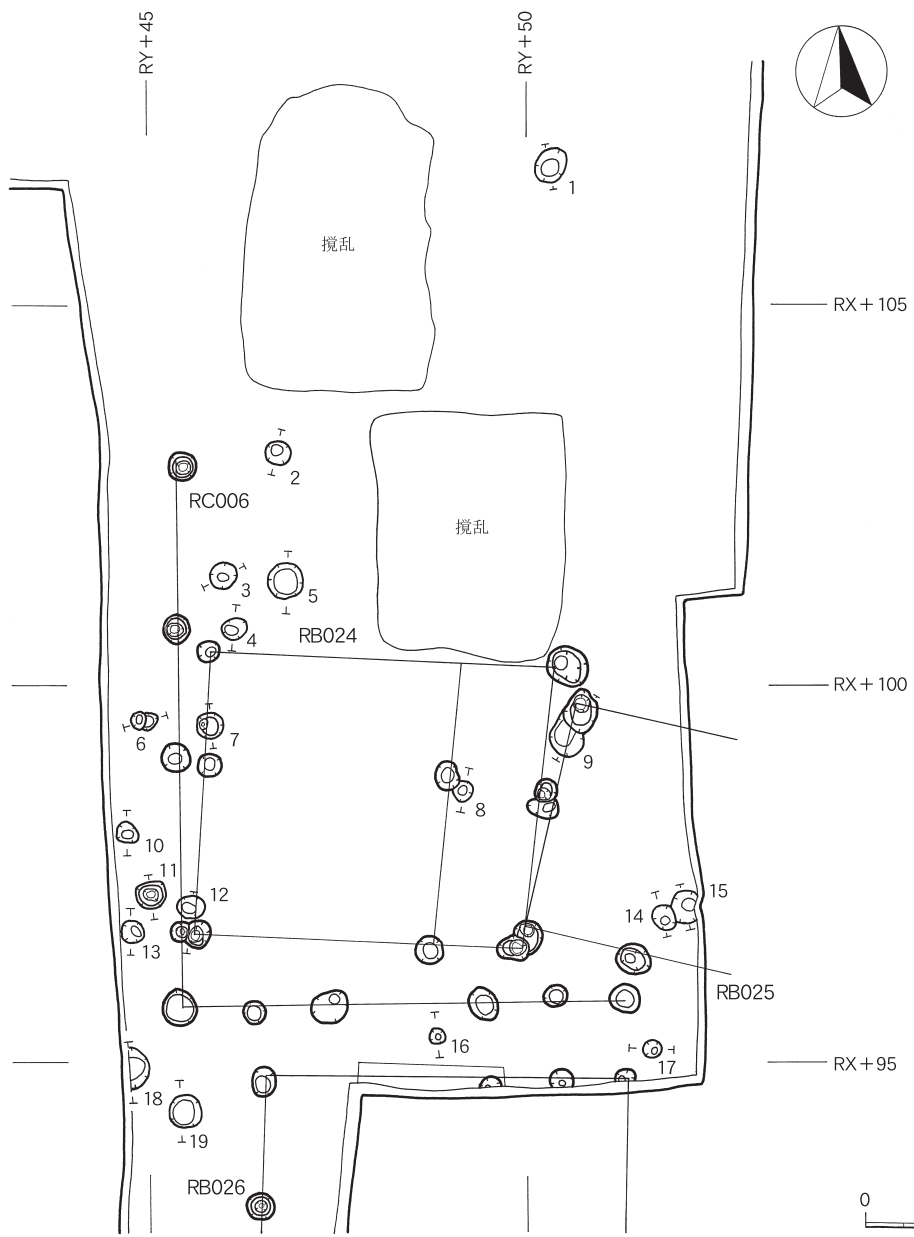
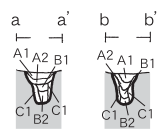
第6図 小幅遺跡第21次調査区全体図



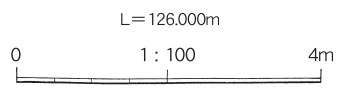
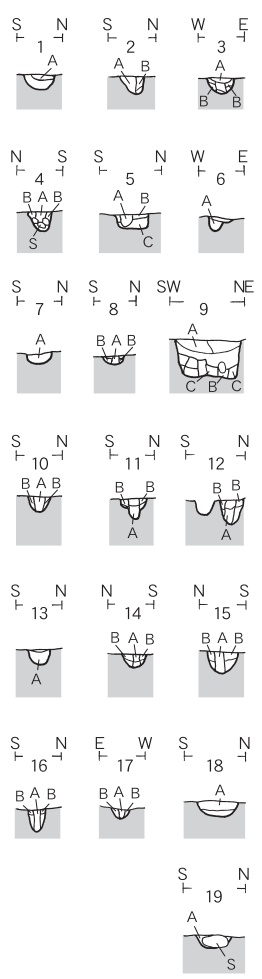
第7図 小幅遺跡第21次調査 RB024~026掘立柱建物跡, RC006掘立柱列跡



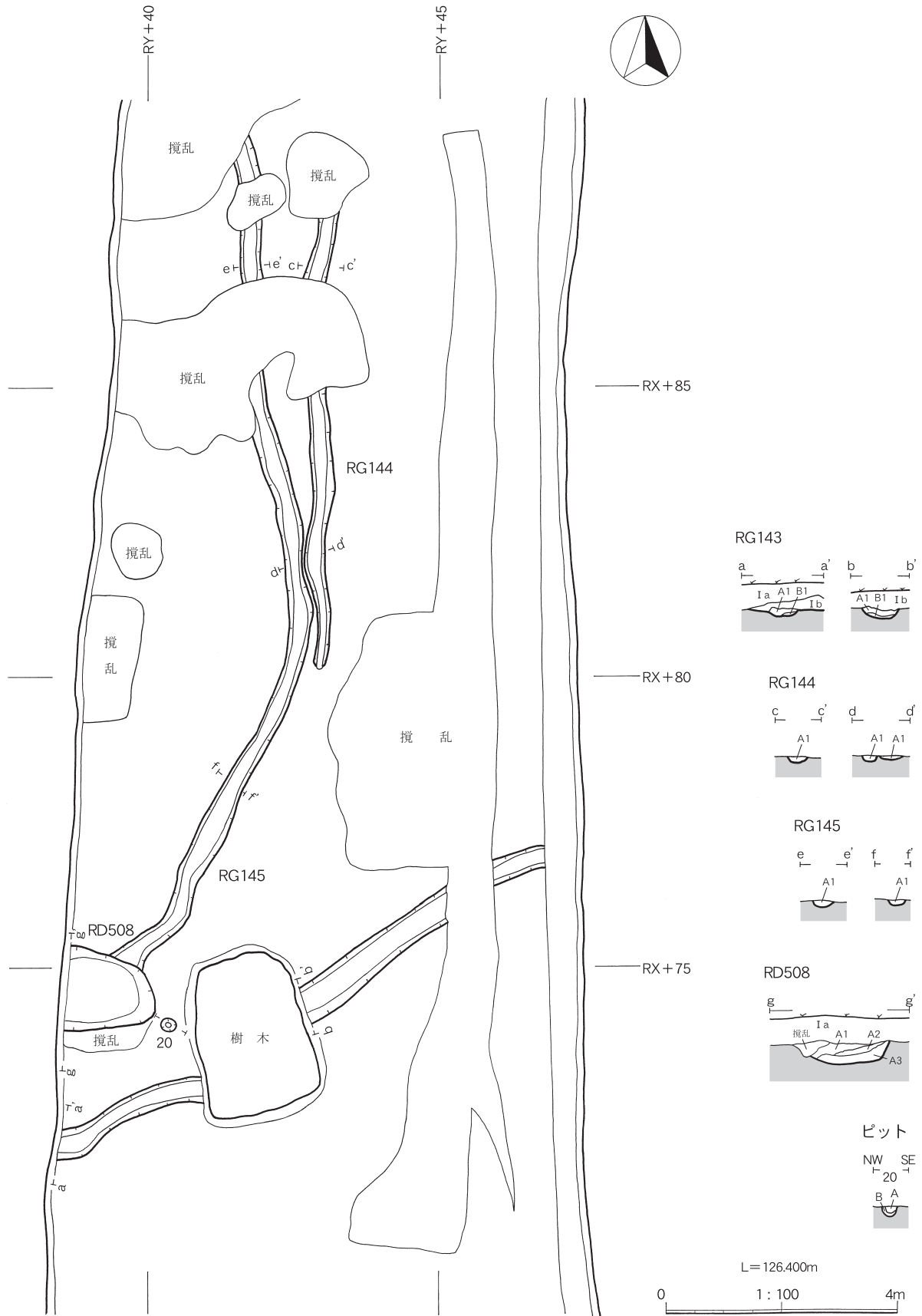
RD507



ピット

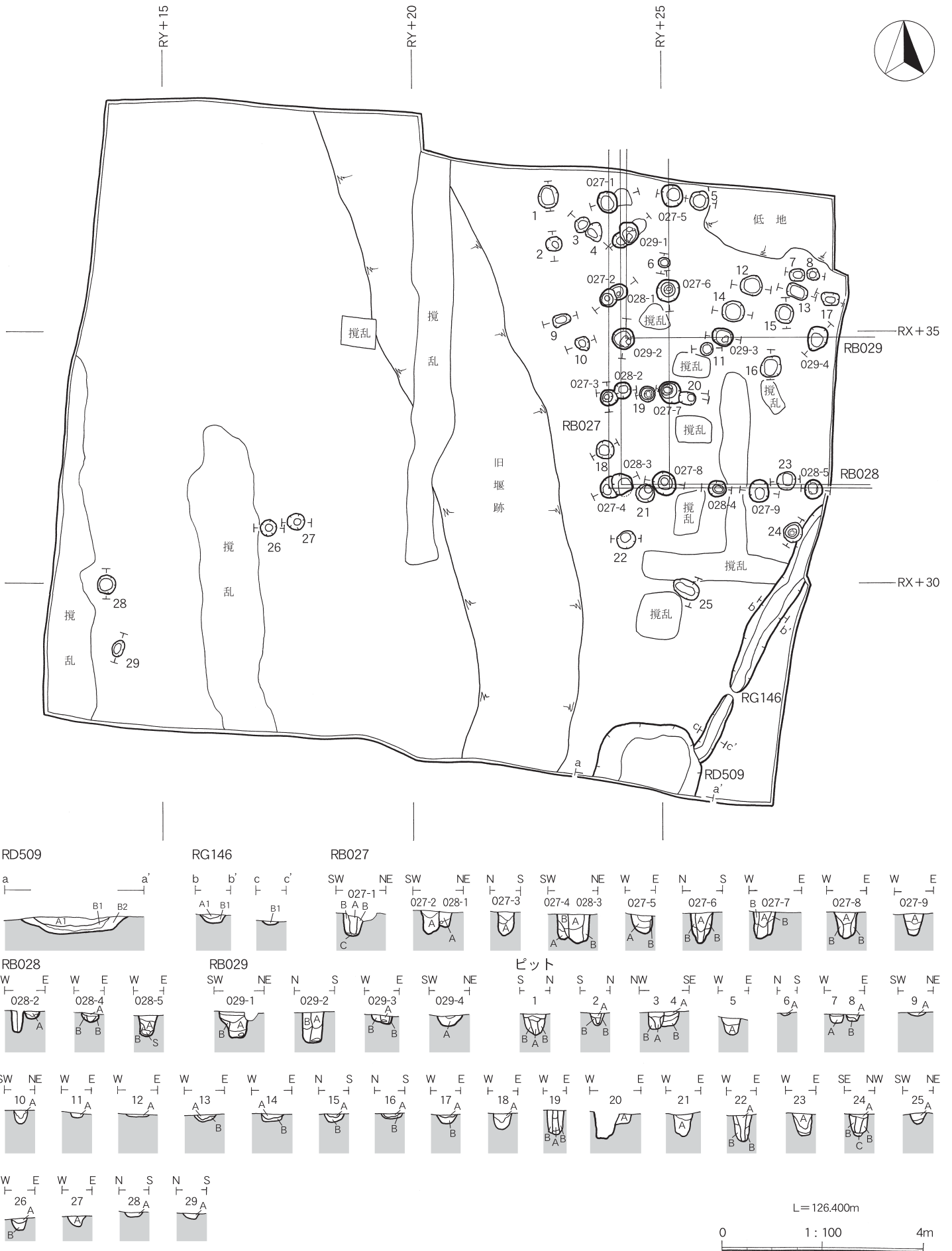


第8図 小幡遺跡第21次調査 RD507陥し穴跡, ピット



第9図 小幡遺跡第21次調査 RG143~145溝跡, RD508土坑, ピット





第10図 小幅遺跡第22次調査 RB027~029掘立柱建物跡, RD509土坑, RG146溝跡, ピット

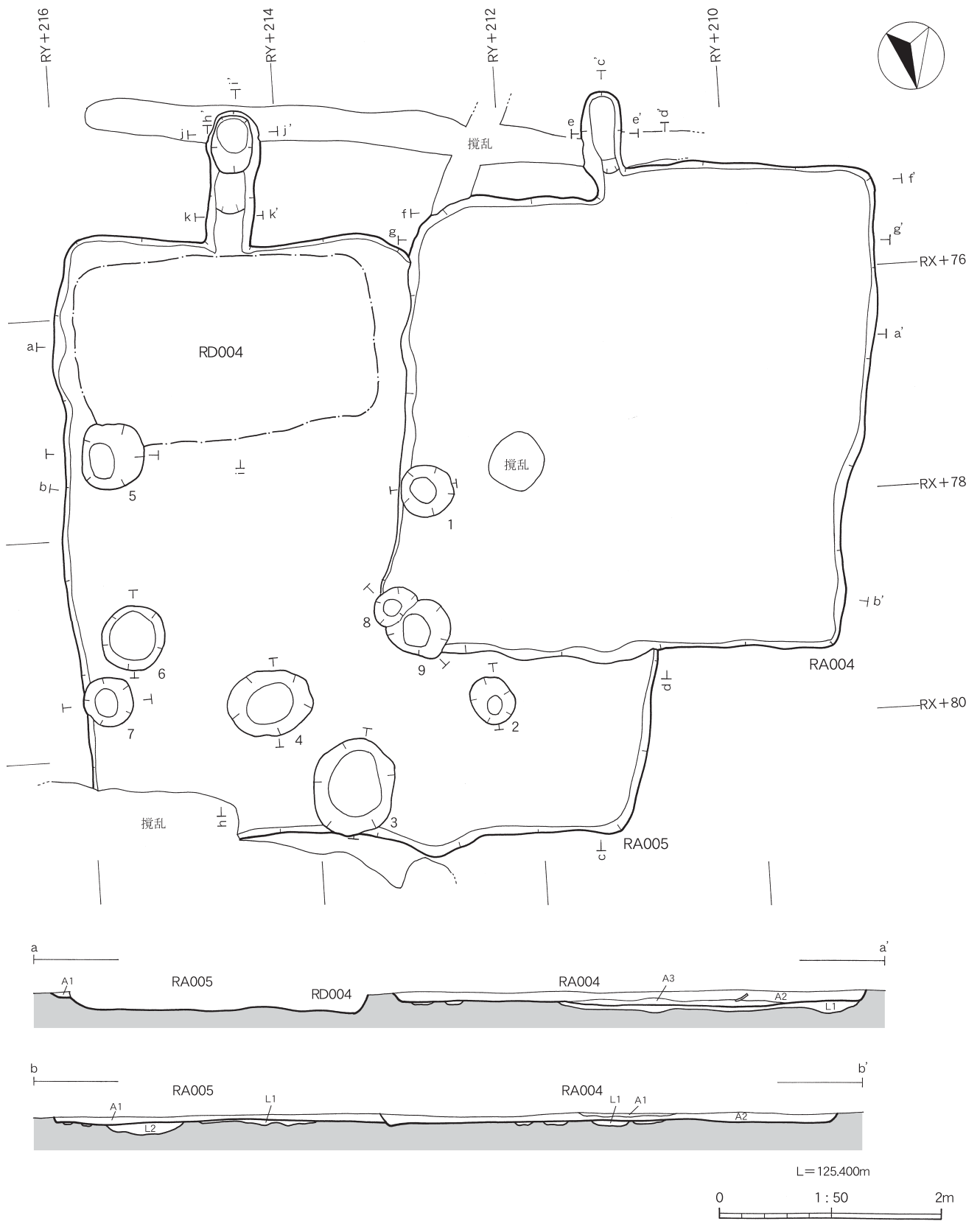




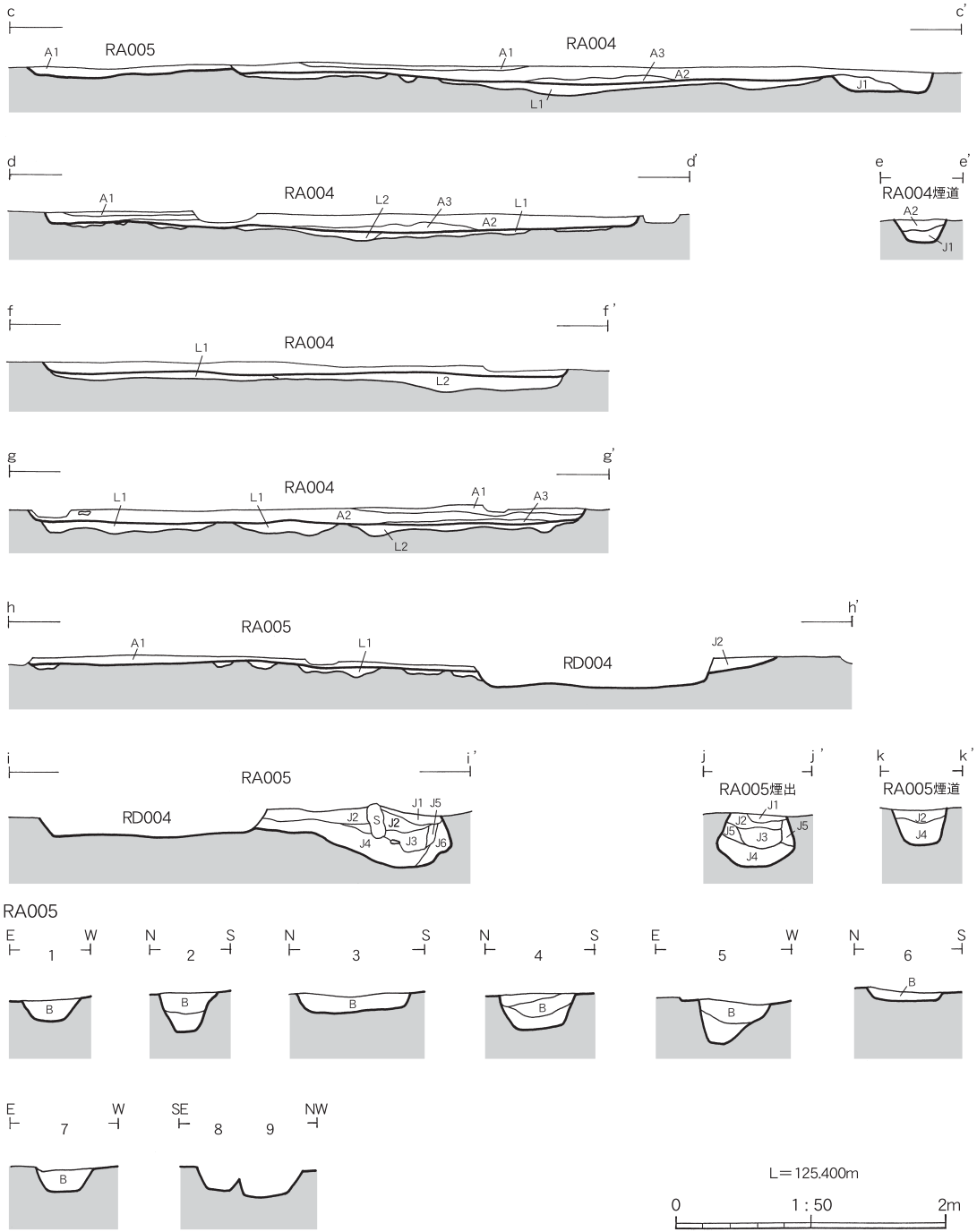
第12図 宮沢遺跡第8次調査 RG019~022溝跡

第13図 宮沢遺跡第9次調査区全体図

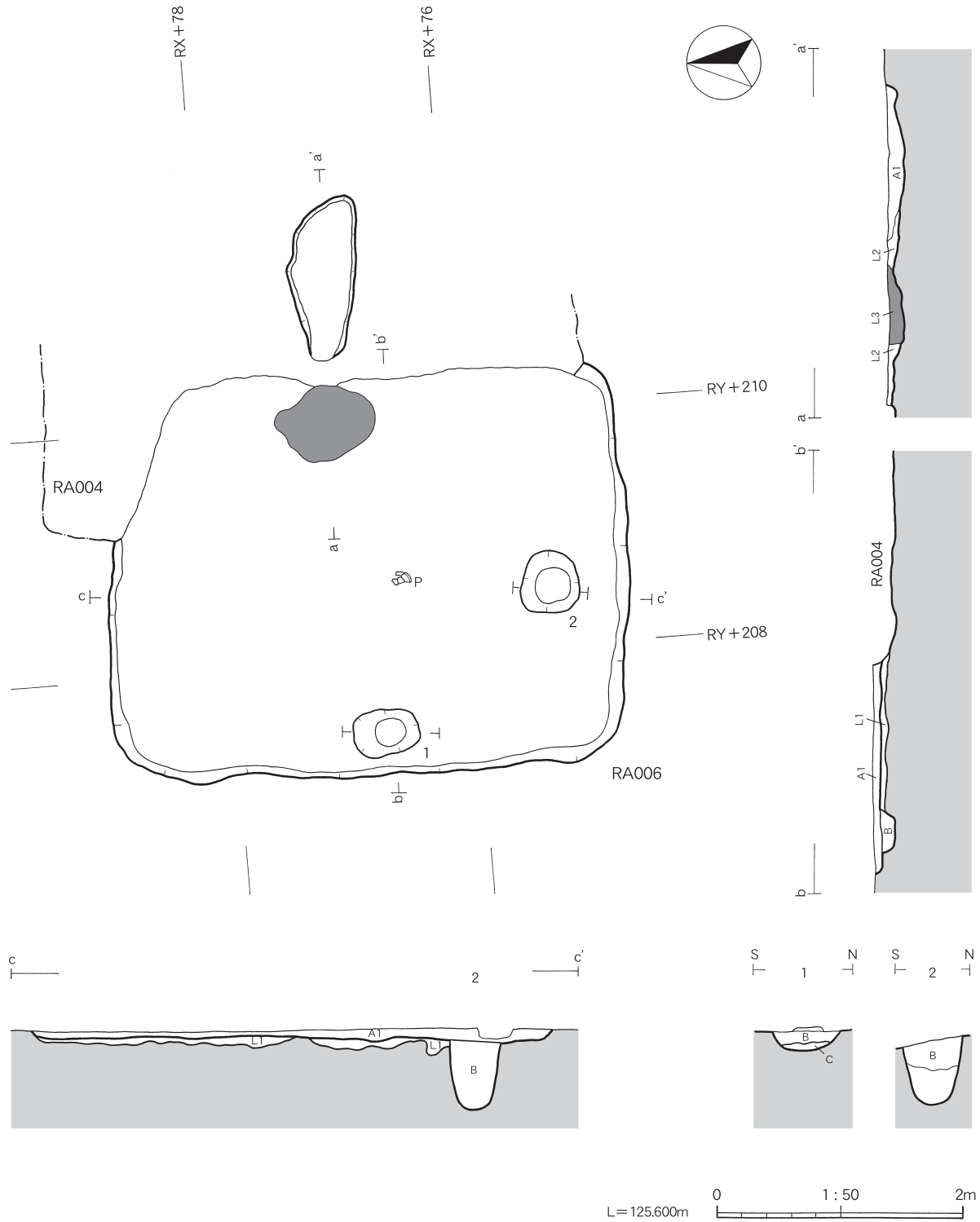




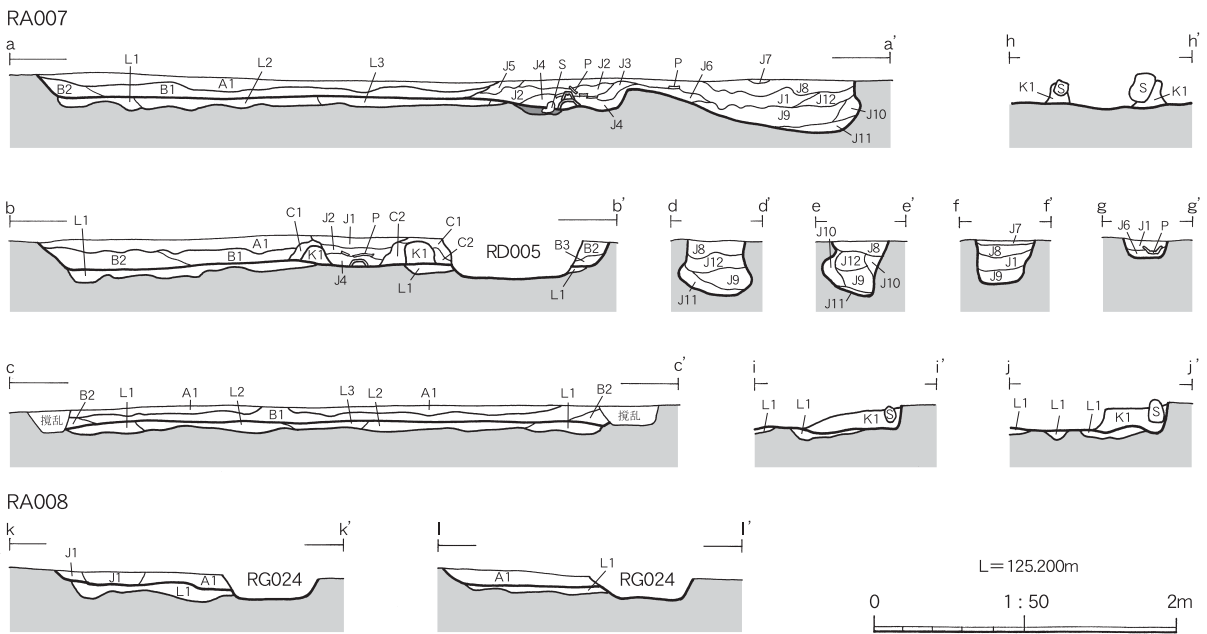
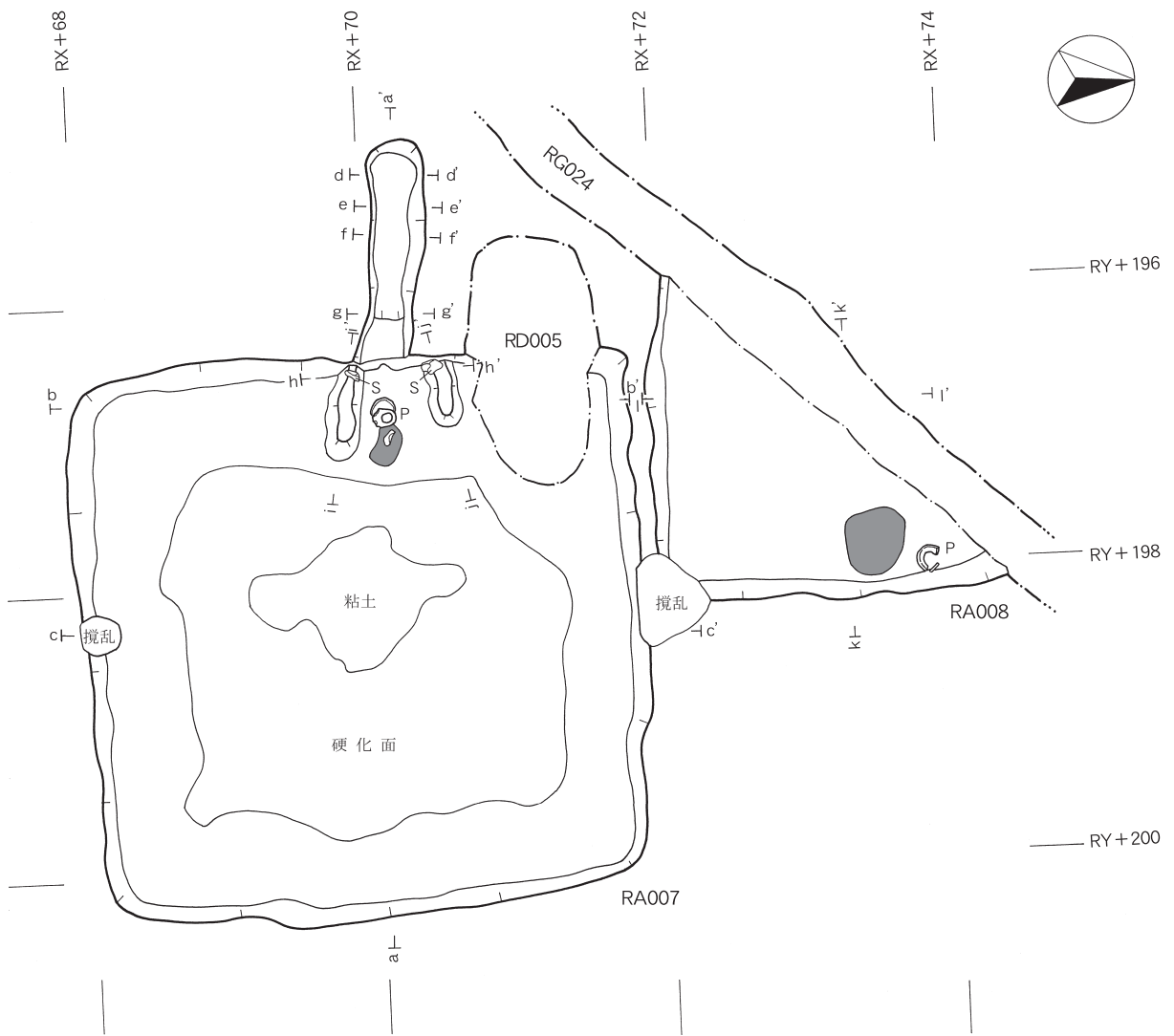
第14図 宮沢遺跡第9次調査 RA004・005竪穴住居跡(1)



第15図 宮沢遺跡第9次調査 RA004・005竪穴住居跡(2)

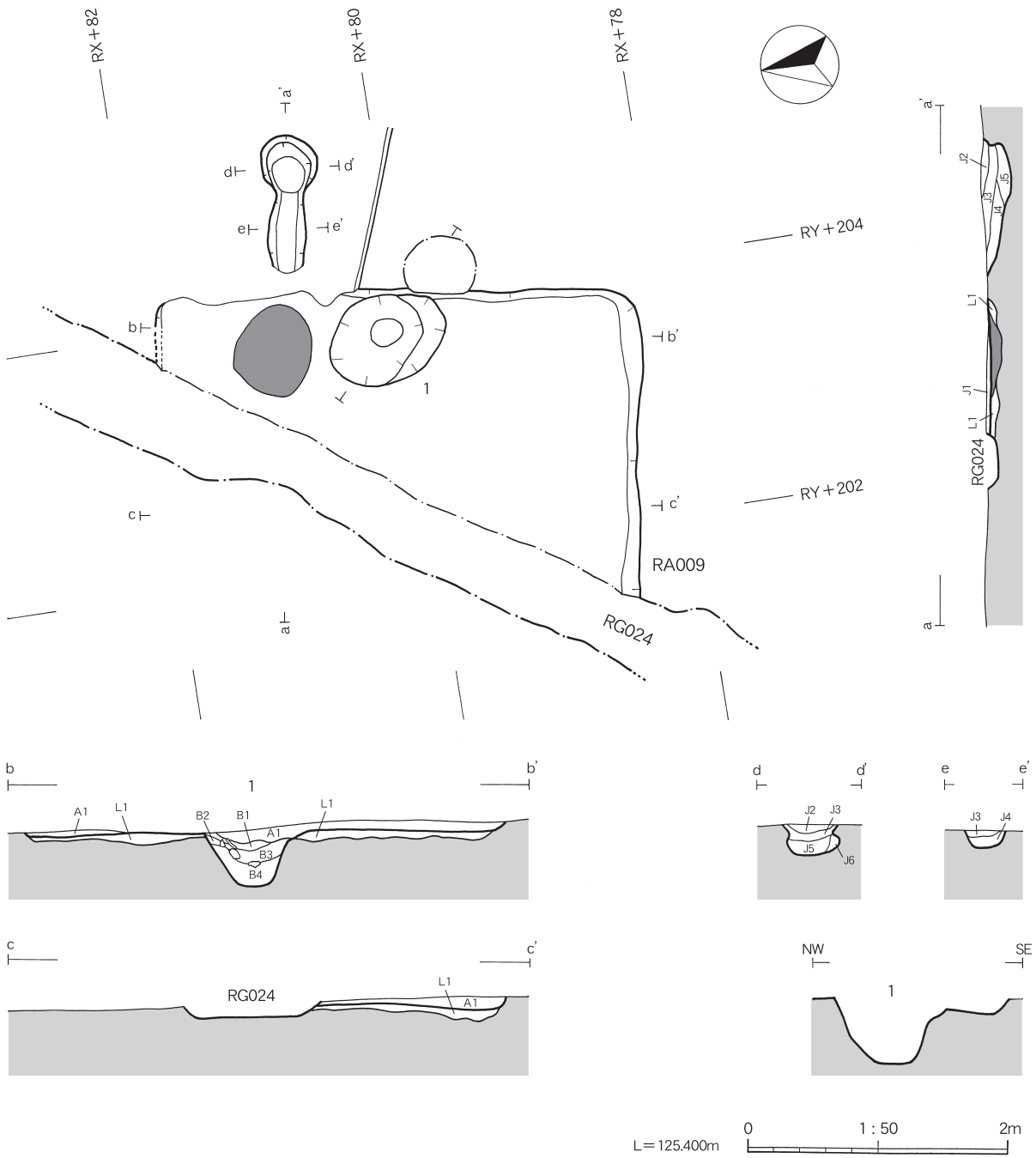


第16図 宮沢遺跡第9次調査 RA006竪穴住居跡

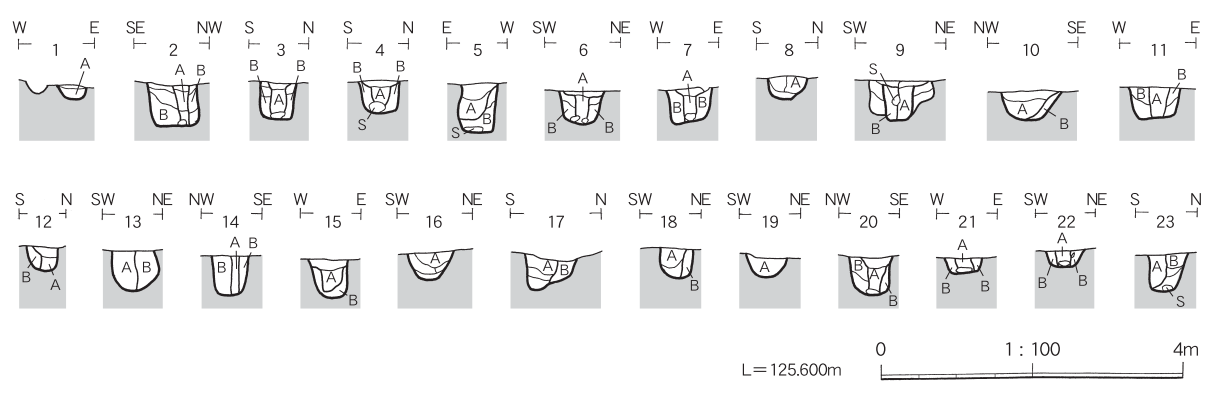
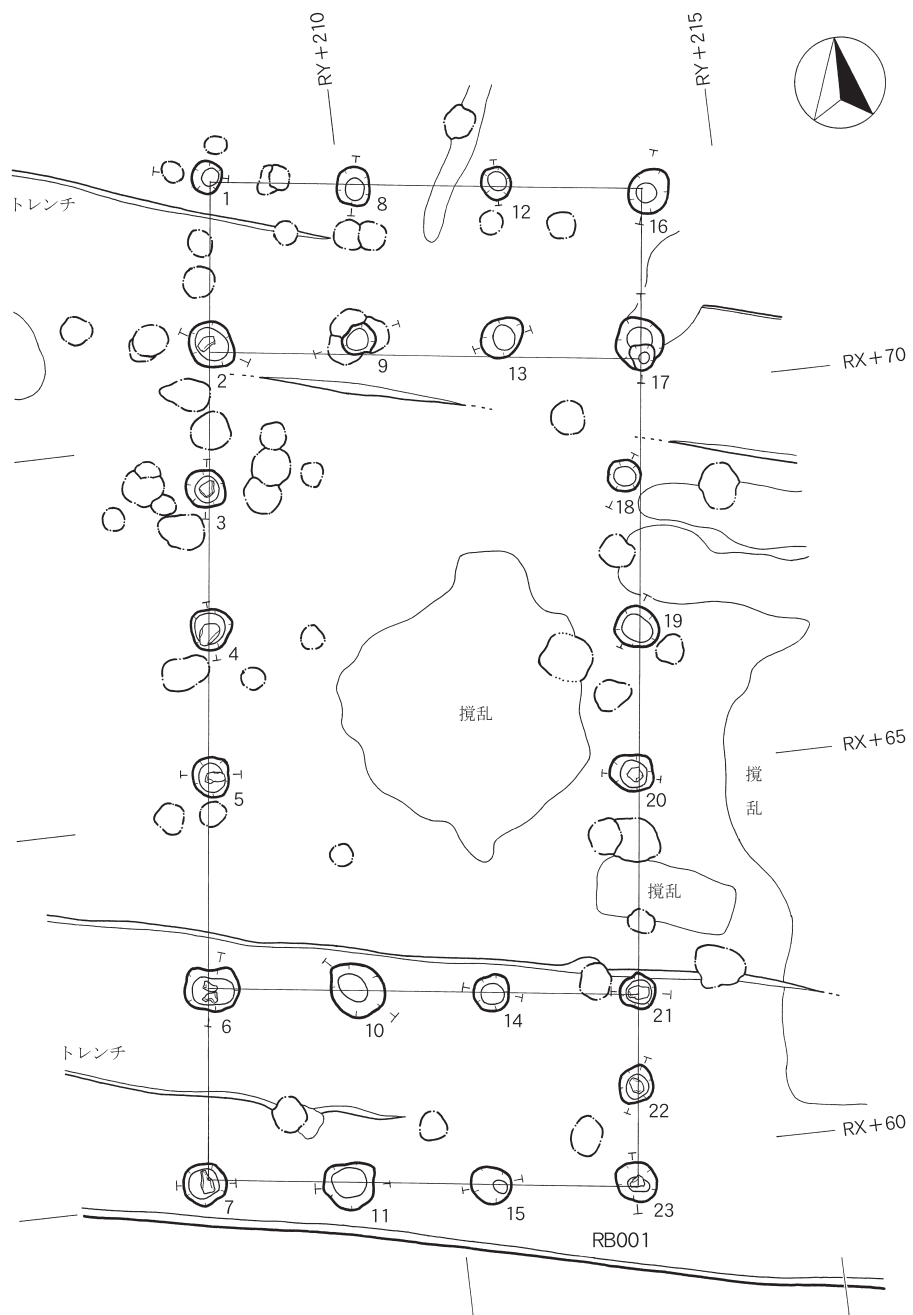


第17図 宮沢遺跡第9次調査 RA007・008竪穴住居跡

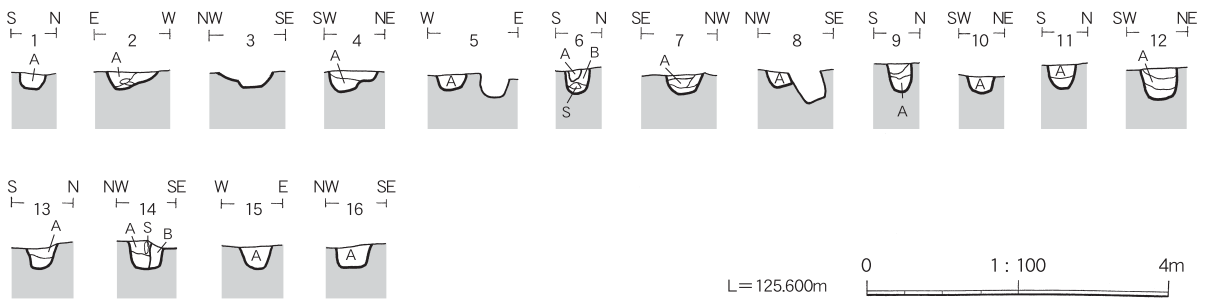
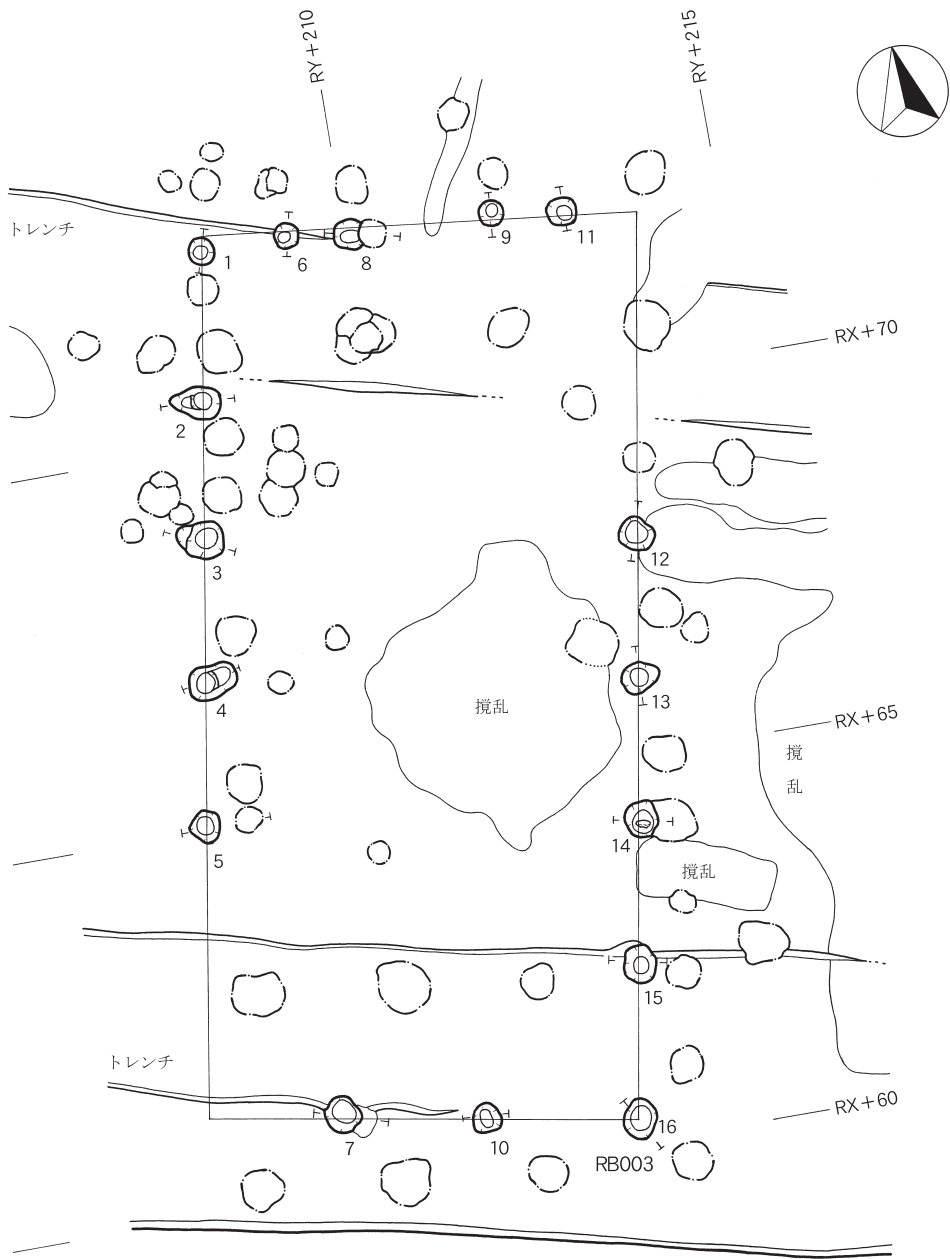




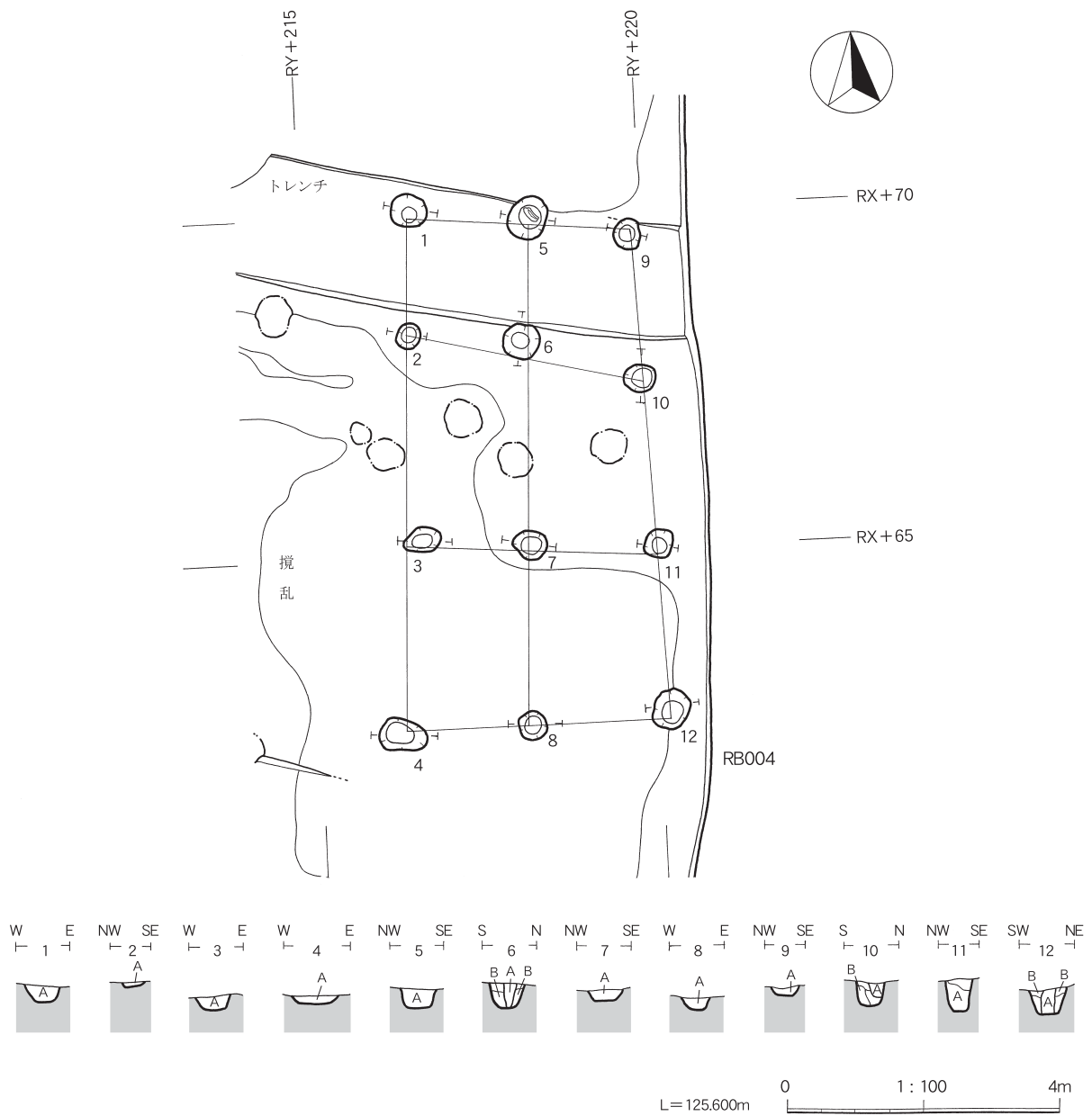
第18図 宮沢遺跡第9次調査 RA009竪穴住居跡



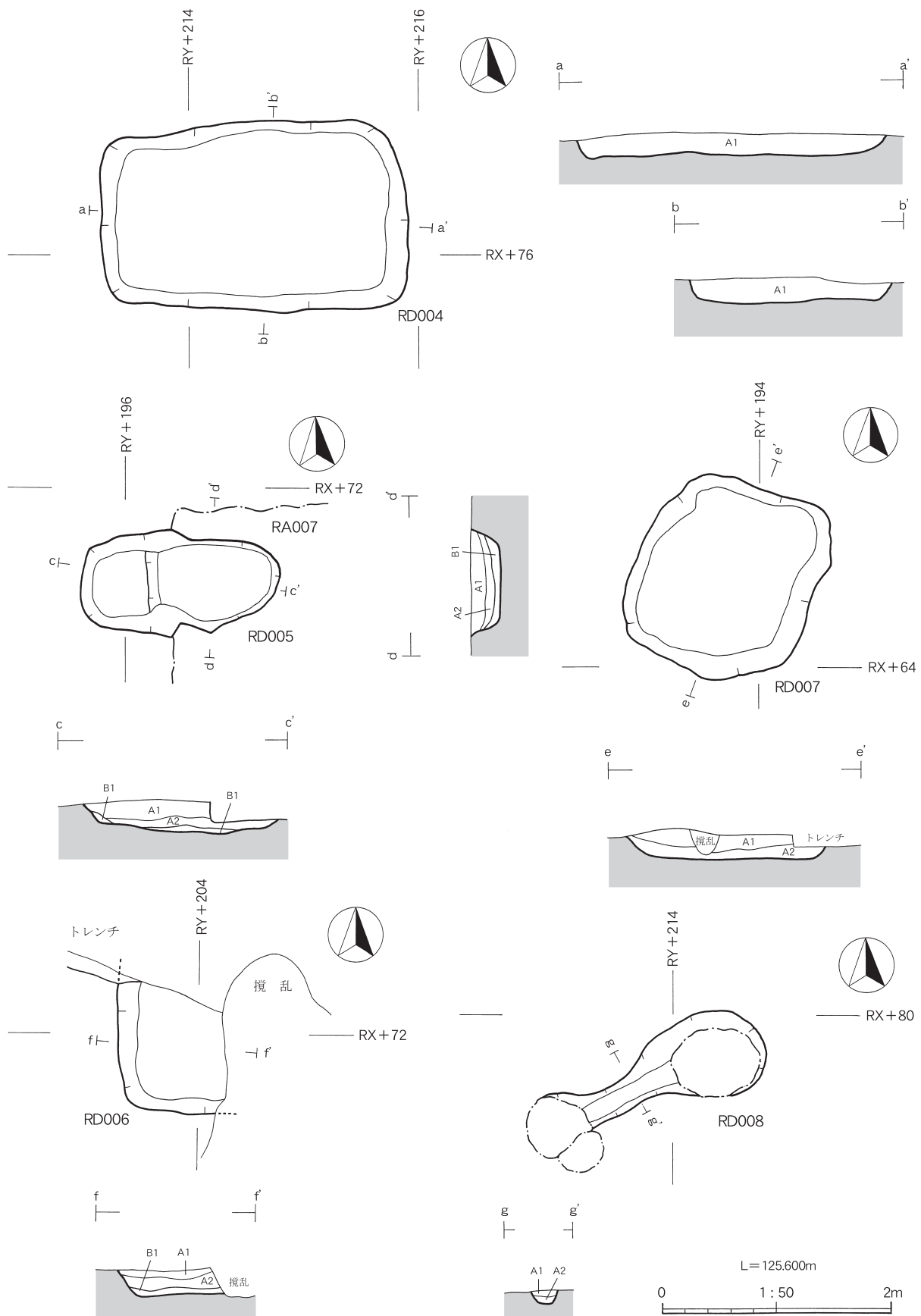
第19図 宮沢遺跡第9次調査 RB001堀立柱建物跡



第20図 宮沢遺跡第9次調査 RBO03堀立柱建物跡

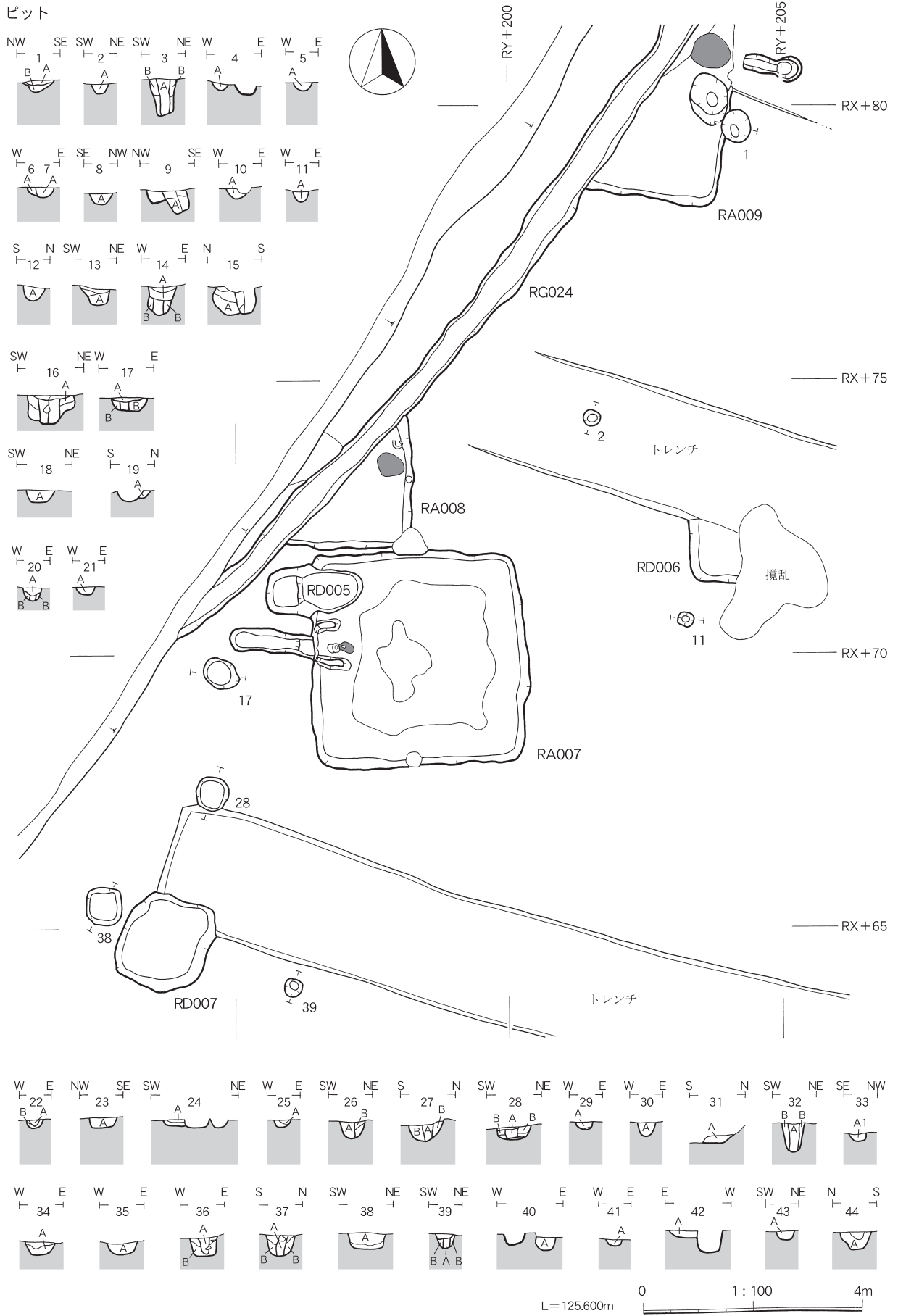


第21図 宮沢遺跡第9次調査 RB004堀立柱建物跡



第22図 宮沢遺跡第9次調査 RD004~008土坑

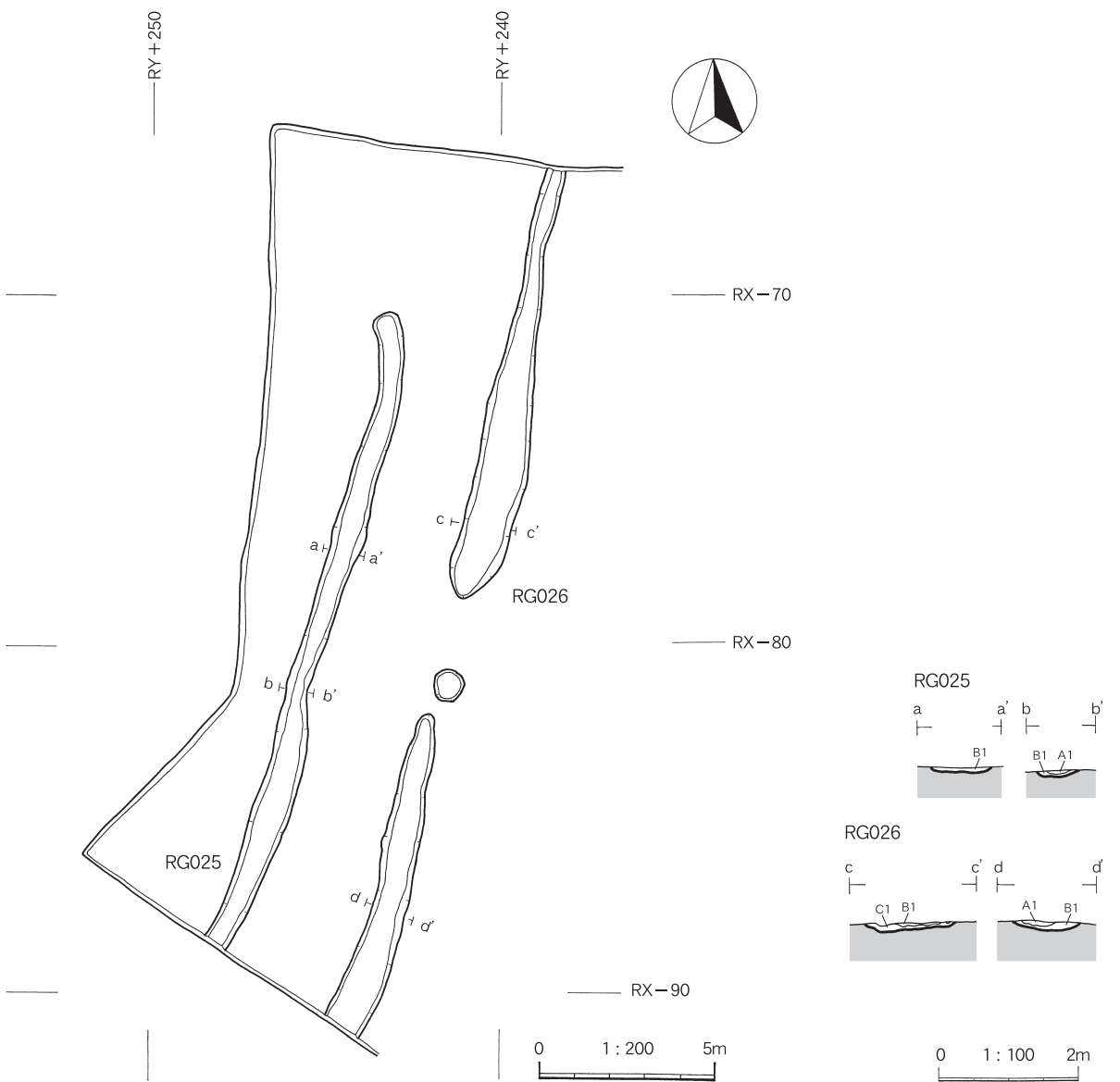
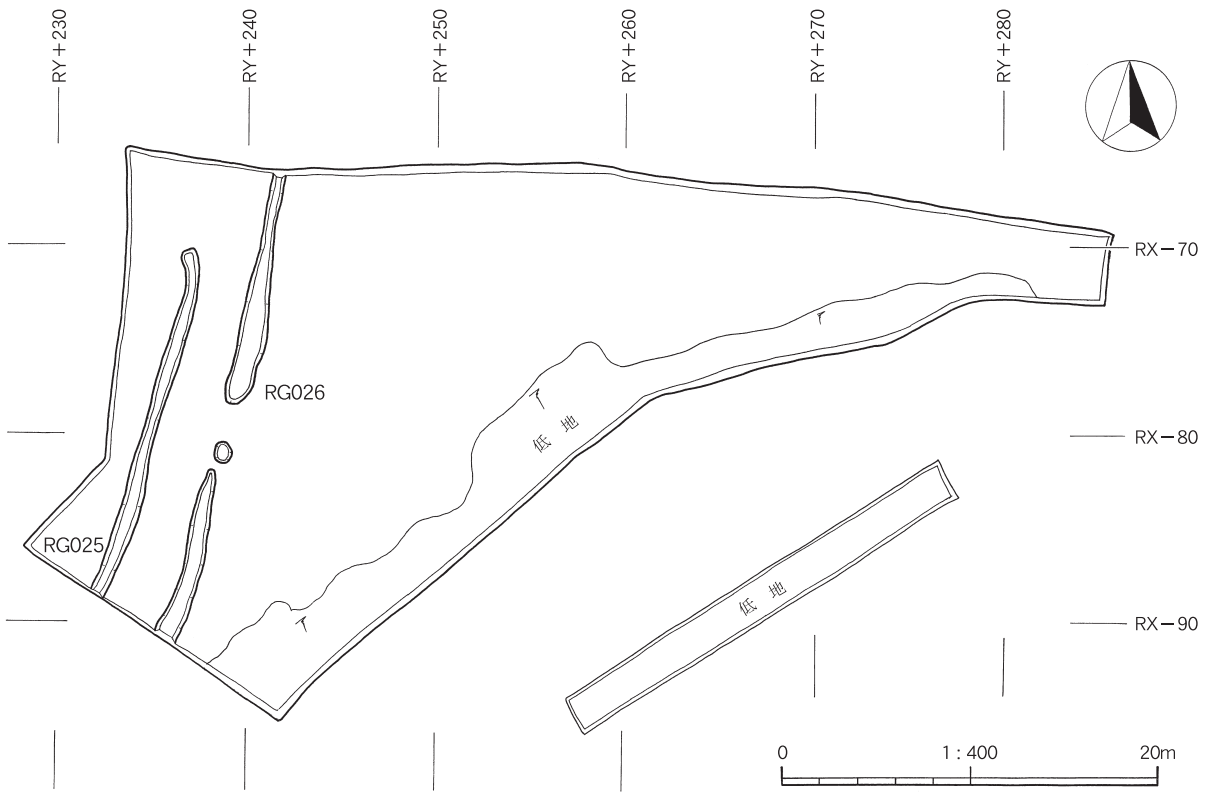
ピット



第23図 宮沢遺跡第9次調査 RG024溝跡, ピット



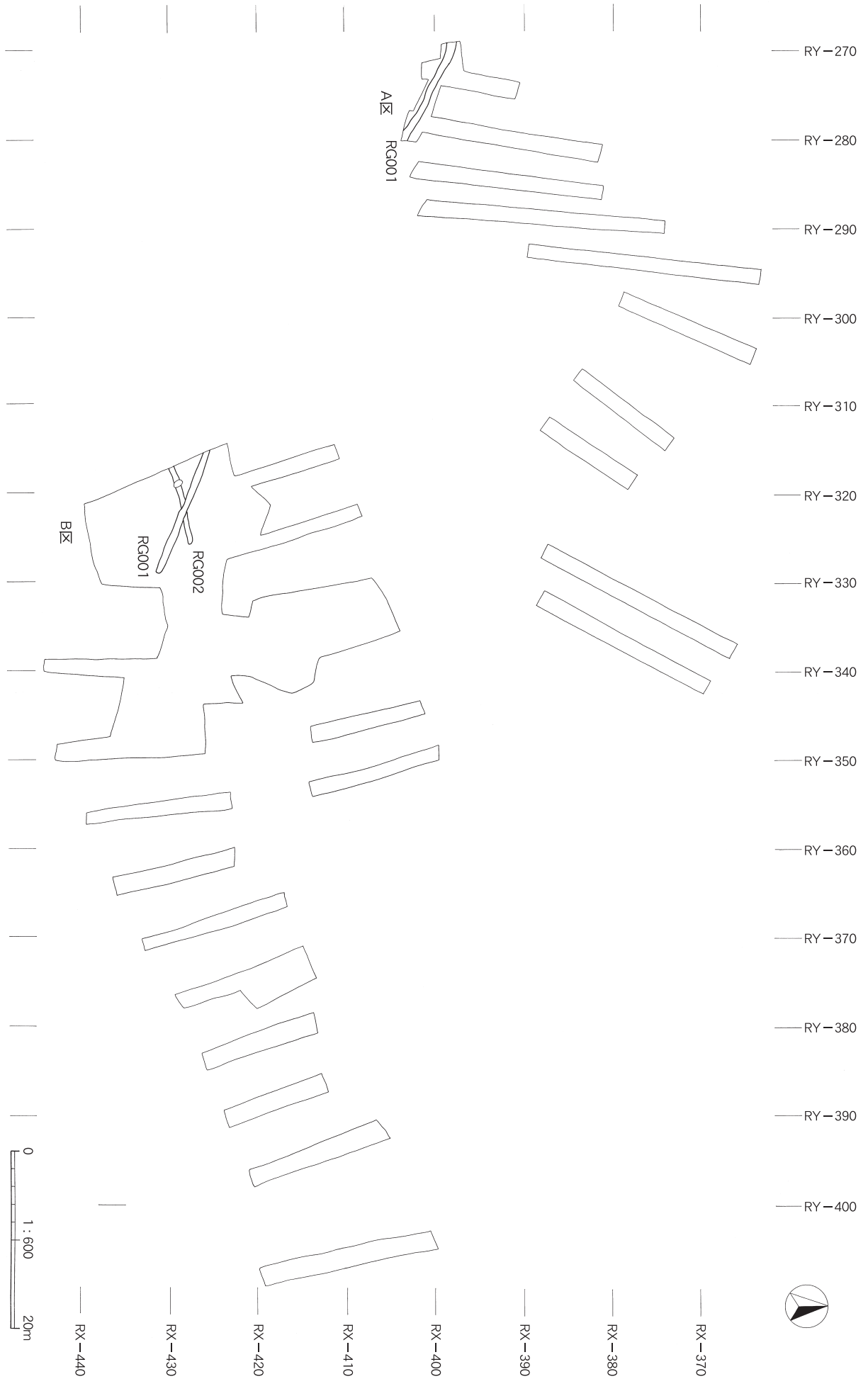
第24図 宮沢遺跡第9次調査 ピット



第25図 宮沢遺跡第12次調査区全体図 RG025・026溝跡

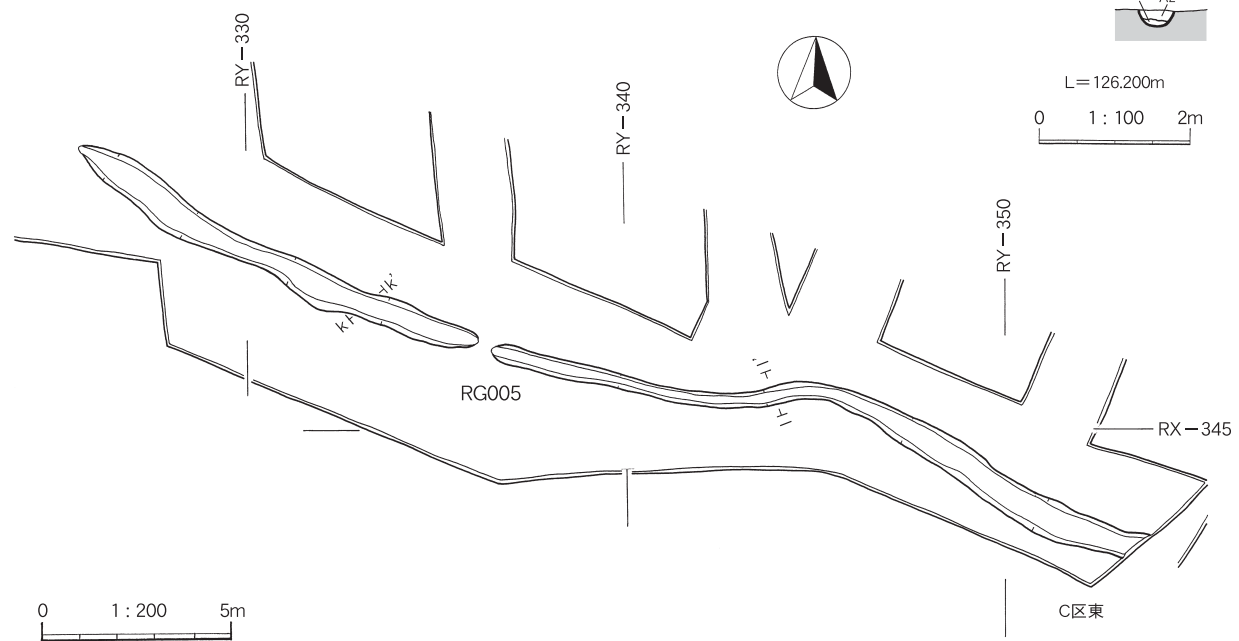
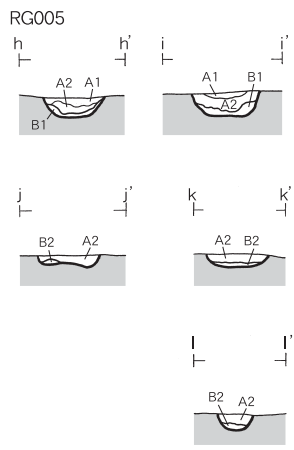
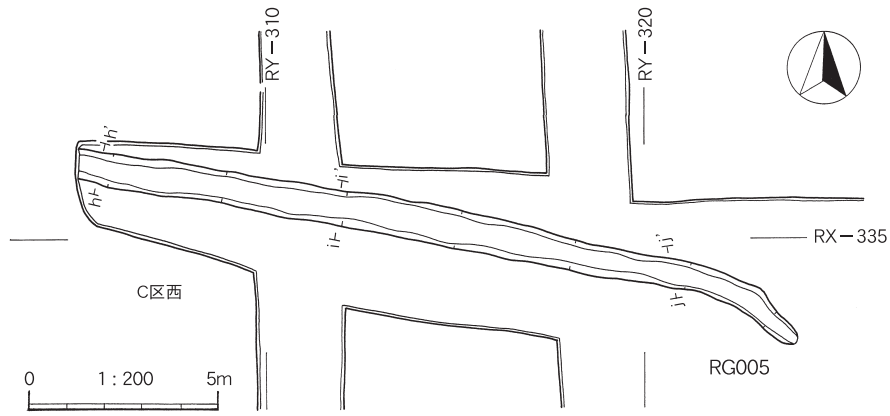
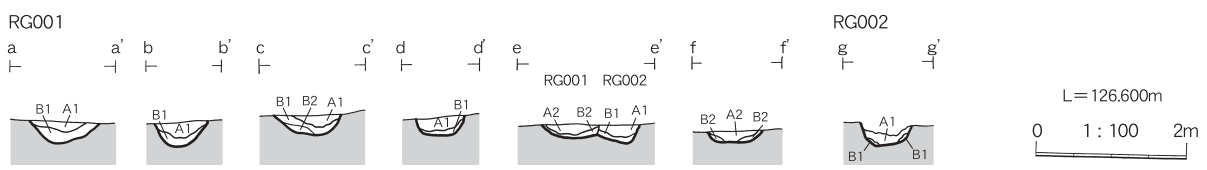
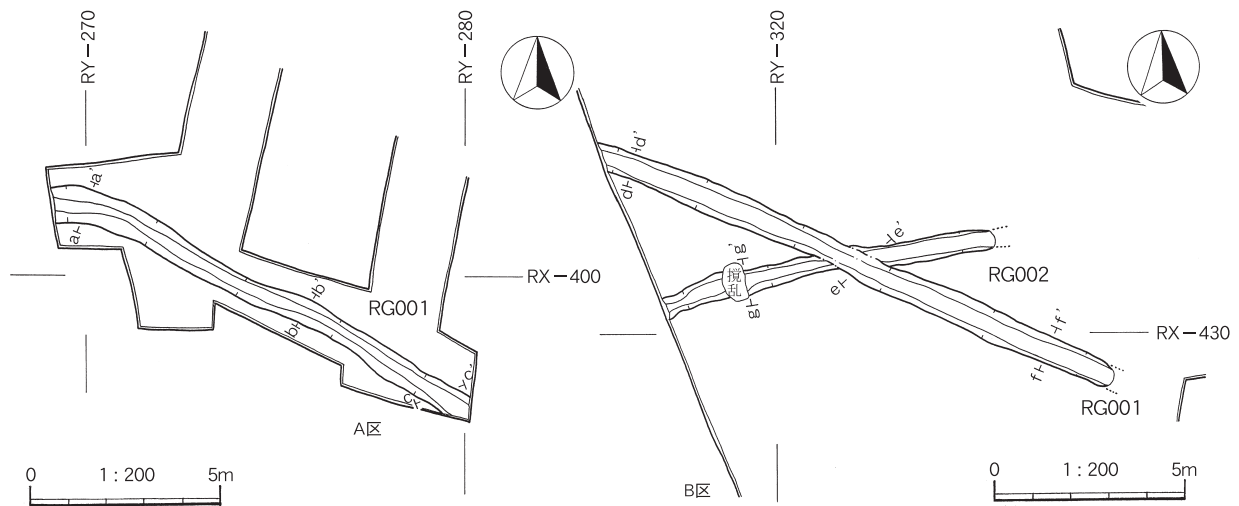


第26图 稻荷遺跡第7次調査A・B区全体图

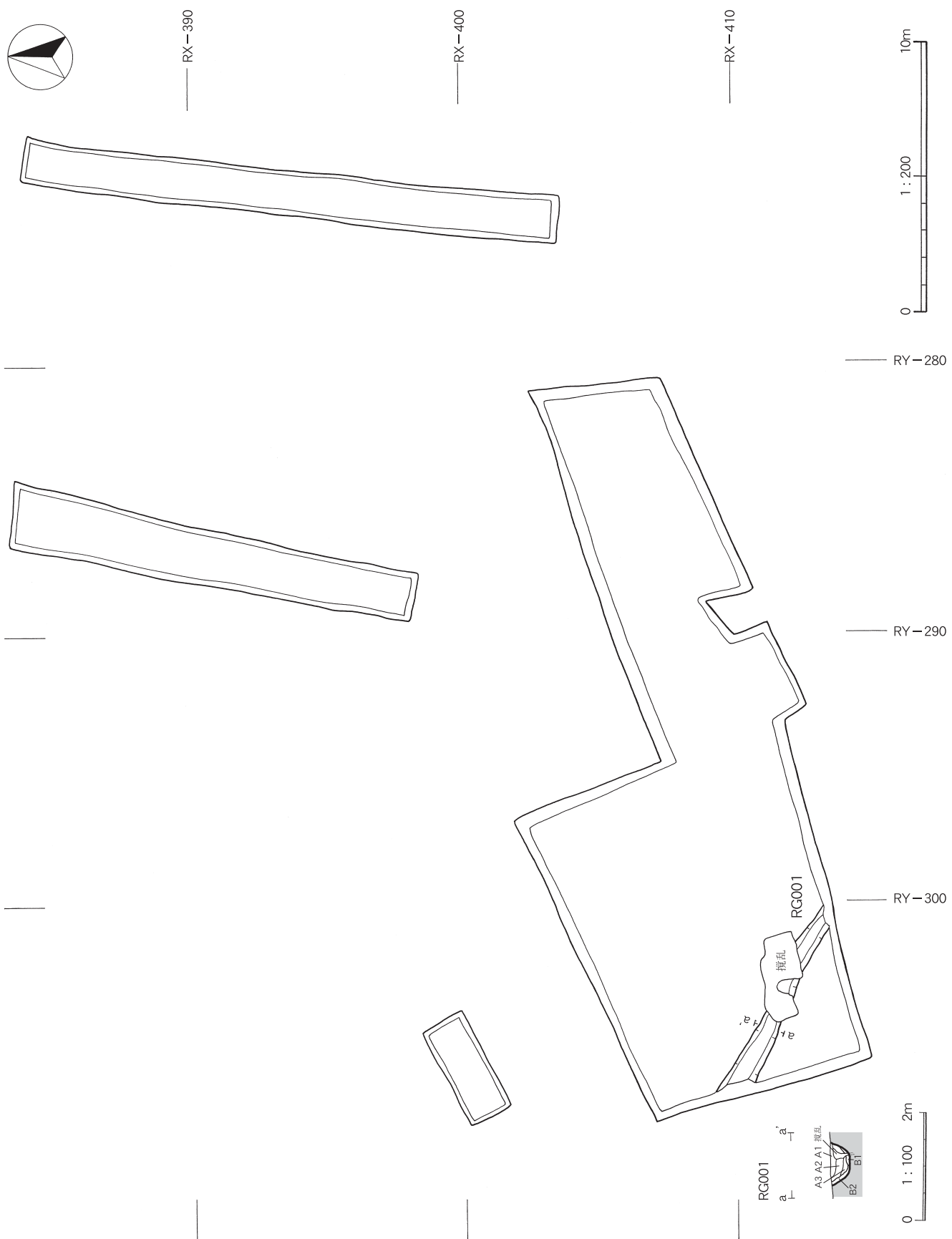




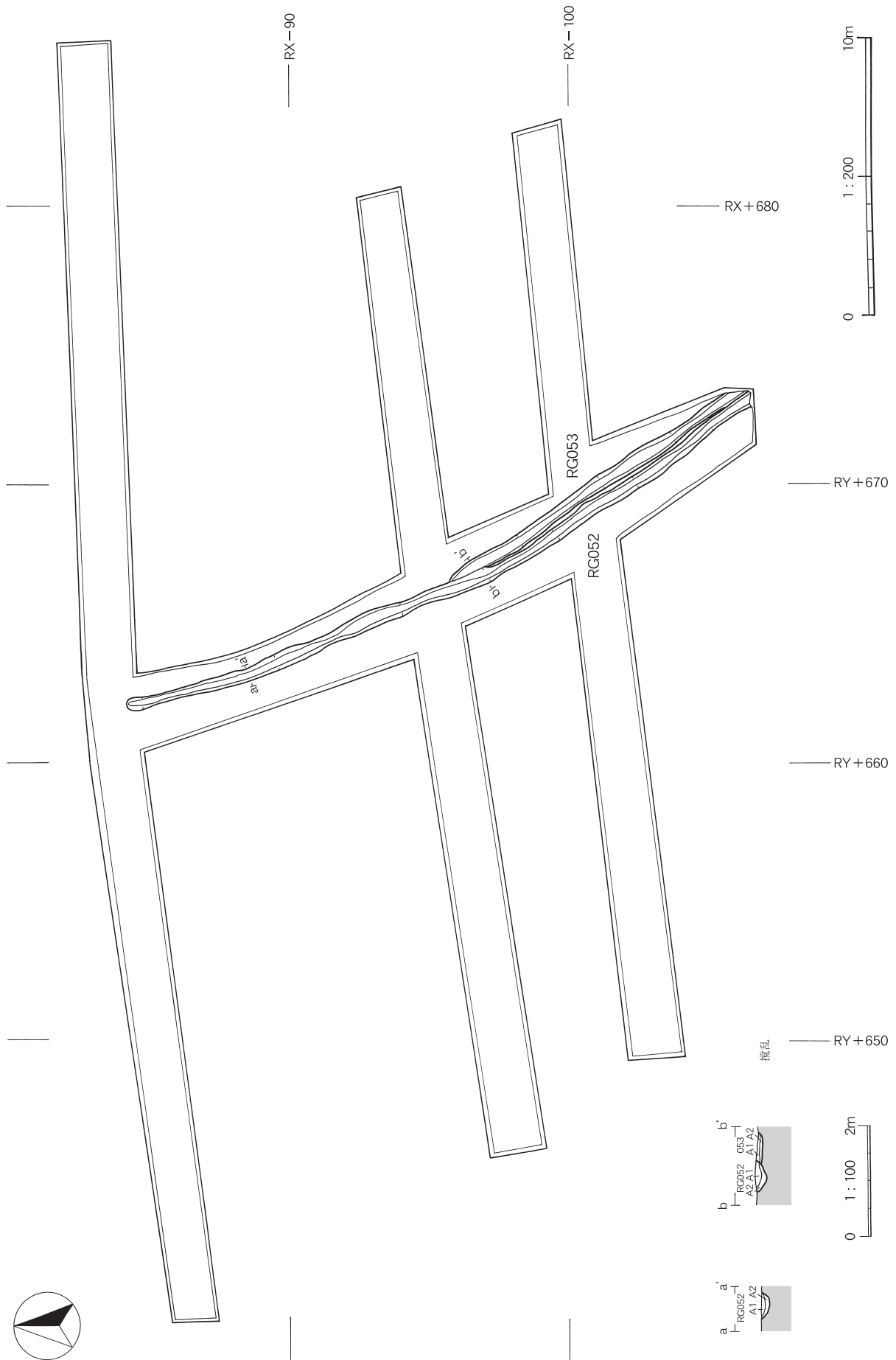
第27図 稲荷遺跡第7次調査C区全体図



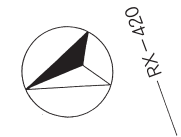
第28図 稻荷遺跡第7次調査 A区RG001溝跡, B区RG001・002溝跡, C区RG005溝跡



第29図 稻荷遺跡第10次調査区 全体図, RG001溝跡



第30図 本宮熊堂A遺跡第16次調査区 全体図, RG052・053溝跡



RX-A20  
RY

RX-A30

RX-A40

A区

10m

1 : 200

0

RY+860

RX-A10

RY+850

RY+840

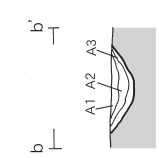
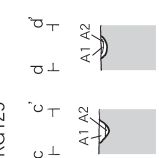
RY+830

B区

RG129

p  
p  
c  
c

C区



0 1 : 100 2m

L=124,000m

第31图 本宮熊堂B遺跡第21次調査区 全体図, RG128・129溝跡

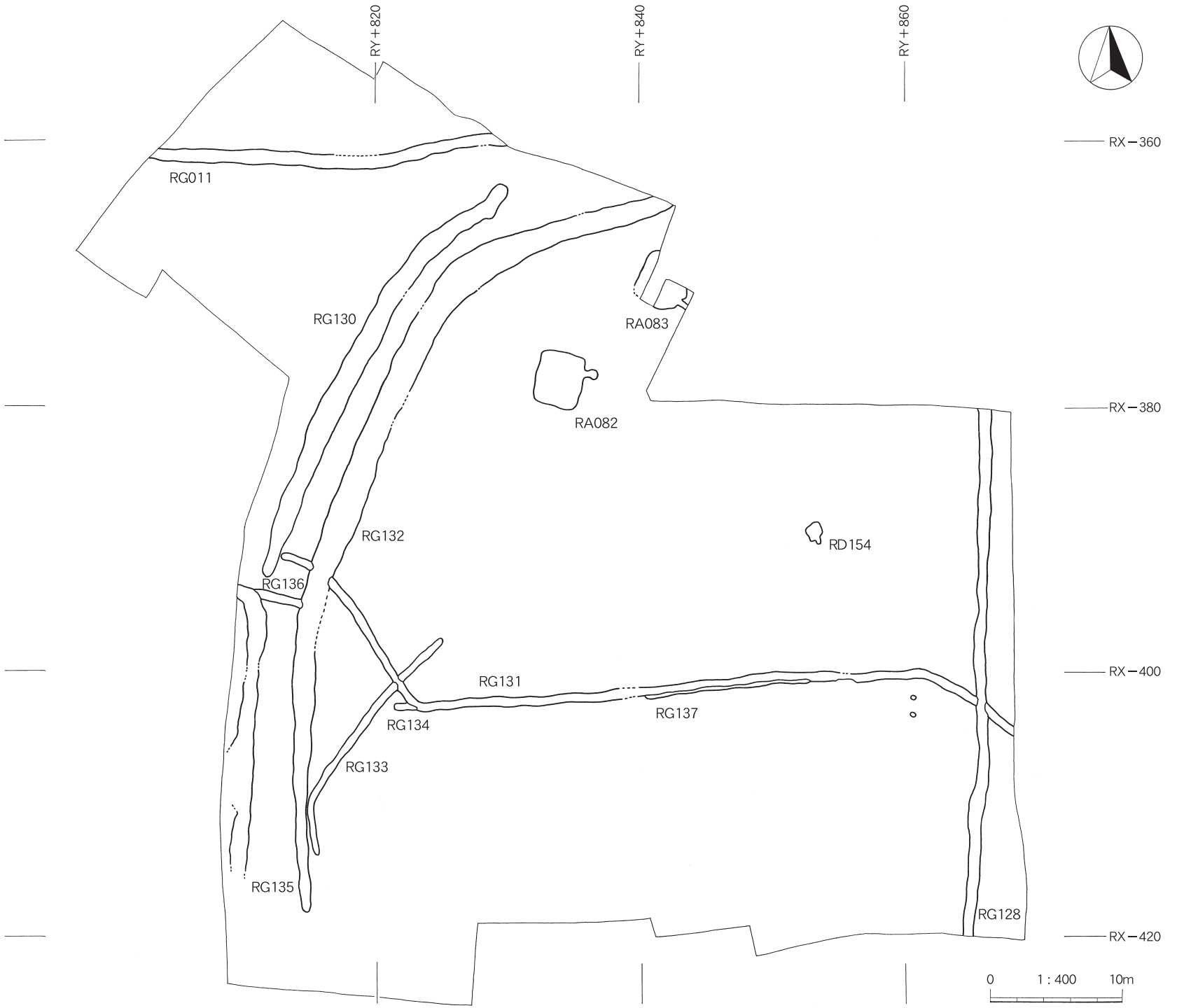
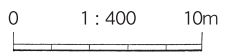


RX-360

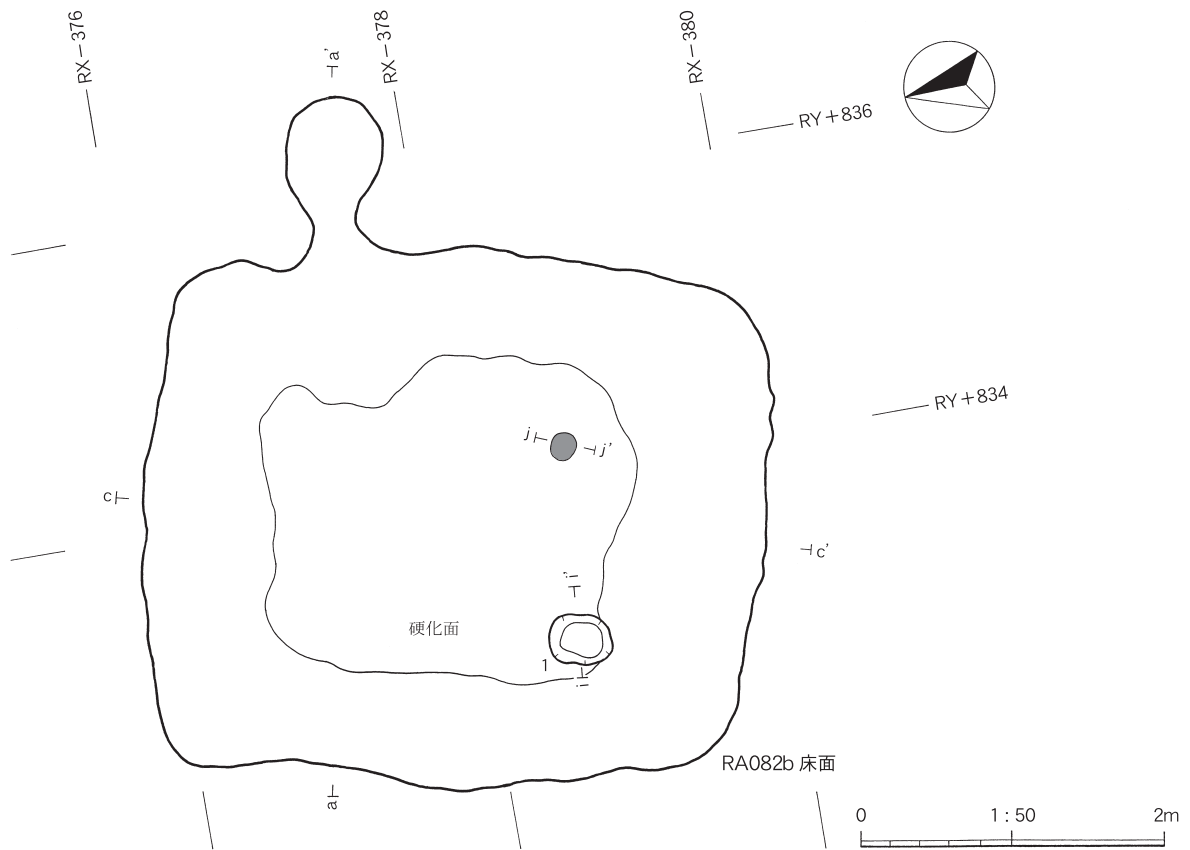
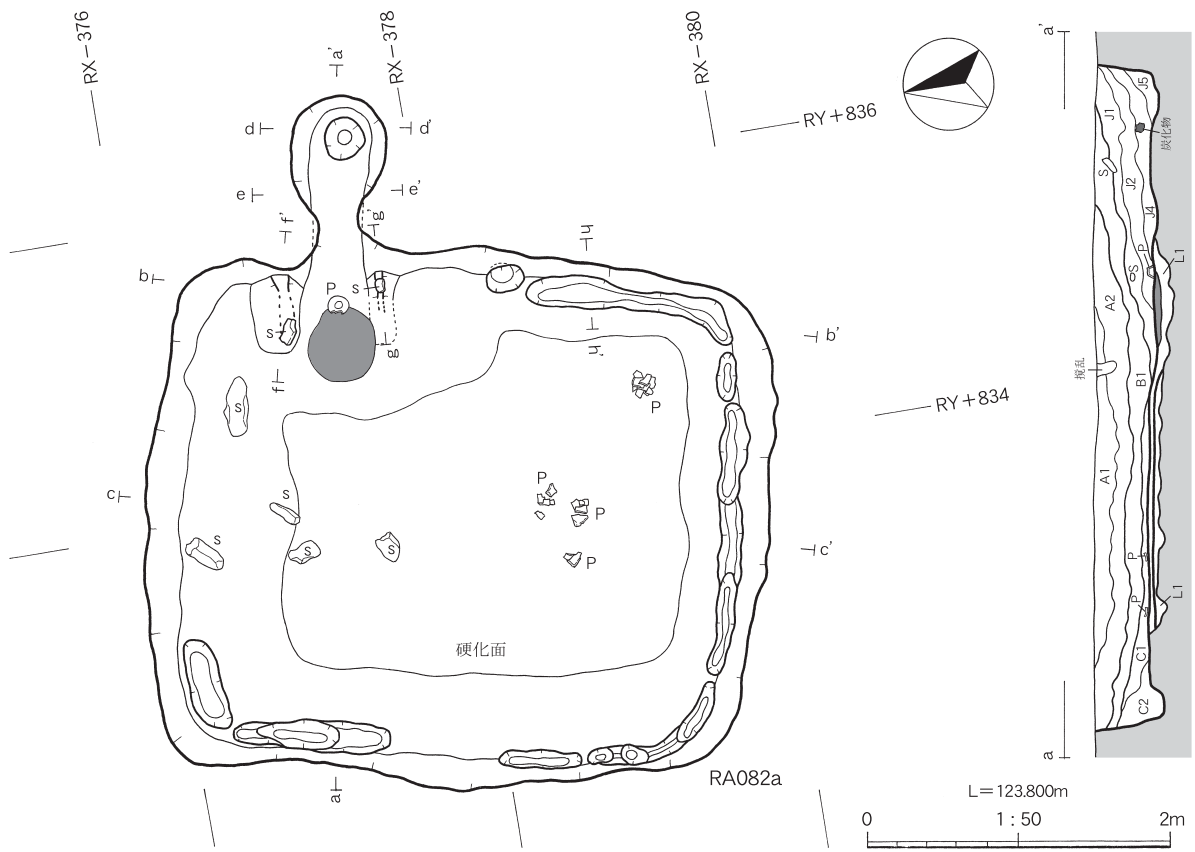
RX-380

RX-400

RX-420

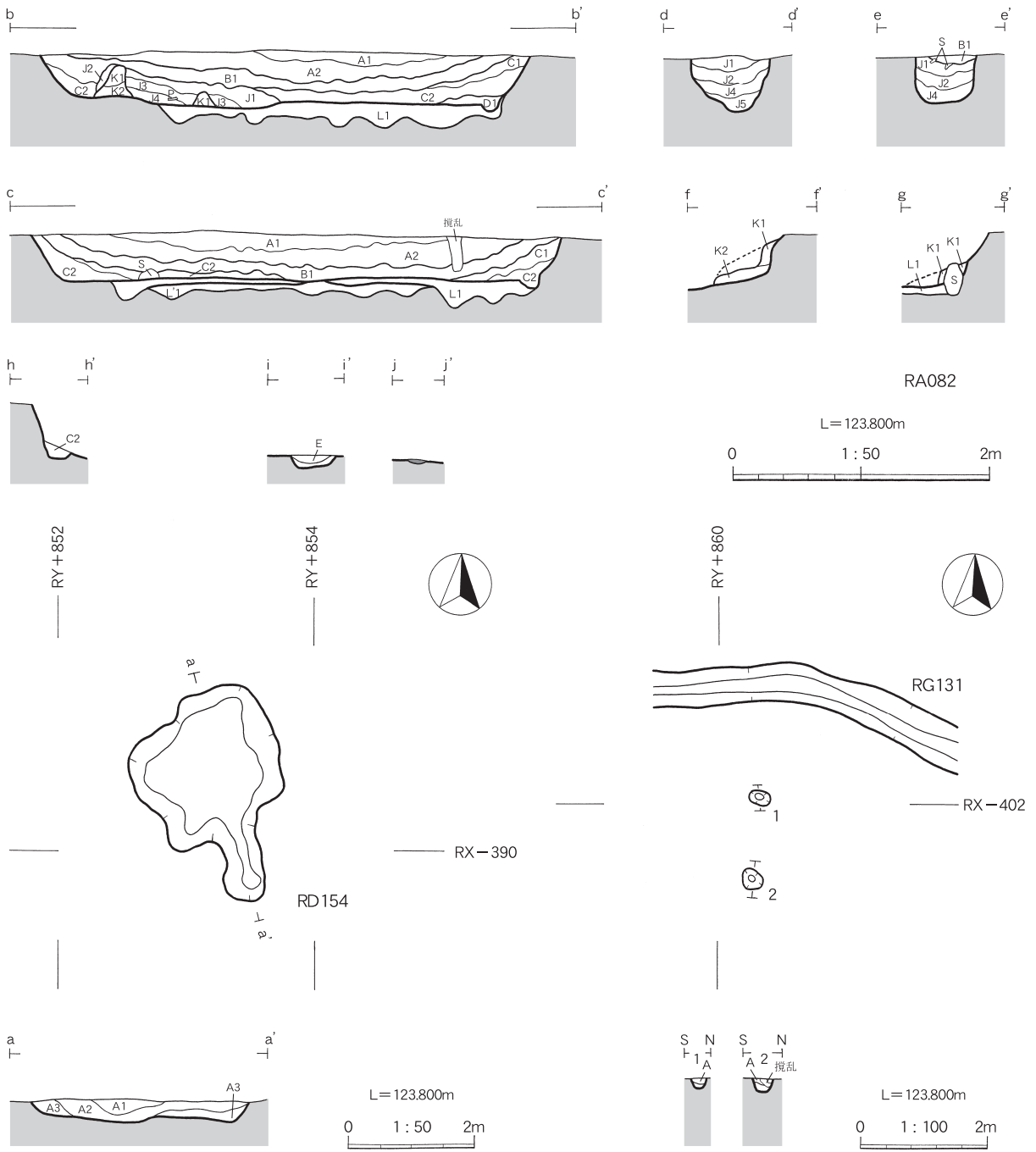


第32図 本宮熊堂B遺跡第23次調査区全体図

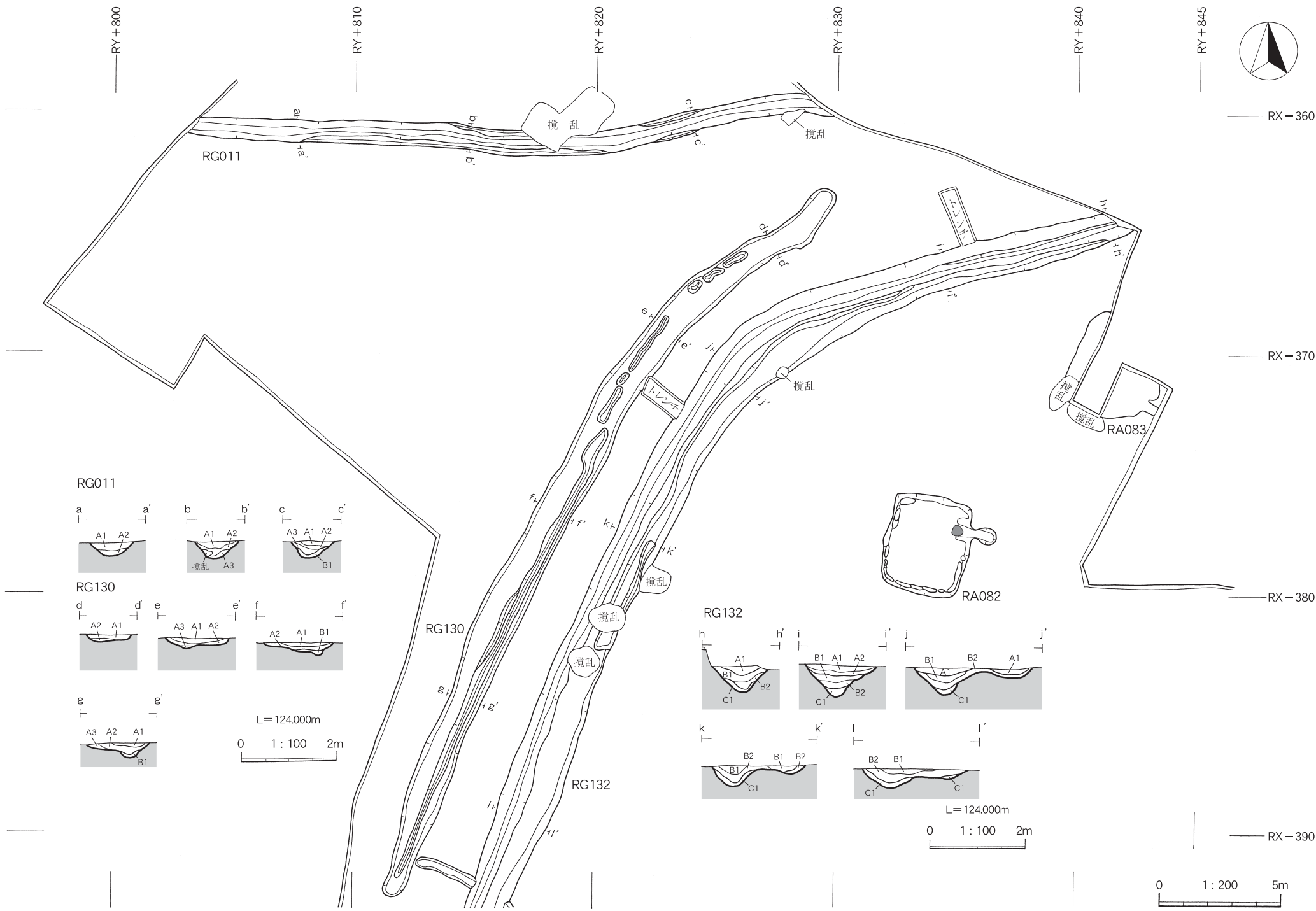


第33図 本宮熊堂B遺跡第23次調査 RA082竪穴住居跡

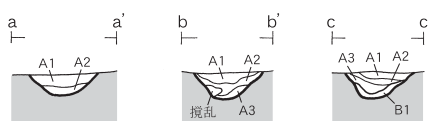




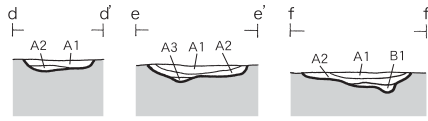
第34図 本宮熊堂B遺跡第23次調査 RA082竪穴住居跡, RD154土坑, ピット



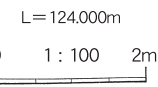
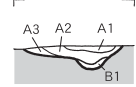
RG011



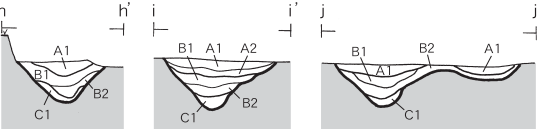
RG130



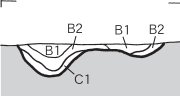
g-g'



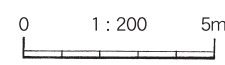
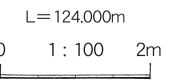
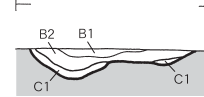
RG132



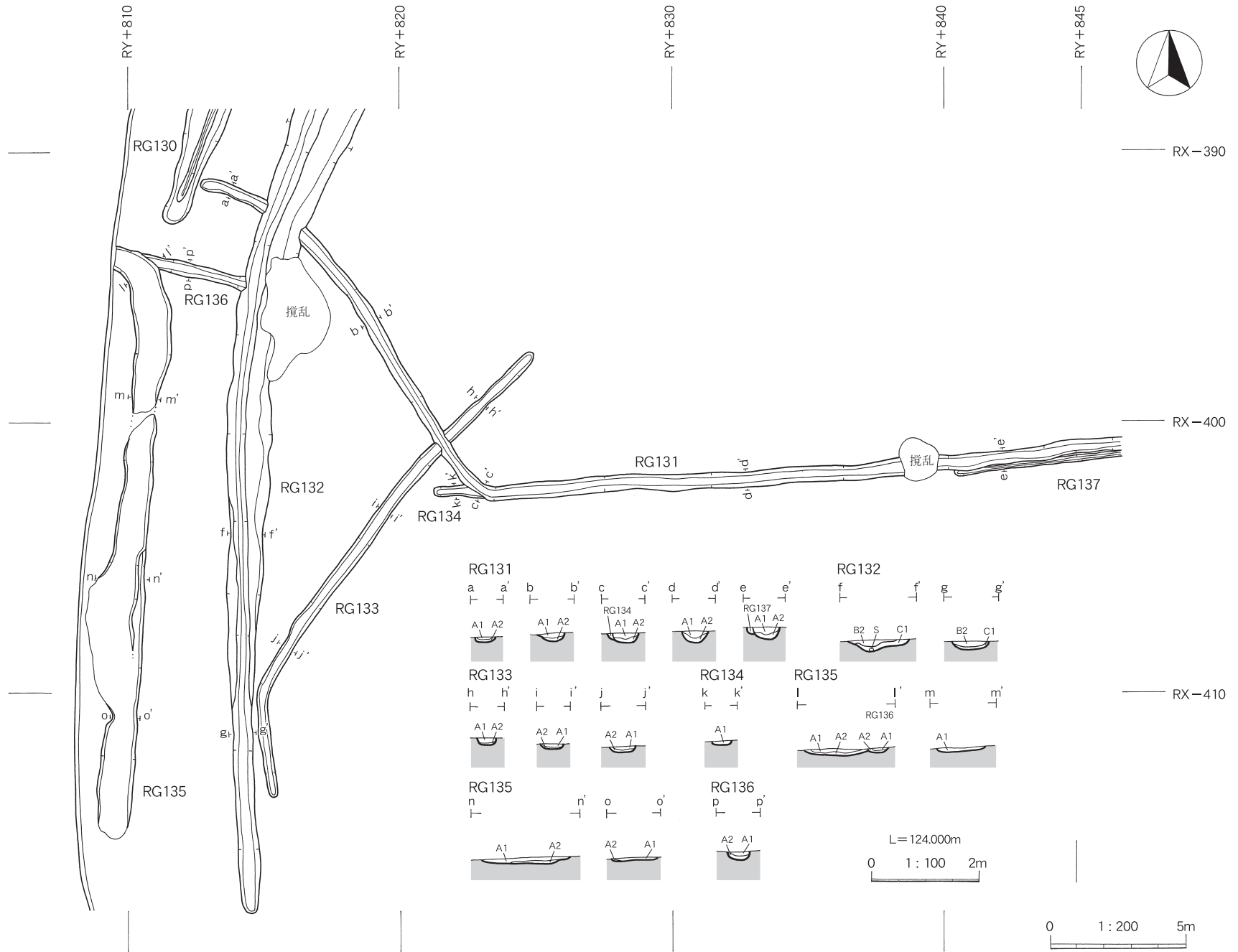
k-k'

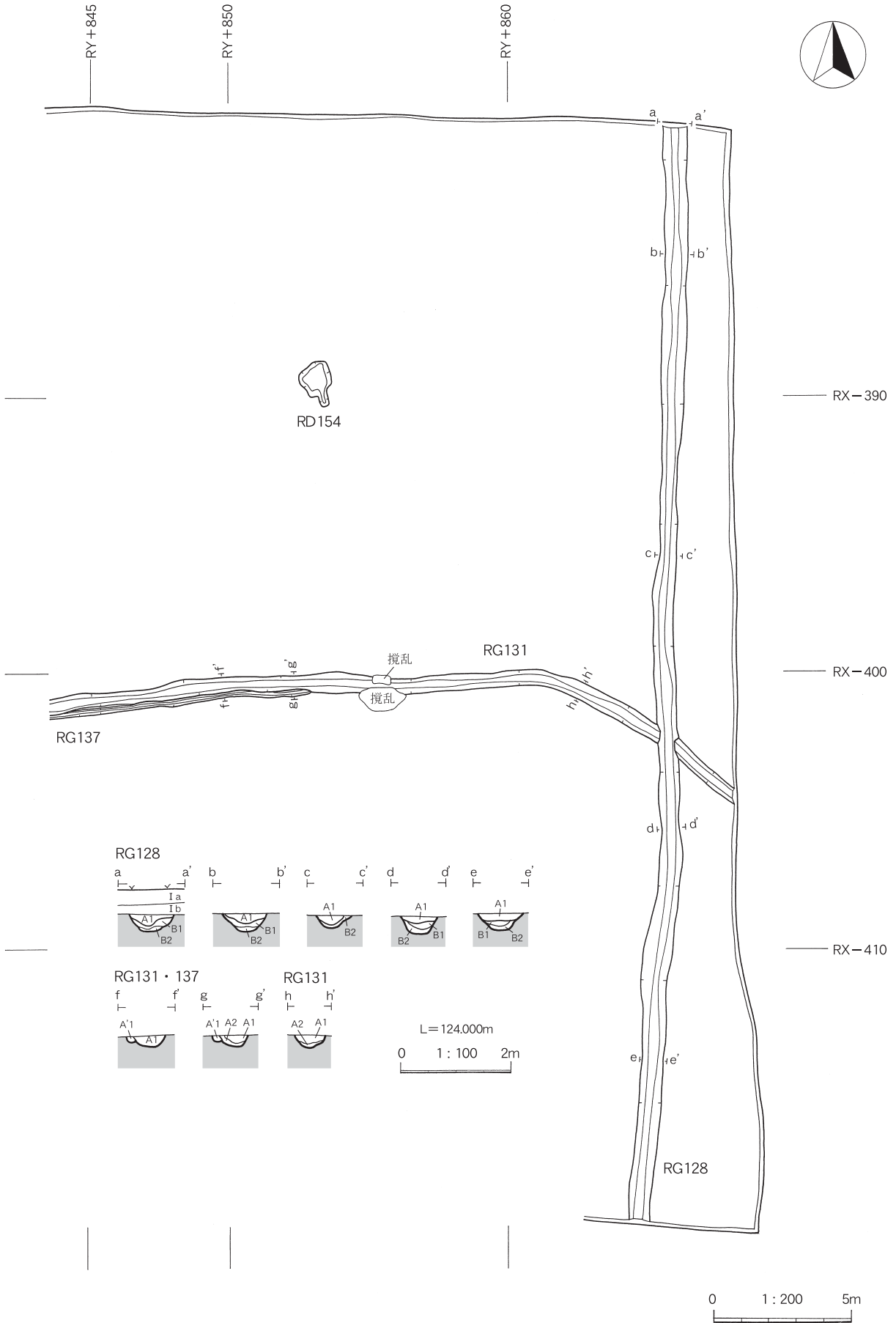


l-l'

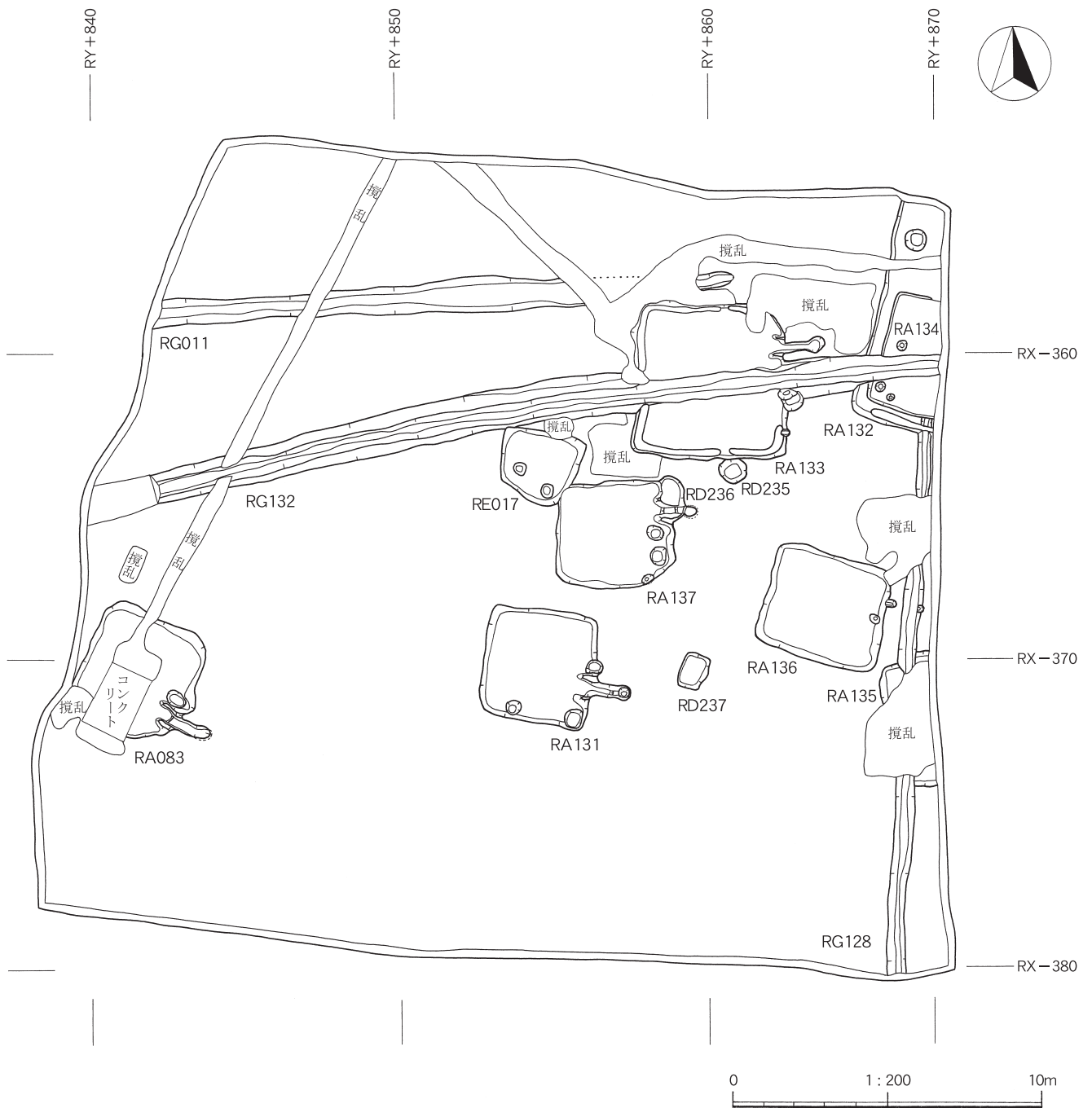


第36図 本宮熊堂B遺跡第23次調査 RG131~136溝跡

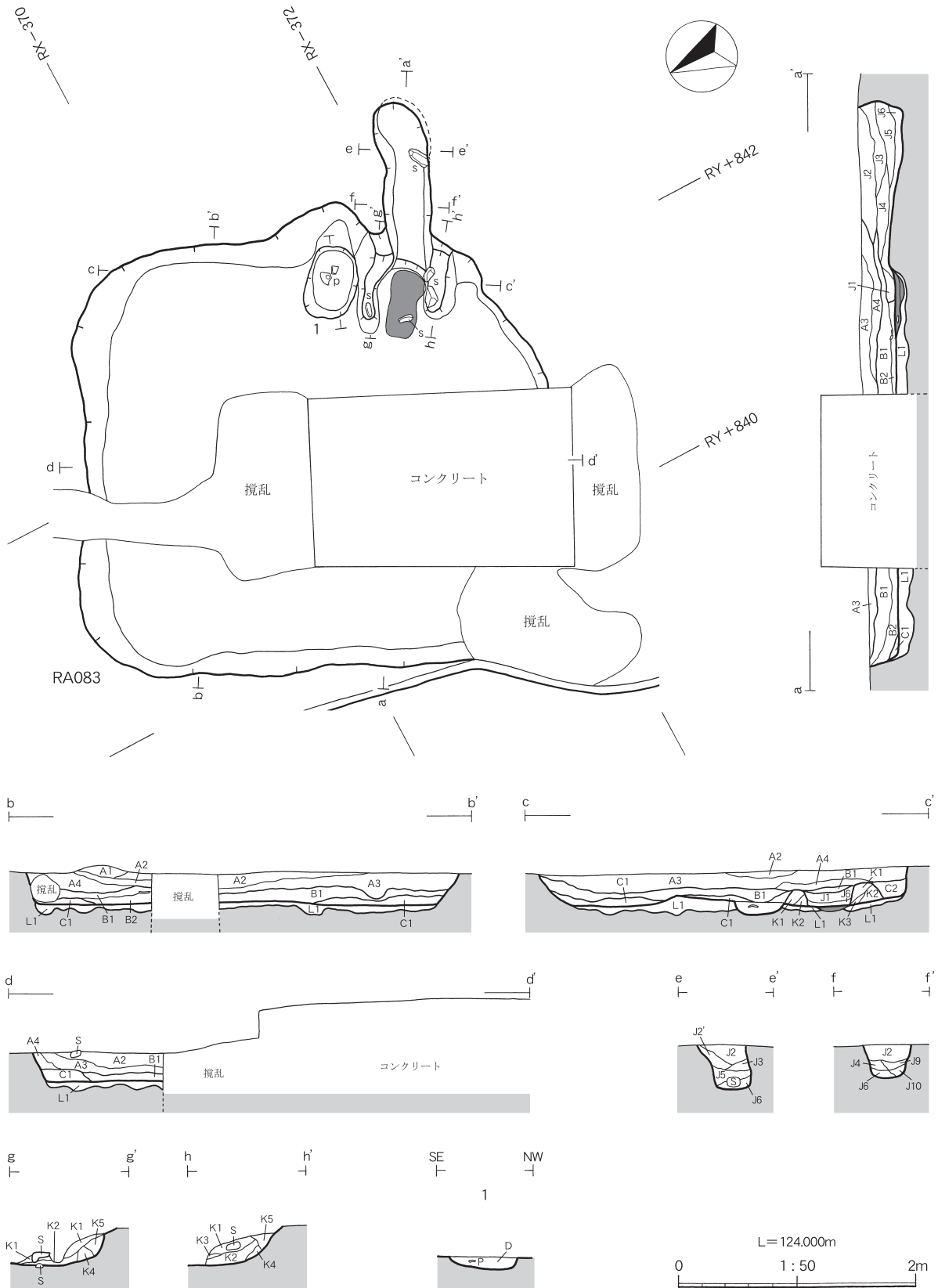




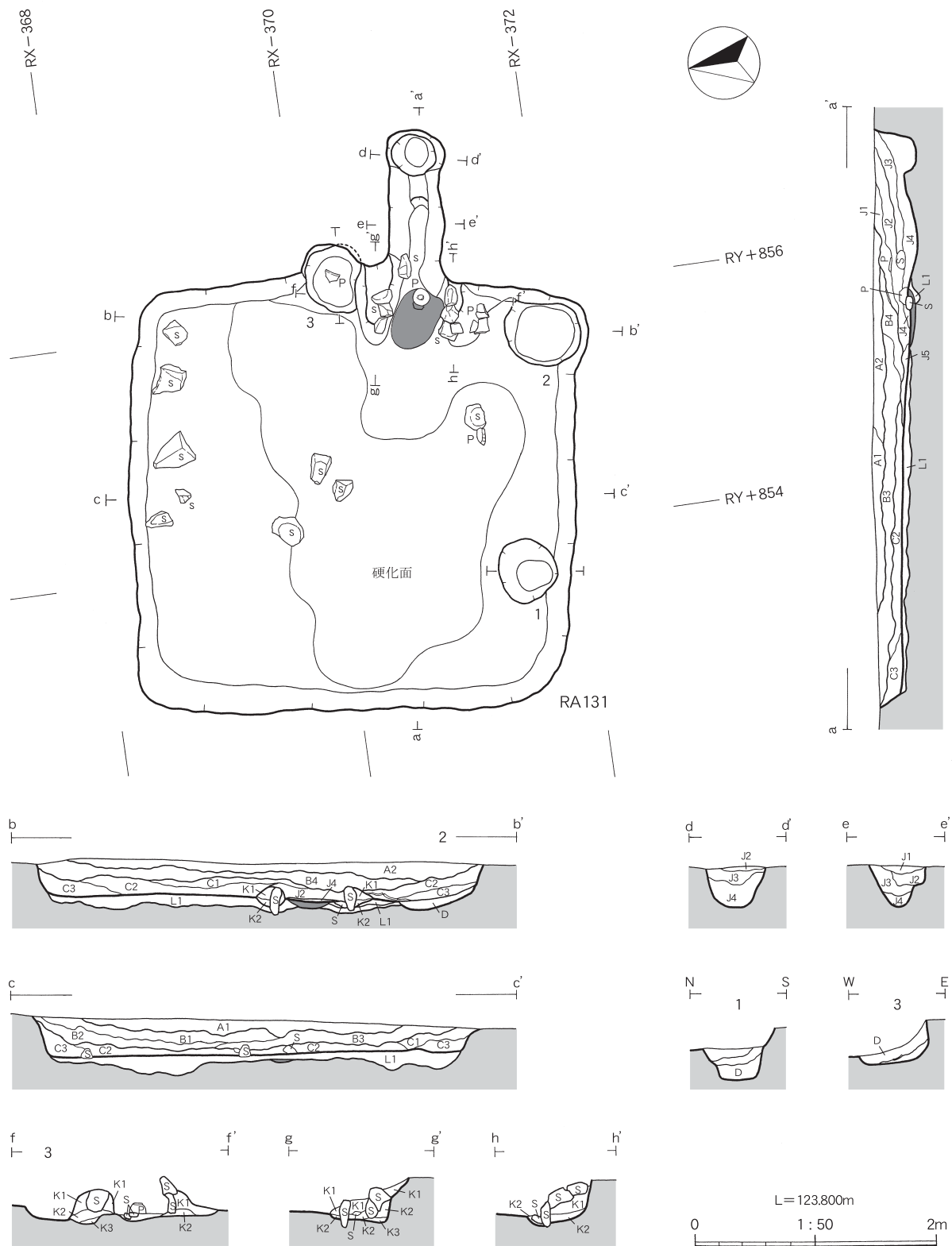
第37図 本宮熊堂B遺跡第23次調査 RG128・131・137溝跡



第38図 本宮熊堂B遺跡第28次調査区全体図



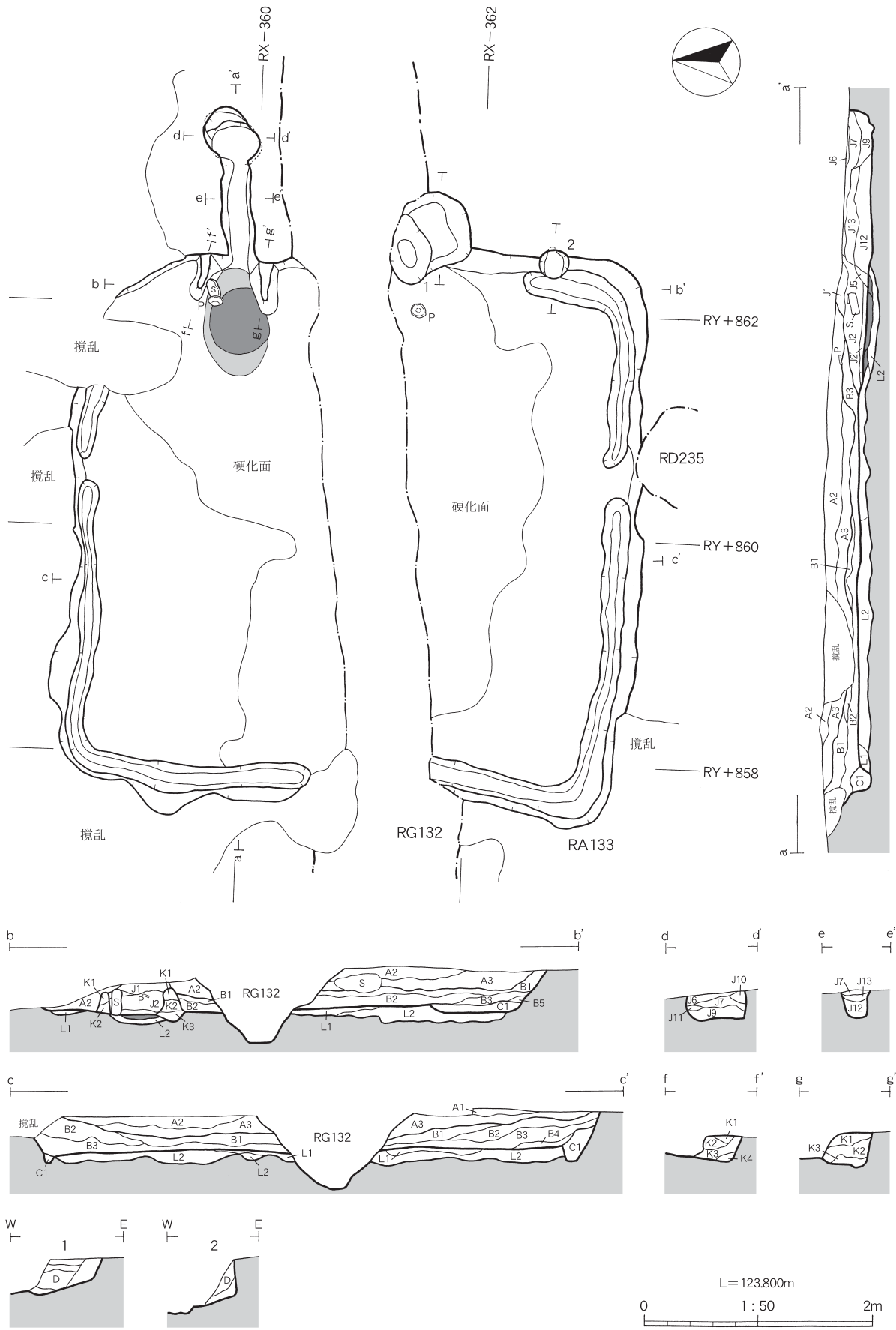
第39図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA083竪穴住居跡



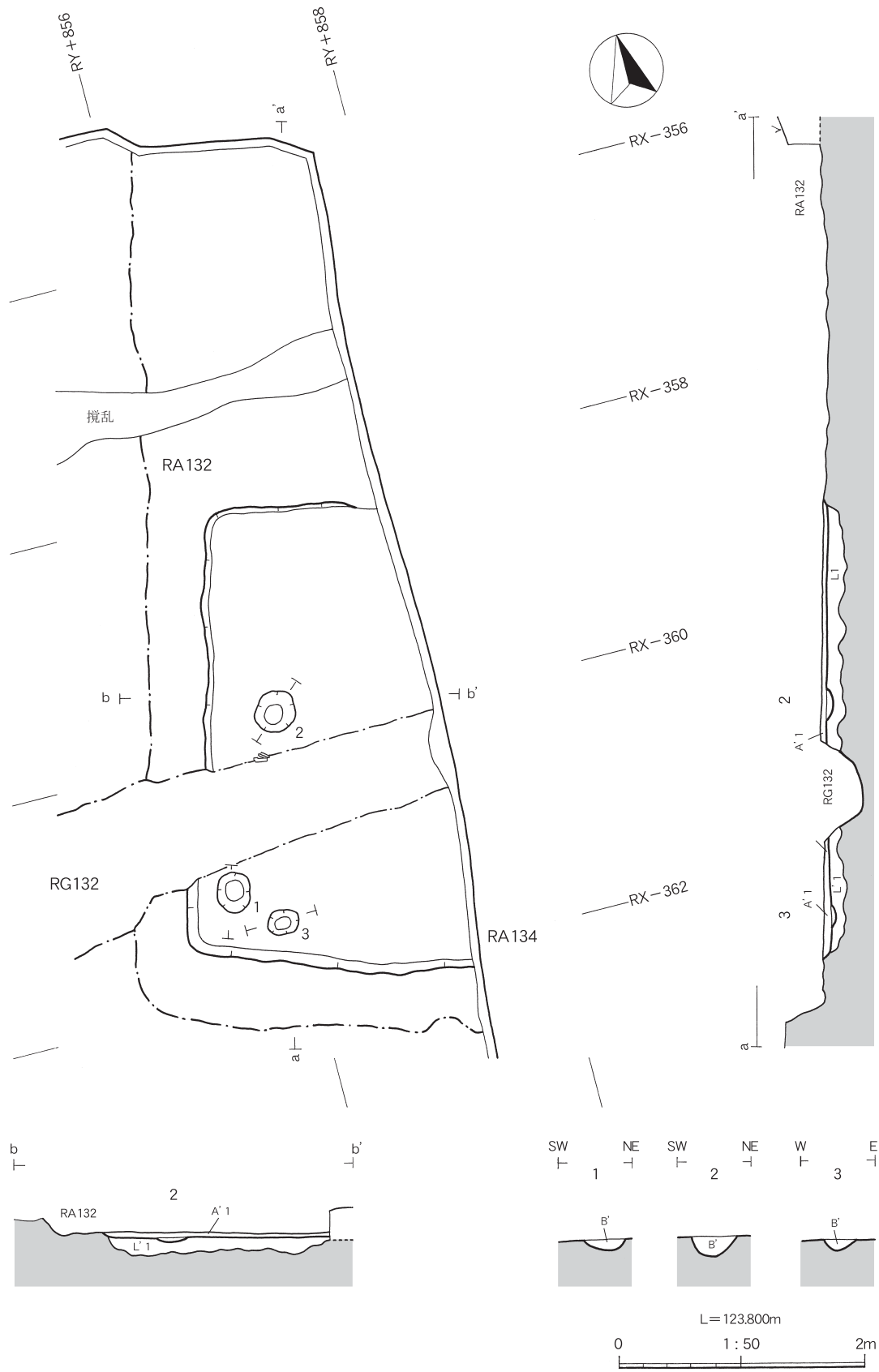
第40図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA131竪穴住居跡





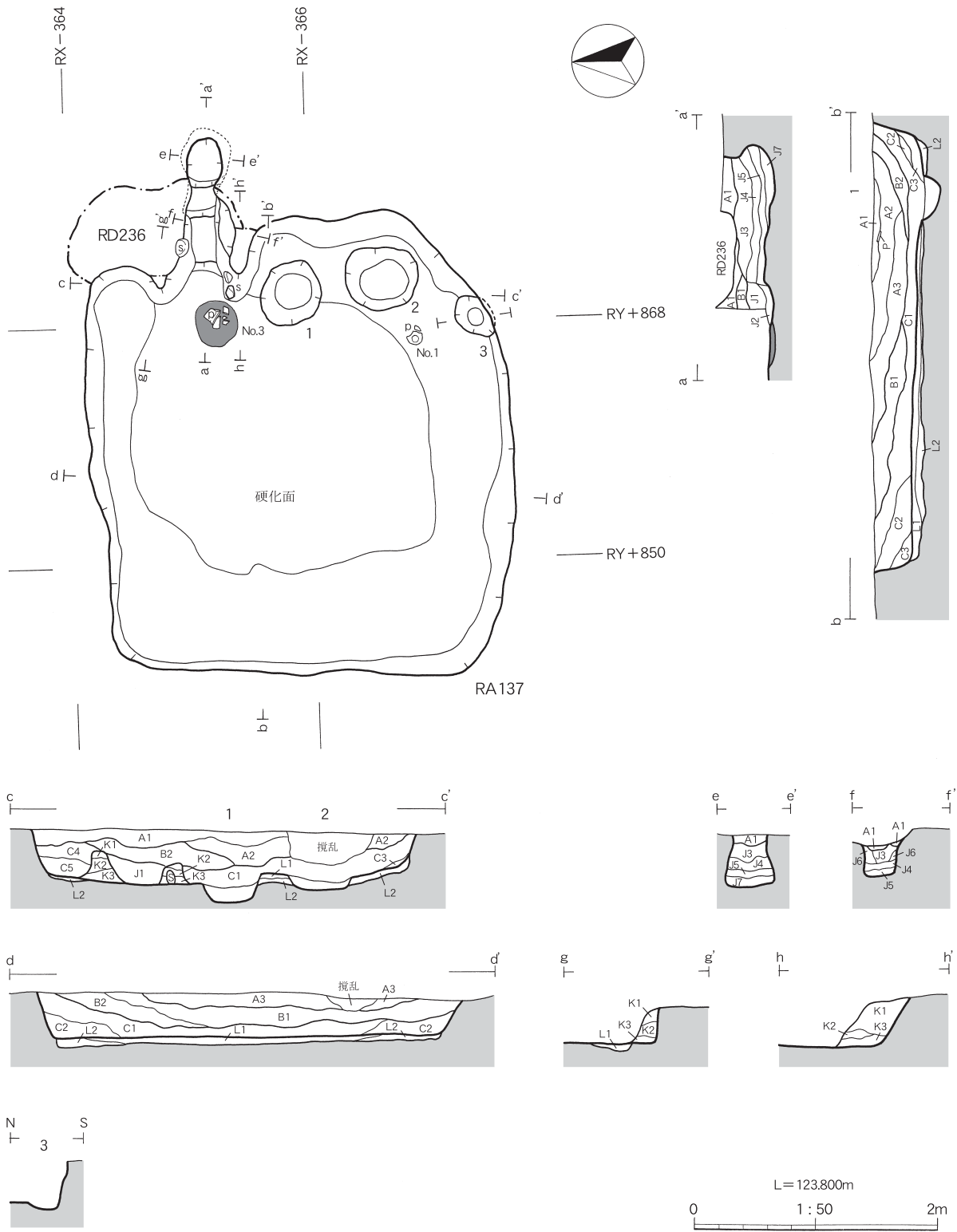


第42図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA133竪穴住居跡

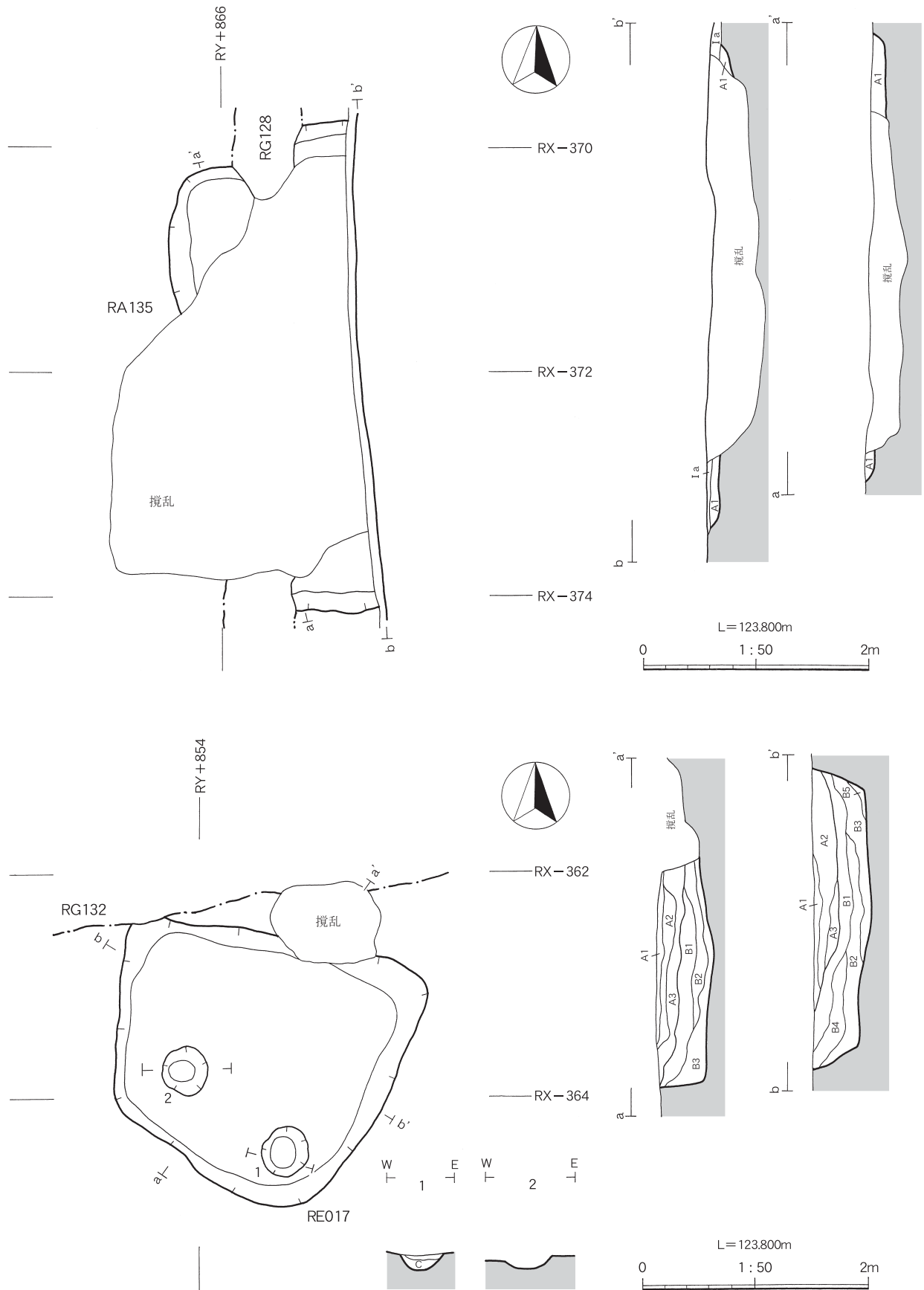


第43図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA134竪穴住居跡

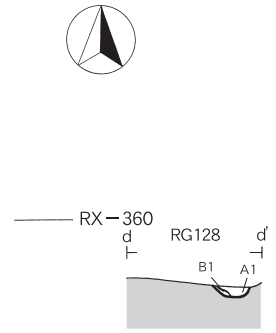
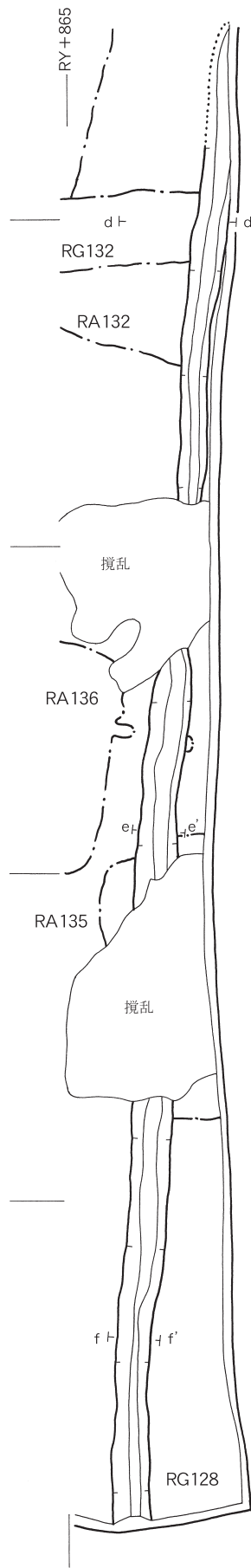
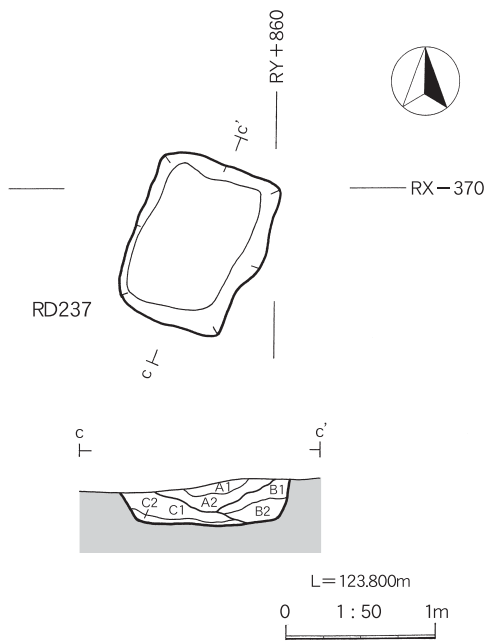
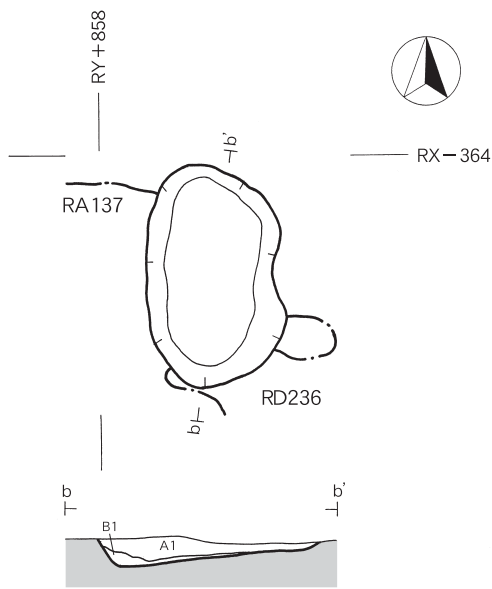
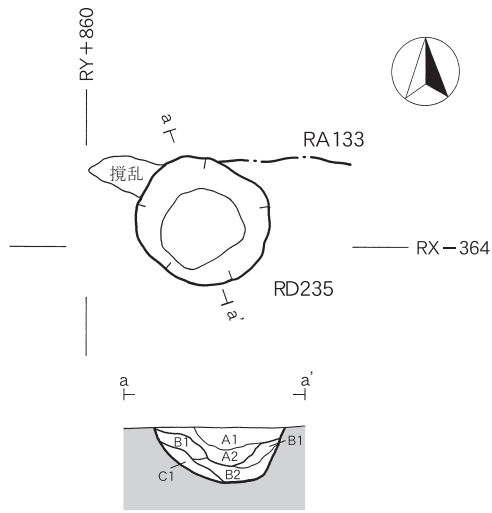




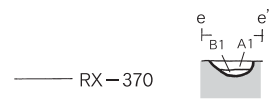
第45図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA137竪穴住居跡



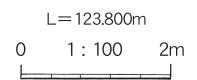
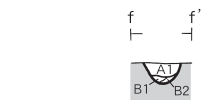
第46図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA135竪穴住居跡, RE017竪穴状遺構



RX-365



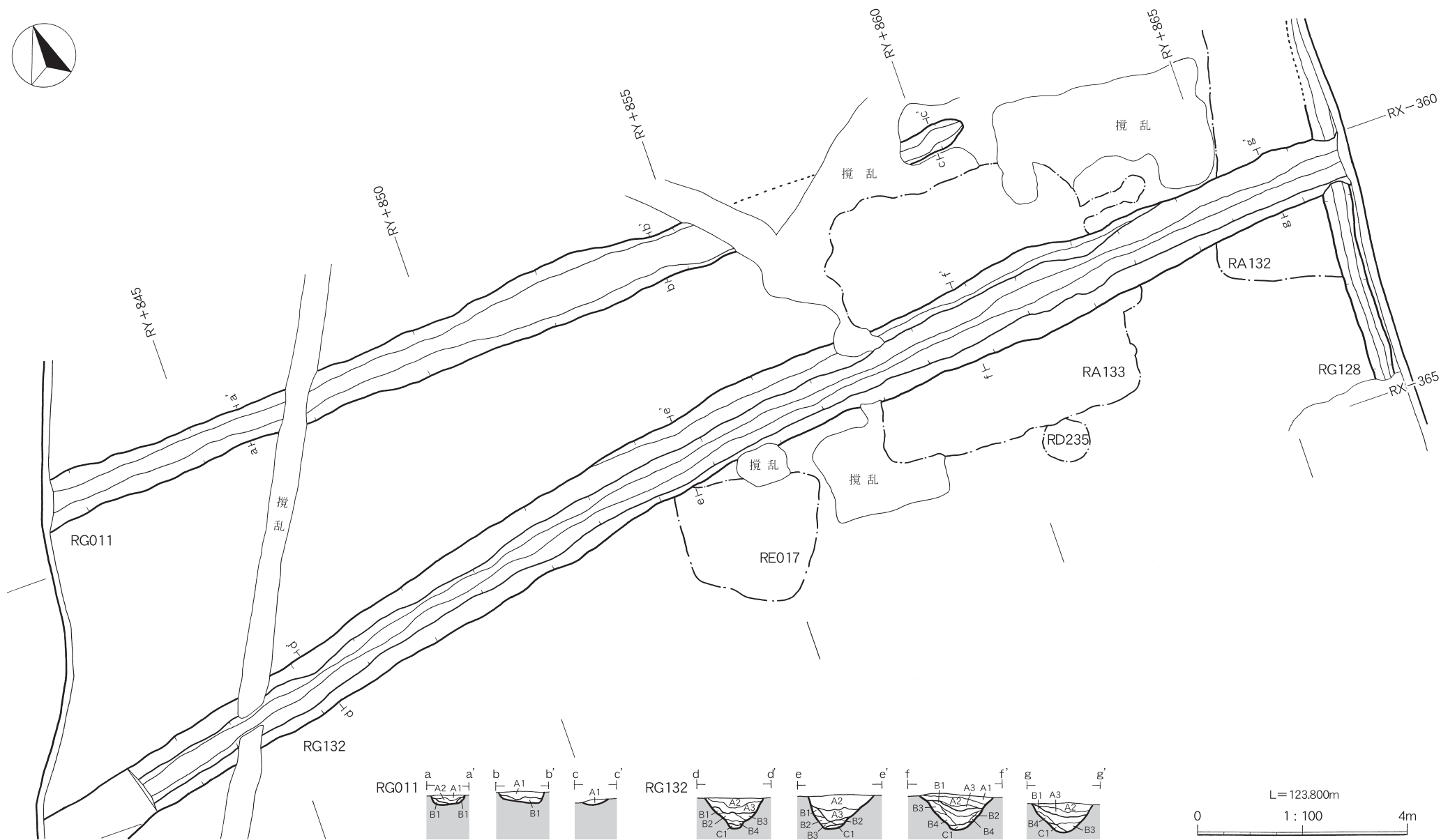
RX-375

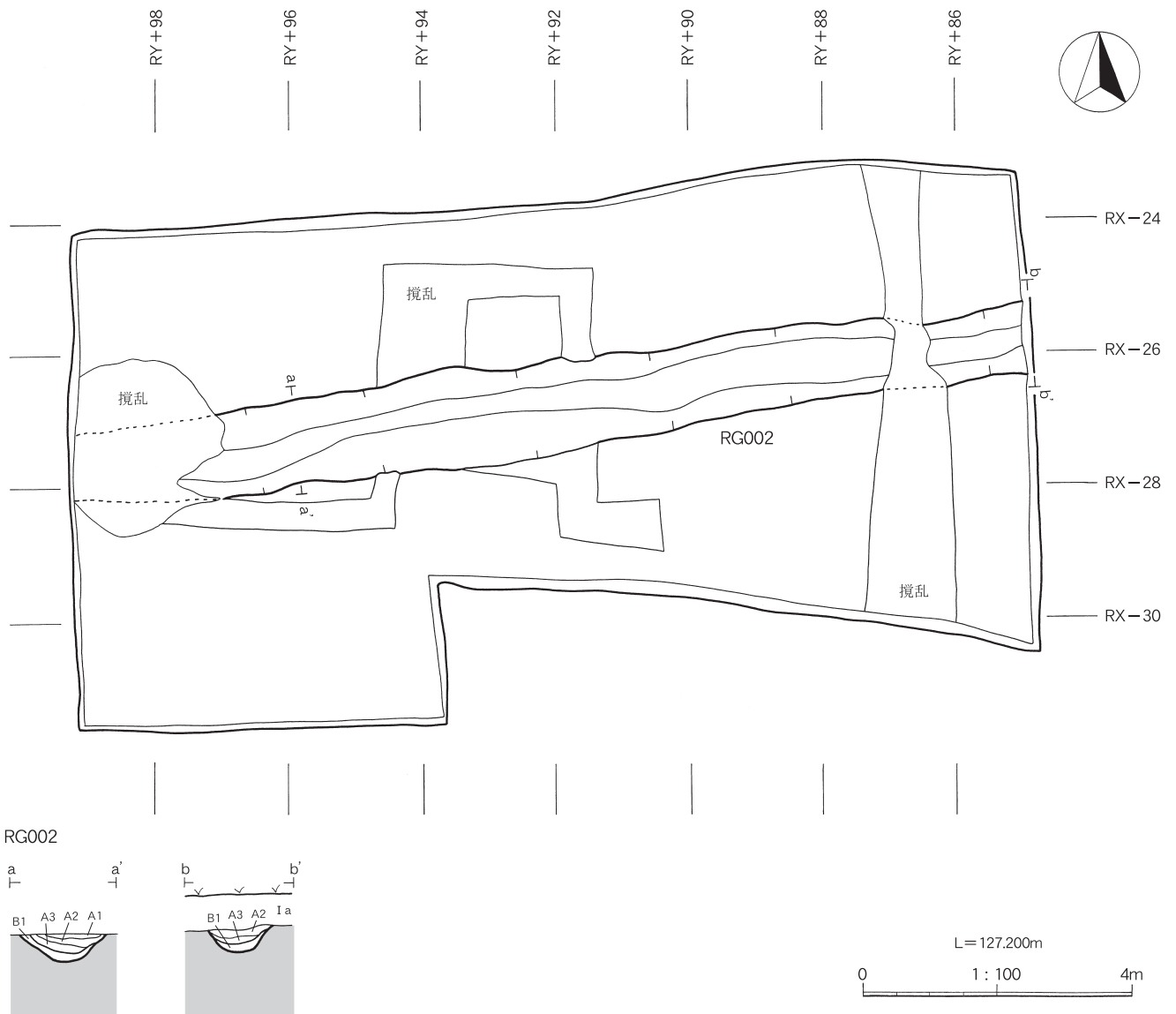


第47図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RD235~237土坑, RG128溝跡



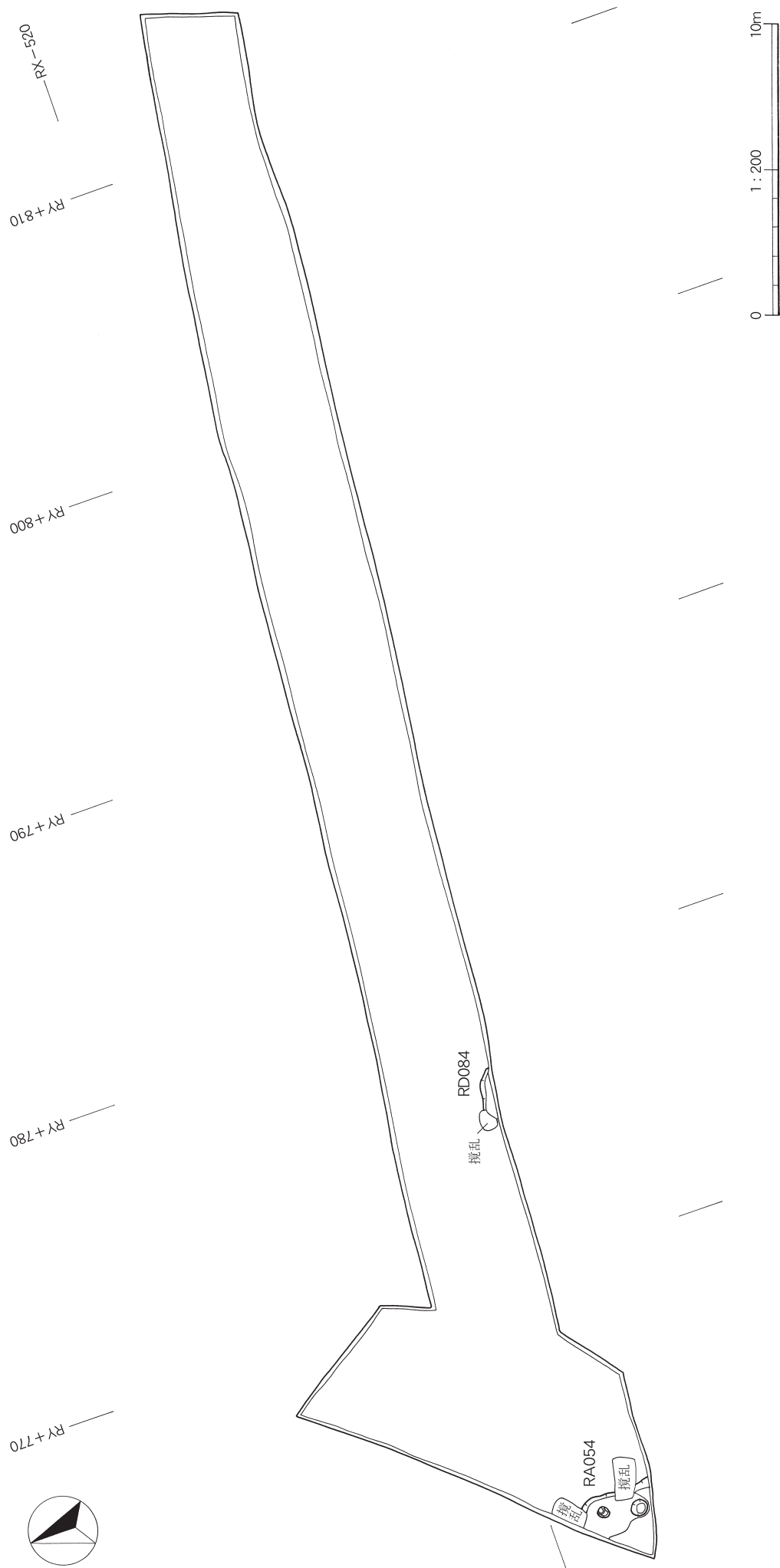
第48図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RG011・132溝跡



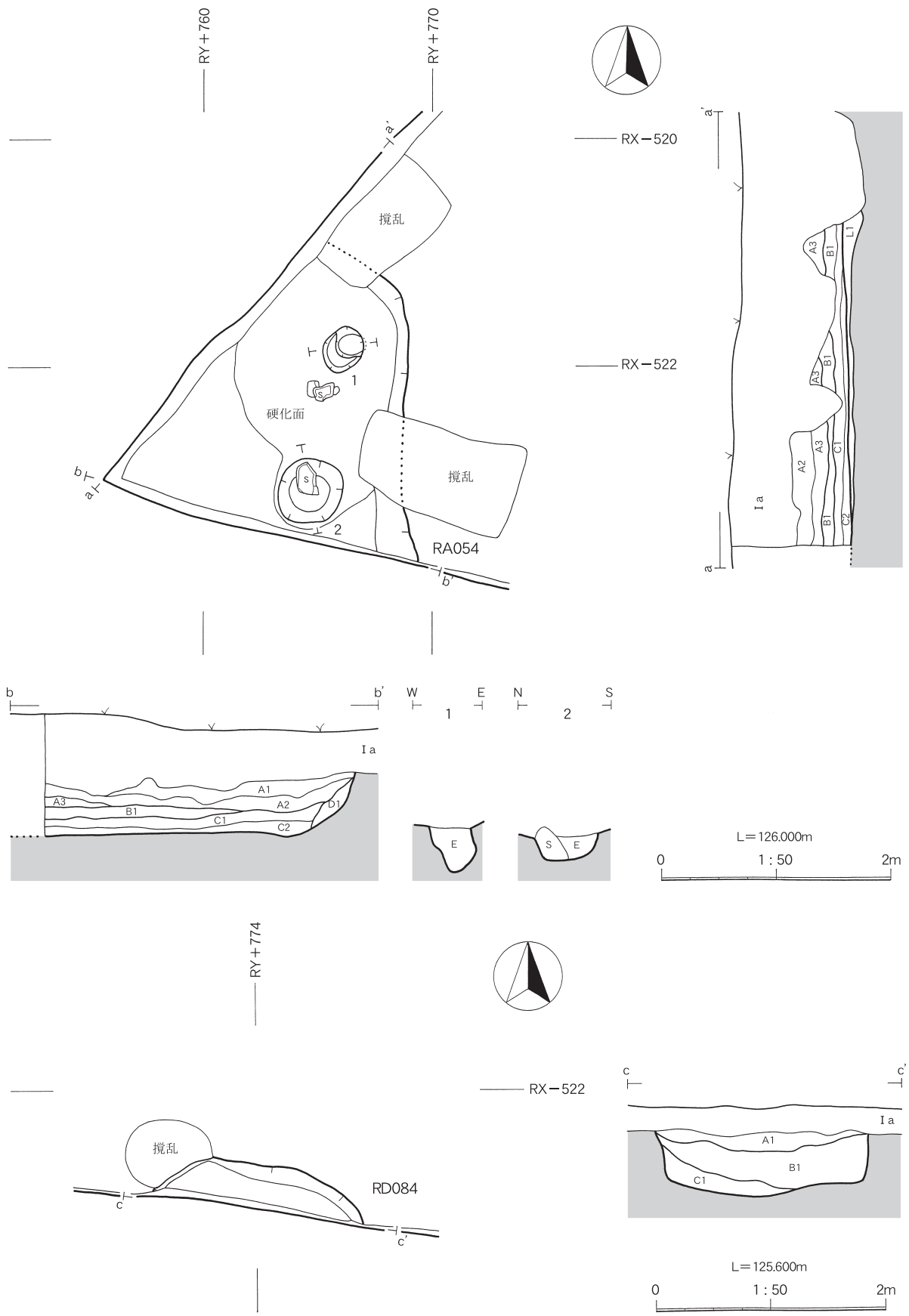


第49図 野古A遺跡第14次調査区全体図，RG002溝跡



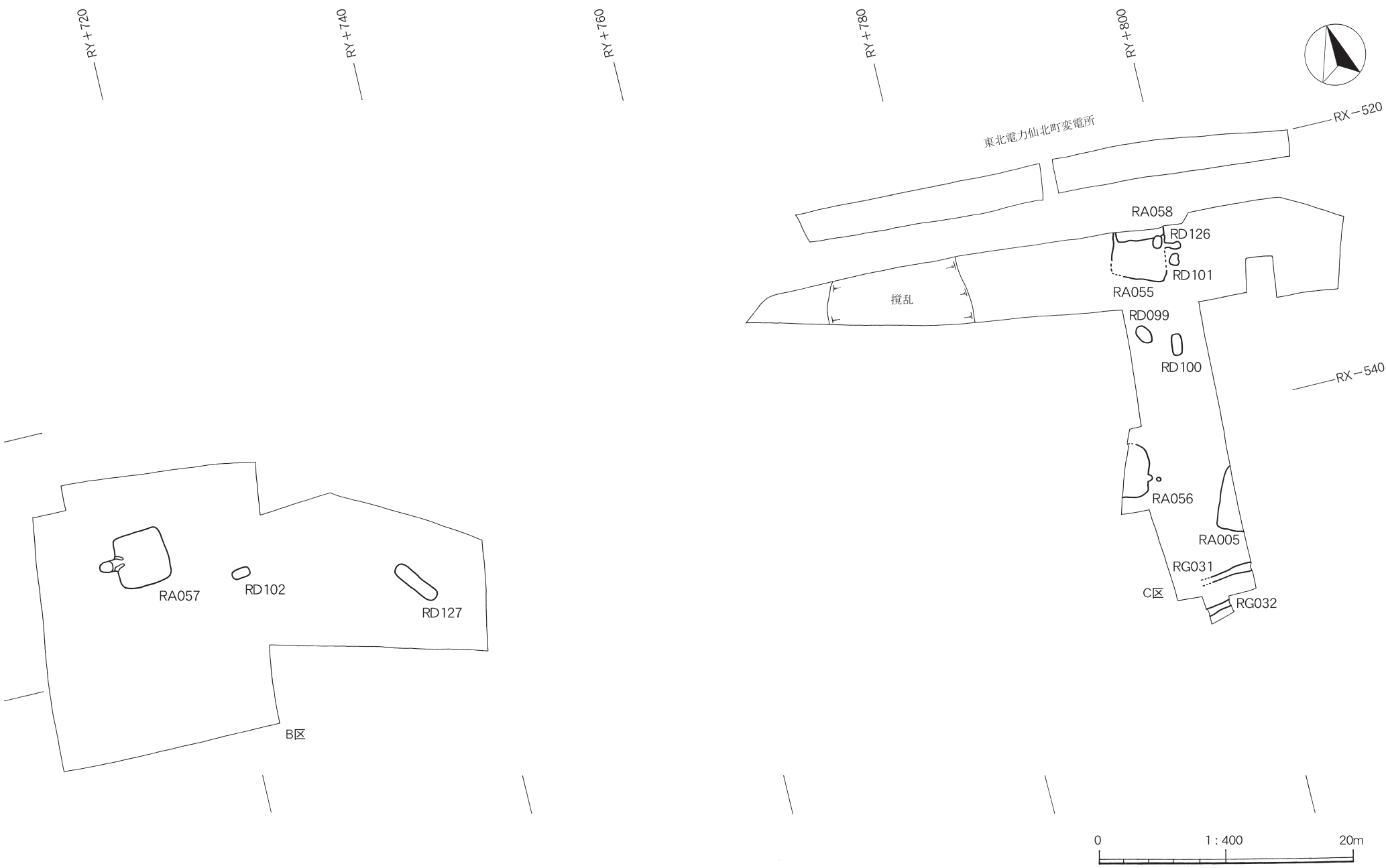


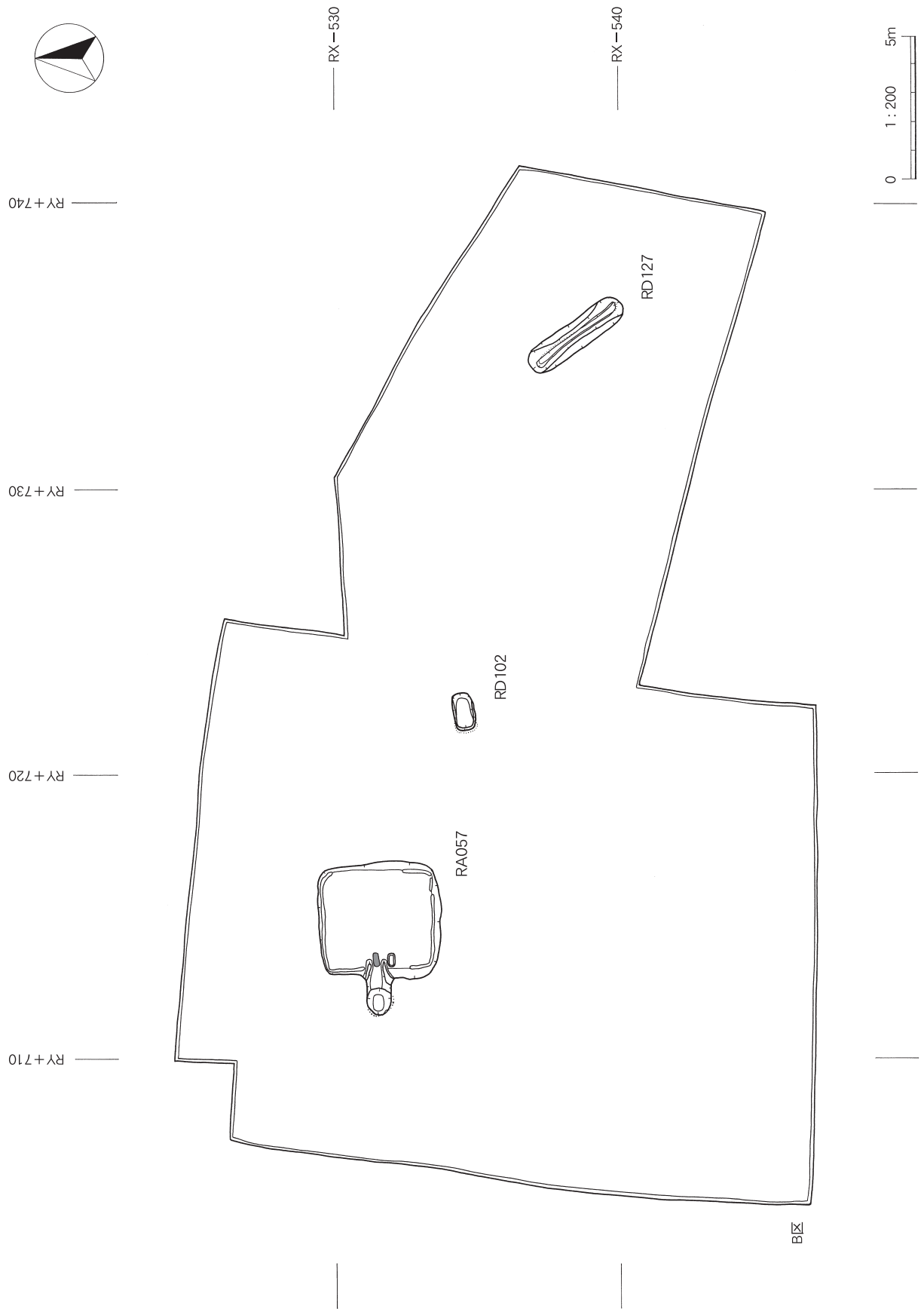
第50図 野古A遺跡第18次調査区全体図



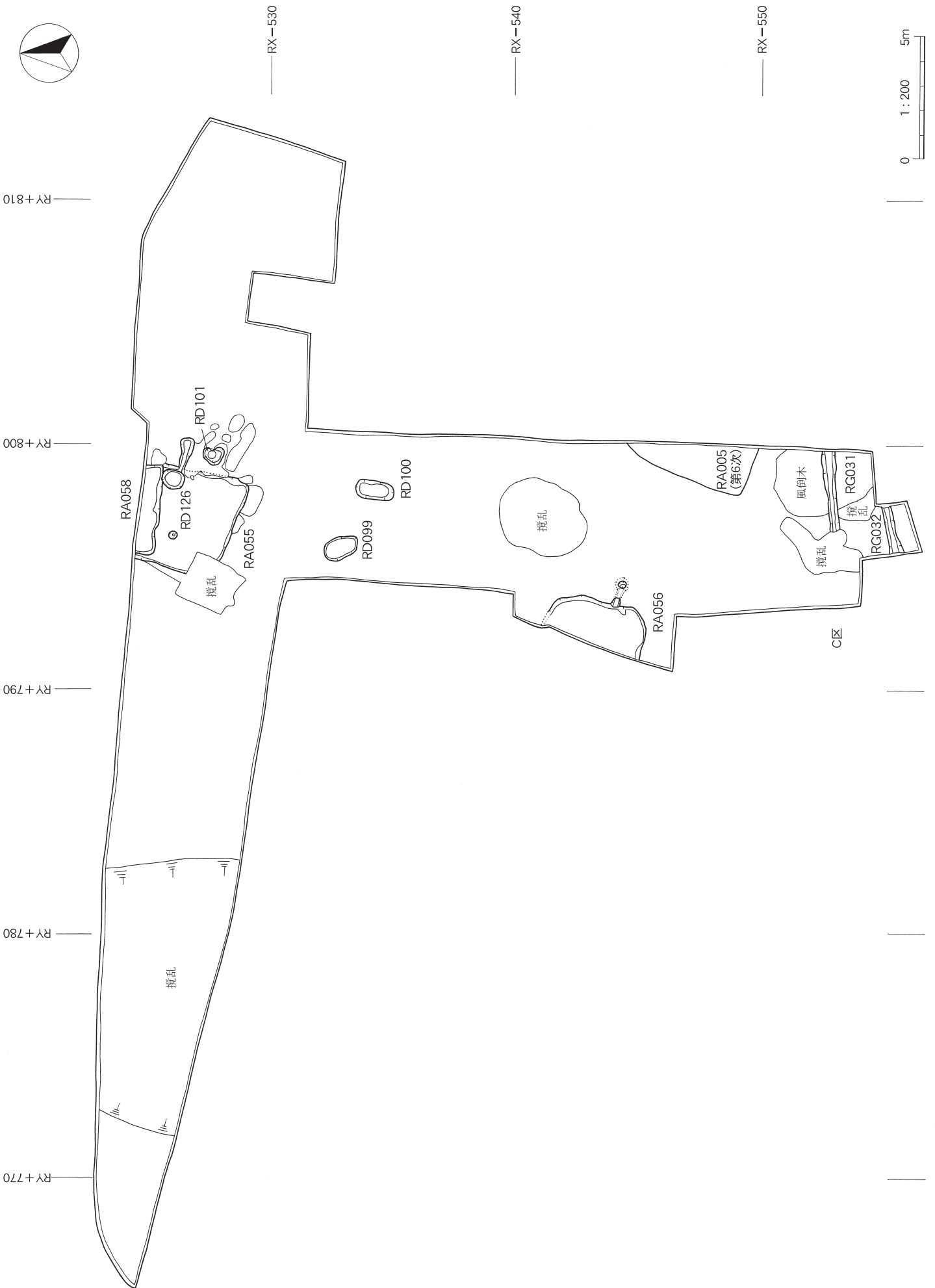
第51図 野古A遺跡第18次調査 RA054竪穴住居跡, RD084土坑

第52図 野古A遺跡第21次調査区全体図

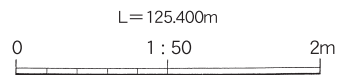
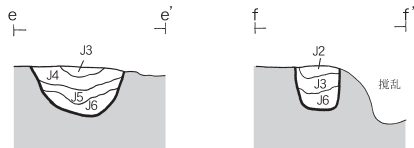
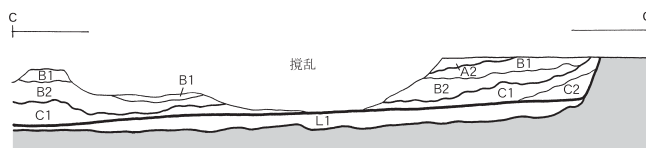
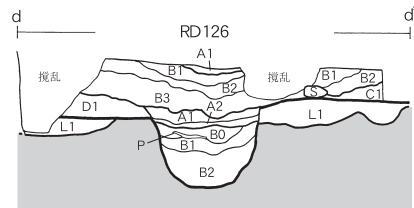
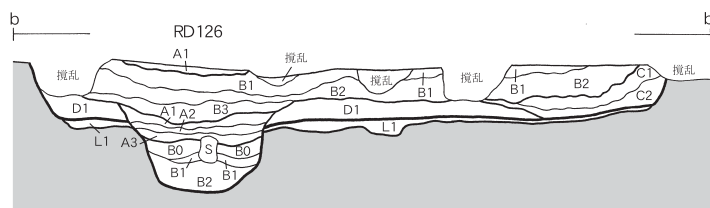
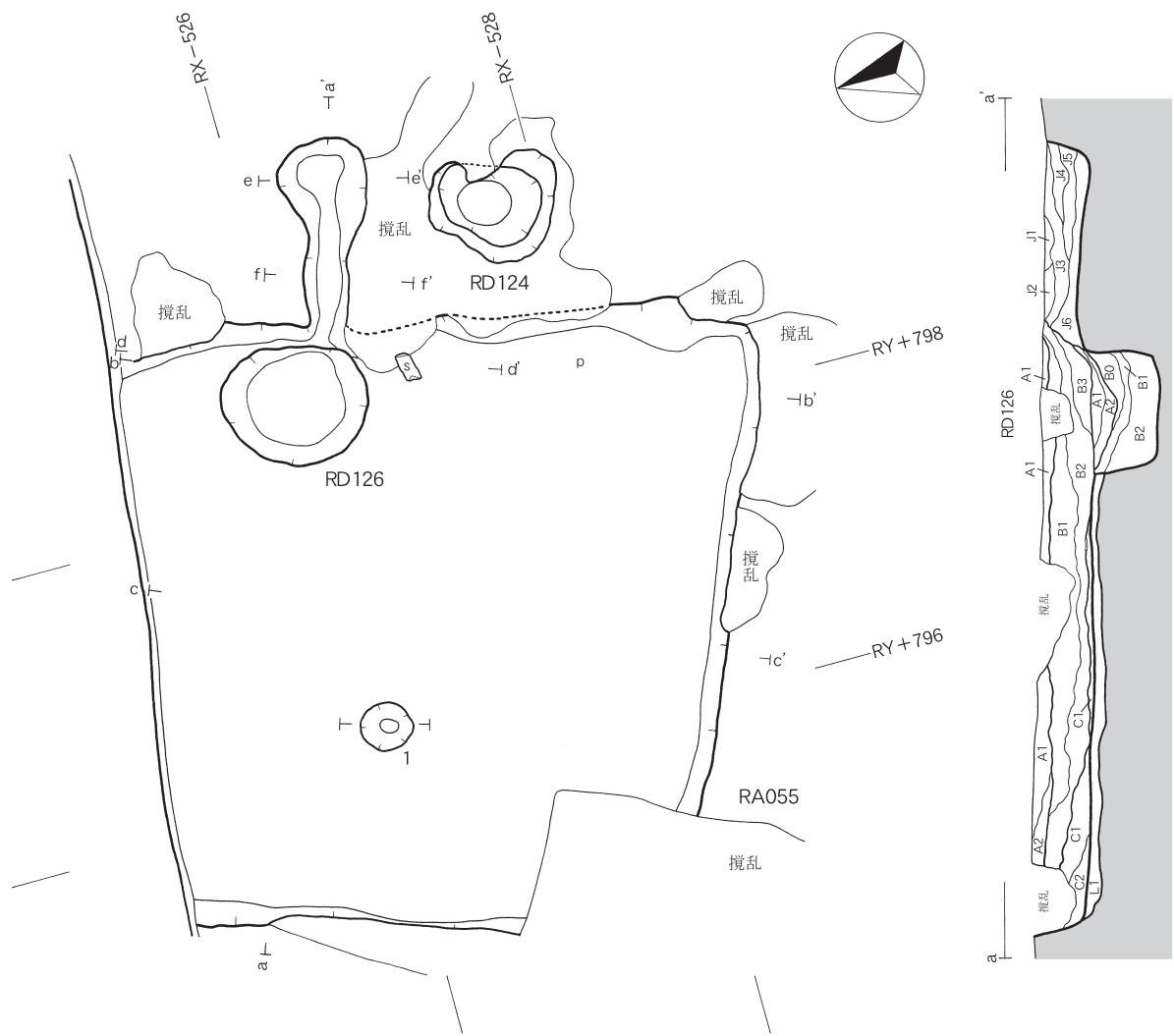




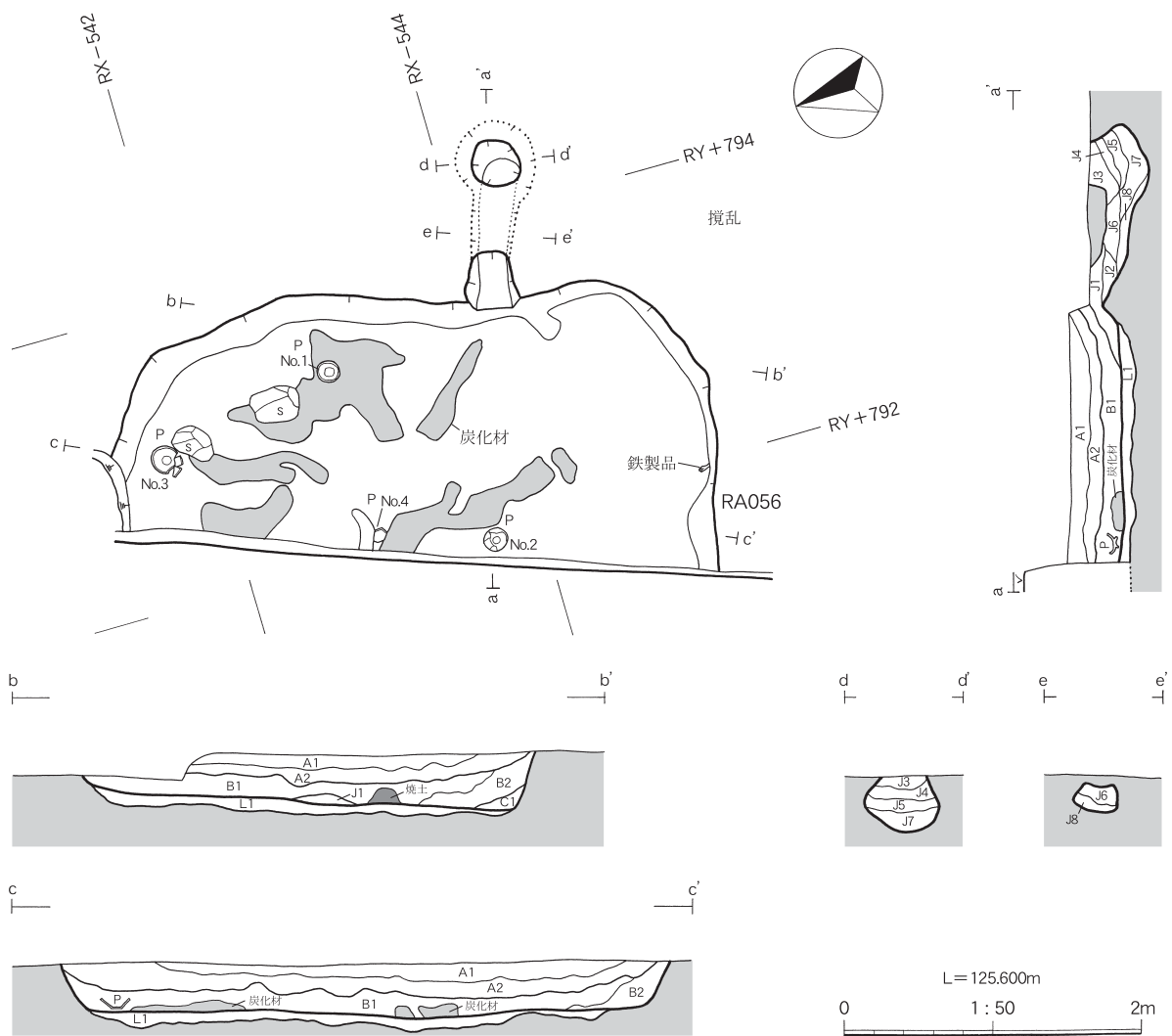
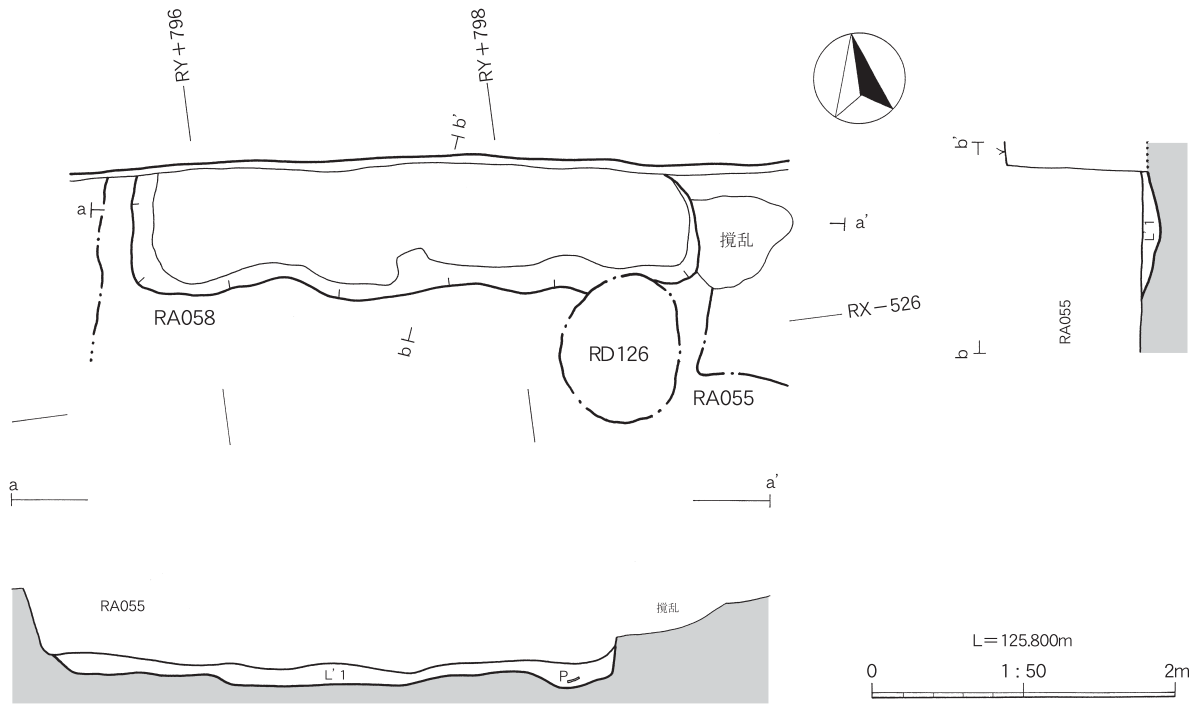
第53図 野古A遺跡第21次調査B区全体図



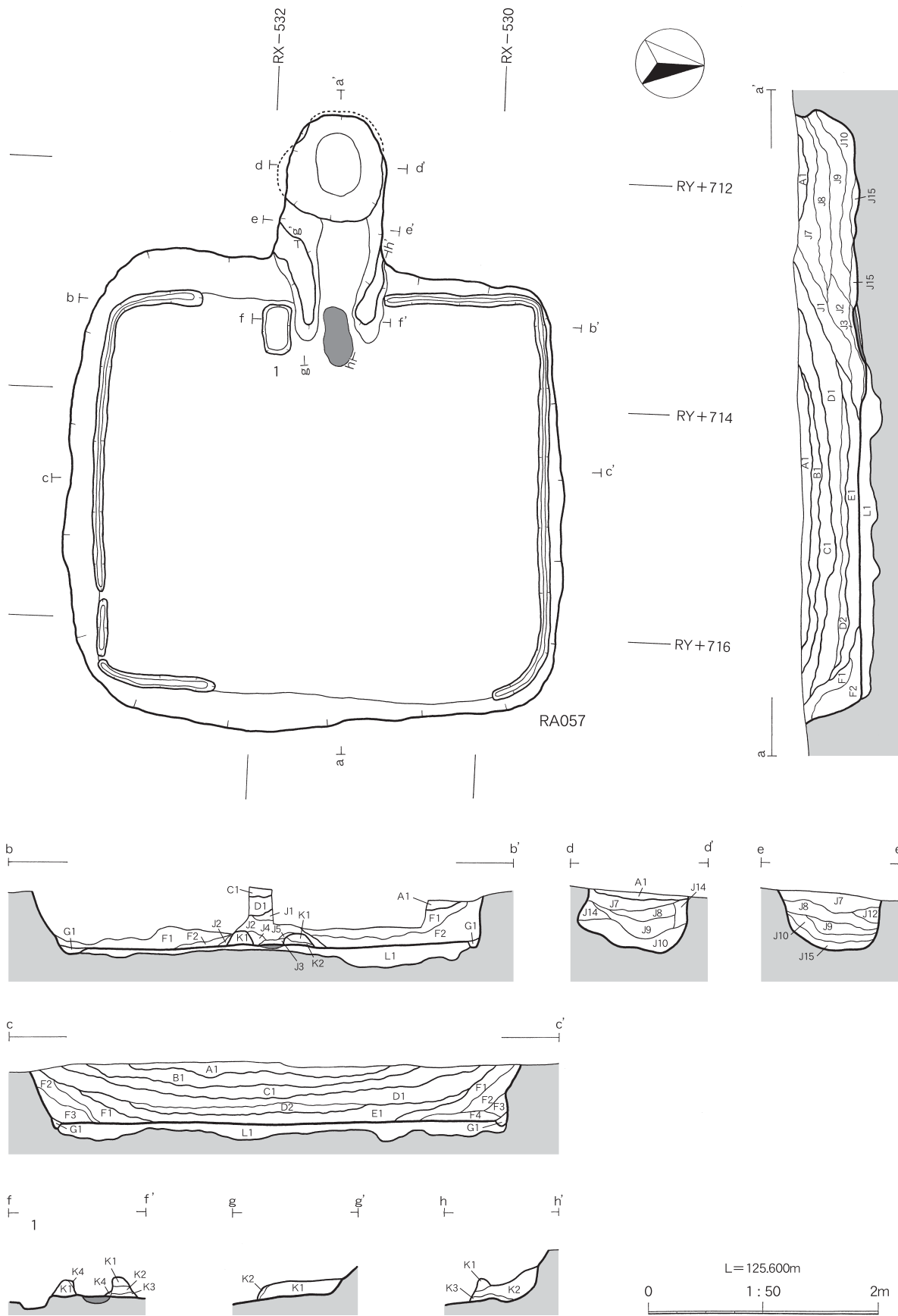
第54図 野古A遺跡第21次調査C区全体図



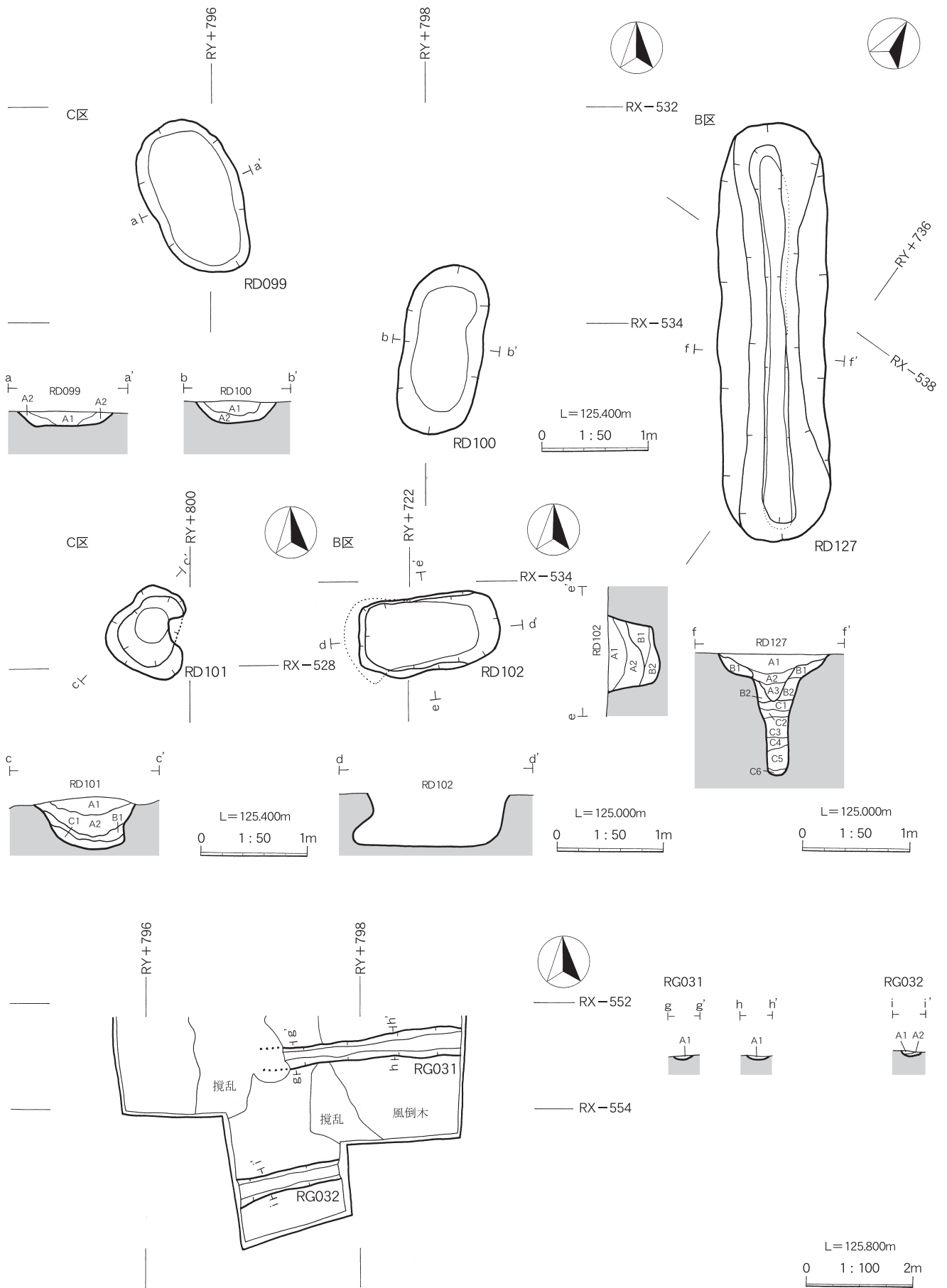
第55図 野古A遺跡第21次調査C区 RA055竪穴住居跡



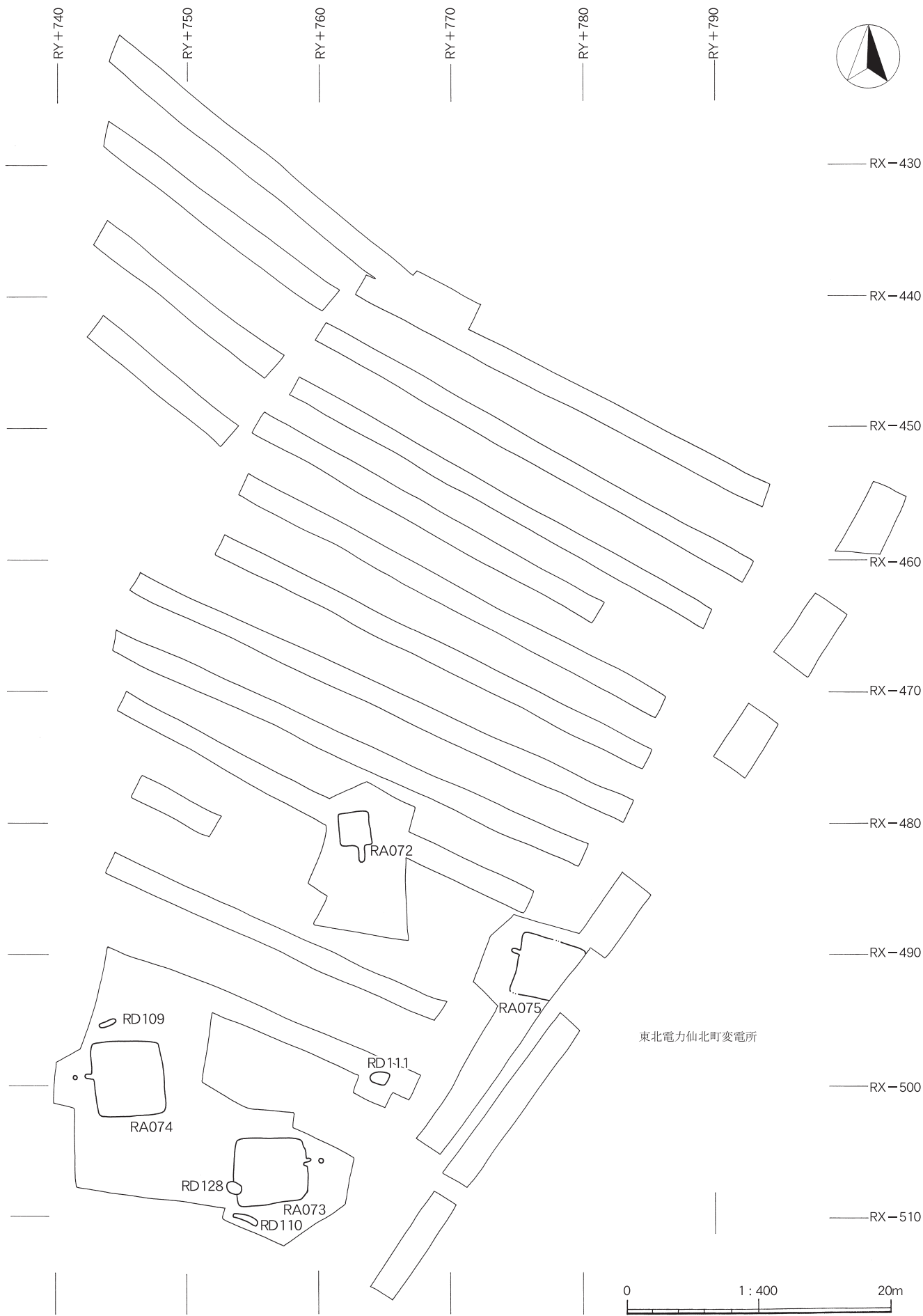
第56図 野古A遺跡第21次調査C区 RA056・058竪穴住居跡



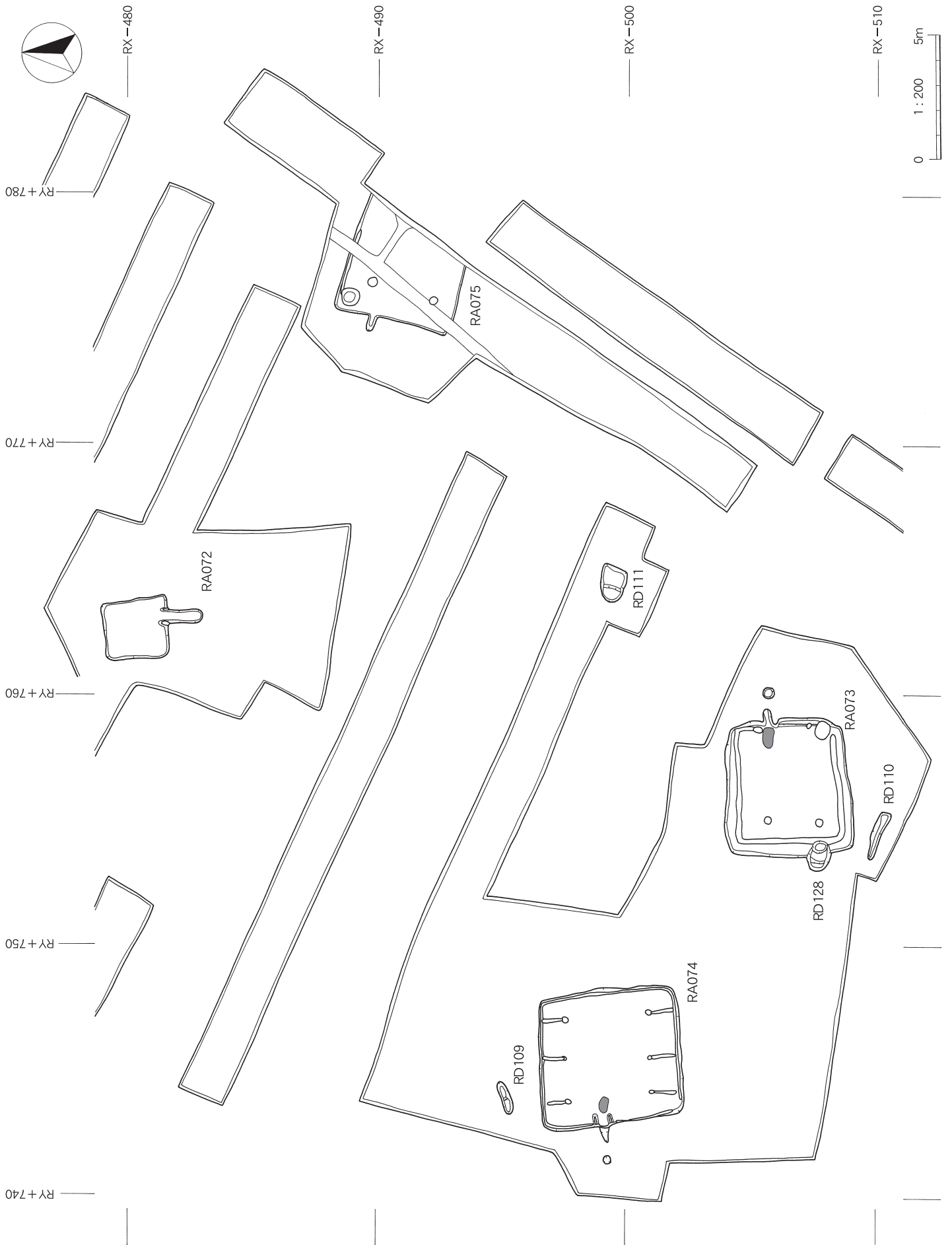




第58図 野古A遺跡第21次調査 RD099~102土坑, RD127陥し穴, RG031・032溝跡

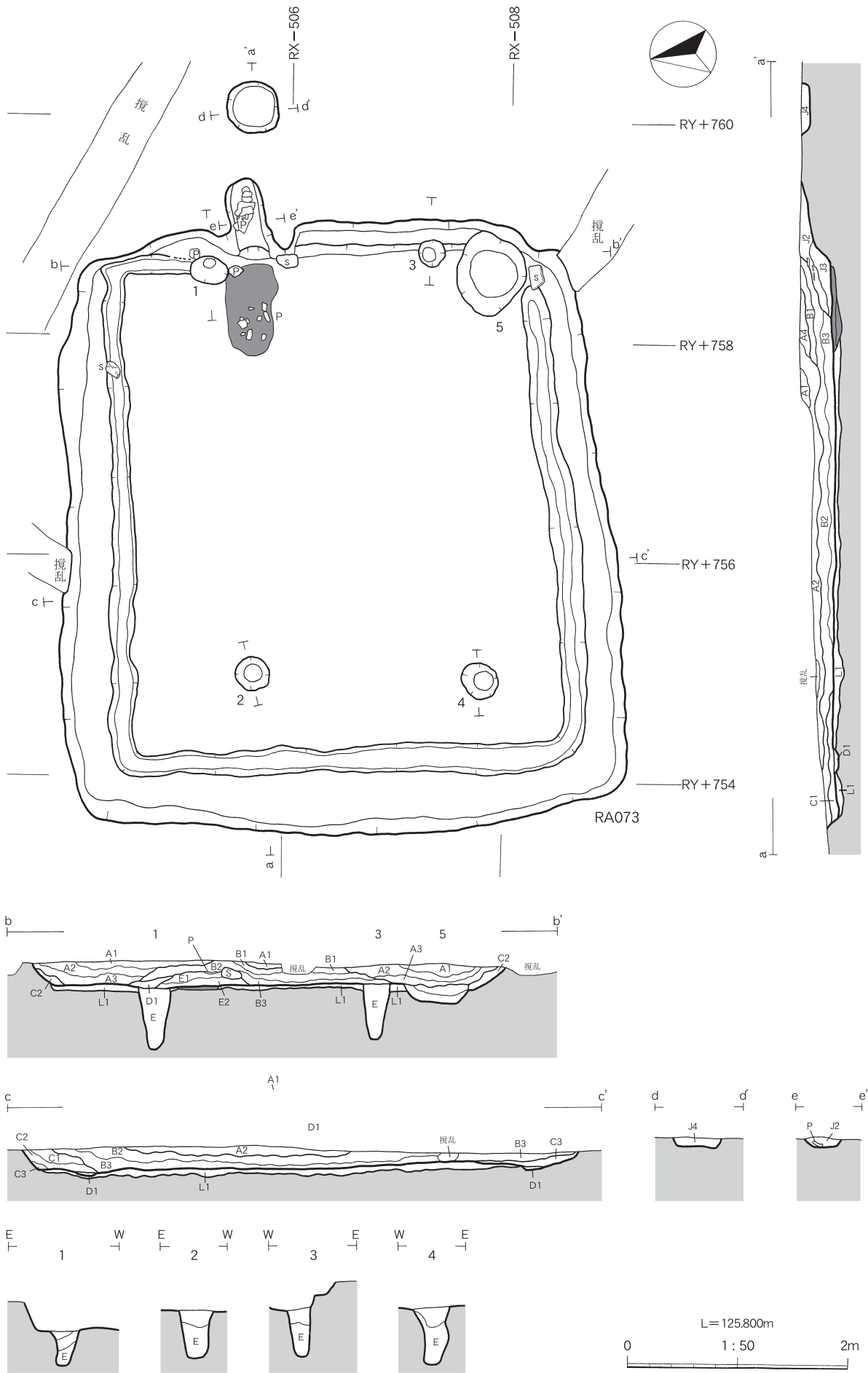


第59図 野古A遺跡第25次調査区全体図

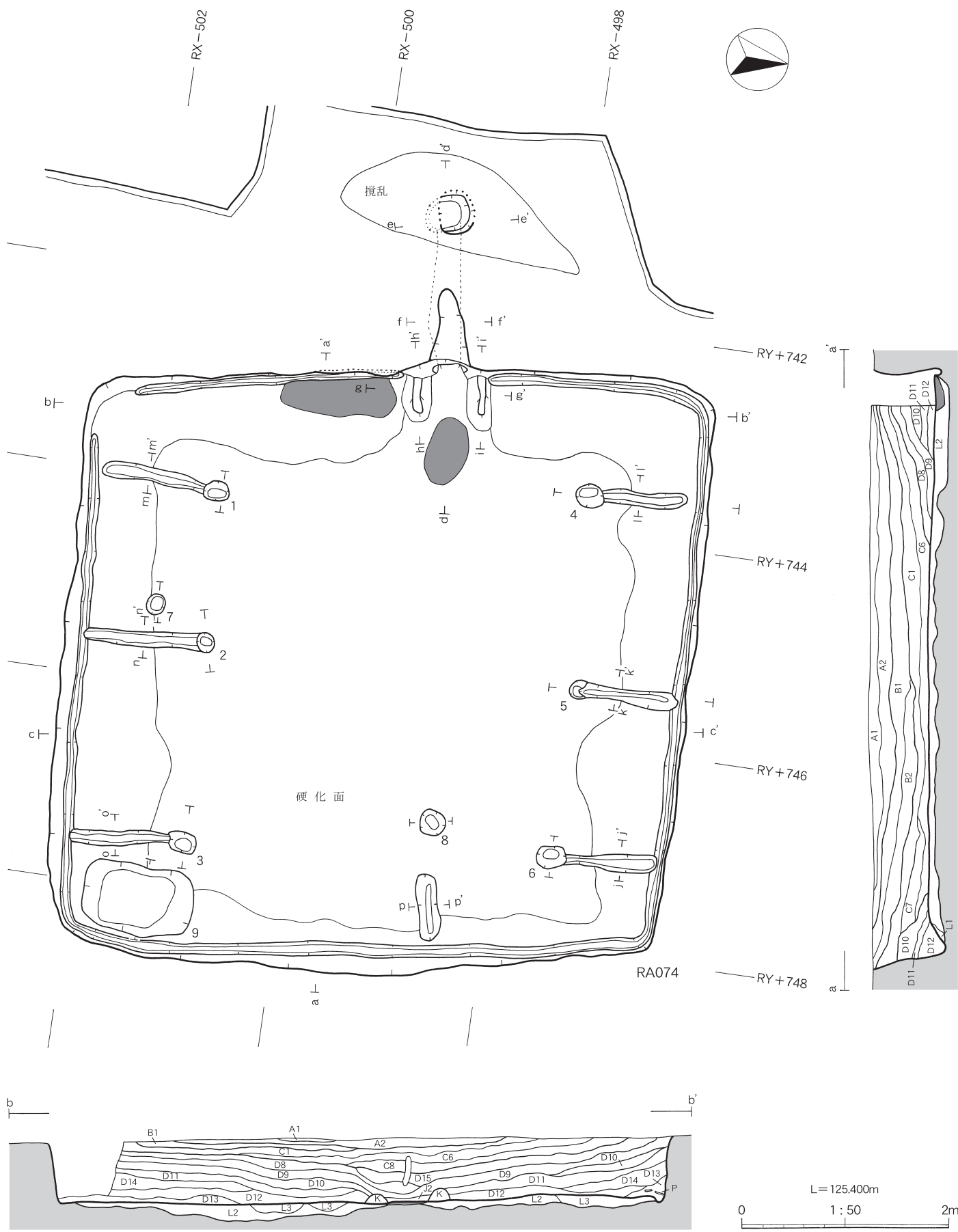


第60図 野古A遺跡第25次調査区南半部全体図

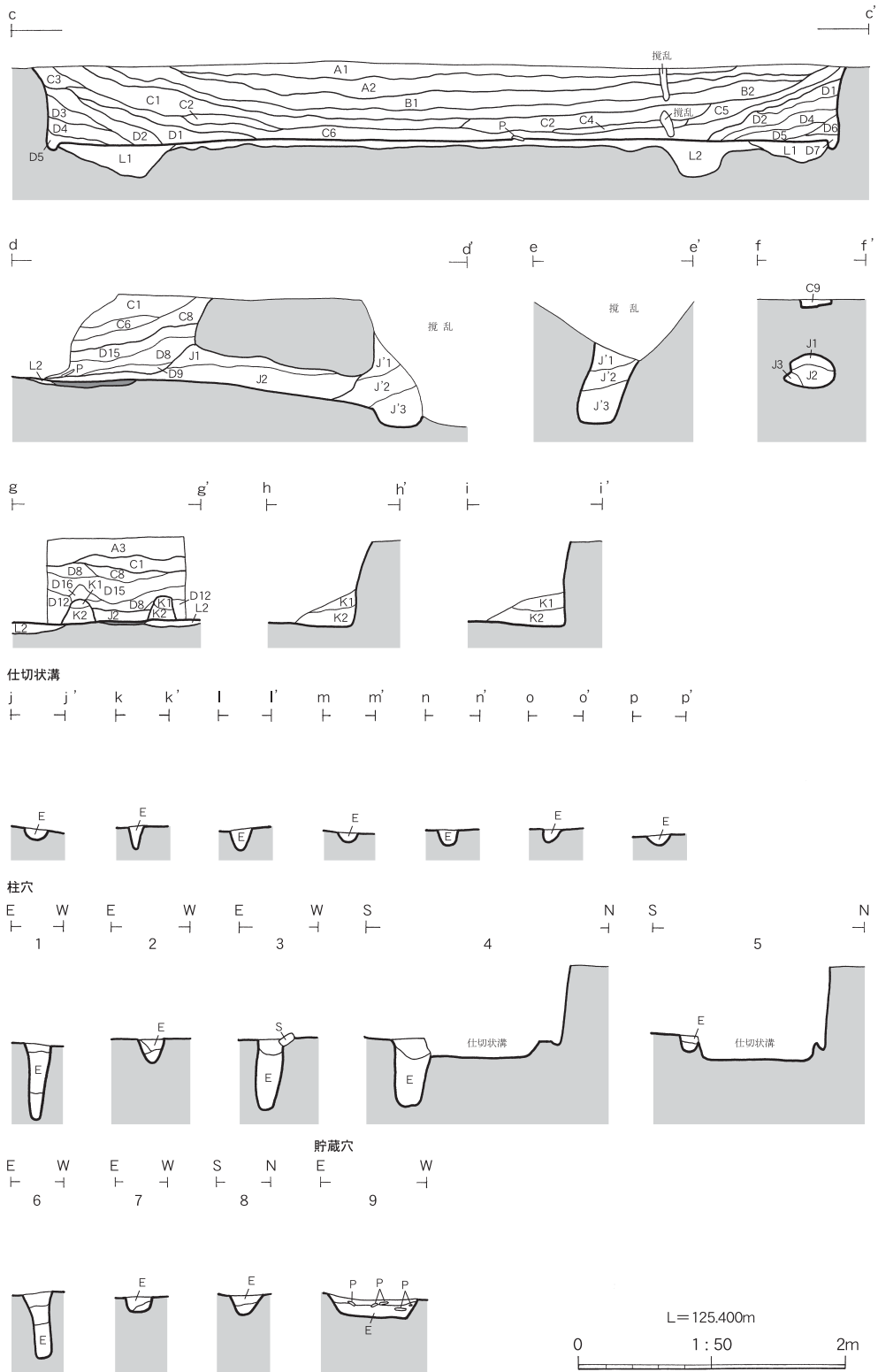




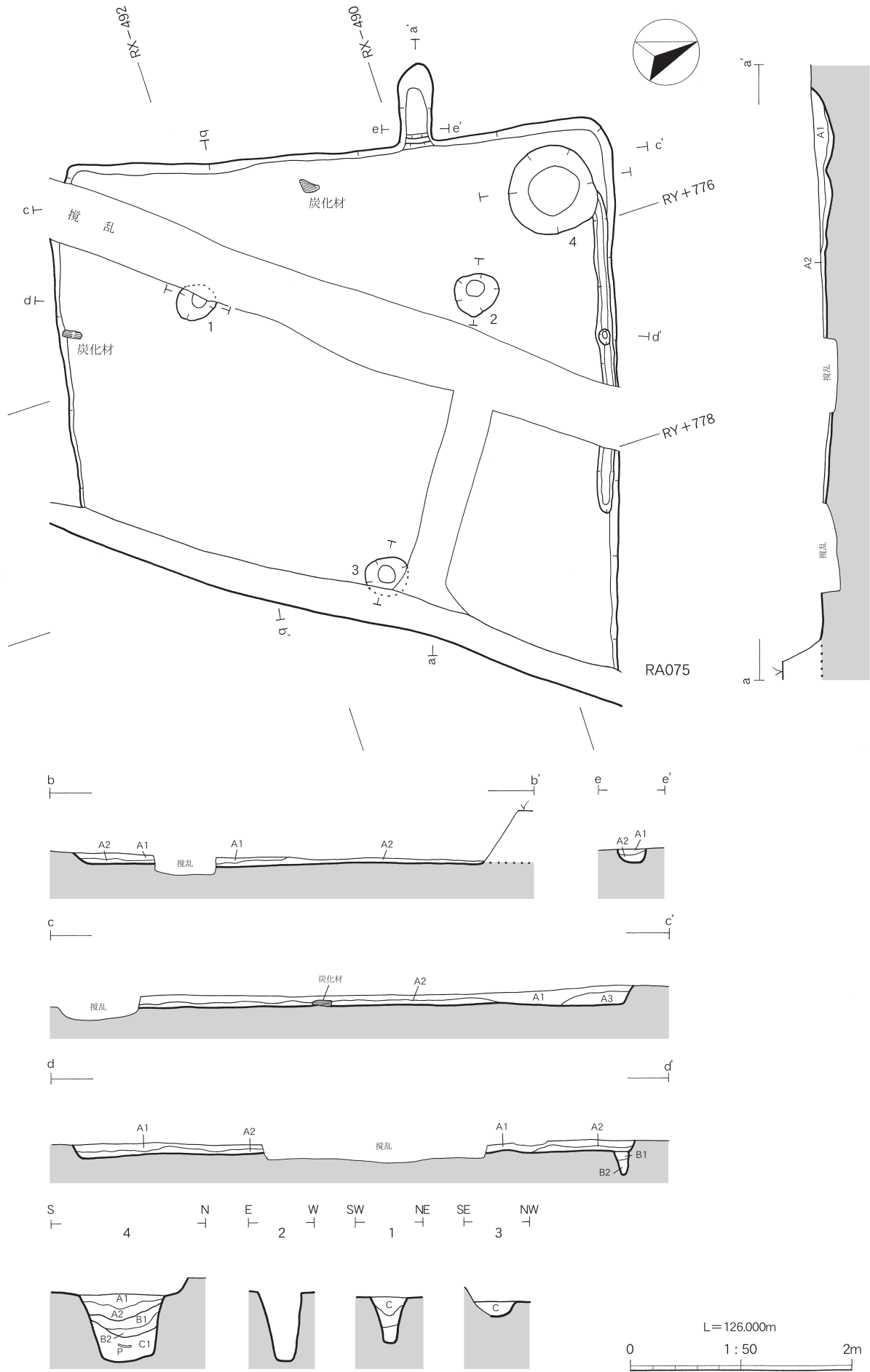
第62図 野古A遺跡第25次調査 RA073竪穴住居跡



第63図 野古A遺跡第25次調査 RA074竪穴住居跡(1)

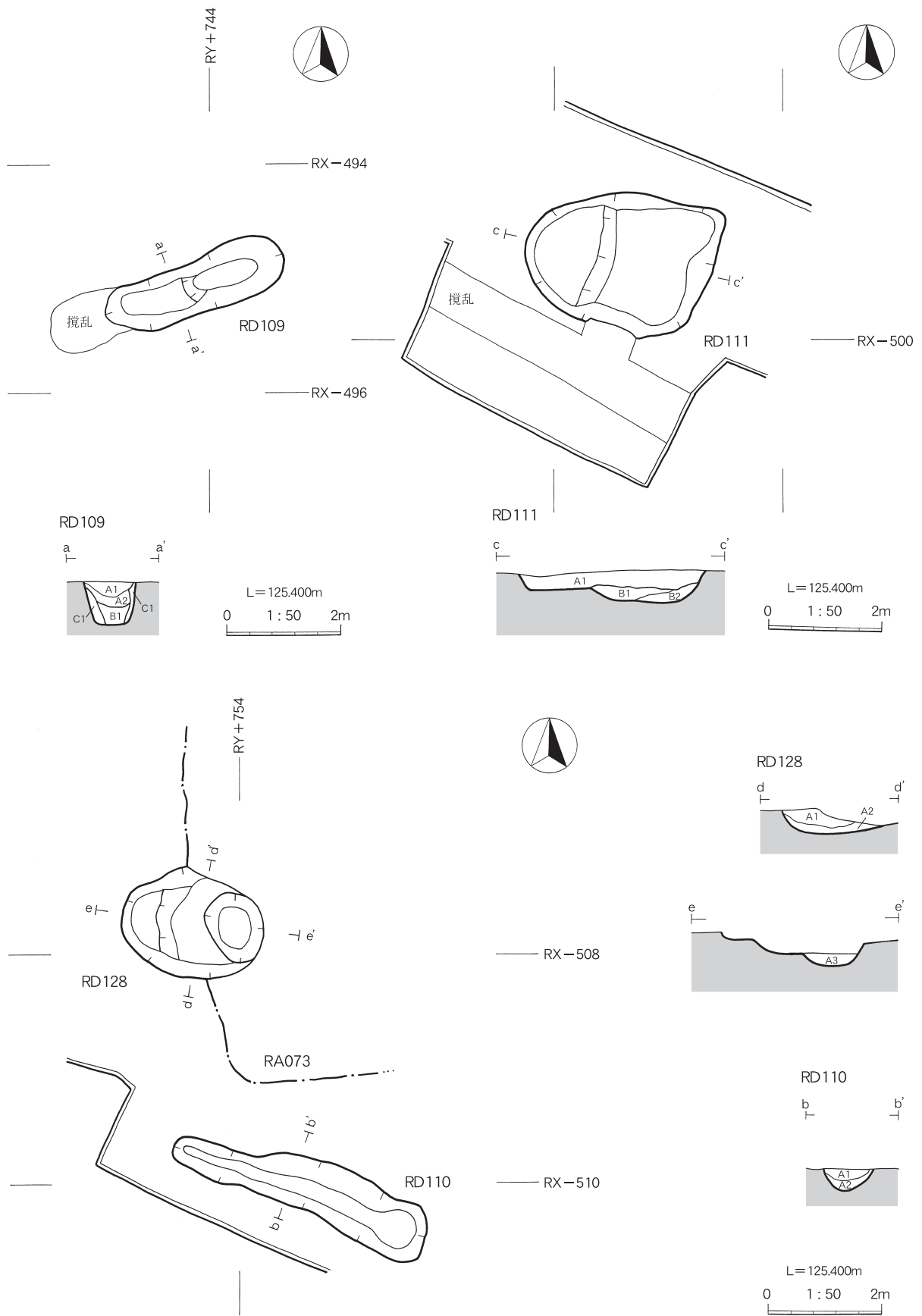


第64図 野古A遺跡第25次調査 RA074竪穴住居跡(2)



第65図 野古A遺跡第25次調査 RA075竪穴住居跡



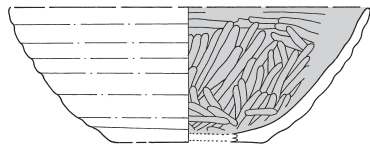


第66図 野古A遺跡第25次調査 RD109~111・128土坑

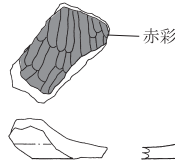


# 遺物 図 版

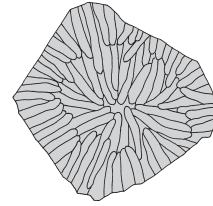




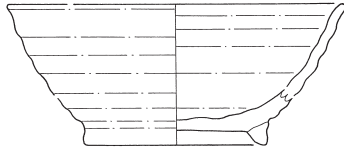
001 土師器坏-RA004-D2層



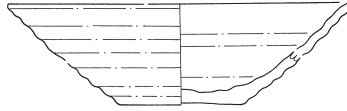
002 土師器坏-RA004-N区A層-赤彩



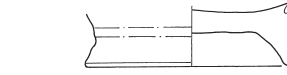
003 土師器高台付坏-RA004-W区A層



004 須恵器高台付碗-RA004-S区A層



005 あかやき土器坏-RA004-W区A層



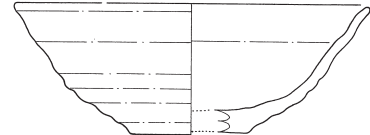
006 あかやき土器坏-RA004-W区A層



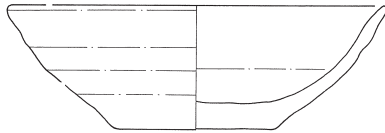
007 あかやき土器坏-RA004-W区A層



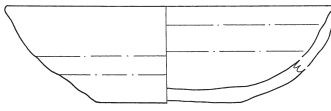
008 あかやき土器坏-RA004-W区A層



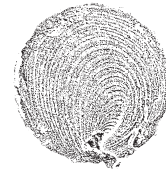
009 あかやき土器坏-RA004-S区A層



010 あかやき土器高台付坏-RA004-S区A層



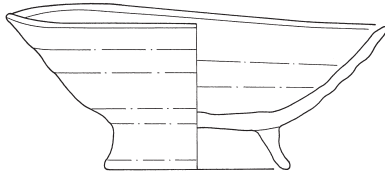
011 あかやき土器高台付坏-RA004-N区A層



012 あかやき土器高台付坏-RA004-N区A層



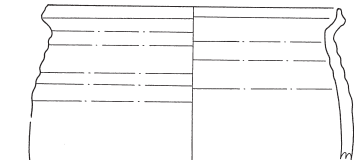
013 あかやき土器甕-RA004-W区A層



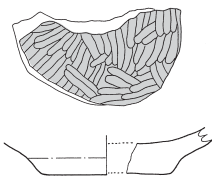
014 土師器坏-RA008-SE区埋土



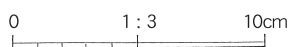
015 土師器甕-RA008-床面



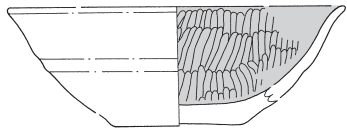
016 あかやき土器坏-RA006-床面(No.1)



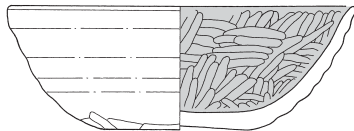
017 あかやき土器坏-RA006-SE区A層



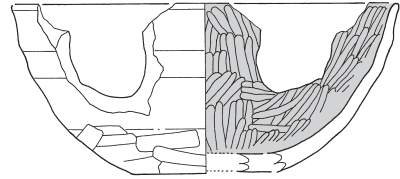
第67図 宮沢遺跡第9次調査 RA004・006・008 出土土器



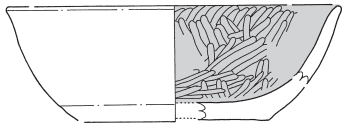
018 土師器環-RA007-カマド焚口J層



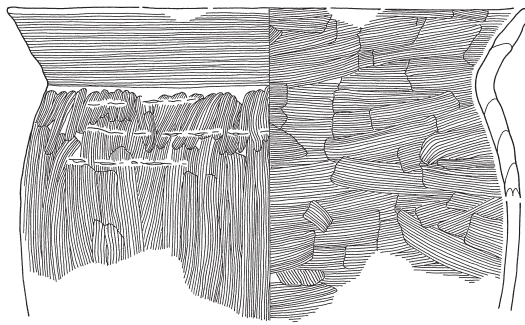
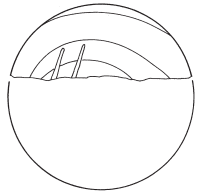
019 土師器環-RA007-煙道b埋土



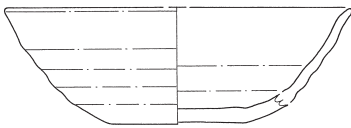
020 土師器環-RA007-SW区カマド焚口J層-体部穿孔



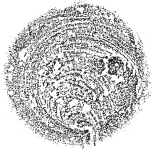
021 土師器環-RA007-SE区埋土-刻書



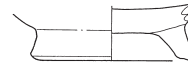
022 土師器甕-RA007-カマド焚口J層



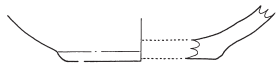
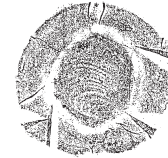
023 あかやき土器環-RA009-A層



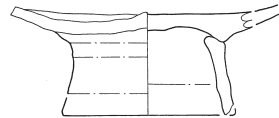
025 あかやき土器環-RA009-貯蔵穴焼土



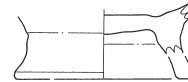
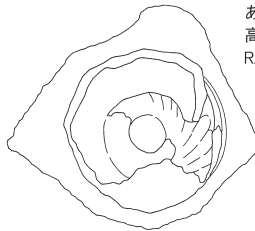
027 あかやき土器高台付環-RG024-A層



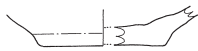
024 あかやき土器環-RA009-カマド周辺焼土



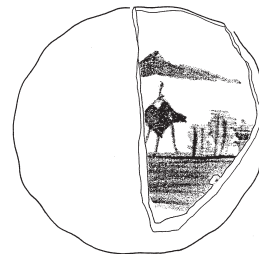
026 あかやき土器高台付環-RA009-貯蔵穴焼土



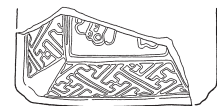
028 あかやき土器高台付環-RG024-A層



029 あかやき土器環-遺物包含層検出面



032 肥前染付輪花皿-I b層



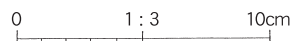
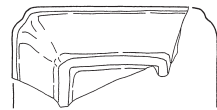
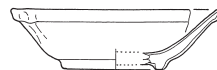
033 花古白磁角皿-遺物包含層検出面

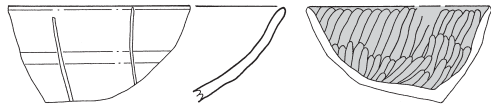


030 瀬戸美濃染付茶碗-遺物包含層検出面

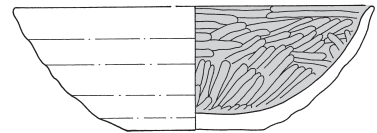


031 初期伊万里染付皿-I c層

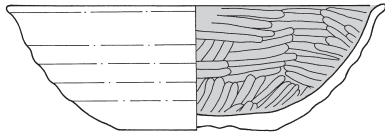




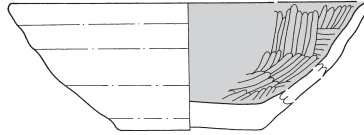
034 土師器坏-RA082-B層-線刻



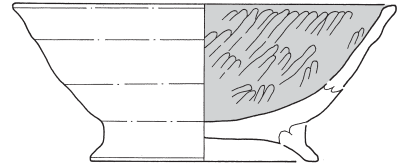
035 土師器坏-RA082-C層



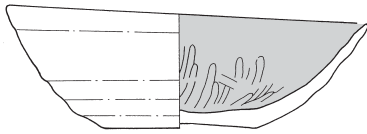
036 土師器坏-RA082-B層



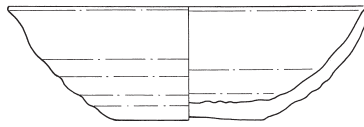
037 土師器坏-RA082-J層



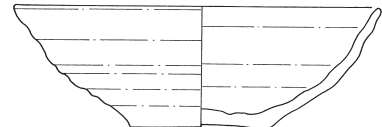
039 土師器高台付坏-RA082-C層



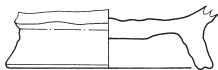
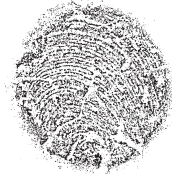
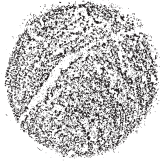
038 土師器坏-RA082-煙道J層



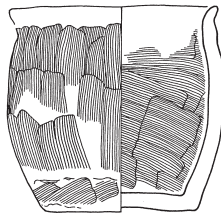
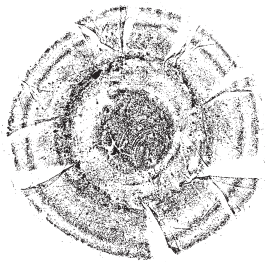
040 あかやき土器坏-RA082-C層



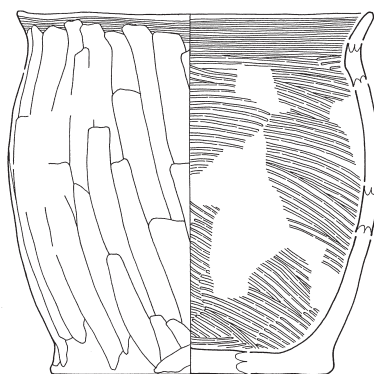
041 あかやき土器坏-RA082-カマド支脚



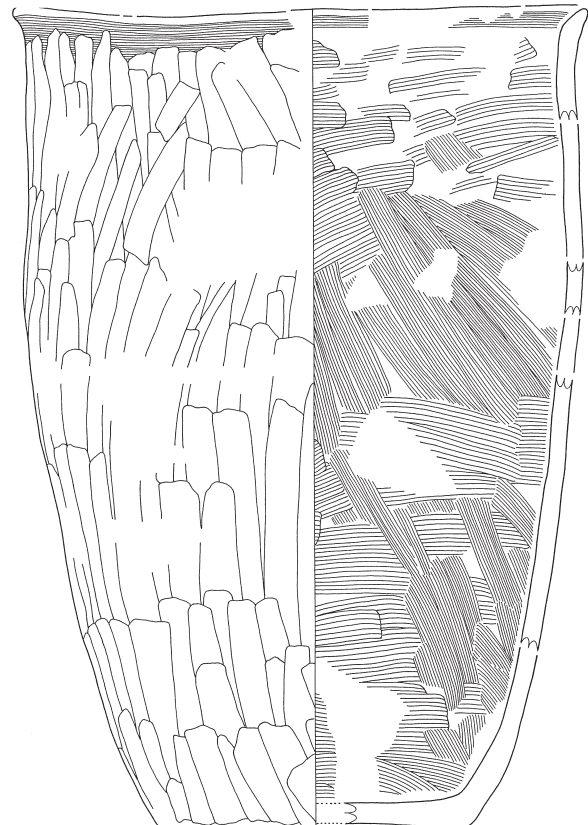
042 あかやき土器高台付坏-RA082-B層



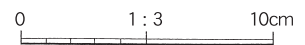
043 土師器小型甕-RA082-C層



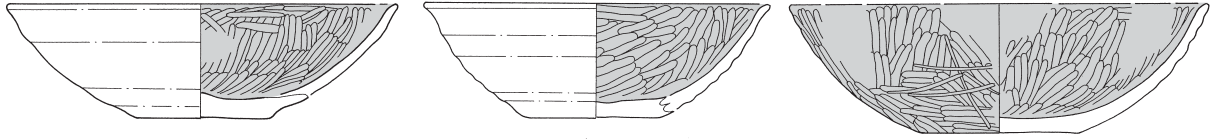
044 土師器甕-RA082-C層



045 土師器甕-RA082-B層



第69図 本宮熊堂B遺跡第23次調査 RA082 出土土器



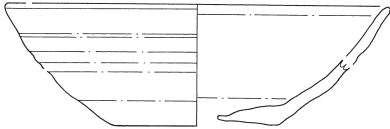
048 土師器坏-RA083-B層-刻書「本」



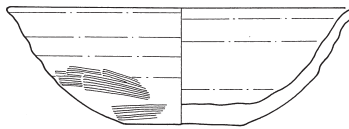
046 土師器坏-RA083-B層



047 土師器坏-RA083-床面(No.1)



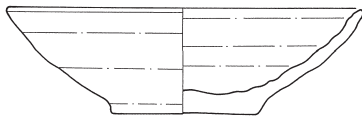
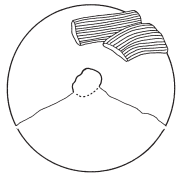
049 あかやき土器坏-RA083-煙道J層



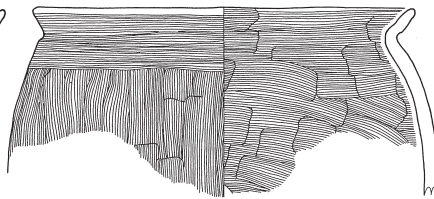
050 あかやき土器坏-RA083-A層



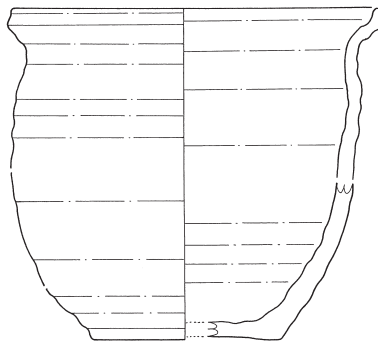
051 あかやき土器坏-RA083-NW区B層



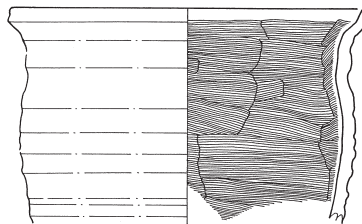
052 あかやき土器坏-RA083-NW区B層



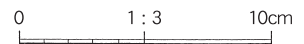
053 土師器甕-RA083-B層



054 あかやき土器小型甕-RA083-カマドJ層

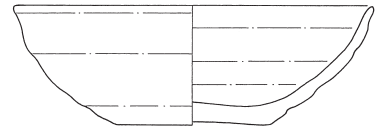
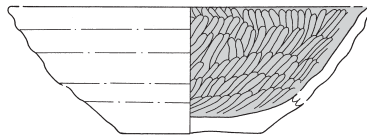


055 あかやき土器小型甕-RA083-B層



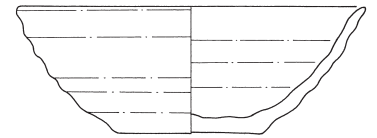
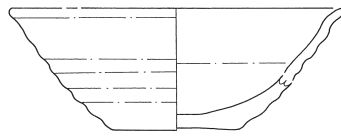
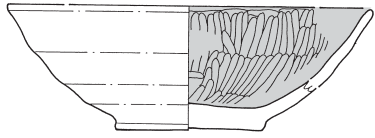
第70図 本宮熊堂B遺跡第23次調査 RA083 出土土器



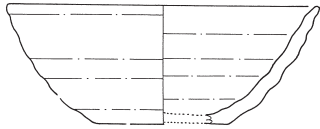


057 土師器環-RA131-埋土

058 あやき土器環-RA131-埋土



056 土師器環-RA131-B層-暗文

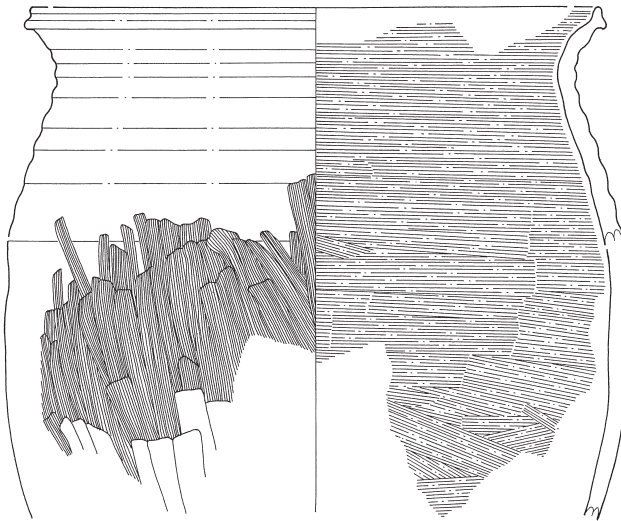


060 あかやき土器環-RA131-カマド前J層

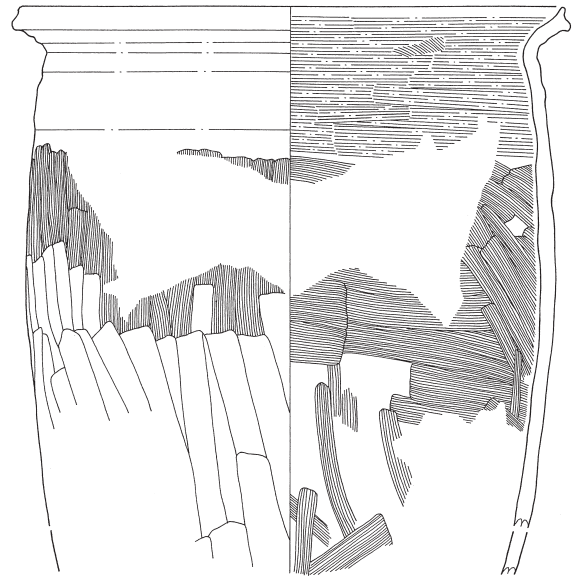


061 あかやき土器環-RA131-床面(No.3)

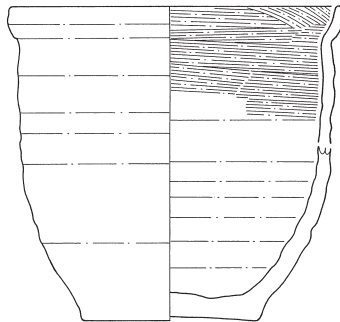
059 あかやき土器環-RA131-NW区A層



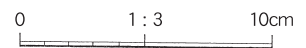
062 あかやき土器甕-RA131-床面(No.1)



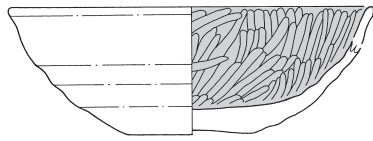
063 あかやき土器甕-RA131-pit3(No.2)



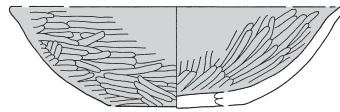
064 あかやき土器小型甕-NW区A層



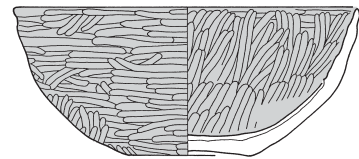
第71図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA131 出土土器



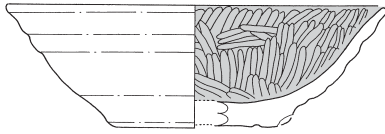
065 土師器坏-RA132-南東区A層



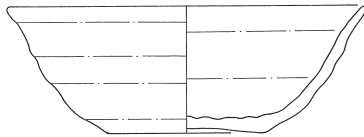
067 土師器坏-RA132-南東区A層



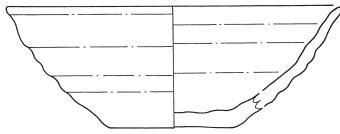
068 土師器坏-RA132-床面 (No.2)



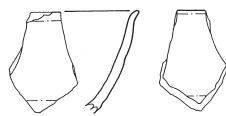
066 土師器坏-RA132-南東区L層



069 あかやき土器坏-RA132-南東区D層



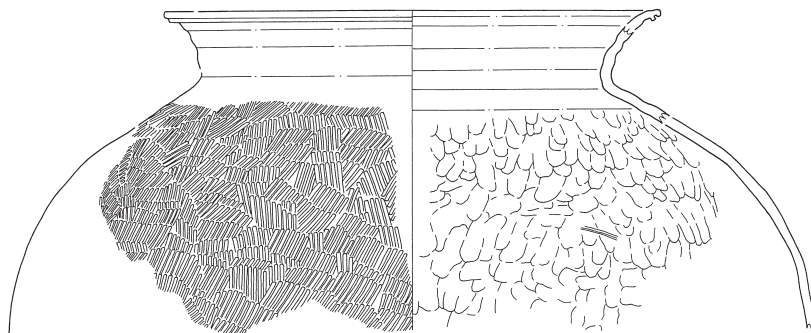
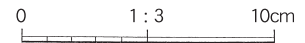
070 あかやき土器坏-RA132-南東区A層



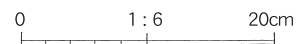
071 緑釉陶器碗-RA132-南東区B層



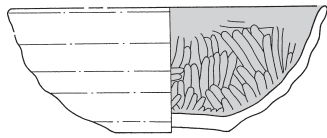
072 須恵器壺-RA132-床面 (No.1) -刻書「X」



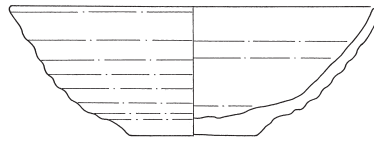
073 須恵器大甕-RA132-床面 (No.1)



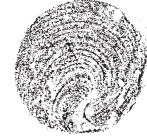
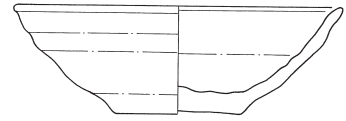
第72図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA132 出土土器・古代陶器



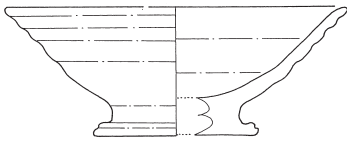
074 土師器坏-RA133-南西区B層



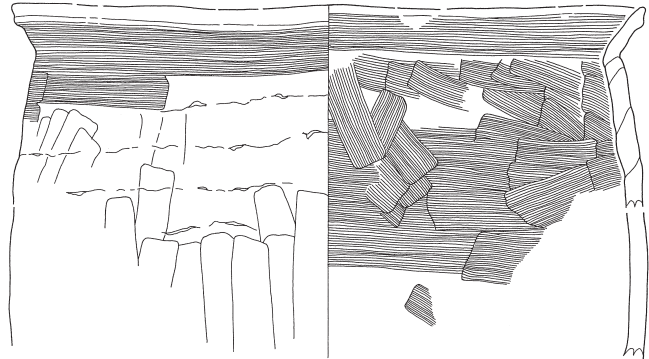
075 あかやき土器坏-RA133-南東区B層



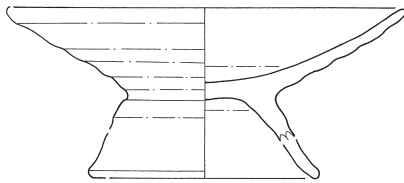
076 あかやき土器坏-RA133-床面 (No.1)



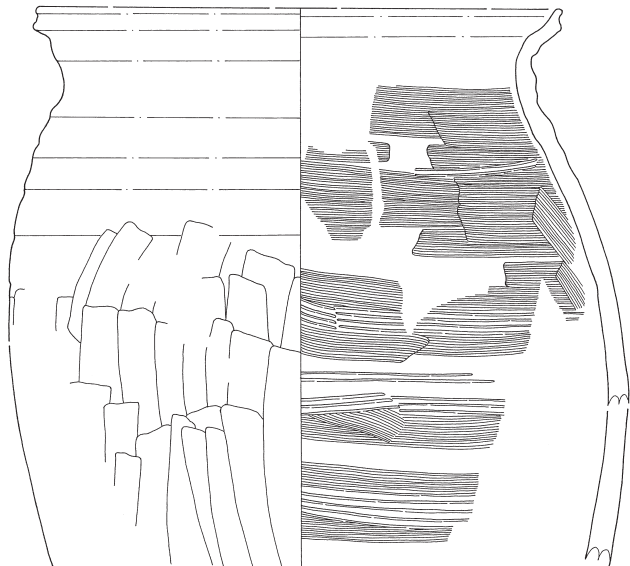
077 あかやき土器高台付坏-RA133-南西区A層



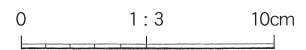
079 土師器甕-RA133-カマドJ層



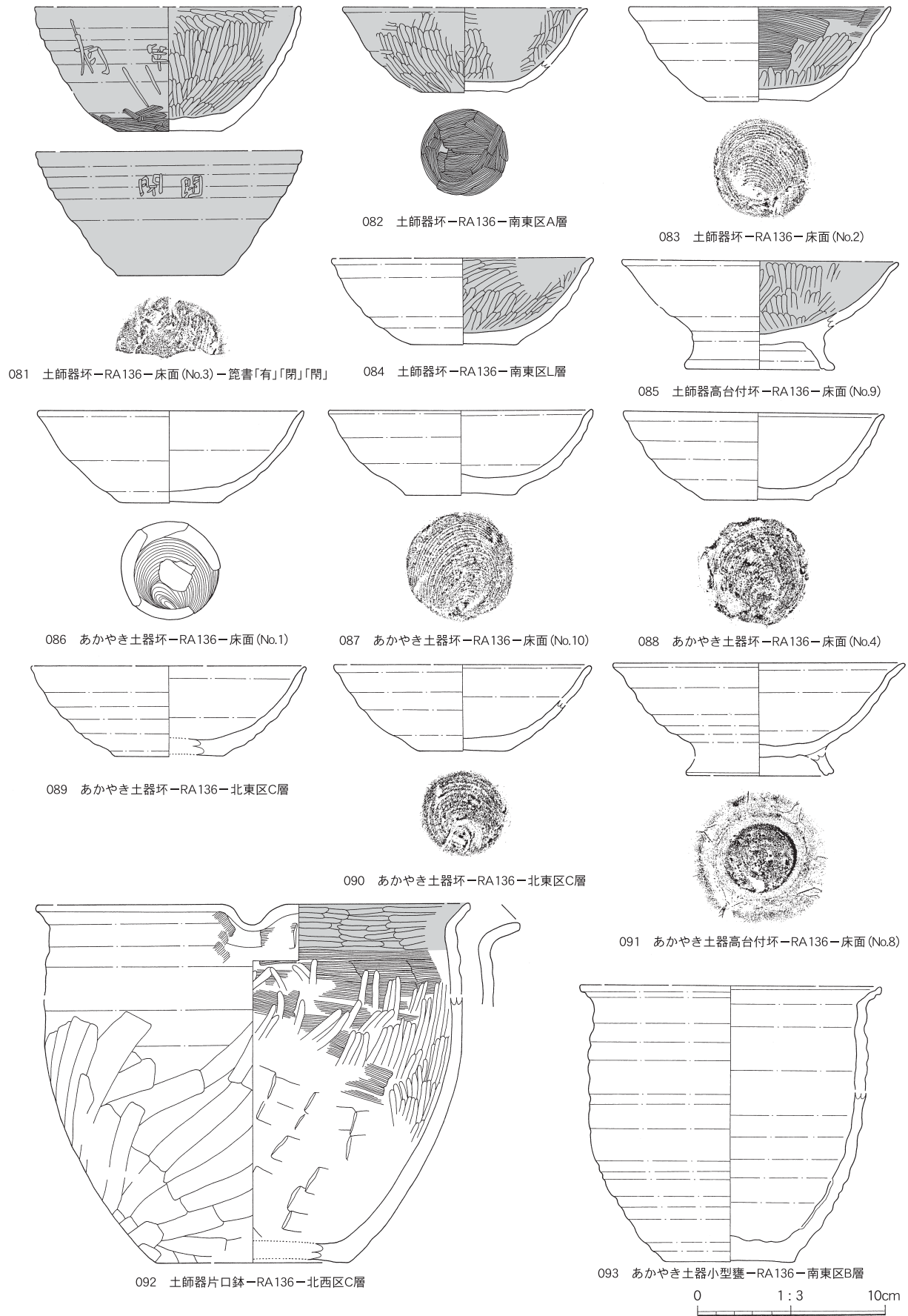
078 あかやき土器高台付坏-RA133-A層



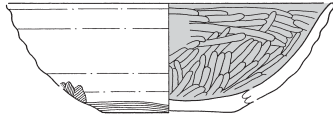
080 あかやき土器甕-RA133-煙出J層



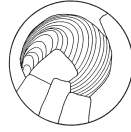
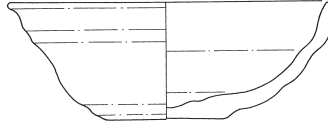
第73図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA133 出土土器



第74図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA136 出土土器



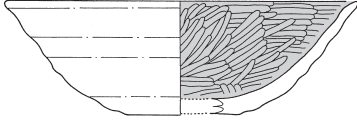
094 土師器環-RA137-南西区C層



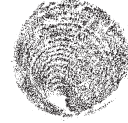
096 あかやき土器環-RA137-C層



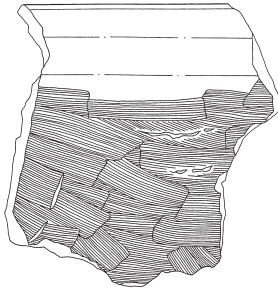
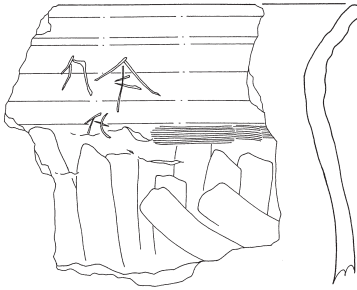
097 あかやき土器環-RA137-床面(No.2)



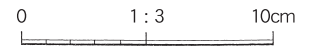
095 土師器環-RA137-北東区B層



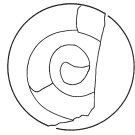
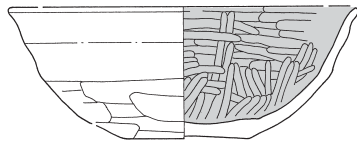
098 あかやき土器環-RA137-煙道J層



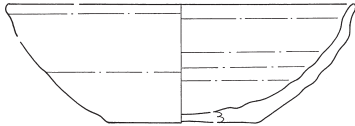
099 あかやき土器壺-RA137-煙道J層-刻書「八」「本」「代」



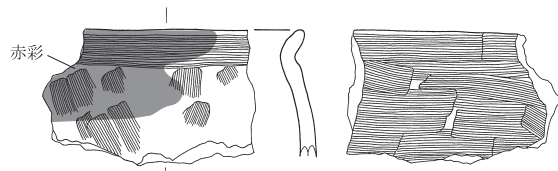
第75図 本宮熊堂B遺跡第28次調査 RA137 出土土器



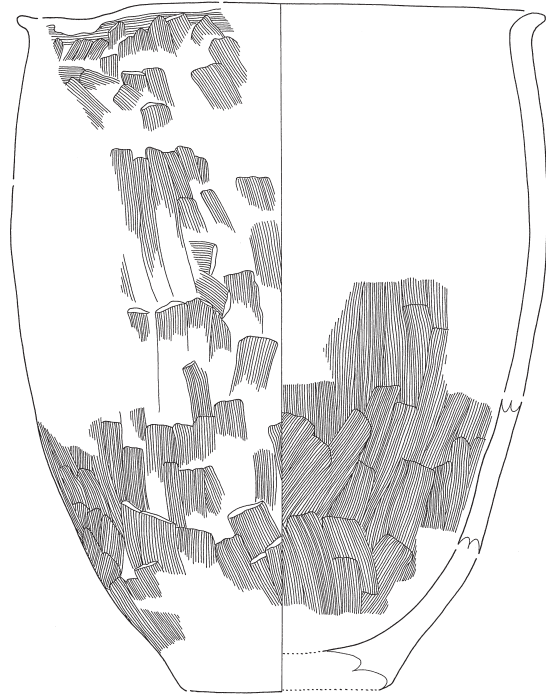
100 土師器坏-RA055-東側L層



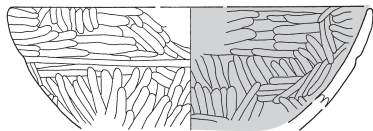
101 あやかき土器坏-RA055-床面



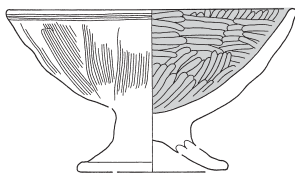
102 土師器甕-RA055-B層-赤彩



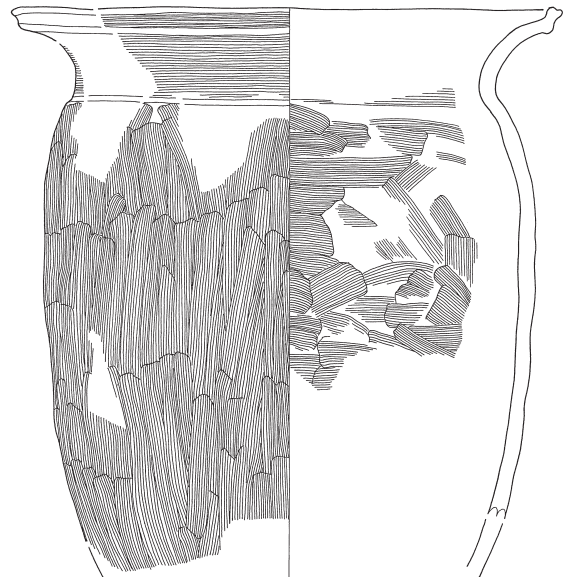
103 土師器甕-RA055-床面



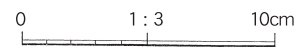
104 土師器坏-RA057-J1層



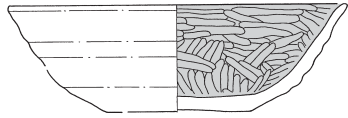
105 土師器高台付坏-RA057-J1層



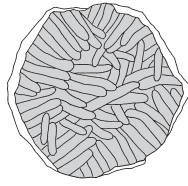
106 土師器甕-RA057-床面



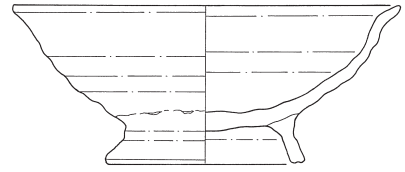
第76図 野古A遺跡第21次調査 RA055・057 出土土器



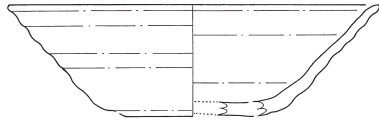
107 土師器坏-RA056-C層(No.1)



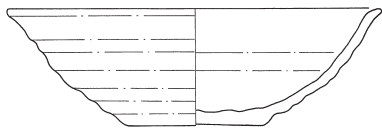
108 土師器高台付坏-RA056-B1層



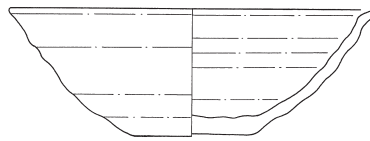
109 あかやき土器高台付坏-RA056-C層(No.2)



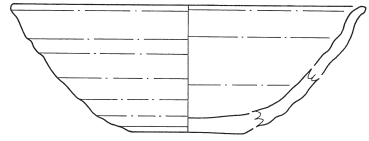
110 あかやき土器坏-RA056-B1層



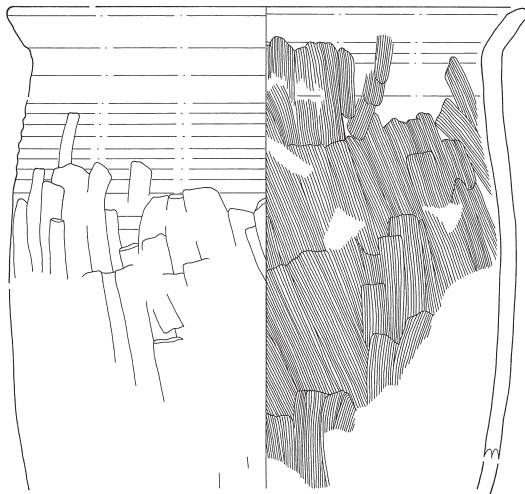
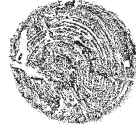
111 あかやき土器坏-RA056-埋土



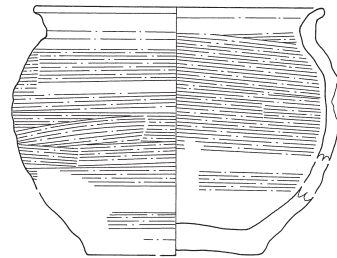
112 あかやき土器坏-RA056-C層(No.3)



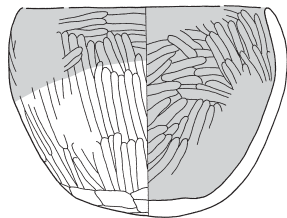
113 あかやき土器坏-RA056-B1層



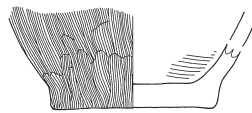
114 あかやき土器甕-RA056-床面(No.4)



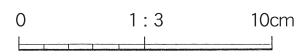
115 須恵器小型壺-RA056-埋土



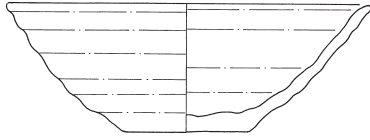
116 土師器鉢-RD102-B層



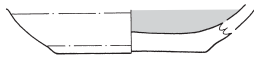
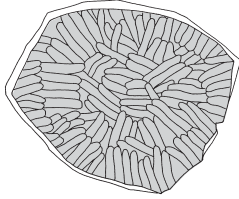
117 土師器甕-RD099-A層



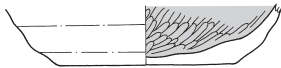
第77図 野古A遺跡第21次調査 RA056, RD099・102 出土土器



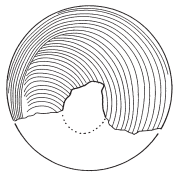
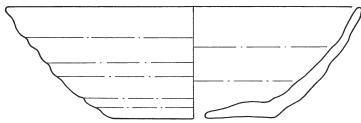
118 あかやき土器環-RA072-床面(No.1)



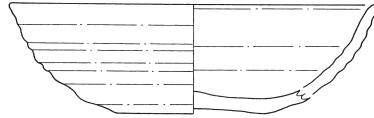
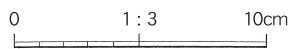
119 土師器環-RA073-SE区B層



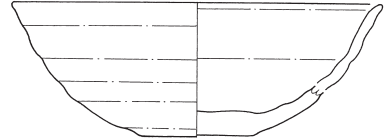
120 土師器環-RA073-SE区B層



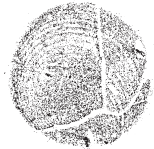
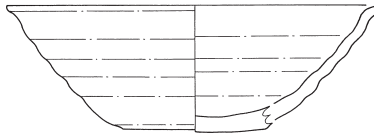
125 あかやき土器環-RA073-煙道底面(No.1)



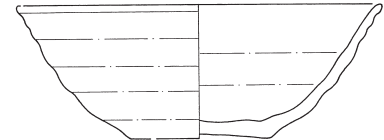
121 あかやき土器環-RA073-ベルトA層



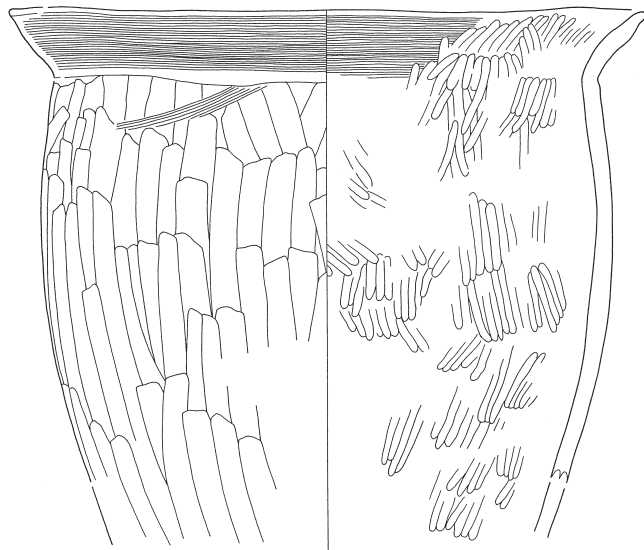
122 あかやき土器環-RA073-床面(No.6)



123 あかやき土器環-RA073-カマドJ層

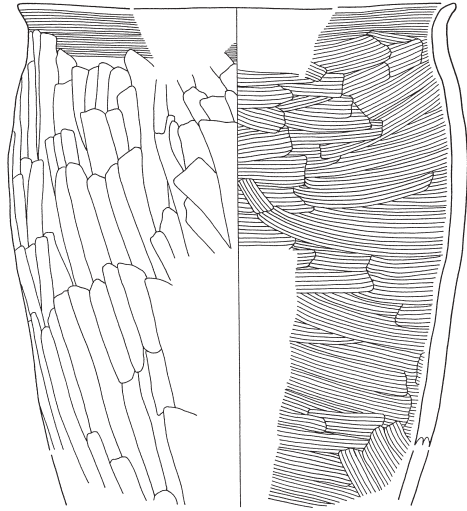


124 あかやき土器環-RA073-床面(No.5)



126 土師器甕-RA073-煙道底面(No.1)

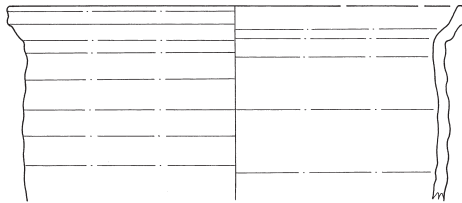




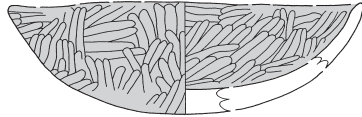
127 土師器甕-RA073-床面(No.2)



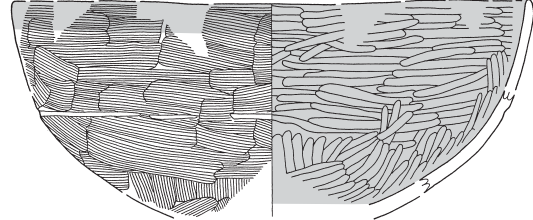
128 土師器甕-RA073-床面(No.4)



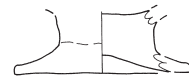
129 あかやき土器甕-RA073-床面(No.4)



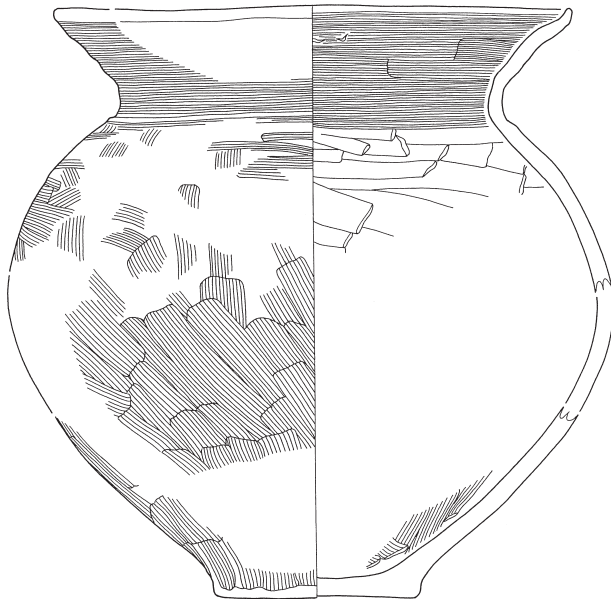
130 土師器坏-RA074-SE区D層



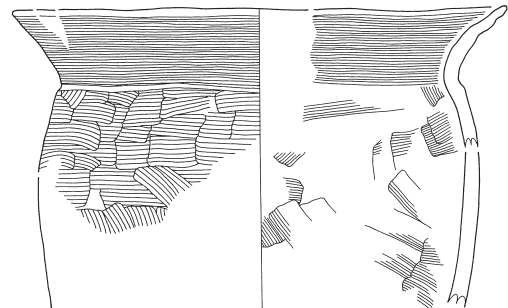
131 土師器坏-RA074-NW区カマドJ層



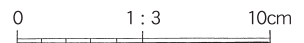
132 土師器高台付坏-RA074-ベルトA層



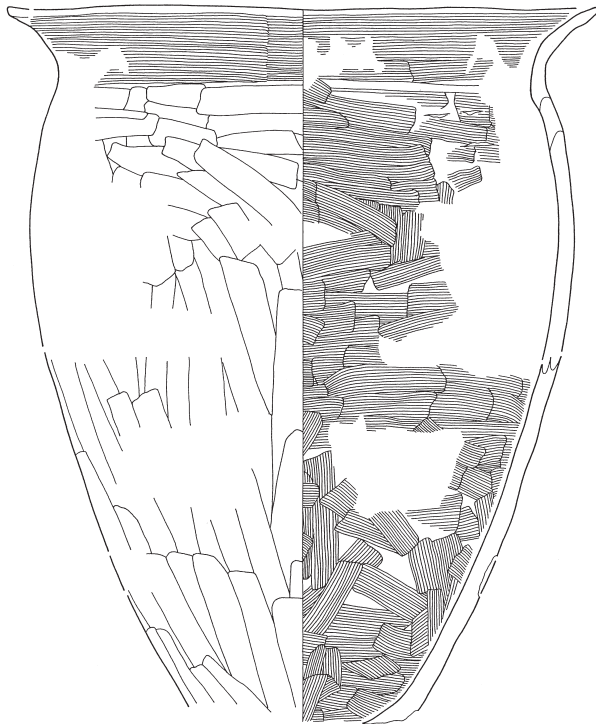
133 土師器球胴甕-RA074-A層



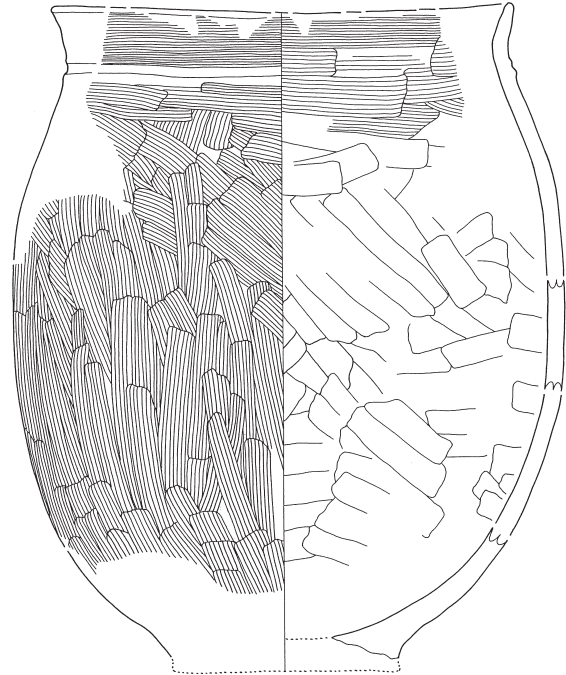
134 土師器甕-RA074-カマド左袖付近床面



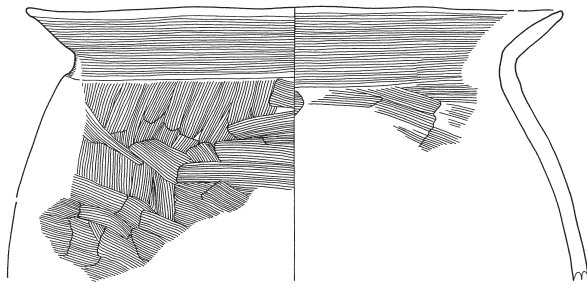
第79図 野古A遺跡第25次調査 RA073・074 出土土器



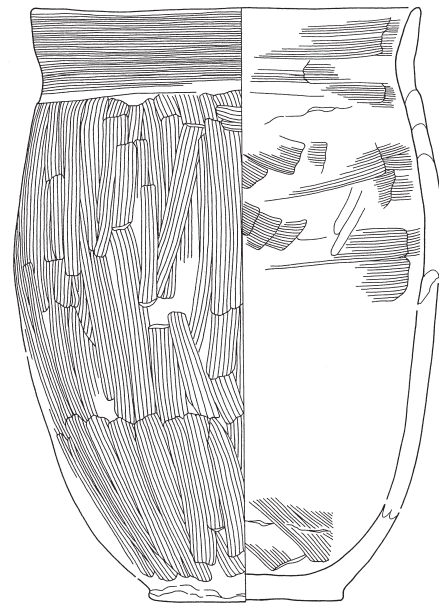
135 土師器甕-RA074-カマド火床面



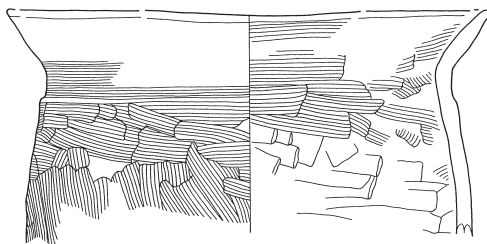
138 土師器甕-RA074-SE区D層



136 土師器甕-RA074-ベルトD層



139 土師器甕-RA074-NW区床面



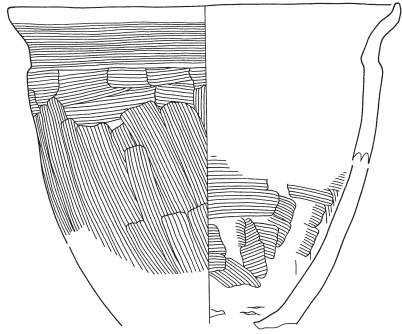
137 土師器甕-RA074-NW区カマドJ層



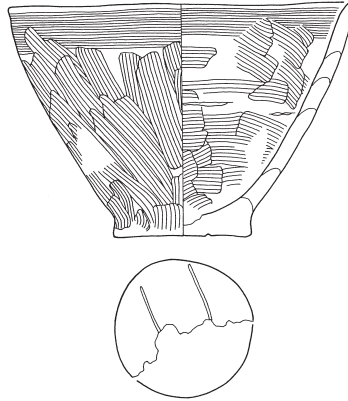
140 土師器甕-RA074-NW区床面

0 1:3 10cm

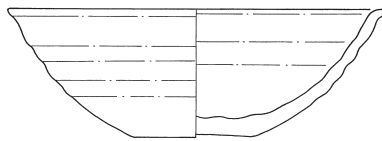
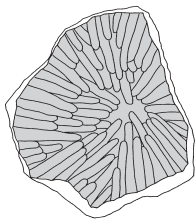
第80図 野古A遺跡第25次調査 RA074 出土土器



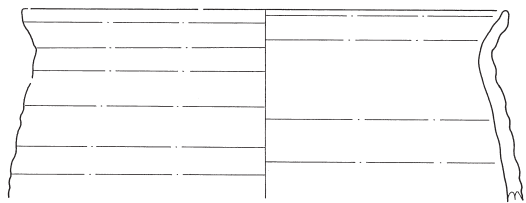
141 土師器小型甕-RA074-カマド火床面



142 土師器鉢-RA074-A層-底部線刻



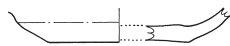
144 あかやき土器坏-RA075-ベルトA層



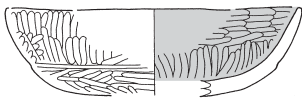
146 あかやき土器甕-RA075-N区床面



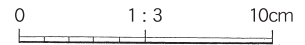
143 土師器坏-RA075-ベルトA層



145 あかやき土器坏-RA075-カマド付近A層



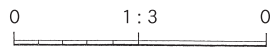
147 土師器坏-RD111-A層



第81図 野古A遺跡第25次調査 RA074・075, RD111 出土土器



148 ミニチュア土器-RA074-カマド火床面



第82図 野古A遺跡第25次調査 出土土製品



# 写 真 图 版







調査区全景（西から）



RB027掘立柱建物跡（南から）

第2図版 小幡遺跡第22次調査





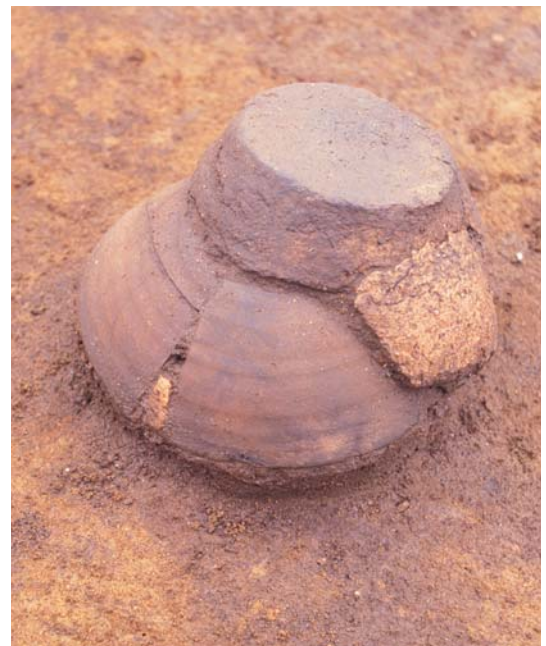
調査区全景（西から）



RA009竪穴住居跡（南から）



RA007竪穴住居跡（東から）



RA007竪穴住居跡カマド(左), 支脚土器(右)

稲荷遺跡第7次調査  
A区RG001溝跡（東から）



稲荷遺跡第7次調査  
B区RG001・002溝跡（西から）



稲荷遺跡第10次調査  
A区RG001溝跡（北西から）



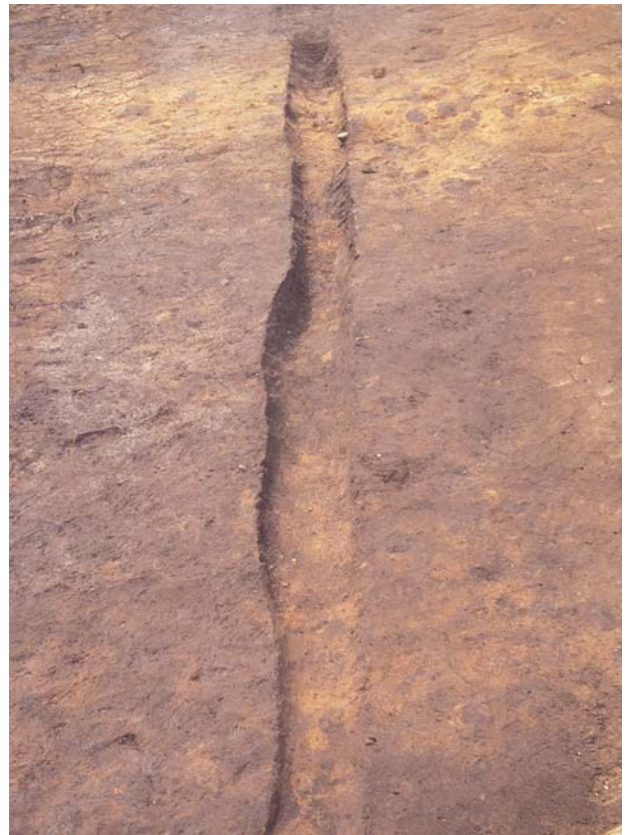
第5図版 稲荷遺跡第7・10次調査



調査区全景（南東から）



RG128溝跡（南から）



RG129溝跡（東から）



調査区北半部全景（南西から）



調査区南半部全景（西から）

第7図版 本宮熊堂B遺跡第23次調査(1)



RA082竪穴住居跡（西から）



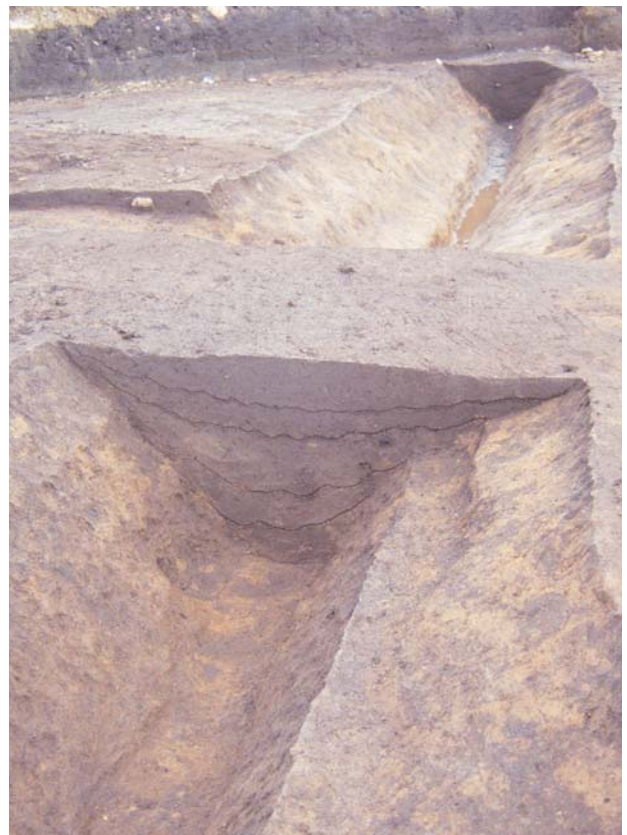
RA082竪穴住居跡カマド袖



RG011溝跡（東から）



RG128溝跡（南から）



RG132溝跡（南から）(左), 北部土層断面(右)

第9図版 本宮熊堂B遺跡第23次調査(3)



調査区全景（南西から）



RA132竪穴住居跡（北から）(左), 須恵器大甕出土状況(右)





RA083竪穴住居跡（北から）(左), カマド・貯蔵穴(右)



RA131竪穴住居跡（西から）(左), カマド(右)



RA133竪穴住居跡（西から）(左), カマド(右)



RA136竪穴住居跡（北から）(左), カマド(右)



RA134竪穴住居跡（北から）



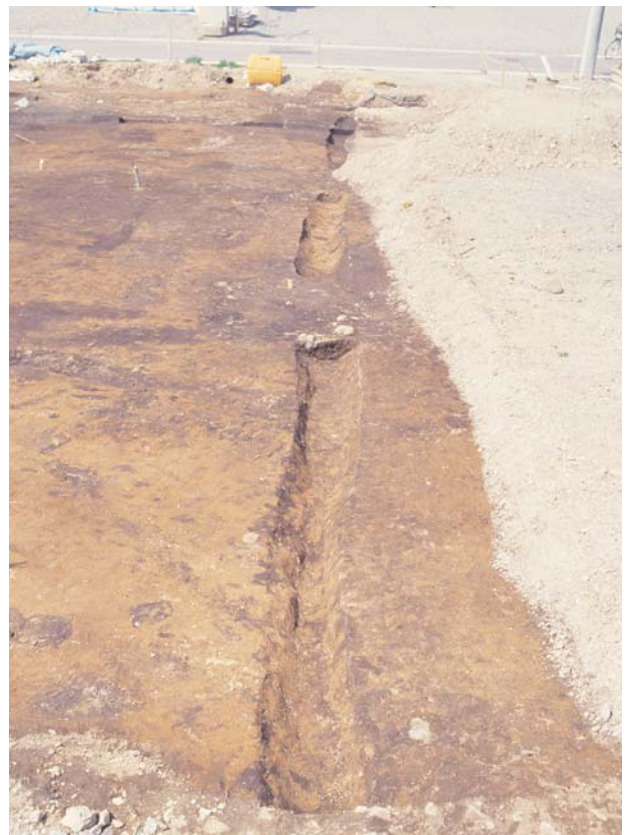
RE017竪穴状遺構土層断面



RG132溝跡（西から）(左), 西部土層断面(右)



RG011溝跡（西から）



RG128溝跡（南から）



C区南部全景（南から）



C区南部全景（北から）



C区北部全景（西から）



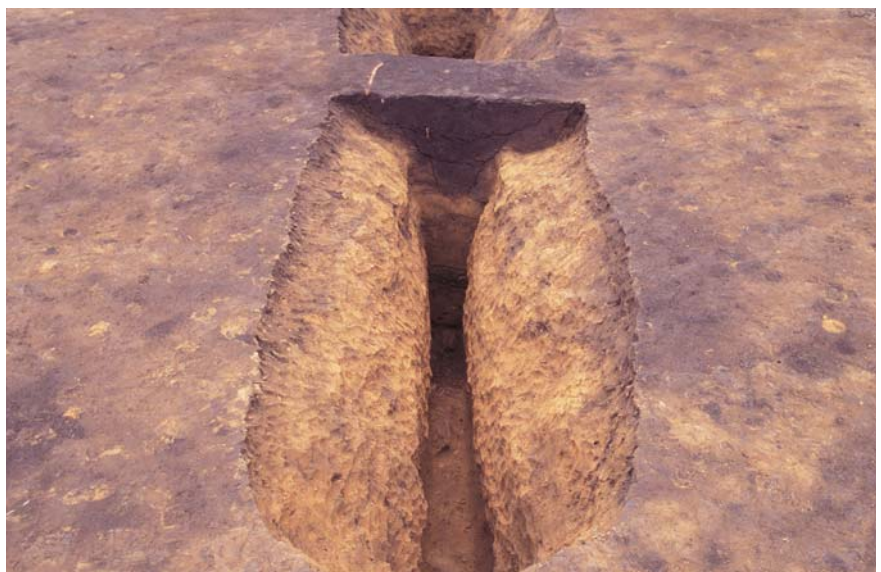
C区北部全景（東から）



B区西半部全景（東から）



B区東半部全景（西から）



RD127陥し穴



RA055竪穴住居跡（西から）(左), 煙道（南から）(右)



RA056竪穴住居跡（南から）(左), 炭化材・土器出土状況（北東から）(右)

RA057竪穴住居跡（東から）





調査区南部全景（西から）



調査区南部全景（東から）

第17図版 野古A遺跡第25次調査(1)



RA074竪穴住居跡（東から）



RA074竪穴住居跡カマド





RA072竪穴住居跡（西から）(左), カマド(右)



RA073竪穴住居跡（南西から）(左), カマド(右)

RA075竪穴住居跡（南から）





本宮熊堂B遺跡第23次調査RA082出土土器



本宮熊堂B遺跡第28次調査RA133出土土器

第20図版 本宮熊堂B遺跡出土遺物(1)



本宮熊堂B遺跡第28次調査RA136出土土器



035 土師器杯-RA082



038 土師器杯-RA082



039 土師器高台付杯-RA082



040 あかやき土器杯-RA082



041 あかやき土器杯-RA082



051 あかやき土器杯-RA083



052 あかやき土器杯-RA083



061 あかやき土器杯-RA131



074 土師器杯-RA133

第21図版 本宮熊堂B遺跡出土遺物(2)



075 あかやき土器杯-RA133



076 あかやき土器杯-RA133



078 あかやき土器高台付杯-RA133



083 土師器杯-RA136



086 あかやき土器杯-RA136



087 あかやき土器杯-RA136



088 あかやき土器杯-RA136



091 あかやき土器高台付杯-RA136



096 あかやき土器杯-RA137



097 あかやき土器杯-RA137



098 あかやき土器杯-RA137



071 緑釉陶器碗-RA132



044 土師器甕-RA082



045 土師器甕-RA082



072 須恵器壺-RA132



080 あかやき土器甕-RA133



092 土師器片口鉢-RA136



093 あかやき土器小型甕-RA136

本宮熊堂B遺跡



010 あかやき土器高台付杯-RA133



019 土師器土器杯-RA133

宮沢遺跡



近世磁器  
 瀬戸美濃染付茶碗  
 肥前染付輪花皿  
 初期伊万里染付皿  
 花古白磁角皿

第23図版 本宮熊堂B遺跡・宮沢遺跡出土遺物



野古A遺跡第21次調査RA056出土土器



101 あかやき土器杯-RA055



105 土師器高台付杯-RA057



107 土師器杯-RA056



109 あかやき土器高台付杯-RA056



111 あかやき土器杯-RA056



112 あかやき土器杯-RA056



113 あかやき土器杯-RA056



116 土師器鉢-RD102



118 あかやき土器杯-RA072

第24図版 野古A遺跡出土遺物(1)



130 土師器坏—RA074



115 須恵器小型壺—RA056



128 土師器甕—RA073

034 刻書「||」(土師器坏),  
本宮熊堂B遺跡第23次調査RA082



072 刻書「X」(須恵器壺),  
本宮熊堂B遺跡第28次調査RA132



099 刻書「八」「本」「代」  
(あかやき土器甕),  
本宮熊堂B遺跡第28次調査RA137



第26図版 本宮熊堂B遺跡出土刻書土器



081a 籀書「有」(土師器坏),  
本宮熊堂B遺跡第28次調査RA136



081b 籀書「閉」「閉か」(土師器坏),  
本宮熊堂B遺跡第28次調査RA136





## 附章 盛南開発関連遺跡出土炭化材放射性炭素年代測定

(株) 加速器分析研究所

### 1 測定対象試料

盛南開発関連遺跡として発掘調査された宮沢遺跡、本宮熊堂B遺跡、野古A遺跡から出土した試料の、放射性炭素年代測定を行う。

宮沢遺跡の測定対象試料は、R A O O 4 堅穴住居跡A層出土炭化材 (120101 : IAAA-120958) 1点である(表1)。

本宮熊堂B遺跡の測定対象試料は、R A O 8 3 堅穴住居跡A層出土炭化材 (120102 : IAAA-120959), R A 1 3 2 堅穴住居跡床面出土炭化材 (120103 : IAAA-120960), R A 1 3 3 堅穴住居跡J 3層出土炭化材 (120104 : IAAA-120961), R A 1 3 4 堅穴住居跡L層出土炭化材 (120105 : IAAA-120962), R A 1 3 6 堅穴住居跡B層出土炭化材 (120106 : IAAA-120963) の合計5点である(表1)。

野古A遺跡の測定対象試料は、R A O 5 6 堅穴住居跡B層出土炭化材 (120107 : IAAA-120964), R A O 7 2 堅穴住居跡床面 (No. 1) 出土炭化材 (120108 : IAAA-120965) の合計2点である(表1)。

### 2 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA : Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常  $1\text{ mol/l}$  (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 ( $\text{CO}_2$ ) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

### 3 測定方法

加速器をベースとした $^{14}\text{C}$ -AMS専用装置 (NEC社製) を使用し、 $^{14}\text{C}$ の計数、 $^{13}\text{C}$ 濃度 ( $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ )、 $^{14}\text{C}$ 濃度 ( $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ ) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 ( $\text{HOx II}$ ) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

### 4 算出方法

- (1)  $\delta^{13}\text{C}$  は、試料炭素の $^{13}\text{C}$  濃度 ( $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ ) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2)  $^{14}\text{C}$ 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 $^{14}\text{C}$ 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年

(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差( $\pm 1\sigma$ )は、試料の<sup>14</sup>C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

(3) pMC (percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の<sup>14</sup>C濃度の割合である。pMCが小さい(<sup>14</sup>Cが少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上(<sup>14</sup>Cの量が標準現代炭素と同等以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

(4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の<sup>14</sup>C濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の<sup>14</sup>C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、<sup>14</sup>C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差( $1\sigma=68.2\%$ )あるいは2標準偏差( $2\sigma=95.4\%$ )で表示される。グラフの縦軸が<sup>14</sup>C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下一桁を丸めない<sup>14</sup>C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース(Reimer et al. 2009)を用い、OxCalv4.1較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、<sup>14</sup>C年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」)という単位で表される。

## 5 測定結果

宮沢遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代は、R A O O 4 竪穴住居跡A層出土炭化材120101が $1210\pm 20\text{yrBP}$ 、暦年較正年代( $1\sigma$ )は777~868cal ADの間に2つの範囲で示される。

本宮熊堂B遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代は、R A O 8 3 竪穴住居跡A層出土炭化材120102が $1180\pm 20\text{yrBP}$ 、R A 1 3 2 竪穴住居跡床面出土炭化材120103が $1110\pm 20\text{yrBP}$ 、R A 1 3 3 竪穴住居跡J 3層出土炭化材120104が $1180\pm 20\text{yrBP}$ 、R A 1 3 4 竪穴住居跡L層出土炭化材120105が $1120\pm 20\text{yrBP}$ 、R A 1 3 6 竪穴住居跡B層出土炭化材120106が $1150\pm 20\text{yrBP}$ である。暦年較正年代( $1\sigma$ )は、120102が782~890cal AD、120103が897~975cal AD、120104が782~889cal AD、120105が895~971cal AD、120106が832~965cal ADの間に各々複数の範囲で示される。

野古A遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代は、R A O 5 6 竪穴住居跡B層出土炭化材120107が $1210\pm 20\text{yrBP}$ 、R A O 7 2 竪穴住居跡床面(No. 1)出土炭化材120108が $1150\pm 20\text{yrBP}$ である。暦年較正年代( $1\sigma$ )は、120107が779~867cal AD、120108が828~953cal ADの間に各々複数の範囲で示される。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

## 文献

Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360

Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150

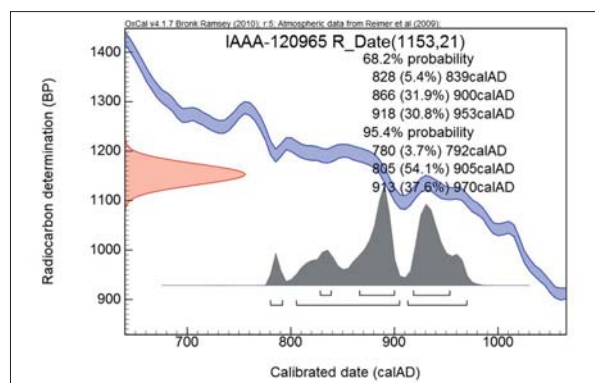
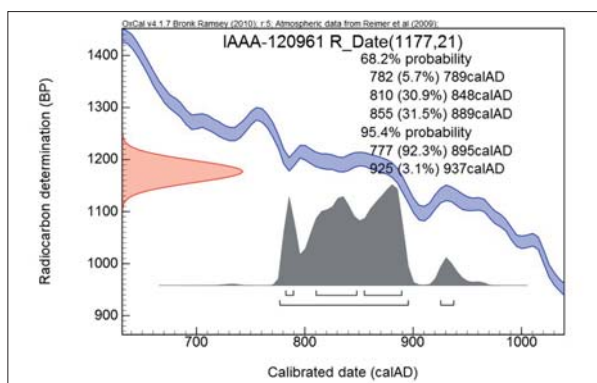
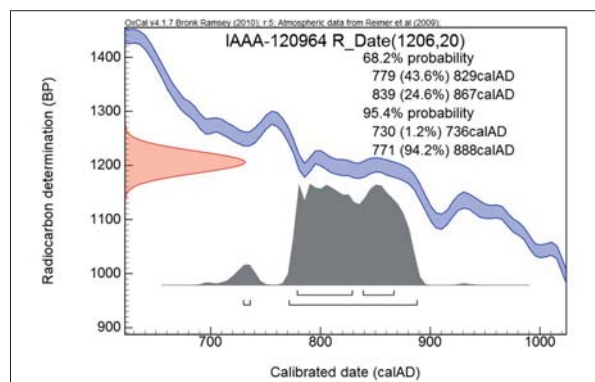
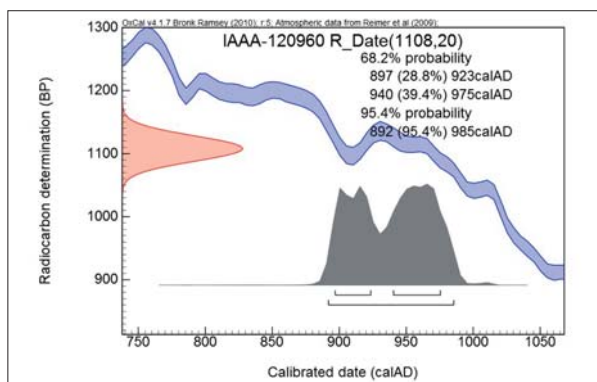
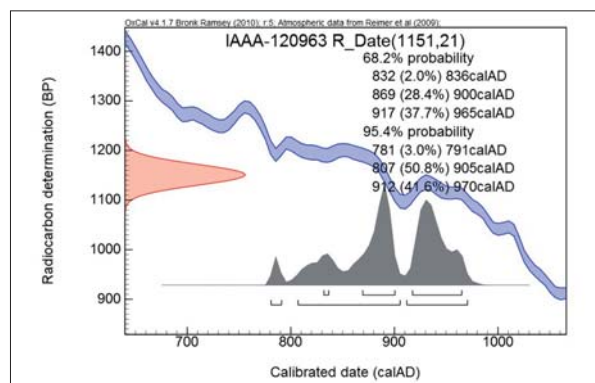
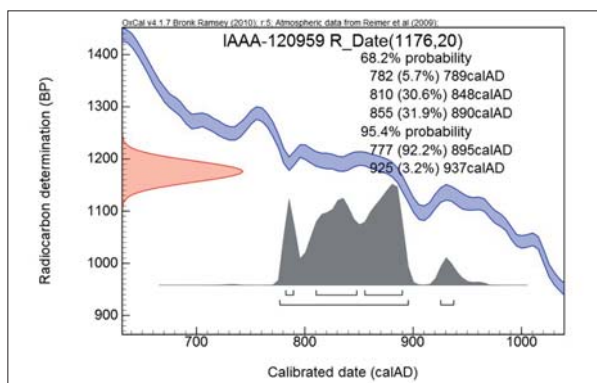
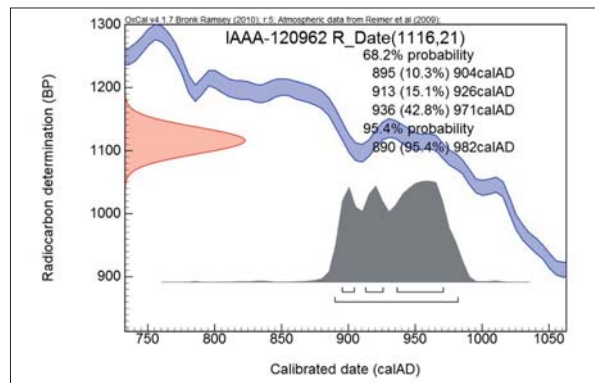
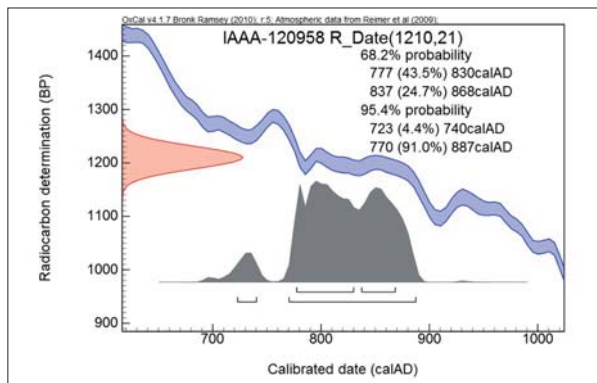
Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of <sup>14</sup>C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

表1

測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
					(AMS)	Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-120958	120101	宮沢遺跡 RA004 A層	炭化材	AAA	-26.94±0.36	1,210±20	86.00±0.23
IAAA-120959	120102	本宮熊堂B遺跡 RA083 A層	炭化材	AAA	-26.40±0.32	1,180±20	86.37±0.22
IAAA-120960	120103	本宮熊堂B遺跡 RA132 床面	炭化材	AAA	-31.04±0.28	1,110±20	87.10±0.22
IAAA-120961	120104	本宮熊堂B遺跡 RA133 J3層	炭化材	AAA	-23.87±0.38	1,180±20	86.37±0.23
IAAA-120962	120105	本宮熊堂B遺跡 RA134 L層	炭化材	AAA	-26.92±0.30	1,120±20	87.02±0.23
IAAA-120963	120106	本宮熊堂B遺跡 RA136 B層	炭化材	AAA	-25.69±0.42	1,150±20	86.64±0.23
IAAA-120964	120107	野古A遺跡 RA056 B層	炭化材	AAA	-30.46±0.30	1,210±20	86.05±0.22
IAAA-120965	120108	野古A遺跡 RA072 床面 (No.1)	炭化材	AAA	-26.16±0.29	1,150±20	86.62±0.23

表2

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-120958	1,240±20	85.66±0.22	1,210±21	777calAD - 830calAD (43.5%) 837calAD - 868calAD (24.7%)	723calAD - 740calAD ( 4.4%) 770calAD - 887calAD (91.0%)
IAAA-120959	1,200±20	86.13±0.21	1,176±20	782calAD - 789calAD ( 5.7%) 810calAD - 848calAD (30.6%) 855calAD - 890calAD (31.9%)	777calAD - 895calAD (92.2%) 925calAD - 937calAD ( 3.2%)
IAAA-120960	1,210±20	86.03±0.21	1,108±20	897calAD - 923calAD (28.8%) 940calAD - 975calAD (39.4%)	892calAD - 985calAD (95.4%)
IAAA-120961	1,160±20	86.57±0.22	1,177±21	782calAD - 789calAD ( 5.7%) 810calAD - 848calAD (30.9%) 855calAD - 889calAD (31.5%)	777calAD - 895calAD (92.3%) 925calAD - 937calAD ( 3.1%)
IAAA-120962	1,150±20	86.68±0.22	1,116±21	895calAD - 904calAD (10.3%) 913calAD - 926calAD (15.1%) 936calAD - 971calAD (42.8%)	890calAD - 982calAD (95.4%)
IAAA-120963	1,160±20	86.52±0.22	1,151±21	832calAD - 836calAD ( 2.0%) 869calAD - 900calAD (28.4%) 917calAD - 965calAD (37.7%)	781calAD - 791calAD ( 3.0%) 807calAD - 905calAD (50.8%) 912calAD - 970calAD (41.6%)
IAAA-120964	1,300±20	85.09±0.21	1,206±20	779calAD - 829calAD (43.6%) 839calAD - 867calAD (24.6%)	730calAD - 736calAD ( 1.2%) 771calAD - 888calAD (94.2%)
IAAA-120965	1,170±20	86.41±0.23	1,153±21	828calAD - 839calAD ( 5.4%) 866calAD - 900calAD (31.9%) 918calAD - 953calAD (30.8%)	780calAD - 792calAD ( 3.7%) 805calAD - 905calAD (54.1%) 913calAD - 970calAD (37.6%)



暦年較正年代グラフ

# 報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはつくつちょうさほうこくしょ5							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書V							
副書名	盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成13～18年度発掘調査② 大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2014年 1月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名(略号)	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
おおみやきたいせき 大宮北遺跡(OOK)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやあざおおみや 本宮字大宮, もとみやろくちようめ 本宮 6丁目	03201	LE16-2036	39° 40′ 59″	141° 7′ 10″	10次:2001. 1. 23-4. 24	440	土地区画整理 事業等
こばといせき 小幡遺跡(OKH)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやろくちようめ 本宮 6丁目	03201	LE16-2009	39° 41′ 6″	141° 7′ 31″	18次:2001. 11. 19 21次:2005. 5. 23-6. 3 22次:2006. 8. 21-8. 29	285 320 182	
みやざわいせき 宮沢遺跡(OMZ)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやろくちようめ 本宮 6丁目	03201	LE16-2101	39° 41′ 3″	141° 7′ 40″	6次:2001. 11. 20 7次:2002. 4. 17 8次:2002. 11. 18-12. 10 9次:2003. 6. 9-7. 17 10次:2004. 12. 8-12. 9 11次:2005. 7. 1-7. 22 12次:2006. 8. 7-8. 29	43 258 1,845 1,085 294 1,667 950	
おにやなぎえいせき 鬼柳A遺跡(OOA)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやあざおにやなぎ 本宮字鬼柳, もとみやぢちようめ ななちようめ 本宮 6丁目・7丁目	03201	LE16-2120	39° 40′ 49″	141° 7′ 25″	8次:2001. 4. 16	136	
いなりいせき 稲荷遺跡(OIN)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやなちようめ 本宮 7丁目	03201	LE16-2131	39° 40′ 49″	141° 7′ 41″	4次:2001. 11. 6-11. 9 7次:2003. 4. 14-5. 2 10次:2004. 10. 20-10. 22 11次:2004. 12. 13-12. 14 12次:2006. 6. 12-6. 13	604 2,040 259 40 626	
もとみやくまどうえいせき 本宮熊堂A遺跡 (OKD)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやまんちようめ 本宮 4丁目	03201	LE16-2107	39° 41′ 19″	141° 8′ 8″	16次:2002. 9. 12-9. 20 22次:2003. 7. 28	1,707 215	
もとみやくまどうびいせき 本宮熊堂B遺跡 (OKO)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市本宮 4丁目 ろくちようめ ななちようめ ・6丁目・7丁目, むかいなかのさんちようめ 向中野 3丁目	03201	LE16-2118	39° 21′ 30″	141° 45′ 40″	21次:2003. 5. 6-5. 16 23次:2003. 10. 20-12. 5 28次:2004. 4. 12-6. 16	1,265 3,425 666	
のこえいせき 野古A遺跡(ONK)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もとみやあざのこ 本宮字野古, したかつまあざきた 下鹿妻字北, もとみやなちようめ 本宮 7丁目, むかいなかのさんちようめ 向中野 3丁目, きたしいおがいつちようめ 北飯岡 1丁目	03201	LE16-2155	39° 40′ 45″	141° 8′ 4″	13次:2001. 4. 27 14次:2001. 11. 6-11. 9 16次:2002. 4. 16 17次:2002. 9. 11-11. 25 18次:2002. 11. 18-11. 25 21次:2003. 5. 2-6. 11 22次:2003. 11. 1-11. 2 25次:2004. 5. 10-6. 18 26次:2004. 6. 23 27次:2004. 9. 27-11. 25 28次:2004. 11. 8	106 165 23 520 241 1,750 325 1,380 36 926 65	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大宮北10次	集落		なし	土師器	
小幡18次	集落		なし		試掘確認調査
小幡21次	集落	縄文時代 古代以降 近世以降	陥し穴1 溝跡3 掘立柱建物跡1, 掘立柱列跡1, 土坑1, ピット		
小幡22次	集落	近世以降	掘立柱建物跡3, 土坑1, 溝跡1, ピット		
宮沢6次	集落		なし		試掘確認調査
宮沢7次	集落		なし		試掘確認調査
宮沢8次	集落	古代以降	溝跡5		
宮沢9次	集落	古代 古代以降 近世	竪穴住居跡6, 土坑3 溝跡1 掘立柱建物跡3, 土坑1, ピット	土師器, 須恵器, あかやき土器 瀬戸美濃, 古伊万里, 肥前	
宮沢10次	集落		なし	土師器, あかやき土器	試掘確認調査
宮沢12次	集落	古代	溝跡2	あかやき土器	
鬼柳8次	集落		なし		試掘確認調査
稲荷4次	集落		なし		試掘確認調査
稲荷7次	集落	古代以降	溝跡3		
稲荷10次	集落	古代以降	溝跡1		
稲荷11次	集落		なし		試掘確認調査
稲荷12次	集落		なし		試掘確認調査
本宮熊堂A16次	集落	近世以降	溝跡2		
本宮熊堂A22次	集落	縄文時代		縄文土器, 石器	試掘確認調査
本宮熊堂B21次	集落	古代以降	溝跡2		
本宮熊堂B23次	集落	古代 古代以降 近世以降	竪穴住居跡2 土坑1, 溝跡7 ピット	土師器, あかやき土器 肥前, 京焼	
本宮熊堂B28次	集落	弥生時代 古代  古代以降 近世以降	竪穴住居跡8, 竪穴状遺構1, 土坑3  溝跡2 溝跡1	弥生後期土器(赤穴式) 土師器, 須恵器, あかやき土器, 刻書土器「×」「八」「本」「代」, 篋書土器「有」「閉」「門」  瀬戸美濃	
野古A13次	集落		なし		試掘確認調査
野古A14次	集落	古代	溝跡1		
野古A16次	集落		なし		試掘確認調査
野古A17次	集落		なし	土師器, 須恵器	試掘確認調査
野古A18次	集落	古代	竪穴住居跡8, 土坑1	土師器, 須恵器, あかやき土器	
野古A21次	集落	縄文時代 古代 古代以降 近世	陥し穴1 竪穴住居跡4, 土坑5 溝跡2	土師器, 須恵器, あかやき土器 肥前, 大堀相馬, 備前, 灰釉陶器	
野古A22次	集落		なし		試掘確認調査
野古A25次	集落	古代 古代以降	竪穴住居跡4, 土坑1 土坑3	土師器, 須恵器, あかやき土器	
野古A26次	集落		なし		試掘確認調査
野古A27次	集落		なし		試掘確認調査
野古A28次	集落		なし		試掘確認調査
要約		<p>盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦22年(803)に中央の律令政府が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。本書掲載のうち、宮沢遺跡第9次調査、本宮熊堂B遺跡第23・28次調査、野古A遺跡第21・25次調査で竪穴住居跡がまとめて検出された。宮沢遺跡北西隅の第9次調査の竪穴住居跡群は、本来的には西側隣接の小幡遺跡の古代集落の一部と見ることができ、9～10世紀の竪穴住居跡が両遺跡で計約50棟検出されている。本宮熊堂B遺跡南東隅の第23・28次調査では9棟の竪穴住居跡が検出され、いずれも9世紀末～10世紀中葉の年代が考えられた。野古A遺跡中央部の第21・25次調査では8棟の竪穴住居跡が検出され、集落城の北西縁辺が確認された。野古A遺跡は8～9世紀の竪穴住居跡約100棟で形成されている。</p>			



## 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅴ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成13～18年度発掘調査②—  
大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・本宮熊堂A遺跡・  
本宮熊堂B遺跡・稲荷遺跡・野古A遺跡

平成26年1月31日

編集 盛岡市遺跡の学び館  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1  
電話 019-635-6600 ファクス 019-635-6605  
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp  
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

発行 独立行政法人都市再生機構  
盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 有限会社 小松茂印刷所  
〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原二丁目5-37

<表紙の色>

浅縹(あさはなだ)：奈良・平安時代の律令国家では、儀式において官人は位階に応じた色の袍(ほう：ロングジャケットのようなもの)を着用しました。浅縹は、初位の色でした(延喜式等)。